

令和5年度

定時総会

令和5年6月17日(土)

富山県民共生センターサンフォルテ



公益社団法人 富山県看護協会

目 次

看護者の倫理綱領	3
富山県看護協会の基本理念	4
令和5年度定時総会開催にあたって	5
令和5年度定時総会プログラム	6
令和5年度職能集会プログラム	7

報告

令和4年度理事会報告（書面）	11
令和4年度職能委員会報告（書面）	17
令和4年度委員会報告（書面）	23
令和4年度支部活動報告（書面）	32
令和5年度公益社団法人日本看護協会通常総会代議員報告	46

提出議題

第1号議案 令和5年度名誉会員(案)の承認	49
第2号議案 令和4年度事業報告(案)	50
第3号議案 令和4年度収支決算報告(案)及び監査報告	62
第4号議案 令和5年度富山県看護協会役員(案)の選任について	80
第5号議案 令和6年度日本看護協会通常総会代議員等(案)の選任について	81
第6号議案 令和5年度選挙管理委員・推薦委員候補者(案)の承認について	82

報告事項

報告事項1 令和5年度重点政策・重点事業並びに事業計画	85
報告事項2 令和5年度収支予算	91

資 料

令和5年度優良看護職員表彰者名簿	103
------------------	-----

[第2号議案 令和4年度事業報告(案)資料]

令和4年度 研修会等実施状況報告	104
令和4年度 認定看護管理者教育課程 教育運営委員会	116
令和4年度 看護師基礎教育4年制への情報収集	117
令和4年度 感染管理認定看護師派遣事業	118
令和4年度 富山県ナースセンター事業報告	119
令和4年度 富山県訪問看護総合支援センター事業報告	134
令和4年度 訪問看護ステーションひよどり事業報告	142
令和4年度 訪問看護ステーションひよどり富山事業報告	145
令和4年度 ひよどり富山居宅介護支援事業所事業報告	150
令和4年度 神明・五福地域包括支援センター事業報告	153
令和4年度 富山県における災害発生時対応体制の検討報告	156
令和4年度 支部長会報告	157
令和4年度 その他の助成事業報告	158
令和5年度 富山県行政への要望事項	160
令和4年度 行政機関および関連団体等からの委員等の就任状況	162
令和4年度 他団体等への推薦	164
令和4年度 後援・協力等依頼報告	165

[各種名簿]

令和4年度 富山県看護協会施設別・職種別会員数	166
令和4年度 受彰者名簿	168
令和4年度 富山県看護協会役員及び委員名簿	169
令和4年度 支部役員名簿	172
令和5年度 日本看護協会通常総会代議員及び予備代議員名簿	173

[委員会等報告資料]

保健師指導力アップセミナー報告	保健師職能委員会	174
人材育成研修会報告	保健師職能委員会	175
「いのちの教室」実践報告	助産師職能委員会	176
母子のための地域包括ケア推進に関するアンケート調査・結果	助産師職能委員会	177
地域包括ケアシステムの推進に向けた看看連携の取り組み報告	看護師職能Ⅰ委員会	181
在宅ケア事例検討会報告	看護師職能Ⅱ委員会	183
介護・福祉・在宅領域の施設等の管理者研修報告	看護師職能Ⅱ委員会	186

[参考資料]

会員数と入会率	188
都道府県看護協会一覧表	190
都道府県ナースセンター一覧表	191
公益社団法人富山県看護協会定款	192
公益社団法人富山県看護協会組織図	204
公益社団法人富山県看護協会職員名簿	205

看護職の倫理綱領

2021年 日本看護協会

前文

人々は、人間としての尊厳を保持し、健康で幸福であることを願っている。看護は、このような人間の普遍的なニーズに応え、人々の生涯にわたり健康な生活の実現に貢献することを使命としている。

看護は、あらゆる年代の個人、家族、集団、地域社会を対象としている。さらに、健康の保持増進、疾病の予防、健康の回復、苦痛の緩和を行い、生涯を通して最期まで、その人らしく人生を全うできるようその人のもつ力に働きかけながら支援することを目的としている。

看護職は、免許によって看護を実践する権限を与えられた者である。看護の実践にあたっては、人々の生きる権利、尊厳を保持される権利、敬意のこもった看護を受ける権利、平等な看護を受ける権利などの人権を尊重することが求められる。同時に、専門職としての誇りと自覚をもって看護を実践する。

日本看護協会の『看護職の倫理綱領』は、あらゆる場で実践を行う看護職を対象とした行動指針であり、自己の実践を振り返る際の基盤を提供するものである。また、看護の実践について専門職として引き受ける責任の範囲を、社会に対して明示するものである。

本文（抜粋）

1. 看護職は、人間の生命、人間としての尊厳及び権利を尊重する。
2. 看護職は、対象となる人々に平等に看護を提供する。
3. 看護職は、対象となる人々との間に信頼関係を築き、その信頼関係に基づいて看護を提供する。
4. 看護職は、人々の権利を尊重し、人々が自らの意向や価値観にそった選択ができるよう支援する。
5. 看護職は、対象となる人々の秘密を保持し、取得した個人情報とは適正に取り扱う。
6. 看護職は、対象となる人々に不利益や危害が生じているときは、人々を保護し安全を確保する。
7. 看護職は、自己の責任と能力を的確に把握し、実施した看護について個人としての責任をもつ。
8. 看護職は、常に、個人の責任として継続学習による能力の開発・維持・向上に努める。
9. 看護職は、多職種で協働し、よりよい保健・医療・福祉を実現する。
10. 看護職は、より質の高い看護を行うために、自らの職務に関する行動基準を設定し、それに基づき行動する。
11. 看護職は、研究や実践を通して、専門的知識・技術の創造と開発に努め、看護学の発展に寄与する。
12. 看護職は、より質の高い看護を行うため、看護職自身のウェルビーイングの向上に努める。
13. 看護職は、常に品位を保持し、看護職に対する社会の人々の信頼を高めるよう努める。
14. 看護職は、人々の生命と健康をまもるため、さまざまな問題について、社会正義の考え方をもって社会と責任を共有する。
15. 看護職は、専門職組織に所属し、看護の質を高めるための活動に参画し、よりよい社会づくりに貢献する。
16. 看護職は、様々な災害支援の担い手と協働し、災害によって影響を受けたすべての人々の生命、健康、生活をまもることに最善を尽くす。

富山県看護協会の基本理念

I 使命

人々の人間としての尊厳を維持し、健康で幸福でありたいという普遍的なニーズに応え、人々の健康な生活の実現に貢献する。

そのため、

- 一 教育と研鑽に根ざした専門性に基づき看護の質の向上を図る
- 一 看護職が生涯を通して安心して働き続けられる環境づくりを推進する
- 一 人々のニーズに応える看護領域の開発・展開を図る

II 活動理念

- 一 看護職の力を変革に向けて結集する
- 一 自律的に行動し協働する
- 一 専門性を探求し新たな価値を創造する

III 基本戦略

看護の質の向上、看護職が働き続けられる環境づくり、看護領域の開発・展開の三つの使命に基づく事業領域において、政策形成、自主規制、支援事業、開発・経営、広報、社会貢献の六つの実現手法を用いて、人々の健康で豊かな生活の実現を図るものである。

(平成22年3月富山県看護協会3月通常総会にて決定)

令和5年度 定時総会開催にあたって

公益社団法人富山県看護協会
会長 稲村 睦子

初夏の訪れとともに新緑がまぶしい季節になりました。雨に濡れたあじさいの花が、ひときわ鮮やかに咲き競っております。

新型コロナウイルス感染症との闘いは3年が経過し、医療の最前線で懸命に奮闘されておられました看護職の皆様には、心から敬意を表し感謝申し上げます。新型コロナウイルス感染症は従来の2類相当から5類へと移行されましたが、類型が変わったとしても、さまざまな場所で、私たちは、今後も感染防止対策を実施しながら業務の継続が必要です。

昨年度も看護協会の事業におきましては、会議や委員会など定例の諸事業をはじめ、学会や一般研修、長期研修などに対し、人数制限や十分な感染対策を講じながら、皆様のご協力のもとほぼ予定通り行うことができました。そのような中で研修受講料を改訂いたしましたことご理解して頂きたいと思っております。

そして今、人生100年時代の到来を見据えながら、すべての世代の安心を支えていくため、社会保障全般にわたる持続可能な改革について検討が進められています。2040年を迎えた時、人々は看護に何を期待するのか、そのために今から取り組むべき方向性は何かを整理し、人々に寄り添った活躍を進めていくことが必要です。私たち看護職は、生涯にわたる自律的なキャリア開発を求められ、生涯学習として自律的に資質向上を図り、あらゆる場でそれが活かされることを期待されています。

また、令和4年4月より富山県訪問看護総合支援センターを開設し、訪問看護への人材確保、経営基盤の安定化、質向上を目的として、訪問看護総合支援センターとして事業を展開しております。訪問看護師は、多職種連携の中心的な役割を担い、地域包括ケアの要となり、地域の実情に即した訪問看護提供体制の実現に取り組んでおります。

令和5年度に向けては、医療職俸給表(三)の職位表の見直しにおける看護管理者への支援、訪問看護師育成のための公的病院における新採の訪問看護ステーションへの配置、育成プログラム作成、新川地区の看護職確保対策推進事業、看護師基礎教育4年制の検討における人材交流、新興感染症感染防止対策のための出前講座の確立、統括保健師の教育育成にも取り組む予定としております。

そして、「県民の健康で豊かな生活の実現に寄与する」ため、本会の使命である「看護の質の向上」「働き続けられる環境づくり」「看護領域の開発・展開」を前提としつつ、医療モデルから生活モデル重視への転換に対する看護提供体制を構築するとともに、変革に対し、新たに必要な対策を講じ、さらに踏襲すべきことを併せて重点事業として取り組みます。

令和5年度の重点目標は、以下の4点です。

- 1 全世代型地域包括ケアにおける看護提供体制の推進
- 2 看護職の働き方改革の推進
- 3 専門職としてのキャリア継続への支援と役割拡大
- 4 新興感染症の対応及び災害発生時看護支援活動の推進

本日の総会におきましては、令和4年度事業報告、収支決算報告及び監査報告、令和5年度富山県看護協会役員を選任、令和6年度日本看護協会代議員等の選出、令和5年度の当協会選挙管理委員・推薦委員候補者の承認について議案提出しておりますので、審議をお願いいたします。

時間を短縮しての総会になりますが、会員の皆様の忌憚のないご意見をいただき実り多き総会になることを期待しております。

令和5年度 定時総会プログラム

日 時 令和5年6月17日(土) 13:10~15:10

場 所 富山県民共生センターサンフォルテ 2階ホール

-
- 12:40 開場
- 13:00 オリエンテーション
- 13:10 開会
物故会員への黙とう
会長あいさつ
来賓祝辞
来賓紹介
祝電披露
富山県部門功労(知事)表彰
富山県看護協会会長表彰
受彰者代表謝辞
- 13:50 議長団及び議事録署名人の承認
- 13:55 議 事
I 報告(1~4 書面報告)
1 理事会報告
2 職能委員会報告
3 委員会報告
4 支部活動報告
5 令和5年度公益社団法人日本看護協会通常総会代議員報告
- 14:05 II 提出議題
第1号議案 令和5年度 名誉会員(案)の承認
第2号議案 令和4年度 事業報告(案)
第3号議案 令和4年度 収支決算報告(案)及び監査報告
第4号議案 令和5年度 富山県看護協会役員(案)の選任について
第5号議案 令和6年度 日本看護協会代議員等(案)の選出について
第6号議案 令和5年度 選挙管理委員・推薦委員候補者(案)の承認について
- III 報告事項
報告事項1 令和5年度 重点事業及び事業計画
報告事項2 令和5年度 収支予算
- 14:55 議長団解任
新役員紹介
退任役員紹介・代表あいさつ
会歌静聴
副会長あいさつ
- 15:10 閉会

令和5年度 職能集会プログラム

日時 令和5年6月17日（土）9：30～11：30

場所 保健師職能集会：富山県民共生センター サンフォルテ 3階 研修室 303
助産師職能集会：富山県民共生センター サンフォルテ 3階 研修室 307
看護師職能集会：富山県民共生センター サンフォルテ 2階 ホール

保健師職能集会

9：00 開場・オリエンテーション
9：30 開会挨拶
9：35～9：45 日本看護協会全国職能別交流集会報告
9：45～10：35 講演「保健師として学び続けること」
富山県立大学看護学部 学部長 佐伯 和子氏
10：35～11：15 活動報告テーマ
「自身のキャリアから保健師の系統的な学びについて考える」
座長 富山県立大学看護学部 学部長 佐伯 和子氏
報告者
砺波市健康センター主査 山田 美紀氏
富山県立大学看護学部講師 大西 竜太氏
富山市南保健福祉センター所長代理 澤武 美穂氏
11：15 質疑応答
11：25 まとめ
11：30 閉会

助産師職能集会

9：00 開場・オリエンテーション
9：30 開会挨拶
9：40～10：00 1) 職能委員会活動報告
2) 日本看護協会全国職能別交流集会報告
10：00～11：20 シンポジウム テーマ「産後ケア～女性の健康を支援する助産師の役割～」
座長 富山県助産師職能委員 小川 成美氏 萩中 優子氏
シンポジスト
富山市立富山市民病院 主任助産師 田中 裕美氏
かみいち総合病院 看護師長 平井 志乃扶氏
高岡市民病院 看護師長 竹澤 玲美氏
11：20 まとめ
11：30 閉会

看護師職能集会

- 9：00 開場・オリエンテーション
- 9：30 開会挨拶
- 9：40～10：00 日本看護協会全国職能別交流集会報告
- 1 看護師職能Ⅰ（病院領域）
 - 2 看護師職能Ⅱ（介護・福祉関係施設・在宅等領域）
- 10：00～11：20 シンポジウム テーマ「各病床機能の役割と在宅療養支援のための看看連携」
座長 富山県看護師職能Ⅰ理事 渋谷 美保子氏
- シンポジスト
- 厚生連高岡病院 地域医療連携室 部長待遇 山口 真理子氏
富山県リハビリテーション病院・こども支援センター
看護局 看護部長 吉岡 智子氏
特定医療法人財団五省会西能みなみ病院 看護部長 南 峰子氏
訪問看護ステーションあぼかど 管理者 藤井 知左子氏
- 11：20 まとめ
- 11：30 閉会
-

議 事

令和4年度理事会報告（書面）	11
令和4年度職能委員会報告（書面）	17
令和4年度委員会報告（書面）	23
令和4年度支部活動報告（書面）	32
令和5年度公益社団法人日本看護協会通常総会代議員報告	46

令和4年度 理事会報告

1 理事会開催状況

回	日 時	場 所
1	令和4年4月18日（月） 15：00～16：50	富山県看護研修センター
2	令和4年5月23日（月） 15：30～16：46	富山県看護研修センター
3	令和4年6月18日（土） 15：20～16：20	サンフォルテ
4	令和4年8月8日（月） 15：30～17：06	富山県看護研修センター
臨時	令和4年9月5日（月） 15：30～16：03	zoom開催
5	令和4年10月17日（月） 15：30～17：00	富山県看護研修センター
6	令和4年12月12日（月） 15：30～17：13	富山県看護研修センター
7	令和5年1月16日（金） 15：30～16：25	富山県看護研修センター
8	令和5年3月20日（月） 15：30～17：10	富山県看護研修センター

2 協議事項等

回	協 議 事 項 等
1	<p>1 協議承認事項</p> <p>1) 令和4年度新規会員の承認について 令和4年4月11日現在 8,710名</p> <p>2) 令和4年度各委員の推薦等について</p> <p>(1) 選挙管理委員・推薦委員の推薦について</p> <p>(2) 職能委員の選任について</p> <p>(3) 委員の選任について</p> <p>(4) 支部役員について</p> <p>3) 令和4年度定時総会について</p> <p>(1) 令和4年度富山県看護協会定時総会提出議題（案）について</p> <p><議決事項></p> <p>第1号議案 令和3年度事業報告（案）</p> <p>第2号議案 令和3年度収支決算報告（案）及び監査報告（案）について</p> <p>第3号議案 令和4年度富山県看護協会役員を選任（案）について</p> <p>第4号議案 令和5年度日本看護協会代議員等の選出（案）について</p> <p>第5号議案 令和4年度選挙管理委員・推薦委員候補者（案）の承認について</p> <p>4) 令和4年度富山県看護協会長表彰候補者について</p> <p>5) 令和4年度事業について</p> <p>(1) 合同委員会について</p> <p>6) ウクライナの人道危機に対する国際看護師協会（ICN）の募金活動への協力について</p> <p>2 報告了承事項</p> <p>1) 令和3年度事業報告</p> <p>(1) 各委員会報告</p>

回	協 議 事 項 等
	<ul style="list-style-type: none"> (2) 各支部活動報告 (3) 研修会実施報告 (4) ナースセンター事業実績報告 (5) その他の会議報告 2) 令和4年度事業について <ul style="list-style-type: none"> (1) 富山県訪問看護総合支援センター開設について (2) 第32回「看護の日」看護フェスティバルについて (3) 「看護の日」新聞企画 3 その他
2	<ul style="list-style-type: none"> 1 協議承認事項 <ul style="list-style-type: none"> 1) 令和4年度新規会員の承認について 2) 令和4年度富山県看護協会定時総会の運営（案）について 3) 令和4年度職能集会の運営（案）について 4) 令和3年度決算報告（案）及び監査報告について 5) 令和4年度支部活動の指針及び実施要項（案）について 2 報告了承事項 <ul style="list-style-type: none"> 1) 令和4年度日本看護協会会議報告 <ul style="list-style-type: none"> (1) 第1回理事会（Web会議）報告 2) 令和4年度富山県看護協会事業報告 <ul style="list-style-type: none"> (1) 会員数報告 令和4年5月20日現在 8,700名 (2) 認定看護管理者教育課程について (3) 第32回看護フェスティバル実施報告 (4) 令和4年度「高校生の1日看護見学」について (5) 令和4年度公益社団法人富山県看護協会委員について (6) その他の会議等報告 3 その他
3	<ul style="list-style-type: none"> 1 協議承認事項 <ul style="list-style-type: none"> 1) 役員の選定について（案） 2) 委員会及び支部担当理事（案）について 3) 令和4年度新規会員の承認について 4) 公益社団法人富山県看護協会旅費規程の改正（案）について 5) その他 2 報告了承事項 <ul style="list-style-type: none"> 1) 日本看護協会会議報告 <ul style="list-style-type: none"> (1) 第2回理事会報告 (2) 認定看護管理者教育機関担当者会議（Web）報告 (3) 都道府県看護協会看護労働担当者会議（Web）報告 (4) ナースセンター事業担当者会議（Web）報告 2) 富山県看護協会事業報告 <ul style="list-style-type: none"> (1) 会員数報告 令和4年6月15日現在 8,991名 (2) 令和4年度看護師基礎教育を考える会について (3) 看護補助者の活用推進のための看護管理者研修について

回	協 議 事 項 等
	<p>(4) ナースセンター事業実績報告</p> <p>3 その他</p> <p>(1) 令和5年度県要望事項について</p> <p>(2) 富山マラソン2022における救護所への看護師派遣について</p>
4	<p>1 協議承認事項</p> <p>1) 令和4年度新規会員の承認について</p> <p>2) 令和5年度県要望事項(案)について</p> <p>3) 令和5年度事業について</p> <p>(1) 民間病院就職ガイダンスについて</p> <p>4) その他</p> <p>2 報告了承事項</p> <p>1) 日本看護協会会議報告</p> <p>(1) 第3回理事会報告</p> <p>(2) 第2回法人会員会報告</p> <p>(3) 令和4年度都道府県看護協会母子のための地域包括ケアシステム推進会議報告</p> <p>2) 富山県看護協会事業報告</p> <p>(1) 会員数報告 令和4年8月5日現在 9,066名</p> <p>(2) 認定看護管理者教育課程について</p> <p>(3) 「看護師基礎教育を考える会」について</p> <p>(4) 教育研修実施状況報告</p> <p>(5) ナースセンター事業実績報告</p> <p>(6) 富山県訪問看護総合支援センター新規事業について</p> <p>(7) 各委員会活動状況報告</p> <p>(8) 各支部活動状況報告</p> <p>(9) 後援・協力等依頼報告</p> <p>(10) その他の会議等報告</p> <p>3 その他</p>
臨時	<p>1 協議承認事項</p> <p>1) 富山県看護研究学会の開催について(案)</p> <p>2 報告了承事項</p> <p>1) 新型コロナウイルス感染拡大防止のための感染管理認定看護師の派遣フローチャート(富山市)について</p> <p>2) 感染管理認定看護師による出前講座について</p> <p>3) 富山県への要望について</p> <p>4) その他</p> <p>3 その他</p>
5	<p>1 協議承認事項</p> <p>1) 令和4年度新規会員の承認について</p> <p>2) 令和4年度事業について</p> <p>(1) 県内病院就職ガイダンスの開催(案)について</p>

回	協 議 事 項 等
5	<p>(2) オンライン研修会の開催について (案)</p> <p>(3) 母子ケアに関する分娩施設と地域間の連携のための現状把握調査 (案) について</p> <p>(4) 外来看護の役割機能に関する実態調査 (案) について</p> <p>3) 令和5年度事業について</p> <p>(1) 総会・職能集会 (案) について 【期日：令和5年6月17日 (土) 会場：サンフォルテ】</p> <p>4) その他</p> <p>2 報告了承事項</p> <p>1) 日本看護協会会議報告</p> <p>(1) 第4回理事会報告</p> <p>(2) 2022年度都道府県看護協会政策責任者会議報告</p> <p>(3) 2022年度全国職能委員長会報告</p> <p>2) 富山県看護協会事業報告</p> <p>(1) 会員数報告 令和4年10月11日現在 9,108名</p> <p>(2) 2023年度ナースシップ継続の手続きについて</p> <p>(3) 第32回富山県看護研究学会について</p> <p>(4) 認定看護管理者教育課程について</p> <p>(5) 教育研修実施状況報告</p> <p>(6) 富山マラソン救護派遣について</p> <p>(7) ナースセンター事業実績報告</p> <p>(8) 高校生1日看護見学について</p> <p>(9) 訪問看護総合支援センター事業報告</p> <p>(10) 訪問看護ステーションひよどり事業報告</p> <p>(11) 訪問看護ステーションひよどり富山事業報告</p> <p>(12) 居宅介護支援事業所ひよどり富山事業報告</p> <p>(13) 神明・五福地域包括支援センター事業報告</p> <p>(14) 各委員会活動状況報告</p> <p>(15) 各支部活動状況報告</p> <p>(16) 後援・協力等依頼報告</p> <p>(17) その他の会議等報告</p> <p>(18) その他</p> <p>3 その他</p>
6	<p>1 協議承認事項</p> <p>1) 令和4年度新規会員の承認について</p> <p>2) 令和5年度事業について</p> <p>(1) 看護体験談募集 (案) について</p> <p>(2) 看護フェスティバル (案) について</p> <p>(3) 新卒訪問看護師育成試行事業の実施 (案) 実施施設の募集について</p> <p>(4) 一般研修受講料の改正 (案) について</p> <p>3) 日本看護協会通常総会 代議員・予備代議員の選出について (案)</p> <p>4) 令和5年度日本看護協会名誉会員・協会長表彰候補者 (案) の推薦について</p>

回	協 議 事 項 等
6	<p>5) 令和5年度執行部会・理事会日程（案）について 6) その他</p> <p>2 報告了承事項</p> <p>1) 日本看護協会会議報告 (1) 第5回理事会報告 (2) 東海・北陸地区法人会員会報告 (3) 地区別職能委員長会報告 (4) 広報担当役員会議（Web会議）報告</p> <p>2) 富山県看護協会事業報告 (1) 会員数報告 令和4年12月5日現在 9,105名 (2) 令和4年度上半期決算報告 (3) 公益社団法人立ち入り検査の結果報告 (4) 認定看護管理者教育課程教育運営委員会報告 (5) 教育研修実施状況報告 (6) ナースセンター事業実績報告 (7) 訪問看護総合支援センター事業報告 (8) 感染管理認定看護師派遣活動実績について (9) 富山マラソンの感想・意見について (10) 各委員会活動状況報告 (11) 各支部活動状況報告 (12) 後援・協力等依頼報告 (13) その他の会議報告</p> <p>3 その他 (1) 看護職賠償責任保険制度個別説明会（1月16日）</p>
7	<p>1 協議承認事項</p> <p>1) 令和4年度新規会員の承認について 2) 令和4年度事業（案）について (1) 県内病院就職ガイダンスの開催（案）について 3) 令和5年度事業（案）について (1) 教育研修計画（案）について (2) 職能集会の内容（案）について (3) 委員会の任務と諮問事項（案）について (4) 令和5年度執行部会・理事会日程（案）について</p> <p>4) その他</p> <p>2 報告了承事項</p> <p>1) 富山県看護協会事業報告 (1) 会員数報告 令和5年1月12日現在 9,003名 (2) オンライン研修検討会 (3) 支部長会報告 (4) ナースセンター事業実績報告 (5) 第32回（2022年）富山県看護研究学会報告 (6) 研修会実施状況報告 (7) 各委員会活動状況報告</p>

回	協 議 事 項 等
7	(8) 各支部活動状況報告 (9) その他の会議報告 2) その他
8	1 協議承認事項 1) 平成4年度新規会員の承認について 2) 令和5年度事業について (1) 令和5年度重点事業・事業計画(案)について (2) 令和5年度収支予算(案)について 3) 令和5年度富山県看護協会定時総会(案)および職能集会(案)について 4) 令和6年度日本看護協会代議員、予備代議員の選出(案)について 5) その他 2 報告了承事項 1) 日本看護協会会議報告 (1) 第6回理事会報告 (2) 全国職能委員長会報告 2) 富山県看護協会事業報告 (1) 会員数報告 令和5年3月15日現在 8,960名 (2) 研修会実施状況報告 (3) ナースセンター事業実績報告 (4) 各委員会・支部活動状況報告 (5) 各種団体への推薦について (6) 後援・協力等依頼報告 (7) その他の会議等報告 3) その他 3 その他 1) 富山県看護連盟活動報告

令和4年度 職能委員会報告

◎保健師職能委員会活動報告

委員長 利田 智恵

1 開催回数 6回（研修会3回含まず）

2 活動目標

保健師の専門性を発揮するための資質の向上とネットワークの推進を図る。

テーマ：学ぶ、つながる、創造する

3 活動内容

1) 研修会の開催

(1) 人材育成研修会

日時 令和4年9月24日（土）13：00～16：00

場所 富山県看護研修センター

内容 講義及び演習

「ファシリテーションについて学ぶ」～参加したくなる会議のつくり方～

講師 日本ファシリテーション協会 岸 靖久 氏

参加者 46名

(2) 保健指導力アップセミナー

日時 令和4年11月12日（土）13：30～16：30

場所 富山県看護研修センター

内容 講義「富山県糖尿病重症化予防プログラムについて」

講師 富山県厚生部健康課がん対策推進班 主任 赤川 真由子 氏

講義「生活習慣病の生体メカニズム～糖尿病重症化予防に向けて～」

講師 福田内科医院 院長 福田 一仁 氏

参加者 24名

2) 保健師・助産師職能委員会合同研修会

日時 令和4年7月23日（土）13：00～16：00

場所 富山県看護研修センター

内容 講義及びグループワーク「母子のための地域包括ケアを学ぶ」

講師 日本看護協会 常任理事 井本 寛子 氏

参加者 25名

3) アンケート調査

内容 母子のための地域包括ケア推進に関するアンケート調査

対象者 県内の新生児訪問に従事する看護職

回答者 54名（回収率 18.8%）

4) 日本看護協会保健師職能委員会活動

(1) 全国保健師職能委員長会 2回（Web開催・ベルサール東京日本橋）

(2) 東海北陸地区保健師職能委員長会 1回（ANAクラウンプラザホテル富山）

4 目標達成度

年間を通したコロナ対応により、委員会活動は最小限にとどまり、行政保健師の研修会への参加も困難な状況であった。そのような中、研修会に健診センター等の保健師の参加を呼びかけ、学習や情報共有の機会を得たと好評であり、ネットワーク推進の一助となった。

◎助産師職能委員会活動報告

委員長 森 太貴子

1 開催回数 6回（研修会4回含まず）

2 活動目標

- 1) 母子のための地域包括ケアとして、妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援体制の構築を支援する。
- 2) 助産師が活動するために必要な体制整備に向けた課題発見・意見集約を行う。
- 3) 助産師が活動に必要な知識を習得し、業務に活かせるよう研修会を開催する。
- 4) 生命の大切さを子どもたちに伝える「いのちの教室」を実施する。

3 活動内容

1) 母子のための地域包括ケア推進に関するアンケート調査

調査期間 令和4年11月～12月末

調査方法 自記式質問紙Web版

調査対象 母子の訪問に携わる保健師・助産師

- 調査目的
- (1) 新生児訪問事業に携わる看護職の視点から、分娩施設の助産師が改善または強化すべき保健指導事項を明らかにする。
 - (2) 県内7分娩取扱い施設に情報を提供することで助産師の保健指導能力の改善に繋げる一助とする。

2) 研修会開催

場 所 富山県看護研修センター

(1) CTGの判読と対応研修（基礎編）

日 時 令和4年7月23日（土）9：00～12：00

講 師 厚生連高岡病院 産婦人科医長 津田 竜広 氏

内 容 講義および胎児心拍陣痛図の判読演習

参加者 31名（助産師25名、看護師6名）

(2) 保健師・助産師職能合同研修「母子のために地域包括ケアを学ぶ」（Web研修）

日 時 令和4年7月23日（土）13：00～16：00

講 師 日本看護協会 常任理事 井本 寛子 氏

内 容 母子のための地域包括ケアシステムについて講義、グループ討議・発表

参加者 25名（保健師2名、助産師18名、看護師4名）

(3) 妊娠中の糖代謝異常の基礎知識

日 時 令和4年9月10日（土）9：00～12：00

講 師 厚生連高岡病院 糖尿病・内分泌代謝内科診療部長 島 孝佑 氏

富山赤十字病院 助産師 野村 正子 氏

内 容 糖代謝異常、母性内科の取り組み紹介から長期的な母子の健康を考える

参加者 27名（助産師22名、看護師5名）

(4) 母乳育児支援研修

日 時 令和4年11月5日(土) 9:00～12:00

講 師 黒部市民病院 水島 香苗 氏

内 容 母乳育児支援の基礎について

参加者 17名(助産師14名、看護師3名)

3) 「いのちの教室」実践報告(資料P175参照)

「いのちの教室」は3施設の助産師により10件実施した。その年度によって、依頼のある地区が重なる。今年度は滑川市教育委員会から7校の依頼だった。

4) 医師会の性教育に参加

ここ数年、富山市からのいのちの教室の依頼が少ない。その背景に富山市教育委員会は中学生を対象とした性教育を医師会に依頼していた。医師が実施する性教育に助産師職能委員が同行し見学する。内容は「性について考えよう」をテーマに、思春期のこころとからだ、セクシャルマイノリティ、性のトラブルやその回避など多岐にわたる問題であった。相談窓口を紹介するなど情報提供の大切さを学んだ。助産師のいのちの教室とは話の切り口が異なるが、自分を認め、大事にすることなどは共通していた。

5) 日本看護協会助産師職能委員会活動

(1) 全国助産師職能委員長会 2回(Web開催・ベルサール東京日本橋)

(2) 地区別職能委員長会 1回(ANAクラウンプラザホテル富山)

4 目標達成度

母子のための地域包括ケアとして、分娩施設勤務の助産師の役割や課題を知るために、地域の保健師・助産師の方にアンケート調査を実施した。コロナ禍での支援や保健指導のあり方が明確になった。企画した研修には、保健師・助産師・看護師の参加があり、職能を超えて協働の必要性を実感した。県内の妊産褥婦・子どもを取り巻くコロナ禍の環境を把握し、現状とその取り組みを情報交換でき、委員会活動として有意義であった。目標はほぼ達成とする。

◎看護師職能 I 委員会活動報告

委員長 渋谷 美保子

1 開催回数 11回(研修会4回含まず)

2 活動目標

- 1) 看護師の役割拡大と資質向上に向けての活動
- 2) 地域包括ケアシステムの推進に向けた看看連携の取り組み
- 3) 准看護師の進学支援

3 活動内容

1) 富山県公的病院における外来看護の役割機能に関する実態調査実施
アンケート配布数410 回収数361 回収率88.0%

2) 看護師職能 I 委員会研修会

テーマ 地域包括ケアシステムの推進に向けた看看連携の取り組み

日 時 令和4年12月16日(金) 13:30～16:00

場 所 富山県看護研修センター及び各施設(Web研修)

内 容

(1) 富山県公的病院における外来看護の役割機能に関する実態調査結果報告

(2) 基調講演

「地域包括ケア推進に向けてこれからの外来看護のあり方を考える」

講師 日本看護協会医療政策部 部長 岩澤 由子 氏

(3) グループワーク及び発表

テーマ：「外来看護のあるべき姿から自施設の課題を抽出する」

参加者：管理者またはそれに相当する者44名（18施設1個人）

3) 准看護師ステップアップ研修

テーマ 准看護師の質の向上と進学支援

日 時 令和4年9月3日（土）13：00～16：45

場 所 富山県看護研修センター（ハイブリッド形式）

内 容

(1) 講義「認知症を理解した看護について」

講師 富山城南温泉病院 認知症看護認定看護師 盛田 大樹 氏

(2) 講義「准看護師2年課程通信教育の取組みと支援」

講師 神戸常盤大学短期大学部 看護学科通信制課程
特任教授 高宮 洋子 氏

(3) 放送大学からのお知らせ

放送大学富山学習センター 広報・学生募集担当 永井 衛 氏

(4) 「2年課程通教育卒業生の立場から」

流杉病院 看護師長 大森 みどり 氏

4) 看護職員資質向上実務研修の企画・運営

①肺炎予防について

令和4年6月30日（木）

講師：富山西総合病院 慢性呼吸器疾患看護認定看護師 椎名 菜緒美 氏

高岡市民病院 摂食嚥下障害看護認定看護師 尾崎 佐有里 氏

②感染対策の基本、疾患と感染対策、施設の感染管理体制 令和4年7月7日（木）

講師：富山市立富山市民病院 感染管理認定看護師 安田 恵 氏

③糖尿病患者の生活上の注意点と家族指導 令和4年7月22日（金）

講師：黒部市民病院 糖尿病看護認定看護師 開 弘美 氏

④フィジカルアセスメントの基礎知識 令和4年8月25日（木）

講師：黒部市民病院 集中ケア認定看護師 八倉巻 考司 氏

富山大学附属病院 クリティカルケア認定看護師 宮崎 優 氏

富山県立中央病院 クリティカルケア認定看護師 前坪 瑠美子 氏

富山赤十字病院 クリティカルケア認定看護師 浅生 かおり 氏

5) 日本看護協会看護師職能委員会活動

(1) 全国職能委員長会 2回（Web開催・ベルサール東京日本橋）

(2) 地区別看護師職能委員会 1回（ANAクラウンプラザホテル富山）

4 目標の達成度

目標：看護師の役割拡大と資質向上を図る一環として、県内の外来看護の実態を把握したうえで、地域における看看連携を実現するための外来看護のあり方を検討する。

達成度：県内公的病院24施設の外来看護実態調査を行い、結果を公表した。看護師職能Ⅰ研修に参加した20施設は、外来看護のあるべき姿と自施設の実態から取り組むべき課題を見出すことが出来た。地域との看看連携までにつなげることはできなかった。よって達成度は80%とする。

◎看護師職能Ⅱ委員会活動

委員長 原田 洋美

1 開催回数 8回（合同委員会含む）

2 活動目標

- 1) 訪問看護・介護領域における資質向上とマネジメントスキル強化を図る
- 2) 訪問看護支援強化事業の支援活動
- 3) 病院・施設・在宅における看護職の連携強化
- 4) 地域包括ケアシステムの実現に職能Ⅱ領域の看護管理者の役割の理解

3 活動内容

1) 各職種の情報連携強化のための共通患者情報用紙試案の作成
慢性期・施設・在宅 3パターン検討

2) 看護師職能Ⅱ（介護・福祉・在宅領域）の管理者研修

テーマ 看護管理者の役割と管理・運営・人材育成について

日時 令和5年1月26日（木）13:00～16:00（オンライン開催）

場所 富山県看護研修センター

内容

(1) 講義

講師 医療法人協和会 法人本部 理事長補佐 青木 菜穂子氏

①介護・福祉・在宅領域の施設などの看護管理者の役割

②介護・福祉・在宅領域の施設などの管理・運営上の問題への取り組みと人材育成
参加者34名（看護師32名 助産師1名 保健師1名）

3) 研修会・交流会開催

看護職員資質向上実務研修の企画・運営

ロコモティブシンドロームの概念および現状・演習、転倒予防のリハビリテーション

日時 令和4年7月13日（木）13:30～16:30

場所 富山県看護研修センター

講師 市立砺波総合病院

脳卒中リハビリテーション認定看護師 池守 実智代 氏

4) 在宅ケア事例検討会

4地区8ヶ所で開催、県内の訪問看護ステーションから事例提供し、医師・認定看護師・専門看護師がアドバイザーとして、的確な助言のもと、在宅医療を支える上で必要な知識・情報を交換し、多職種連携強化に繋げた。

5) 日本看護協会看護師職能委員会活動

(1) 全国職能委員長会 2回（Web開催・ベルサール東京日本橋）

(2) 地区別看護師職能委員会 1回（ANAクラウンプラザホテル富山）

4 目標の達成度

地域包括ケアシステムの実現に職能Ⅱ領域の看護管理者の役割を理解することを目標とし、介護・福祉・在宅・領域の施設などの看護管理者を対象に研修を開催した。アンケートの結果、訪問看護を行う上で、看護学・介護学・経済学・モチベーション理論、組織論など多岐にわたる知識が必要と、それぞれの立場から改めての課題が発見されたので達成度80%とする。

令和4年度 委員会報告

◎総務委員会

委員長 藤林 陽子

1 活動目標

- 1) 看護協会の組織強化及びネットワークの推進を図る。
- 2) 新人会員の加入の増加に向けた活動を行う。
- 3) 看護の啓発普及（看護の日新聞掲載記事）を促進する。

2 活動内容 開催回数 8回

1) 看護協会の組織強化及びネットワークの推進

(1) 施設訪問

未加入施設を中心に選出した。看護協会事務職員と協働し、療養型病院、中小病院の計11施設（うちWEB訪問1件）を訪問した。

研修の要望や協会への意見などを収集し、看護協会事業についての理解と促進を図るとともに意見交換を行った。

(2) 出前講座

昨年度に引き続き、組織強化に向けて実施した。今年度はコロナ禍であり出向けなかったため、WEB出前講座（1件）を行った。講義内容は施設より要望のあった摂食・嚥下障害看護認定看護師による講座であった。また、皮膚・排泄ケア認定看護師による出前講座1件は調整中である。

2) 新規会員の加入促進

出前講座開始前に看護協会の組織や活動内容のパワーポイントを流し、未加入者への入会促進を実施した。講座終了後のアンケートによると、講義内容、時間など好評であり、看護協会を身近に感じていただく機会となった。

3) 「看護の日」新聞企画についての検討と取り組み

「看護の日」の新聞掲載テーマと内容、掲載写真について検討し、選定理由や事例とともに提案した。

3 目標の達成度、次年度に向けての課題

看護協会の組織強化やネットワークの推進に向けて施設訪問や出前講座を行う事で協会への要望を把握するとともに、協会事業への理解を促すことができた。

次年度も、施設訪問や出前講座の活動等を通して、看護協会の組織強化やネットワークの推進に向けて積極的に活動していきたい。

◎教育委員会

委員長 清水 好志美

1 活動目標

年間教育活動計画・実施・評価に関する審議・検討を行い、会員の資質の向上をめざす。

2 活動内容 開催回数 6回（次年度教育計画企画委員会1回を含む）

1) 令和4年度研修会実施 41回50日間

- (1) 「生活」と保健・医療・福祉をつなぐ質の高い看護の普及に向けた継続教育
子どもの虐待とネグレクトを予防する

(2) ラダーと連動した継続教育

- ①ニーズをとらえる力 心と命を守るゲートキーパー
- ②ケアする力 感染対策Ⅰ基礎編A・B、感染対策Ⅱ実践編、がん看護（基礎編）、AYA世代特有の苦悩の理解、糖尿病看護、褥瘡ケアA・B、摂食嚥下障害の理解とケア、高齢者に多い疾患のケアA・B、脳卒中看護、認知症ケア、せん妄の理解とケア、精神科訪問看護師育成研修
- ③協働する力 新人看護職員研修Ⅰ・Ⅱ、コミュニケーション、多職種連携
- ④意思決定を支える力 がん看護（応用編）、がんと共に働き生きる、入院前入退院支援

(3) 看護管理者が地域包括ケアシステムを推進するための力量形成に向けた継続教育

リーダーシップ、コーチング、看護補助者の活用推進のための看護管理者研修

(4) 専門能力開発を支援する教育体制の充実に向けた継続教育

新人看護職員研修責任者・教育担当研修、新人看護職員実地指導者研修

(5) 資格認定教育

小児在宅移行支援指導者育成研修

(6) 日本看護協会主催研修

認知症高齢者の看護実践に必要な知識

(7) その他

糖尿病重症化予防（フットケア）研修

看護職員認知症対応力向上研修会

2) 次年度教育計画の企画

- (1) アンケート結果から受講者の要望を取り入れ、「今、なにが求められているのか」にこだわった情報収集。zoom開催、ハイブリッド開催に移行が可能な研修の選定やアンケートをGoogleフォームで回答する形式への検討。
- (2) 参加対象に合わせた研修テーマ、内容、時間割、定員・回数の検討。
- (3) 教育委員会マニュアルの見直し。

3 目標の達成度、次年度に向けての課題

●目標の達成度

- ・統合した研修が2研修、新規研修が2研修。
- ・アンケートはGoogleフォームを使用。
- ・zoom開催、ハイブリッド開催が1件ずつあり。

●次年度に向けての課題

- ・zoom開催、ハイブリッド開催の評価。
- ・Googleフォームでのアンケート集計方法の評価。
- ・委員会時タイムリーに次年度の企画の検討を実施、修正。
- ・看護研究学会を学会委員と連携しサポートする。

1 活動目標

富山県看護協会の使命を受け、県民及び会員の皆様、看護をめざす皆様に、看護協会の活動等看護に関する情報を提供する。

2 活動内容 開催回数 12回

1) 行事の取材（定時総会、看護研究学会等）

2) 富山県看護協会機関誌「看護とやま」の発行、ホームページの更新

(1) 「看護とやま」掲載記事の編集を行い4回発行

No.143（4月号）、No.144（7月号）、No.145（10月号）、No.146（1月号）

(2) テーマ「つなぐ」

コロナ禍で、様々なつながりを必要としたり、実感した場面も多く、未来へつなぐ看護、人と人をつなぐ看護など、色々な意味を含めて「つなぐ」をテーマとした。

(3) 表紙「季節の花」

会員から写真を募集。季節の移り変わりを感じ、県内の花スポットの紹介にもつながった。

(4) 主な掲載内容

No.143・令和4年度富山県看護協会定時総会プログラム、議案等

- ・新型コロナ最前線 沖縄県宿泊療養施設派遣事業
- ・元気で活躍するプラチナナースを紹介

No.144・令和4年度富山県看護協会定時総会の報告、新役員紹介

- ・「富山県訪問看護総合支援センター開設～看護to看護deつながろう～」としてセンターの内容および県内の訪問看護の状況について掲載

No.145・支部紹介をリレー形式でつなぐ企画を開始。第1回は「富山東・北支部」と「砺波・小矢部支部」

- ・特集「コロナ禍で入職した新人看護職の声を紹介」として、新人の声および先輩ナースからのエールを掲載

No.146・「2023年新たな年を迎えて」として稲村会長の言葉を掲載

- ・支部紹介リレー第2回「高岡・射水・氷見支部」と「黒部・魚津支部」
- ・「看護研究学会報告」として、完全オンデマンド開催の様子を掲載
- ・感染管理認定看護師派遣活動について、派遣システムや活動内容を掲載

3 目標の達成度、次年度に向けての課題

「看護とやま」の年間の4号については、担当理事・委員会メンバー・事務局だけでなく、他の委員会や支部の皆さんからも原稿協力を得て、無事発刊することができた。次年度も引き続き、多くの方に看護協会の活動や看護の情報が伝わる紙面づくりに努めたい。

ホームページに関しては課題が残っており、分かりやすくインパクトのあるホームページを目指して協議し、適宜情報を更新していきたい。

1 活動目標

- 1) ベテランナースがキャリアを活かして働き続ける職場環境を考えることができる。
- 2) 定年延長を見据えて介護をしながら安心して働き続けられる制度を学び活用方法を考えることができる。

2 活動内容 開催回数 11回

看護職が働き続けられる職場づくりの推進及び看護師等の就業と定着、ワーク・ライフ・バランス（以下WLB）推進を目的に研修会を企画した。

1) 看護職員定着支援事業シンポジウム（zoom講演）

講演 ベテランナースがキャリアを活かして働き続けるために

講師 NPO法人看護職キャリアサポート 代表 濱田 安岐子 氏

【シンポジウム】「ベテランナースが働き続けられる職場環境とは」
シンポジスト

国立病院機構北陸病院 看護師 堂前 比二美 氏

富山県済生会高岡病院 助産師 村本 康子 氏

かみいち総合病院 看護部長 川岸 孝美 氏

助言者

NPO法人看護職キャリアサポート 代表 濱田 安岐子 氏

コーディネーター

富山県看護協会 理事 佐伯 久恵 氏

日時 令和4年8月9日（火）13：30～16：00 参加者31名

場所 富山県看護研修センター

2) 看護職のWLB推進事業報告会（zoom講演）

講演 介護をしながら働き続けるために知っておきたい両立のポイント

講師 岡本なおみ社会保険労務士オフィス 社会保険労務士 岡本 尚美 氏

日時 令和4年12月14日（水）13：00～16：00 参加者27名

場所 富山県看護研修センター

3) 広報誌「看護とやま」への掲載

看護職員定着支援事業シンポジウム及び看護職のWLB推進事業報告会の活動内容を広報誌「看護とやま」（No.145、No.146）に掲載し、働き続けられる職場づくりを推進するために広報活動した。

3 目標の達成度、次年度に向けての課題

アンケート結果では、研修参加者の大半が『研修目的が達成できた』・『よかった』と答えており、働き続ける職場環境や支援については、講義やシンポジウムを通して、実際に学ぶことができた。また、介護休暇・休業については、仕事と介護の両立を実践する方法などの知識が得られる機会となり、制度の活用方法を提供できたと考えられる。

今年度は2施設のプラチナナースの意見を聞くことができたが、県内各施設のプラチナナースの活用状況については把握できていない。次年度は、現状を把握するために実態調査を行い、プラチナナースが働きやすい職場環境を整える必要性を発信する。

◎看護倫理委員会

委員長 安栄 千鶴子

1 活動目標

看護職の倫理的感性を高めることができるよう支援を行う。

2 活動内容 開催回数 8回

1) 看護倫理Ⅰ・Ⅱ研修、看護管理者看護倫理交流会の企画・運営・支援

(1) 看護倫理Ⅰ 令和4年9月9日(金) 参加者54名

ねらい：看護実践の場において、患者の人権や倫理的問題に関心を持つことができる。

日常の看護実践で遭遇する倫理的問題に気づき、その問題を顕在化できる。

倫理は「善いこと」を判断するための道しるべである。倫理的問題が立ちほだかった時には「倫理原則」で検討すること、倫理的問題を考えるとときは常に患者が中心であることを再確認することができた。

(2) 看護倫理Ⅱ 令和4年10月21日(金) 参加者36名

ねらい：看護職が専門職として身につけるべき倫理の基礎知識を基に、ケアの受け手や周囲の人々の意思決定を支えるプロセスを学び自施設の活動に活かす。

臨床倫理4分割シートで分析することでより問題が浮き彫りになり、ケアの方向性を検討しやすくなることを学んだ。倫理カンファレンスを効果的にすすめるための工夫やファシリテーションの方法を、事例を通して知ることができた。

(3) 看護管理者看護倫理交流会 令和4年11月25日(金) 参加者25名

ねらい：各施設の活動報告をもとに、看護管理者、看護倫理委員会等で活動する者が倫理的問題解決のために倫理的行動力を高めることを目指す。

2施設からACPに関する活動報告をうけ、患者・家族の意思を尊重したACP支援を組織的に行うための具体的方法について考えることができた。

2) 令和5年度看護倫理研修会の企画(看護倫理Ⅰ、看護倫理Ⅱ、看護倫理Ⅲ)

3) 「看護倫理委員会の活動と研修に関する実態調査」のためのアンケート作成

3 目標の達成度、次年度に向けての課題

全ての研修において、受講生の97～100%が「達成できた、一部達成できた」と返答しており、研修が倫理的感性を高めることにつながっていると考える。

看護管理者看護倫理交流会から看護倫理Ⅲ研修に変更し、倫理問題に対してリーダーシップをとり、実践モデルとして行動できる人材の育成をねらいに研修企画を行う。

◎医療安全委員会

委員長 和田 薫

1 活動目標

1) 医療安全対策に関する専門能力の育成及び支援を行う。

2) 医療安全管理者の養成及び施設内の医療安全体制を整備・構築するための情報交換や資質向上を図る。

3) 医療事故調査制度について学び組織で取り組む医療安全事故再発防止の支援に活かす。

2 活動内容 開催回数 6回

1) 医療安全研修会の企画及び運営 6回10日間

(1) 医療安全対策Ⅰ 基本的安全対策

令和4年7月8日(金) 参加者53名、令和4年8月12日(金) 参加者33名

(2) 医療安全対策Ⅱ コミュニケーション技法

令和4年9月14日(水) 参加者29名、令和4年10月12日(水) 参加者32名

(3) 医療安全対策Ⅲ 医療安全管理者に求められる役割と活動

～医療安全のための情報収集・対策立案・実践・評価まで～

令和4年11月5日(土) 参加者41名

(4) 医療安全の観点からのリスクマネジメント

令和4年6月16日(木) 参加者46名、令和4年7月21日(木) 参加者45名、

令和4年8月29日(月) 参加者36名

(5) 医療安全管理者のためのセーフティマネジメント交流会

令和4年8月29日(月) 参加者18名

(6) 医療安全管理者養成研修(集合研修)

令和4年10月27日(木) 参加者28名

3 目標の達成度、次年度に向けての課題

1) 専門能力の育成及び支援について

各対象(ラダー)に応じた研修を実施した。受講者の96%がほぼ研修目的を達成できたとの評価を得ており、効果的な支援ができた。また、医療安全対策Ⅲの分析手法POAMをもっと学びたいという希望が多かったため、次年度は半日から1日の研修に時間変更を行うなど評価を踏まえた研修内容を見直した。

2) 医療安全管理者の養成及び資質向上について

新たに医療安全管理者養成研修を実施し28名の管理者を養成した。次年度の事例検討内容は、システム思考に繋がる効果的な検討が出来るよう事前課題を見直した。交流会では患者確認方法について意見交換した。今後、県内施設の標準化に向けたテーマを検討する。

3) 医療安全事故再発防止の支援について

医療事故調査制度や分析手法を学び、再発防止対策を検討できる研修を実施した。次年度も、医療安全文化の醸成に必要と思われる内容や医療安全管理者や推進者の資質向上に繋がる研修を委員で協議し、講師の選定、研修を企画運営していく。

◎災害看護委員会

委員長 鈴木 浩美

1 活動目標

- 1) 災害看護研修を通し災害支援ナースの質向上を図る。
- 2) 災害看護ネットワークの見直しを行い、連携強化を図る。
- 3) 災害支援ナースの登録・管理方法の見直し。
- 4) 災害支援ナースの派遣調整を行うための手順書作成。

2 活動内容 開催回数 7回

1) 災害訓練参加

- (1) 富山県総合防災訓練

令和4年10月16日（日） クロスランドおやべ 参加者2名
地震や集中豪雨も踏まえ災害応急対策などについて実践的かつ実効性のある総合的な防災訓練のなかで、多職種と連携し救護所運営を行った。トリアージを円滑に行うための被災者の状態を把握し、速やかに適切な医療が提供できるよう対応していくことが大切であると改めて学んだ。

(2) 原子力防災訓練

令和4年11月23日（水・祝） 氷見運動公園 参加者2名
「地震発生にて志賀原子力発電所2号機において原子炉が自動停止し放射線物質が放出され、その影響が周辺地域に及んだ」という想定で実施された。救護所にて避難退域時検査に訪れた体調不良者の対応を行った。改めて多様な災害に対し迅速に対応ができるよう体制を整えておく必要を実感した。

2) 災害看護研修会の運営

(1) 災害支援ナースの第一歩～災害看護の基本的知識～

令和4年8月4日（木）、5日（金） 参加者58名

(2) 災害看護（フォローアップ編）

国際医療福祉大学大学院 災害医療分野 講師 内海 清乃 氏

令和4年10月3日（月） 参加者49名

(3) 災害支援ナースの登録・管理方法の見直し

災害支援ナース登録状況や研修参加状況把握を目的に調査を実施し、データ整理を行った。登録ナースの災害看護に対する経験等把握できるようになった。

3 目標の達成度、次年度に向けての課題

DVD研修、フォローアップ研修を通して災害支援ナースの質の向上に努めた。研修の中で地域別グループを意図的に作りワークを実施し、他施設との意見交換を図ることができた。次年度はフォローアップ研修を2回開催し、参加定員を増やすことでより多くの希望者が災害看護に関する情報や知識をブラッシュアップすることができるように活動する。

災害支援ナース登録調査の実施にて災害支援ナースの現状や傾向を把握することができた。今後も登録者管理を継続し災害支援ナースの継続教育に努める。

今年度、従来行われていた災害支援ナース派遣調整訓練は実施されなかった。今後の派遣調整に関しては「新興感染症」を含めての対応が求められている。新たに出される日本看護協会の方針を確認し、求められる災害支援ナースの育成を図ることができるよう臨機応変に対応していく。

◎学会委員会

委員長 長瀬 佐知子

1 活動目標

- 1) 富山県看護研究学会の企画・運営ができる。
- 2) 看護研究研修の企画・運営ができる。

2 活動内容 開催回数 11回

1) 第32回富山県看護研究学会の企画・運営について

演題登録数は27題あり、全演題を採択した。開催方式を完全オンデマンド学会と

し、事前収録を行った。配信期間を2週間と設定し、群ごとに視聴できるようにした。特別講演は富山大学の八塚美樹教授に依頼した。

2) 看護研究研修の企画・運営について

レベル別にⅠ～Ⅳを企画し、受講者のニーズに応えられるよう開催時期・回数・研修内容・参加者数を検討した。Ⅰは1日コースを3回、Ⅱは2日間コースを3回、Ⅲ・Ⅳは1日コースを1回ずつ開催し、研修後に受講生のアンケートに基づき評価を行った。

3 目標の達成度、次年度に向けての課題

1) 富山県看護研究学会は、感染状況を鑑み完全オンデマンド学会とした。準備においては査読・集録の作成ともに予定通りに進めることができた。事前収録は発表者とともに専門業者の立ち合いの下で滞りなく行われた。参加申込者は計624名あり、視聴回数は群ごとにそれぞれ200～300回の視聴があった。アンケート結果によると、自由な時間を利用し、選択しながら繰り返し視聴できる点が高く評価されていた。次年度に向け、配信期間の延長・アンケート回答方法の検討・発表者への支援方法などさらなる検討が必要である。

2) 看護研究研修については、感染対策を講じながら全8回とも対面で開催した。看護研究Ⅲは前年度の要望より量的研究にテーマを絞った研修会を企画した。アンケートでは参加者の満足度は90%近く得ていた。次年度も引き続き、受講者のニーズを把握しながら委員が講師と受講者の橋渡し役となることが求められる。

◎選挙管理委員会

委員長 石黒 幸子

1 活動目標

公益社団法人富山県看護協会の役員及び日本看護協会代議員・予備代議員の選挙を公正に行う。

2 活動内容 開催回数 5回

1) 当選者の公表

選挙結果について「看護とやま」7月15日号に掲載した。

2) 選挙公示

公募について、令和5年度公益社団法人富山県看護協会役員と令和6年度日本看護協会代議員・予備代議員を「看護とやま」1月15日号に掲載した。

3) 立候補者及び推薦候補者公示「看護とやま」4月30日号に掲載した。

4) 選挙手順の確認

・選挙時、看護協会総会での選挙管理委員会の役割を確認。

(準備から選挙当日までの行程を確認)

・総会参加者による投票を支障なく実施するため、選挙当日の手順書内容を確認した。

5) 選挙録の作成

選挙の経過を記録した選挙録を作成、委員長の署名捺印。

6月22日(水) 年間活動計画を作成

9月9日(金) 総会予定日、選挙手順の確認

11月11日(金) 選挙公示に向けて準備

2月17日（金） 「看護とやま」4月号掲載内容の検討
選挙行程の見直し、一部修正

4月7日（金） 候補者の最終確認

3 目標の達成度、次年度に向けての課題

目標は、当初の計画通り達成した。

次年度に向けた課題は、選挙が行われた際には、滞りなく選挙が実施できるように準備する。

◎推薦委員会

委員長 丹羽 麻衣子

1 活動目標

- 1) 改選役員、職能委員、推薦委員候補者を推薦する。
- 2) 代議員及び予備代議員を推薦する。

2 活動内容 開催回数 6回

- 1) 公益社団法人日本看護協会定款および定款細則について読み合わせ
(定款第1章から附則まで)
- 2) 公益社団法人富山県看護協会役員等の推薦及び推薦委員会に関する規程について読み合わせ(目的から附則まで)
- 3) 公益社団法人富山県看護協会職能委員会規程の読み合わせ(目的から附則まで)
- 4) 公益社団法人富山県看護協会選挙および選挙管理委員会に関する規程について読み合わせ(目的から附則まで)
- 5) 公益社団法人富山県看護協会役員等について
令和5年度役員の推薦候補者を選出し、規程に基づいて選挙管理委員会に選挙推薦候補者名簿届出書を提出
- 6) 日本看護協会通常総会代議員・予備代議員について
令和6年度代議員・予備代議員を選出し、規程に基づいて選挙管理委員会に選挙推薦候補者名簿届出書を提出
- 7) 令和5年度推薦委員及び職能委員の選出施設の検討
- 8) 令和5年度推薦委員及び職能委員の候補者を選出
- 9) 推薦委員会運営マニュアルの作成

3 目標の達成度、次年度に向けての課題

適正な会員を推薦することができた。

今年度改訂した委員会運営マニュアルを活用し、今後も適正な役員・委員の選出を行うこと。

令和4年度 支部活動報告

◎黒部・魚津支部

支部長 本多 康子

1 活動目標

新型コロナウイルス感染症予防に努めながら、地域のニーズに対応した看護活動を展開する。

2 活動内容

1) 地域のニーズに応じた看護活動

新川地域では医療・介護の関係機関が連携し、切れ目のない提供体制の構築を目指しており、当支部は「がん患者の在宅療養支援事例検討会」及び「市民公開講座」に共催し、その活動の一翼を担った。

2) 支部研修会

地域包括ケアシステムの推進を担う看護活動を学ぶための研修会を開催した。

(1) 2040年に向けて、看護職が目指していく役割等について知見を得る。

講演「最近の看護の動向」 講師 富山県看護協会 会長 稲村 睦子 氏

(2) 高齢者の悩みである便秘をテーマにPOOマスターの取得看護師から排泄ケアについて学ぶ。

講演「うんちのスペシャリストから学ぼう！」

講師 あさひ総合病院 POOマスター 清水 香 氏

3) 「まちの保健室」事業

支部研修会の学びを活かすために排便コントロールに関するリーフレットを作成し、各施設や地域住民に、また「フレイル予防啓発マスク」を作成し、通いの場やサロン等で配布した。

4) 「看護の日」及び看護週間における事業

新川地域では、1病床あたりの看護師数が0.83名^{※1}と他の3医療圏と比較して少ないことや在宅医療を担う看護師の不足等から、従事者の確保は大きな課題となっている。地域で必要な人材確保のため、管内高校に看護職の魅力伝えるポスターの掲示や中学1年生を対象に看護の出前講座を実施した。 ※1 2018年富山県医療計画

3 目標の達成度、次年度に向けての課題

関係機関や関係職種とともに地域包括ケアシステムの推進に取り組むことができた。

また、新川地区では、看護職と介護職が不足の状況にあり、切れ目のない在宅医療・介護体制をどのように構築していくかが課題である。今後の活動は、関係機関や多職種と連携しながら事業を実施していく必要がある。

◎富山東支部、富山北支部

支部長 高島 和代

1 活動目標

1) 研修会を通して看護職の質向上と看護職同士のネットワーク強化に努める。

2) 地域住民のニーズに対応した活動を行い、健康の保持増進に努める。

2 活動内容

1) 地域のニーズに応じた看護活動

富山駅前にて新型コロナウイルス、子宮頸がんワクチン等のパンフレットの配布と「高齢者スポーツ大会」での健康チェック、健康相談、感染予防の指導、フレイル予防を計画し、在宅医療体験実習も予定していたが、コロナ禍で中止となり実施できなかった。

2) 支部研修会

ケアプロ株式会社 代表取締役 川添高志氏、くれよん在宅クリニック 院長 桶口史篤氏による「地域包括ケアシステムの現状と今後の展開」で講演会を行った。WEB配信で実施し、63名が参加。WEB配信のため自宅で受けることができ良かったという意見が多かった。

また、講演については、都市部、富山県の在宅医療について理解を深め、具体的に考えることができた。問題の解決につながる場所があった等の感想が多く寄せられた。

3) 「まちの保健室」事業

「世界アルツハイマーデー」を中心に富山市立富山まちなか病院、不二越病院でパンフレットの配布や健康チェック、血圧測定や体組成測定を行い、健康相談、フットケア指導士による足のチェックや相談を開催した。フレイル予防の啓発も行った。

4) 「看護の日」及び看護週間における事業

小中学校を訪問し、看護職の人材確保に向けた啓蒙活動を行った。興味を持って聞いてもらえるように聴診器やパルスオキシメーターの使用とPPEを実演した。看護師や助産師の仕事について理解してもらうことができ、看護を将来の道の選択肢の一つとして考えたいなどの感想をきく事ができた。

3 目標の達成度、次年度に向けての課題

地域のニーズに応じた看護活動が中止となり参加できず、今後の活動に活かせるよう活動の幅を考慮していきたい。また、地域包括ケアシステムを考える上で在宅医療体験実習は貴重な経験となるので来年度は実施したい。研修会に関しては、WEB開催が好評だったので、継続できるよう計画し、最新の情報提供を行い、看護活動や課題を明確にしながら看護の質の向上に努めたい。

◎富山西支部、富山南支部

支部長 永田 智雅

1 活動目標

地域での看護職のネットワーク構築を図るとともに、関係機関と連携し、地域のニーズに対応した看護活動を行う。

2 活動内容

1) 地域のニーズに応じた看護活動

富山駅前でのチラシ配布や、やまだホームケアクリニックでの同行訪問、高齢者スポーツ大会での健康相談を計画していたが、新型コロナウイルス感染状況により中止となった。

2) 支部研修会

富山県内の新型コロナウイルスの感染状況により研修受け入れ人数を制限し、対面開催にて富山4支部合同で実施した。最近の看護の動向と地域包括ケアシステムの現状と課題の理解を目的に開催した。令和4年11月13日(日) 参加人数:32名

- (1) 講演「最近の看護の動向」 講師 富山県看護協会 会長 稲村 睦子 氏
- (2) 講演「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムについて」
講師 谷野呉山病院 理事長 谷野 亮一郎 氏

3) 「まちの保健室」事業

- (1) コロナワクチン接種会場で待ち時間を利用し、フレイル予防やフットケアについてのパンフレットを200名に配布、感染症やワクチン等についても質問や相談に対応した。(国立病院機構富山病院)
- (2) 令和5年2月25日(土)から26日(日)の2日間に渡り、富山市婦中ふれあい館生涯学習フェスティバルが3年ぶりに開催され、富山西保健福祉センターと協働で健康チェック(血圧測定、骨密度測定)や健康相談を実施した。約200名が訪れた。骨密度測定結果を説明する際にフレイル予防について説明し、リーフレットを配布した。また、会場を訪れる小学生や中学生に「看護のシゴト」とパンフレットを配布し仕事内容について説明した。様々な年代の訪問者に対し、個々に応じた説明や関わりが必要であった。女性は骨密度に関心が高く、日頃悩んでいることについての質問が多かった。

4) 「看護の日」及び看護週間における事業

富山市内の小学校を3校訪問した。(富山市立朝日小学校、富山市立浜黒崎小学校及び富山市立北部中学校松風分校、富山市立寒江小学校)小学5~6年生を対象に「看護のシゴト」について説明した。また、「看護職の資格取得までのコース」や看護師を志した動機、やりがい感、苦労話についても説明した。聴診器やSPO2モニターに触れ体験することで、自分の体に興味を持ってもらうことができた。出前講座実施理由の説明が、将来の看護職の人材確保につながると確信することができた。

3 目標の達成度、次年度に向けての課題

研修の中止はあったが、事業の半分を達成することができた。保健師や行政機関と連携を取りながら、事業を実施していくことが必要である。健康に関心を持っている住民が多いので、人が集まる催し物の会場で「まちの保健室」を行い、フレイル予防の啓発活動や健康相談を実施していく。行政機関に問い合わせ、イベント等について確認し具体的な活動を計画する。

◎上市支部

支部長 川岸 孝美

1 活動目標

地域ニーズに応じた看護活動を実施する。

2 活動内容

1) 地域のニーズに応じた看護活動

- (1) 保育園での新型コロナウイルス感染症のクラスターを受けて、令和4年5月

12日（木）、6月15日（水）に滑川市・中新川郡の保育士・看護師等87名を対象に、感染管理認定看護師による研修会を開催した。研修内容については、「大変役に立つ」「役に立つ」の肯定回答率100%であり、感染管理に関する知識を習得し、クラスターを起こさないための具体的な感染対策について検討した。

- (2) 管内の乳がん検診率が50%以下と低いことから、検診受診率向上を目的に、厚生連滑川病院・かみいち総合病院にてピンクリボン活動（乳がんの啓発運動）を10月に実施した。今後、乳がんの検診受診行動につながるように評価指標として検診率を継続的にみていく予定である。また、高齢化率37%にて、管内の病院、福祉課にて認知症に関する情報提供及び認知症患者の作品集の展示を9月に実施した。

2) 支部研修会

令和4年11月13日（日）にかみいち総合病院にて参加者38名を対象に、「地域におけるコロナ禍の看護の価値創造」をテーマにシンポジウムを開催した。厚生連滑川病院から長津 寿恵副看護師長による「地域包括ケア病棟におけるレクリエーションを通じた退院支援の取り組み」、かみいち総合病院から藤井 早苗看護師長による「透析センターにおけるアドバンス・ケア・プランニングの取り組み」、立山町健康福祉課介護予防係から跡治 智子主任による「コロナ禍における通いの場での取り組み」について発表があり、ディスカッションする良い機会となった。

参加者のアンケート結果から、研修内容については「とても良い」「良い」の肯定回答率93.9%であった。また、コロナ禍においても患者さんにとって最善な地域包括ケアシステムに基いたケアが提供されており、参考になったとの意見が聞かれた。

3) 「まちの保健室」事業

厚生連滑川病院・かみいち総合病院ではコロナワクチン接種会場で、立山町では保健センターにてフレイル予防に関する動画を上映した。また、中新川郡の医療従事者（医師・看護師）27名を対象として富山大学附属病院 総合診療科 山城清二名誉教授によるフィジカルアセスメント・フレイル予防の研修会を開催した。研修内容については「とても良い」「良い」の肯定回答率100%であった。

4) 「看護の日」及び看護週間における事業

小学生対象のふれあい看護体験出前講座、中・高校生対象には、保護者参加の看護体験を実施した。看護の仕事について説明し、看護体験（松葉杖・車いす移送・バイタルサイン測定・妊婦体験・AED等）を通して看護の魅力や仕事のやりがいを伝えた。

3 目標の達成度、次年度に向けての課題

新型コロナウイルス感染症の中、地域の問題を、医療・看護・介護・行政と連携を密にし、把握することで、地域ニーズに応じた看護活動を計画通り実施することができた。今後も事業によっては、看護活動の成果を可視化するため評価指標を明確にし、支部活動を実施していく。

◎高岡・射水・氷見支部

支部長 諸江 由紀子

1 活動目標

地域包括ケアを推進するにあたり、地域の看護・介護職（特に小規模、介護・福祉施設）から求められている支援が何かを知り、支部活動を通して連携を深める。

2 活動内容

1) 地域のニーズに応じた看護活動

介護施設・障害者施設の看護・介護者にアンケート調査を行った結果、看護職に望む支援として多かったのは、1. 利用者の病気の管理について、2. 医療処置に関すること、3. 介護方法に関すること、4. 看取りに関することの4点であった。次年度はこれらについて希望される施設へ出張支援を考えている。

2) 支部研修会

東京都立広尾病院減災対策支援センターの中島 康センター長を講師に招き、実践的な減災対策の基本を学び、自施設における災害対策の見直しやBCPの立案に役立つ知識を得た。今回は支部以外も含め92名が参加し、富山県看護研修センターと厚生連高岡病院のサテライト会場との2か所のハイブリッドで同時開催した。

3) 「まちの保健室」事業

「フレイル予防」についてリーフレットの配布や簡易相談を実施。少人数に対しては病院での糖尿病教室・骨粗鬆症教室で、新型コロナ患者数の少ない時期には、健康フェスティバルなどのイベントで計15回、地域住民に働きかけができた。

4) 「看護の日」及び看護週間における事業

令和3年度は新型コロナの流行により、集客型のイベントは企画できなかった。今年度は高校へも働きかけを行い、高岡第一高等学校、高岡向陵高等学校の2校へ計4回出向き、看護職の紹介に加え、高校生から希望のあった救急看護に関する内容など、中学生より具体的な内容を伝え、反応も良かった。

3 目標の達成度、次年度に向けての課題

コロナ禍で活動は大幅に制限されていたが、概ね達成できている。令和5年度は様々な規制が緩和されてくるため、新たな活動のしかたを考えていきたい。

◎砺波・小矢部支部

支部長 谷村 一美

1 活動目標

看護職が砺波医療圏の現状を理解し、地域住民が自ら健康づくりに取り組むことを支援する。

看護のシゴトを中学生に発信する。

2 活動内容

1) 地域のニーズに応じた看護活動

高齢者の多い地域であり、高血圧の方が多いことがわかった。フレイル予防や高血圧、コロナ禍での感染対策について活動をした。砺波市・小矢部市・南砺市の高齢者のサロン等に出向き、4か所で75名の方に実施した。フレイル予防の5つのポイントをパンフレットに沿って説明した。家庭での正しい血圧の測り方、正しい手洗いの方法をグリッターバッグを用いて体験してもらった。参加者からの質

問が多くあり、関心の高さがうかがえた。

2) 支部研修会

(1) 講演「最近の看護の動向」 講師 富山県看護協会 会長 稲村 睦子 氏

(2) 講演「高齢者の保健事業の取り組み - 後期高齢者の実態及び保健事業 -」

講師 富山県後期高齢者医療広域連合事業課

保健事業アドバイザー 石丸 敏子 氏

今後求められる看護職の役割について、予防的視点、地域を支える視点が必要であると学んだ。また、砺波医療圏の高齢者の実態をデータ化により可視化でき、地域でのフレイル予防活動の重要性を学んだ。

3) 「まちの保健室」事業

イオンモールとなみで8月に「熱中症にならないために」10月に「予防で防げる脳卒中」、12月に「年1回がん検診を受けよう」と、3回に渡りポスター掲示や健康相談を実施した。参加者は93名。

4) 「看護の日」及び看護週間における事業

看護の出前講座（砺波市立出町小学校6年生65名、南砺市立福光中学校2年生56名）において、次世代を担う看護師確保のため、看護の魅力を発信した。看護のシゴトについて説明し、看護体験（赤ちゃんを抱っこする、聴診器を使ってみる、酸素飽和度を測る、手術器械を触ってみる、感染対策の防護具をつける）を実施した。

今後の進路を決める参考になったと答えた方が98%おり、「看護のやりがいを知った」「なりたい職業の一つとして考えるきっかけとなった」という意見が多くあった。

3 目標の達成度、次年度に向けての課題

支部活動の計画はすべて実施することができ、目標は達成できた。次年度は、地域住民が自ら健康づくりに取り組み、毎日をいきいきと過ごせるように支援することを目標に、地域のフレイル予防活動として、オーラルフレイルと心不全パンデミックについて活動をしていく。

1 地域のニーズに応じた看護活動

支部	開催日	開催場所	参加者(名)	内 容
黒部・魚津	11/8(火) 19:00~20:30	オンライン開催 (zoom)	82	令和4年度がん患者の在宅療養支援事例検討会 *共催事業 主催：がん診療連携拠点病院（黒部市民病院） 富山県新川厚生センター 内容：「患者・家族の思いを尊重したチームアプローチ ～症状緩和を図った在宅療養支援～」 事例紹介、意見交換等 (評価) がん患者の在宅療養における多様なニーズに対応するため、ケア方法の検討や支援経過の振り返り等を行うことで、関係機関、関係職種 の相互理解を深め、連携のあり方を考える機会とできた。
	収録日 9/10(土) 13:30~16:00 ケーブルテレビ 放送日 みらーれTV 10/28(金)~ 11/3(木・祝) NICE TV 10/30(日)~ 11/5(土)	収録会場 黒部市国際文化センター コラーレ	収録 会場 30 視聴者 数 不明	第11回新川地域在宅医療支援センター市民公開講座 *共催事業 内容：「人生会議」を知ろう！ ～いい人生だったと思えるように～ 講師：長野市 医療法人愛和会愛和病院 副院長 平方 眞 (評価) ケーブルテレビから放送されることにより、たくさんの住民の方が 視聴するので「人生会議」の普及啓発につながったと思われる。
富山東北	*コロナウイルス 感染拡大防止の ため中止	富山市総合体育館	-	「高齢者スポーツ大会」で健康チェックや健康相談、健康に関する啓蒙 活動を実施予定だったが、新型コロナウイルス感染状況からイベント が中止となり参加することができなかった。
富山西南	*コロナウイルス 感染拡大防止の ため中止	やまだホームケアクリニック	-	訪問看護の同行訪問を実施予定だったが、新型コロナウイルス感染状 況により中止となった。
	*コロナウイルス 感染拡大防止の ため中止	富山市総合体育館	-	「高齢者スポーツ大会」で健康チェックや健康相談、健康に関する啓蒙 活動を実施予定だったが、新型コロナウイルス感染状況からイベント が中止となり参加することができなかった。
上 市	6/15(水) 13:30~15:00	つるぎふれあい館	27	令和4年度保育所等感染予防対策研修会 対象：中新川郡内保育所等施設職員（保育士19名、看護師8名） 内容：講義「保育所等施設における感染予防対策」 グループワーク (評価) 研修内容について「大変役に立つ」「まあまあ役に立つ」の肯定回答 率100%であった。
	9/1(木) ~ 9/30(金)	かみいち総合病院 厚生連滑川病院	-	認知症啓蒙活動 目的：地域住民に認知症に関する情報を提供する。 認知症への理解を深め、地域で認知症患者を支援することが できる。 内容：病院の一角にスペースを確保し、ポスターやオレンジライト、 笑顔のスタッフ写真で装飾した。 包括支援センターと協働し、認知症に関するチラシや認知症 患者の作品等をいただき、各病院に設置した。 (評価) 地域住民に対して、認知症に関する情報を提供した。
	10/1(土) ~ 10/31(月)	かみいち総合病院 厚生連滑川病院	-	ピンクリボン運動（乳がん啓発活動）の実施 目的：全ての女性とその家族のために受けよう乳がん検査をスロー ガンに地域における乳がん検診受診率向上を目指す。 内容：病院の一角にスペースを確保しポスターやピンクライトで装 飾した。 上市支部地区の乳がん検診受診率を貼付し、県、市町村及び 富山県中部厚生センター、がん相談支援センターより、がん 及びがん検診に関するチラシをいただき、各病院に設置した。 (評価) 来院される患者・家族及び職員対象に乳がん検診受診率向上に向け た情報を提供した。今後も継続し、受診率の向上を目指していく。(評 価指標：受診率)
	11/1(火) ~ 11/30(水)	かみいち総合病院 厚生連滑川病院	-	糖尿病啓蒙活動 目的：地域住民に糖尿病に関する情報を提供する。 内容：病院の一角にスペースを確保し、ポスターやブルーライトで 装飾した。 糖尿病に関するチラシにて、各病院に設置した。 (評価) 地域住民に対して、糖尿病に関する情報を提供した。

支部	開催日	開催場所	参加者 (名)	内 容
高岡・射水・ 氷見	アンケート 実施期間 R5.1/6(金) ～ R5.1/31(火)	アンケート対象 高岡医療圏内にある グループホーム、サ高住	84施設 送付し 回答 40施設	高岡圏域内にあるグループホーム、サ高住84か所に「看護活動の ニーズ調査」を郵送し、返信をしてもらった。 返信のあった40施設のアンケート結果をまとめた。 (評価) アンケート期間が短期間になったことが反省されるが、「病気の管理 について」「医療処置について」「介護方法について」「ACPについて」 それぞれの具体的なニーズを確認することができた。
砺波・小矢部	11/10(木) 12/8(木) 12/15(木) R5.1/15(日)	小矢部市総合保健福祉 センター 砺波市 西島公民館 南砺市地域包括支援センター 南砺市 近思会館	12 9 30 24	フレイルを予防し、毎日を健やかに過ごす ～家庭血圧の測り方、感染予防～ ・フレイル予防のポイントについてパンフレットを用いて説明 ・正しい手洗い方法について実技指導 ・正しい家庭血圧測定の方法について (評価) 参加者からの質問が多く、楽しい雰囲気で開催でき、関心を持って 実践していただけた。日頃からの健康の自己管理のため、フレイル 予防のために気をつけることや家庭血圧測定の重要性について啓発 することができた。

2 支部研修会

支部	開催日	開催場所	参加者 (名)	内 容
黒部・魚津	11/12(土) 10:00~12:15	新川学びの森天神山 交流館	30	<ul style="list-style-type: none"> ・講義「最近の看護の動向」 講師 富山県看護協会 会長 稲村 睦子 ・講義「うんちのスペシャリストから学ぼう！」 講師 あさひ総合病院 POO マスター 清水 香 (評価) 運営はスムーズにできた。内容も参加者の現場に適した内容で今後の活動に役立つものだった。
富山4支部 合同	11/13(日) 9:30~11:45	富山県看護研修センター	32	担当：富山西支部、富山南支部 <ul style="list-style-type: none"> ・講演「最近の看護の動向」 講師 富山県看護協会 会長 稲村 睦子 ・講演「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムについて」 講師 谷野呉山病院 理事長 谷野 亮一郎 (評価) 昨年と同じテーマで講演を行ったが、事例を通しての講義で精神科疾患について学ぶことができた。アンケートでは「満足」「やや満足がいく」が100%と高かった。地域包括ケアシステムの構築につながる話で良かった。
	12/17(土) 14:00~16:00	オンライン開催 (zoom)	63	担当：富山東支部、富山北支部 <ul style="list-style-type: none"> ・講演「地域包括ケアシステムの現状と今後の展開」 講師 ケアプロ株式会社 代表取締役 川添 高志 講師 くれよん在宅クリニック 院長 桶口 史篤 (評価) 今回はWEB配信で実施。アンケート結果から都市部、富山県の在宅医療について理解を深めることができた。問題解決に繋がったなど多くの意見が寄せられた。また、WEB配信に関しても自宅で受けることができ良かったという意見が多かった。研修自体の満足度は「良かった」が94.6%と高かった。富山県の在宅医療に対する関心度が高く今後の看護活動に活かせる研修会となった。
上 市	11/13(日) 9:30~11:30	かみいち総合病院 (一部オンライン開催)	38	<ul style="list-style-type: none"> ・講演「最近の看護の動向」 講師 富山県看護協会 会長 稲村 睦子 (評価) アンケート結果より研修内容について「とても良い」「良い」の肯定回答率は81.8%であった。 WEB開催であり、スライドが見にくく、音声聞き取りにくかった。事前テストを十分に実施する必要があった。
				<ul style="list-style-type: none"> ・シンポジウム「地域におけるコロナ禍の看護の価値創造」 座長 上市支部 副支部長 中西 早苗 シンポジスト 「地域包括ケア病棟におけるレクリエーションを通じた退院支援の取り組み」 厚生連滑川病院 副看護師長 長津 寿恵 「透析センターにおけるアドバンス・ケア・プランニングの取り組み」 かみいち総合病院 看護師長 藤井 早苗 「コロナ禍における通いの場での取り組み」 立山町健康福祉課介護予防係 主任 跡治 智子 (評価) アンケート結果より研修内容について「とても良い」「良い」の肯定回答率は93.9%であった。 「コロナ禍においても患者さんにとって最善な地域包括ケアシステムに基いたケアが提供されており参考になった」「今後の病院や地域にとって必要な良い発表ばかりでした」の意見が聞かれた。
高岡・射水・ 氷見	10/15(土) 13:30~16:30	富山県看護研修センター サテライト会場 厚生連高岡病院	92	<ul style="list-style-type: none"> ・講演「医療・介護分野での減災への取り組みのコツ」 講師 東京都立広尾病院 減災対策支援センター 部長 中島 康 内容 災害時にも施設の使命である業務を継続するため、日ごろから何をどう準備すればよいか。大規模災害現場での支援を数多く経験した講師から、BCP(事業継続計画)の考え方をより具体的・実践的に学んだ。
				(評価) アンケート回収率89.1% 「満足」～「とても満足」：96% 「明日からの実践に活かせる」～「活かそう」：96% 継続開催の希望多数あり。

支部	開催日	開催場所	参加者 (名)	内 容
砺波・小矢部	9/10(土) 9:00~11:00	市立砺波総合病院	56	<ul style="list-style-type: none"> ・講演「最近の看護の動向」 講師 富山県看護協会 会長 稲村 睦子 ・講演「高齢者の保健事業の取り組み －後期高齢者の実態及び保健事業－」 講師 富山県後期高齢者医療広域連合事業課 保健事業アドバイザー 石丸 敏子 <p>(評価) 2040年を見据え、タスクシフト/シェアの有効性への理解を深めた。 今後求められる看護職の役割について、予防的視点、地域を支える 視点が必要である。砺波医療圏の高齢者の実態が可視化できた。 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業について理解を深め ることができ、今後の地域でのフレイル予防活動に活かすことができ る。</p>

3 「まちの保健室」事業

支部	開催日	開催場所	参加者(名)	内 容
黒部・魚津	11/12(土)以降	支部研修参加者所属機関	500枚	排便コントロールに関するリーフレットを作成し、支部研修会の参加機関を通して、地域住民に配布した。
	8/1(月)～10/31(月)	各自治体や機関の窓口、高齢者サロン、通いの場等	1,000枚	通いの場等でフレイル予防啓発用マスクを配布し、必要に応じて健康相談や健康教育を実施した。
				(評価) 各々の実情に合った方法で啓発や相談体制等がとれるため妥当。
富山東北	9/20(火)	不二越病院	16名	健康チェック、血圧測定、体脂肪測定、体組成測定と健康相談、フットケア指導士による足のチェックや相談会を行った。
	9/22(木)	富山市立富山まちなか病院	17名	また、フレイル予防、新型コロナウイルス等のパンフレットの配布も行った。 (評価) 外来受診時の待ち時間を利用し行った。フットケアや認知症の症状や予防に関する相談があり、健康維持や介護予防に関心が高いと感じた。
富山西南	9/6(火)夕方	富山駅前	-	チラシ配布予定だったが新型コロナウイルスの感染状況により中止。
	不定期	ワクチン接種会場	200	ワクチン接種時の観察時間を利用し、チラシ(コロナウイルス、フレイル、子宮頸がん)を配布した。
	R5.2/25(土) R5.2/26(日)	富山市婦中ふれあい館	200	婦中ふれあい館 生涯学習フェスティバル 富山市西保健福祉センターと協働で実施した。 血圧測定や骨密度測定を実施するとともに、フレイル予防についてリーフレット配布や説明を行った。 骨密度測定に関心が高かった。
				(評価) 地域住民の健康維持や介護予防に関わることができた。
上 市	7月～	厚生連滑川病院、かみいち総合病院の新型コロナワクチン接種会場、立山町保健センター等	—	フレイル予防の動画を上映した。
	10/18(火)	上市町文化研修センター	30	神経難病患者及び家族へ講義及び相談を実施した。
	10/19(水)	立山町	—	「ラジオ体操で明るい健康なまちづくり宣言」でのイベントで健康相談ブースを設けた。
	12/1(木)～12/16(金)	かみいち総合病院 新型コロナワクチン接種会場	100	富山県中部厚生センターと協働監修の「しっかり食べて低栄養・フレイル予防」のリーフレットを配布した。
	12/5(月)～12/16(金)	厚生連滑川病院	—	フレイル予防啓蒙活動として、外来受診患者に対して、待合室にて「フレイルとは、予防について」スライド、パンフレットを配布した。
	12/3(土)	かみいち総合病院	27	フィジカルアセスメント・フレイル予防研修会の実施 対象者：中新川郡医療従事者(医師2名、看護師25名) 講 師：富山大学附属病院 総合診療科 名誉教授 山城 清二 内 容：フィジカルアセスメント・フレイル予防 (講義、実習、テスト等) (評価) アンケート結果より、研修内容について「とても良い」「良い」の肯定回答率は100%であった。
高岡・射水・氷見	9月 10月 11月 11/13(日) 12月 R5.1月 R5.2月 R5.3/11(土)	射水市民病院 高岡市民病院 高岡市民病院 高岡市民病院 高岡市民病院 高岡市民病院 高岡市民病院 射水市民病院	15 3 10 73 8 10 9 20程度	フレイル予防指導を各病院の骨粗鬆症教室、糖尿病教室、健康フェスティバルの機会を利用し、参加者に向けてパンフレットなどを配布して行った。 (評価) イベントの集客を利用して多くの住民への啓発が行えた。

支部	開催日	開催場所	参加者 (名)	内 容
砺波・小矢部	8/13(土)	イオンモールとなみ	30	「熱中症にならないために」 ポスター掲示、パンフレット配布、熱中症予防キャンディの配布、健康相談 (評価) 感染拡大下であったことから、コロナ禍での熱中症予防についてポスターを掲示した。来客者の興味を引き効果的だった。
	10/8(土)	イオンモールとなみ	37	「予防で防げる脳卒中 自分の生活を見直そう」 ポスター掲示、パンフレット配布、健康相談、栄養相談、血圧測定 (評価) 栄養士から具体的なアドバイスを受けた後、減塩調味料を紹介することで実践の意欲につながった。
	12/10(土)	イオンモールとなみ	26 ポケット ティッシュ 配布150	「年1回がん検診を受けましょう」 がん検診受診勧奨ポケットティッシュ配布、乳房自己触診体験、血管動脈硬化度測定、ポスター掲示、パンフレット配布 (評価) 乳房自己触診モデルを用いた体験等を通して、市町村でのがん検診の受診方法について相談されるなど、受診行動につながるきっかけづくりとなった。

4 「看護の日」及び看護週間における事業

支部	開催日	開催場所	参加者 (名)	内 容
黒部・魚津	11月	各学校	3校	看護職の魅力を伝えるポスターの掲示を管内の高等学校に依頼した。 (評価) 学校の反応は良好であった。
	12/19(月) R5.2/28(火)	各学校	2校	看護の出前講座 看護師が中学校に出向き、看護師の仕事の内容の紹介や看護体験を実施した。 (評価) 参加した中学生が熱心に傾聴していたことや講座終了後のアンケートの結果から、看護師の仕事に関心を抱いてもらえたと思われる。
富山東北	11/16(水) 13:30~14:15	富山市立朝日小学校	20	小中学校訪問にて看護職の人材確保に向けた啓蒙活動を行った。看護職に興味を持ってもらえるよう、聴診器やパルスオキシメーターを実際に用いて、友達同士で呼吸音や腸蠕動音を聞いたりしてもらった。また、新型コロナウイルス感染症の看護に使用しているPPEを実施した。 (評価) 聴診器やパルスオキシメーターなどを実際に使用したことで興味をもって聞いてもらうことができ、質問も多くあった。また、アンケート調査では「将来の道の一つとして考えたい」「看護の仕事に就いてみたい」という感想が寄せられ、啓蒙活動に関して良い結果が得られた。
	R5.1/20(金) 10:25~11:10	富山市立浜黒崎小学校及び 富山市立北部中学校松風分校	13	
富山西南	11/16(水) 13:30~14:15	富山市立朝日小学校 (5年、6年)	20	「看護のシゴト」について説明した。 また、「看護職の資格取得までのコース」や看護師を志した動機、やりがい感、苦勞話についても説明した。 (評価) 出前講座実施理由を説明することで、看護職に興味関心を持ってもらうことができた。今後も継続していくことが重要である。
	R5.1/25(水) 10:30~11:15	富山市立寒江小学校 (6年)	13	
上 市	5/23(月)~ 5/27(金)	厚生連滑川病院	—	ふれあい看護体験 対象：当院通院患者及び家族 内容：外来スペースに展示コーナーを設置し、以下を貼付した。 「看護師の仕事24時間」、「新人研修内容」、「チーム医療について」、「進学・進路紹介」
	5/31(火) 9:30~11:45	上市町立南加積小学校	23	出前講座(かみいち総合病院) 対象：小学6年生 内容：講義(看護師、助産師、保健師の仕事) 看護体験(松葉杖、車いす移送、AED、妊婦体験、バイタルサイン測定等)
	6/1(水) 13:20~14:40	富山県立上市高等学校	26	職業を知る会 対象：1~3年生 内容：講義(看護師、助産師、保健師、放射線技師)、進路相談
	7/6(水) 13:30~15:00	かみいち総合病院	13	富山県立上市高等学校「看護」「介護」「リハビリテーション」研修会 対象：富山県立上市高等学校1年生 内容：講義(看護職になるには、看護師・助産師・保健師・介護福祉士・療法士の仕事)、看護・介護・リハビリ体験 *報道関係：北日本新聞、富山新聞、NET3
	10/4(火)~ 10/7(金)	かみいち総合病院	4 + 保護者 3	保護者参加型14歳の挑戦 対象：上市町立上市中学校 内容：講義(看護職になるには、看護師・助産師・保健師・介護福祉士・認定看護師)、看護・介護体験(血圧測定、AED、松葉杖体験、点滴管理見学、新生児体験) (評価) 小学生から中学生、高校生及び保護者を対象に仕事内容を説明し、看護体験を実施することで、看護職の魅力を伝え、職業選択に役立てることができた。

支部	開催日	開催場所	参加者 (名)	内 容
高岡・射水・ 氷見	R5.1/27(金)	高岡第一高等学校	183	<p>高校へ出向き、生徒を対象に看護の職業紹介を行い看護の魅力を伝えた。</p> <p>(評価)</p> <p>中学生、高校生を対象にするときは年間行事が計画される4月当初にアプローチしなければいけない。今年度は、保健体育の一環として実施したが、「看護の魅力」を中心テーマとして行うことができなかった。</p>
	R5.1/30(月)	高岡第一高等学校	8	
	R5.2/6(月)	高岡第一高等学校	9	
	R5.2/8(水)	高岡向陵高等学校	18	
砺波・小矢部	11/11(金) 13:00~14:00	砺波市立出町小学校 6年生	65	<p>看護の出前講座 「看護のシゴトについて」プレゼンテーション (資格の取り方、進路、仕事の内容、魅力、患者とのエピソード)</p> <p>看護体験 赤ちゃんを抱っこする、聴診器・酸素飽和度測定、手術の器械を触ってみる、感染対策防護具をつけてみる</p> <p>(評価)</p> <p>アンケートで「今後の進路を決める参考になった」「看護のやりがいを知った」「なりたい職業の一つとして考えるきっかけとなった」とあり、看護職を身近に感じてもらった。</p>
	12/7(水) 13:30~15:00	南砺市立福光中学校 2年生	56	

令和5年度日本看護協会通常総会代議員報告

国立大学法人富山大学附属病院 大坪 幸代

月 日 令和5年6月7日(水)

場 所 幕張メッセ 幕張イベントホール(千葉県千葉市)

1. 報告事項

- 1) 報告事項1 令和4年度事業報告

- 2) 報告事項2 令和4年度決算報告及び監査報告

- 3) 報告事項3 令和5年度重点政策・重点事業並びに事業計画

- 4) 報告事項4 令和5年度資金収支予算及び収支予算

2. その他

提出議題

第1号議案	令和5年度名誉会員(案)の承認	49
第2号議案	令和4年度事業報告(案)	50
第3号議案	令和4年度収支決算報告(案)及び監査報告	62
第4号議案	令和5年度富山県看護協会役員(案)の選任について	80
第5号議案	令和6年度日本看護協会通常総会代議員等(案)の選出について	81
第6号議案	令和5年度選挙管理委員・推薦委員候補者(案)の承認について	82

令和5年度富山県看護協会名誉会員(案)の承認について

名誉会員候補者

氏名（年齢）	勤務先等
三谷 順子（75歳）	<p>昭和44年から、富山県立中央病院で看護業務に携わり、この間、自治体初のターミナルケア病棟及び総合周産期母子医療センターを担当し、スタッフ育成等の看護体制の整備に尽力した。平成17年からは看護部長に就任し、看護職員の活動支援・育成や他部門との連携を強化した、病院経営や人事管理等に貢献した。</p> <p>中央病院退職後は、富山県立総合衛生学院に勤務し、看護教員・管理者として学生の育成や学校経営に尽力し、養成校の発展に貢献した。</p> <p>富山県看護協会では、会員歴53年間で、推薦委員（1年）、看護師職能委員（2年）、看護制度委員（2年）、出版委員（2年）、理事（2年）を経て、平成21年4月から会長を6年2か月間務めた。会長在任中は、再就業支援研修会の開講や看護職の再就業支援を強化、訪問看護ネットワークセンターの開設と訪問看護の推進、東日本大震災の際には、富山県医師会の医療班チーム（JMAT）へ災害支援ナースの派遣に奔走した。また、平成23年度には、看護協会の30周年記念式典、公益社団法人への移行に尽力された。平成25年には看護研修センター増築等工事を行い、翌年には、認定看護師教育センター緩和ケア認定看護師教育課程を開講した。</p>

令和4年度 事業報告(案)

○令和4年度は、定款第5条に定める6事業を実施した。

- 1 教育等看護の質の向上に関する事業
- 2 学術研究の振興に関する事業
- 3 看護業務の開発、看護制度の改善等に関する事業
- 4 看護職の労働環境等の改善及び福祉の向上に関する事業
- 5 訪問看護の実施等地域の保健医療福祉の向上に関する事業
- 6 その他本会の目的を達成するために必要な事業

1 教育等看護の質の向上に関する事業（公益目的事業）

・下線は新規等事業

項目	実施状況	実績
1-1 継続教育に関する事業		
1 継続教育の企画・実施・評価	1 継続教育の企画・実施・評価 ①令和4年度教育計画に基づいた研修を実施 ・82研修を実施 ・研修実施の評価を研修後アンケートにて実施 ・広報：「研修計画冊子」「看護とやま」「ホームページ」等 ②インターネットオンデマンド・DVD研修	総受講者 3,791人(延 7,928人) 5コース 受講者 246人(延 366人)
2 認定看護管理者の育成	2 認定看護管理者教育課程の実施 ①認定看護管理者教育（ファーストレベル課程） 111時間 ②認定看護管理者教育（セカンドレベル課程） 180時間	受講者 48人 受講者 24人
3 認定看護師養成事業	3 認定看護師教育課程 ①摂食・嚥下障害看護認定看護師教育課程 休講	
4 看護基礎教育4年制への情報収集	4 看護基礎教育連絡協議会への情報収集 ① <u>看護師基礎教育を考える会</u> シンポジウム 令和4年8月6日(土)	参加者 58人
5 新人看護職員研修	5 新人看護職員研修 ①新人看護職員研修責任者・教育担当者研修 4回 ②新人看護職員実地指導者研修 4回 ③新人看護職員研修 7回	受講者 38人(延 161人) 受講者 70人(延 305人) 受講者 472人(延 472人)
6 実習指導者育成	6 実習指導者講習会の実施 ①保健師助産師看護師等実習指導者講習会 180時間 ②保健師助産師看護師等実習指導者講習会(特定分野) 39時間	受講者 42人 受講者 3人
7 認知症研修	7 認知症研修 ①看護職員認知症対応力向上研修会	受講者 39人

項目	実施状況	実績
8 看護職員資質向上実務研修	8 看護職員資質向上実務研修 (小規模施設対象研修) ①看護職員研修 5回 ②看護管理研修 (医療安全) 3回	受講者 35人 (延 80人) 受講者 32人 (延 127人)
9 特定行為研修制度の普及と諸課題対策	9 特定行為研修制度の普及と諸課題対策	
10 委員会等担当研修会等	10 委員会担当研修会等 ①保健指導力アップセミナー 令和4年11月12日(土) ～身体のメカニズムに基づく保健指導の展開方法を学ぶ～ ②保健師・助産師職能委員会合同研修 「母子のための地域包括ケア」を学ぶ 令和4年7月23日(土) ③准看護師ステップアップ研修 令和4年9月3日(土) ④地域包括ケアシステムの推進に向けた看看連携の取り組み 令和4年12月16日(金) ⑤介護・福祉・在宅領域の施設等の管理者研修 ～看護管理者の役割と管理・運営・人材育成について～ 令和5年1月26日(木) ⑥看護管理者看護倫理交流会 ～倫理課題に対応し解決する能力を養う～ 令和4年11月25日(金) ⑦医療安全管理者のためのセーフティマネジメント交流会 令和4年8月29日(月) ⑧認定看護師交流会 令和4年12月10日(土)	保健師職能委員会活動による 参加者 24人 保健師職能委員会助産師職能委員会活動による 参加者 25人 看護師職能委員会Ⅰ活動による 参加者 8人 参加者 45人 看護師職能委員会Ⅱ活動による 参加者 24人 看護倫理委員会活動による 参加者 25人 医療安全委員会活動による 参加者 18人 認定看護師による 参加者 69人

2 学術研究の振興に関する事業 (公益目的事業)

項目	実施状況	実績
2-1 富山県看護研究学会	第32回富山県看護研究学会 (完全オンデマンド) 開催 令和4年12月1日(木)～17日(土) 配信	申込者 624名
2-2 図書室運営に関する事業	1 図書室機能の充実 ①看護専門図書・雑誌・資料等の購入	新刊図書購入、定期購読図書製本 (新刊書籍 62冊、年間購読雑誌 21冊、蔵書数 6,565冊) 利用者数 (延べ) 171人

3 看護業務の開発、看護制度の改善等に関する事業 (公益目的事業)

項目	実施状況	実績
3-1 医療安全に関する事業		
1 医療安全対策研修等	1 医療安全対策研修 5回 令和4年7月8日(金)、8月12日(金)、 9月14日(水)、10月12日(水)、11月5日(土)	医療安全委員会による 受講者 7月8日 53人 8月12日 33人 9月14日 29人 10月12日 32人 11月5日 41人 計188人

項目	実施状況	実績
<p>3-2 准看護師から看護師への支援事業</p>	<p>2 医療事故調査制度に関すること ①医療事故調査制度支援団体の登録及び専門家の推薦 ②県内における専門家の派遣</p> <p>1 准看護師の進学支援 令和4年9月3日(土)</p>	<p>日本看護協会へ推薦 1人 派遣要請なし</p> <p>参加者 8人</p>
<p>3-3 看護業務及び制度に関する政策提言</p> <p>1 看護業務に関する事業 (1) 職能委員会活動</p> <p>①日本看護協会職能委員会との連携</p> <p>②保健師職能委員会活動</p> <p>③助産師職能委員会活動</p>	<p>1 職能理事（職能委員長） ①日本看護協会通常総会職能交流集会：通常総会 令和4年6月8日(水) 千葉県 幕張メッセ 職能交流会 6月9日(木) 千葉県 幕張メッセ ②全国職能委員長会議への出席 令和4年9月8日(木) Web開催 令和5年3月3日(金) ベルサール東京日本橋 ③東海北陸地区職能委員長会議への出席 令和4年10月14日(金) 於：富山県国際会議場</p> <p>2 保健師職能委員会 ①保健指導力アップセミナー 令和4年11月12日(土) ～身体メカニズムに基づく保健指導の展開方法を学ぶ～ ②人材育成研修 令和4年9月24日(土) 「ファシリテーションについて学ぶ」 ～参加したくなる会議のつくり方～ ③保健師・助産師職能委員会合同研修 令和4年7月23日(土) 「母子のための地域包括ケア」を学ぶ ④職能集会開催 ⑤「看護の日」看護フェスティバル運営協力</p> <p>3 助産師職能委員会 ①母子ケアに関する分娩施設と地域間の連携のための現状把握調査 調査：令和4年11月 ②保健師・助産師職能委員会合同研修 「母子のための地域包括ケア」を学ぶ 令和4年7月23日(土) ③CTG判読と対応：基礎編～安全な分娩管理を目指して～ 令和4年7月23日(土) ④妊娠中の糖代謝異常の基礎知識・母性内科の活動について ～長期的な母子の健康維持を目指して～ 令和4年9月10日(土) ⑤母乳育児支援の基礎について学ぼう ～母乳育児に求められるエモーショナルサポート～ 令和4年11月5日(土)</p>	<p>代議員は書面決議</p> <p>出席者 利田智恵(保) 森太貴子(助) 渋谷美保子(看Ⅰ) 原田洋美(看Ⅱ)</p> <p>出席者 利田智恵(保) 森太貴子(助) 渋谷美保子(看Ⅰ) 原田洋美(看Ⅱ)</p> <p>参加者 24人</p> <p>参加者 46人</p> <p>参加者 25人</p> <p>参加者 57人</p> <p>参加者 25人</p> <p>参加者 32人</p> <p>参加者 26人</p> <p>参加者 17人</p>

項目	実施状況	実績
④看護師職能Ⅰ委員会活動	⑥職能集会開催	参加者 33人
	⑦「看護の日」看護フェスティバル運営協力	
	4 看護師職能Ⅰ委員会	
	①富山県における外来看護の実態調査 調査：令和4年10月～11月	
	②地域包括ケアシステムの推進に向けた看看連携の取り組み 令和4年12月16日(金)	参加者 45人
	③看護職員資質向上実務研修（呼吸器・摂食嚥下、感染、糖尿病） 令和4年6月30日(木)、7月7日(木)、7月22日(金)	参加者 41人
	④看護職員資質向上実務研修（フィジカルアセスメント） 令和4年8月25日(木)	参加者 26人
⑤准看護師ステップアップ研修開催 令和4年9月3日(土)	参加者 8人	
⑤看護師職能Ⅱ委員会活動	⑥職能集会開催	参加者 65人
	⑦「看護の日」看護フェスティバル運営協力	
	5 看護師職能Ⅱ委員会	
	①職種間情報連携強化のための情報用紙集作成	
	②介護・福祉・在宅領域の施設等の管理者研修（ZOOM開催） ～看護管理者の役割と管理、運営・人材育成について～ 令和5年1月26日(木)	参加者 24人
	③看護職員資質向上実務研修（ロコモ） 令和4年7月13日(水)	参加者 13人
	④在宅ケア事例検討会の運営協力	開催回数 8回
⑤職能集会開催	参加者 65人	
⑥「看護の日」看護フェスティバル運営協力		
2 看護制度に関する事項		
(1) 准看護師制度について	1 准看護師の進学支援（看護師学校養成所2年課程（通信制）の情報提供） 准看護師交流会 1回	参加者 8人
(2) 特定行為に係る看護師の研修制度について	1 特定行為に係る看護師の研修制度について情報収集・啓発普及	

4 看護職の労働環境等の改善及び福祉の向上に関する事業（公益目的事業）

項目	実施状況	実績
4-1 働きやすい労働環境づくり支援事業	1 ナースセンター事業の今後の課題検討 富山県ナースセンター事業運営委員会	委員15人 令和5年2月7日(火)開催
(1) ナースセンター事業の拡充とハローワークとの連携強化	2 富山労働局との連携強化 ①公共職業安定所との連携 ②ナースセンター・ハローワーク連携事業	連携事業対象求人数 774人(47人) 連携事業対象求職者数 84人(22人) 連携事業就職者数 40人(9人) * () は、ナースセンター実績
	③看護職員就業支援専門員を県内7か所のハローワークに配置（月1回）	就業相談件数 125件

項目	実施状況	実績
(2) 離職者の潜在化の防止と潜在看護職の再就業支援の強化	1 就労促進に関すること	
	①無料職業紹介所業務 ②ナースセンター求人・求職登録事業 ③看護師等免許保持者届出事業 ④看護職員就職アドバイザー事業 ⑤移動就業相談事業 ⑥看護師等就業支援サテライト事業 (新川・射水・砺波) ⑦看護職員再就業支援研修会 定期研修(4日間) 随時研修(病院実習2日間) 随時研修(技術チェック研修) ⑧就職ガイダンス ア 民間病院就職ガイダンス(於:富山県看護協会) 令和4年10月22日(土) 参加者 4人 参加施設 8病院 イ 県内病院就職ガイダンス(於:サンフォルテ) 令和5年3月22日(水) 参加者 36人 参加施設 43病院 ウ 県内病院紹介動画サイト 令和5年3月から1年間 掲載施設 公的病院23病院 民間病院27病院 ⑨ 登録看護職員就業希望調査 令和4年8月22日(月) ⑩ ナースセンターニュースの発行 年4回	求人登録数 7,832人 求職登録数 3,167人 有効求人倍率 2.5倍 就職者数 254人 届出数 350人 ナースセンター登録希望数 107人 ナースセンター登録者数 60人 アドバイザーによる相談 5,187人 5回 相談者 3名 相談件数 12件 受講者 延べ43人 受講者 0人 受講者 18人 参加者 4人 参加施設 8病院 参加者 36人 参加施設 43病院 掲載施設 公的病院23病院 民間病院27病院
(3) 医療勤務環境改善支援センター事業 病院サポート事業 WLB実現に向けた取り組みの推進	1 訪問型中小・民間病院等支援	
	①インデックス調査 令和4年6~8月 実施施設 3施設 ②施設訪問 3施設 ③看護職のワーク・ライフ・バランス推進事業報告会 令和4年12月14日(水) 1施設の取組み報告と講演 ④ワーク・ライフ・バランス推進委員会 ⑤カンゴサウルス賞表彰式 ⑥医療労務管理支援事業打合せ会への出席	あさなぎ病院 令和4年10月20日(木) 富山市立富山まちなか病院 令和4年11月16日(水)、令和5年3月15日(水) 黒部市民病院 令和4年11月29日(火)、令和5年3月2日(木) 参加者 27人 委員 11人 令和4年5月31日(火) 令和5年2月10日(金)(書面開催) 表彰 2施設 藤木病院、介護老人保健施設みどり苑 4回 令和4年5月19日(木)、7月21日(木)、 10月18日(火)、令和5年2月20日(月)

項目	実施状況	実績
(4) 看護職員定着支援	1 看護職員定着支援事業 ①シンポジウム 令和4年8月9日(火) 講演、シンポジウム 基調講演「ベテランナースがキャリアを活かして働き続けるために」 ②看護職員の体験談募集	参加者 31人 社会経済福祉委員会共催 応募数 92編 表彰 6編
4-2 地域に必要な看護職確保推進事業	1 地域に必要な看護職確保推進事業(日本看護協会委託事業) 新川(黒部)地区の看護師確保について取り組んだ ①新川(黒部)地区の看護師確保ワーキング 令和4年10月11日(火)、令和5年1月10日(火) 黒部市民病院や黒部市の取り組みの共有、課題と検討 ②「とやまおしごと図鑑」の作成(県内小学5年生へ配布)	委員 15人 協力病院 富山県済生会富山病院
4-3 新型コロナウイルス感染症対応看護職員等の人材確保事業	1 潜在看護職研修事業(日本看護協会委託事業) 潜在看護職等の新型コロナウイルス感染症に対するスキルアップ研修(6回) 令和4年10月28日(金)、11月30日(水)、12月22日(木) 令和5年1月10日(火)、2月27日(月)、3月24日(金) 2 看護職員離職防止相談事業(日本看護協会委託事業) 設置期間 令和4年4月～令和5年3月	受講者 延べ28人 6回 相談件数 15件

5 訪問看護の実施等地域の保健医療福祉の向上に関する事業(公益目的事業)

項目	実施状況	実績
5-1 富山県訪問看護総合支援センター事業 (1) 訪問看護の支援強化等	1 富山県訪問看護総合支援センターの開設 (令和4年4月1日) 開所式(看板上掲) 令和4年4月11日 2 訪問看護の相談・啓発 ①訪問看護相談窓口(コールセンター) ②訪問看護の普及啓発、出前講座等 3 訪問看護の機能強化 ①訪問看護運営支援アドバイザー派遣事業 令和4年12月13日(オンライン指導)、フォローアップ(3か月後)指導 ②小児医療対応力向上技術研修会(講義・演習・実習 計3日間)(会場:県立中央病院) ③事業報告会 令和5年3月18日(土) ④訪問看護師の講師派遣 ホームヘルパー研修会への派遣 ⑤富山県訪問看護ステーション連絡協議会への支援 ア 新型コロナウイルス感染症に係る医療物資(マスク、消毒薬等)の配布の調整 イ 新型コロナウイルス感染症の訪問に関するアンケート ウ 総会(書面)、研修会、役員会(5回) ⑥訪問看護に係るデータ分析、ホームページの更新等	相談数 延823件 6病院での啓発・相談(10回 54人)、 出前講座、イベントでの啓発等 訪問看護ステーションは一と富岡里江 参加施設 4施設 受講者 1日目 17人 2日目 16人 3日目 8人 参加者 117人 訪問看護ステーションから講師を派遣(5会場) 事務局としての機能(実績報告の照会・集計・分析含む)

項目	実施状況	実績
(2) 訪問看護人材の育成等	<p>1 訪問看護の人材育成</p> <p>①「訪問看護eラーニング」を活用した訪問看護師養成講習会</p> <p>②訪問看護従事者等研修会</p> <p>③訪問看護ステーション管理者育成研修会（3回開催）</p> <p>④訪問看護推進事業</p> <p>ア 医療機関看護師の訪問看護ステーション研修</p> <p>イ 在宅ケア事例検討会（アドバイザー15人）：8回</p> <p>2 訪問看護サポートステーション事業</p> <p>医療圏毎に5ステーションを指定し、研修会や相談等に対応</p> <p>（朝日町在宅介護支援センター、光風会、富山赤十字、南砺市、もみじ）</p> <p>連絡会議（全体会）2回</p> <p>（令和4年6月30日、令和5年3月1日）</p>	<p>受講者 21人</p> <p>受講者 30人</p> <p>受講者 第1回39人 第2回42人 第3回30人</p> <p>4ステーション、参加者 7人 参加者 274人</p> <p>研修会 8回 相談 31件 同行訪問 1件 情報交換会等 14回</p> <p>出席者 24人</p>
(3) 訪問看護人材の確保等	<p>1 訪問看護人材確保事業</p> <p>①訪問看護インターンシップ事業</p> <p>実施期間：令和4年8月22日～9月13日 （受入れステーション：2か所）</p> <p>②訪問看護キャリア支援セミナー</p> <p>実施回数：2回 （令和4年10月15日（土）、令和5年2月25日（土））</p> <p>③新卒看護師育成検討ワーキング</p> <p>実施回数：1回（令和5年2月28日）</p> <p>2 訪問看護職員の確保・定着のための働き方改革推進事業</p> <p>①訪問看護トライアル雇用事業</p> <p>3 訪問看護ステーション業務改善推進事業</p> <p>①タブレット端末等システム導入の助成</p> <p>4 訪問看護・医療機関相互研修事業</p> <p>①病院看護師出向研修事業</p> <p>ア 出向元（厚生連滑川病院） 出向先（訪問看護ステーションひよどり富山） 出向期間（令和4年10月1日～12月9日：2カ月間）</p> <p>②病院看護師の研修受入事業</p> <p>ア 派遣元（高岡市民病院） 研修先（訪問看護ステーションひよどり） 研修期間（令和4年10月3日～11月4日：1カ月間）</p> <p>③訪問看護師スキルアップ研修事業</p> <p>8病院で実施（黒部市民病院、あさひ総合病院、富山大学附属病院、厚生連滑川病院、かみいち総合病院、富山県リハビリテーション病院・こども支援センター、厚生連高岡病院、市立砺波総合病院）</p>	<p>参加者 14人</p> <p>参加者 52人</p> <p>出席者 11人</p> <p>助成 4事業所</p> <p>助成 3事業所</p> <p>1人</p> <p>1人</p> <p>参加者 37人</p>
(4) 訪問看護災害時等支援体制推進事業	<p>1 訪問看護災害時等支援体制推進事業</p> <p>①災害時等の相互支援体制の構築・見直し</p> <p>②BCP策定のための支援</p>	<p>各圏域毎に検討</p>

項目	実施状況	実績
5-2 富山県看護協会訪問看護ステーションの活動の推進	1 訪問看護ステーションひよどりの活動 2 訪問看護ステーションひよどり富山の活動 1) 地域・他機関連携 2) 研修会出席（富山県看護協会主催、富山県訪問看護連絡協議会主催、その他） 3) 訪問看護実習の受け入れ状況	
5-3 地域包括ケアシステムにおける活動の推進	1 ひよどり富山居宅介護支援事業所の活動 ①ケアマネジメント実績 ②認定調査実績 ③総合相談 2 神明・五福地域包括支援センターの活動 ①富山市地域包括支援センター運営事業委託公募への対応 ②コロナウイルス感染防止対策を取りながら事業を実施 集合開催が難しいものは書面開催 ・地域ケア会議、医療介護連携推進会議、閉じこもり予防情報交換会など ・認知症地域説明会（認知症サポーター養成講座含む） ・認知症家族介護教室 ・介護予防地域説明会 ③研修会参加 ④総合相談 ⑤ケアマネジメント	741件/年 28件/年 3,553件/年 R 5～R10業務を富山市から受託した。 9回 7回 2回 27回 4,454件/年 1,287件/年

6 その他本会の目的を達成するために必要な事業（公益目的事業）

項目	実施状況	実績
6-1 新型コロナウイルス関連事業	1 新型コロナウイルス感染症に関する事業 ①新型コロナウイルス感染拡大防止のための感染管理認定看護師派遣事業 ②感染管理認定看護師による出前講座 ③ナースセンターにおいて技術研修 ④訪問看護ステーション同士の災害時の支援体制の検討 2 新型コロナウイルス感染症対応看護職員等広域人材派遣調整事業（日本看護協会委託事業） 3 新型コロナウイルス感染症の軽症者に係る宿泊療養施設における健康管理及び環境整備事業（県委託事業） 4 富山市新型コロナウイルスワクチン接種に係る看護師派遣事業（富山市委託事業） 5 医療物資等の受け入れ、配布	派遣施設 18カ所 認定看護師派遣人数 延べ33名 派遣施設 4カ所 8回 認定看護師派遣人数 8名 スキルアップ研修 8回 医療圏域ごとに作成 令和4年6月30日で委託終了 令和4年7月2日で委託終了
6-2 県民の健康の増進・啓発に関する事業 (1) 看護の心普及啓発事業	1 「看護の日・看護週間」行事の実施 ①看護フェスティバル 令和4年5月8日(日) 於：富山県看護研修センター	参加者 県内小中学生31人 保護者21人

項目	実施状況	実績
	②ふれあい看護体験 令和4年5月～6月に実施 2 高校生の一看護見学 令和4年7月4日(月)～7月15日(金) 延期分：10/27, 11/10, 11/14, 11/15 3 看護普及推進事業 看護体験学習 4 看護師等養成機関共同PR事業 ガイドブック作成 5 看護学生就労啓発事業	施設数 20病院 参加者 約2,000人 施設数 23病院 高校生 516人 実施施設 1校 参加者 43人 発行1,200部 令和4年12月20日(火) 富山県立大学看護学部 120人 令和5年2月22日(水) 富山市医師会看護専門学校 52人 令和5年2月24日(金) 富山市立看護専門学校 40人
(2) 支部活動の推進	1 支部活動(8支部) ①支部における看護職等連携構築の推進 ②地域のニーズに応じた看護活動 ③支部研修会 ④「まちの保健室」事業 ⑤「看護の日」及び看護週間における事業 ⑥フレイル予防活動(富山県後期高齢者医療広域連合委託事業) ⑦支部長会	2回開催
6-3 地域における看護職のネットワーク強化事業	1 看護政策のための組織強化事業(総務委員会) ①施設等への訪問 ②出前講座(感染対策等) 2 専門職における保健指導等支援事業(県委託事業) ①事例検討 ②特定保健指導受診勧奨	施設訪問 11施設 出前講座 2施設 (うちWeb開催1回) 32人 ①魚津市：糖尿病看護認定看護師2名派遣 黒部市：糖尿病看護認定看護師1名派遣 ②高岡市：看護師1名派遣
6-4 災害時の看護支援活動に関する事業		
(1) 災害支援ネットワークづくりの推進	1 災害支援ナースの育成、登録の推進	
(2) 災害支援ナースの育成・登録の推進	(1) 災害医療・看護研修会、フォローアップ研修会の実施 (2) 災害支援ナースの登録	受講者 基礎 58人、 フォローアップ 49人 登録者 221人
(3) 防災訓練等に関する事	1 各防災訓練へ参加 (1) 富山県総合防災訓練 クロスランドおやべ 令和4年10月16日(日) (2) 原子力災害訓練 氷見運動公園 令和4年11月23日(水・祝)	災害看護委員 2名 災害看護委員 2名
6-5 広報活動		
(1) 看護職及び県民等への広報	1 会員及び看護職への情報提供の充実 (1) 機関誌「看護とやま」の発行・配布	37,400部発行/年

項目	実施状況	実績												
<p>6-6 法人管理に関する事業</p> <p>(1) 組織の運営に関する事業</p>	<p>・年4回発行（4月、7月、10月、1月 第143号～146号）</p> <p>(2) ホームページの内容充実、最新情報の掲載</p> <p>(3) 第32回「看護の日」看護フェスティバル 令和4年5月8日(日) 13:00～15:00 場所：富山県看護研修センター</p> <p>(4) 県医師会報、自治体広報等で情報提供</p> <p>(5) マスコミ（新聞広告、テレビ等）を通じた広報活動</p> <p>1 公益社団法人としての円滑な組織運営</p> <p>(1) 定時総会 1回 令和4年6月18日(土) 富山県民共生センターサンフォルテ（新型コロナウイルス対策のため縮小開催）</p> <p>(2) 理事会 9回 4月、5月、6月、8月、9月（臨時）、10月、12月、1月、3月</p> <p>(3) 職能集会 1回 保健師職能集会 助産師職能集会 看護師職能集会</p> <p>(4) 職能委員会：保健師、助産師、看護師Ⅰ、看護師Ⅱ</p> <p>(5) 委員会：総務、教育、広報、社会経済福祉、看護倫理、医療安全、災害看護、学会、選挙管理、推薦</p> <p>・合同委員会 令和4年6月22日(水)</p> <p>(6) 支部役員会 令和4年6月22日(水)</p> <p>(7) 職員の人事管理・労務管理の充実</p> <p>(8) 会員支援の充実</p> <p>①表彰 ②各受賞候補者の推薦</p> <p>③会員への福利厚生</p> <p>④慶弔</p> <p>ア 慶事 イ 各種見舞（災害等）の支給 ウ 弔慰</p> <p>(9) 職員の人事管理・労務管理の充実</p> <p>1 会員登録制度の充実</p> <p>(1) 会員募集及び入会の促進（非会員施設への広報活動等）</p> <p>(2) 会員登録</p> <p>ア 新規・更新会員の受付及び日本看護協会会員管理システム（ナースシップシステム）の運用管理</p> <p>イ 会員証の送付 令和4年度会員数（令和5年3月31日）</p> <table border="1" data-bbox="582 1915 965 2083"> <tr> <td colspan="2">総数</td> <td>8,982人</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">内訳</td> <td>保健師</td> <td>508人</td> </tr> <tr> <td>助産師</td> <td>407人</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>7,975人</td> </tr> <tr> <td>准看護師</td> <td>92人</td> </tr> </table>	総数		8,982人	内訳	保健師	508人	助産師	407人	看護師	7,975人	准看護師	92人	<p>中学生を対象に開催 参加者 県内小中学生31人 保護者 21人</p> <p>総会参加者 125人 委任数 7,286人</p> <p>職能集会参加者 57人 職能集会参加者 33人 職能集会参加者 65人</p> <p>富山県看護協会会長表彰10名 叙勲 富山県部門功労表彰 日本看護協会会長表彰 他</p> <p>叙勲者への祝電（春 2人、秋 1人）</p> <p>物故会員への弔慰 4人</p>
総数		8,982人												
内訳	保健師	508人												
	助産師	407人												
	看護師	7,975人												
	准看護師	92人												
<p>(2) 組織の管理及び強化拡大に向けた活動</p>														

項目	実施状況	実績
	ウ 「会員情報管理体制」の推進 エ キャリナーズの登録・活用の推進	
6-7 渉外活動		
(1) 富山県・その他関係団体、審議会等への委員派遣	1 構成団体の一員としての活動・提言 2 関係機関・団体の会議への参画・情報交換 3 後援・推薦等依頼への協力	
(2) 自治体・関係団体への要望提出	1 富山県行政等への関連事業に関する予算編成等に係る要望提出	令和4年9月1日(木)
(3) 関係団体との連携	1 医師会、歯科医師会、薬剤師会等 2 県訪問看護ステーション協議会、看護師養成機関、大学等 3 コメディカル・介護団体等	
6-8 日本看護協会との連携		
(1) 組織運営への協力	1 日本看護協会理事会・法人会員会 (1) 理事会 年7回(参集+Web会議) (2) 法人会員会 年7回(参集+Web会議)、地区別法人会員会(於:富山県国際会議場) 2 日本看護協会通常総会の代議員 令和4年6月8日(水) 新型コロナウイルス感染拡大防止のため議決権行使 3 日本看護協会代議員の選出と代議員活動の支援 (1) 県協会定時総会での日本看護協会代議員選出 (2) 日本看護協会代議員研修 令和4年5月23日(月) 4 全国職能交流集会 令和4年6月9日(木) 5 日本看護協会全国職能委員長会:2回、地区別職能委員長会1回 6 その他の会議等 (1) 都道府県看護協会看護労働担当国会議 令和4年5月19日(木) Web会議 (2) ナースセンター事業担当国会議 令和4年5月20日(金) Web会議 (3) 認定看護管理者教育機関担当国会議 令和4年5月27日(金) Web会議 (4) 母と子のための地域包括ケアシステム推進会議 令和4年7月27日(水) Web会議	理事会・法人会員会 出席者:稲村睦子(会長) 出席者:稲村睦子(会長) 地区別法人会員会: 令和4年10月13日(木)~14日(金) 出席者:稲村睦子(会長) 向野勝美(専務理事) 千葉県幕張メッセ 全国:令和4年9月8日(木)(Web会議) 令和5年3月3日(金) 地区別:令和4年10月14日(金) 出席者 利田智恵(保) 森太貴子(助) 渋谷美保子(看Ⅰ) 原田洋美(看Ⅱ) 出席者 境 信子 (ナースセンター長) 出席者 境 信子 (ナースセンター長) 出席者 田村雅子(常任理事) 満間信江、家城美和子 塚田博美(職員) 出席者 森太貴子(理事) 利田智恵(理事) 向野勝美(専務理事)

項目	実施状況	実績
	(5) 都道府県看護協会会員情報管理情報交換会 令和4年8月24日(水) Web会議 (6) 都道府県看護協会政策責任者会議 令和4年9月29日(木) (於：浜松町コンベンションホール) (7) 公益法人に関する勉強会 令和4年11月9日(水) Web会議 (8) 都道府県看護協会広報担当役員会議 令和4年11月10日(木) Web会議 (9) 訪問看護サミット 令和4年11月12日(土) Web会議 (10) 都道府県看護協会都道府県訪問看護連絡協議会合同会議 令和4年11月18日(金) Web会議	出席者 村井一仁(職員) 田村慎哉(職員) 出席者 稲村睦子(会長) 向野勝美(専務理事) 出席者 大川昌宏(事務局長) 小杉理恵(職員) 出席者 向野勝美(専務理事) 出席者 吉田智子(HTC長) 清水阿佐美(職員) 森陽子(ひよどり) 他 出席者 稲村睦子(会長) 向野勝美(専務理事) 吉田智子(HTC長) 清水阿佐美(職員) 他
6-9 看護研修センターの運営	1 看護研修センターの建物設備の管理・運営 (1) 建物設備・駐車場管理、警備、清掃、防災 新規駐車場運用開始(令和3年5月から) (2) 保守修繕 (3) 地域活動(町内会等への協力、連携) ・子ども110番の家等	

令和4年度 収支決算報告(案)

貸借対照表

令和5年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現 金 預 金	54,427,823	74,140,533	△ 19,712,710
未 収 金	54,379,597	57,285,514	△ 2,905,917
前 払 金	159,360	0	159,360
仮 払 金	0	45,658	△ 45,658
流動資産合計	108,966,780	131,471,705	△ 22,504,925
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
役 員 退 職 慰 労 引 当 資 産	1,470,000	2,790,000	△ 1,320,000
退 職 給 付 引 当 資 産	32,417,526	32,125,944	291,582
減 価 償 却 引 当 資 産	180,209,836	181,886,461	△ 1,676,625
会 館 建 設 引 当 資 産	322,826,050	313,506,050	9,320,000
建 構 物	323,746,824	334,425,852	△ 10,679,028
構 築 物 品	6,960,218	8,222,950	△ 1,262,732
什 器 備 品	1	1	0
土 地	74,574,139	74,574,139	0
特定資産合計	942,204,594	947,531,397	△ 5,326,803
(2) その他固定資産			
構 築 物 品	12,109,534	13,592,334	△ 1,482,800
什 器 備 品	9,855,972	9,103,130	752,842
ソ フ ト ウ ェ ア	6,675,737	9,144,883	△ 2,469,146
電 話 加 入 権	91,575	91,575	0
敷 金	1,500,000	1,500,000	0
その他固定資産合計	30,232,818	33,431,922	△ 3,199,104
固定資産合計	972,437,412	980,963,319	△ 8,525,907
資産合計	1,081,404,192	1,112,435,024	△ 31,030,832
II 負債の部			
1. 流動負債			
未 払 金	17,875,401	28,220,858	△ 10,345,457
前 受 会 費	36,259,000	43,740,000	△ 7,481,000
預 り 金	1,537,759	1,633,332	△ 95,573
役 員 賞 与 引 当 金	1,232,000	1,232,000	0
賞 与 引 当 金	7,541,179	8,565,918	△ 1,024,739
未 払 消 費 税	65,200	9,388,500	△ 9,323,300
流動負債合計	64,510,539	92,780,608	△ 28,270,069
2. 固定負債			
役 員 退 職 慰 労 引 当 金	1,470,000	2,790,000	△ 1,320,000
退 職 給 付 引 当 金	32,391,276	32,125,944	265,332
固定負債合計	33,861,276	34,915,944	△ 1,054,668
負債合計	98,371,815	127,696,552	△ 29,324,737

科 目	当年度	前年度	増 減
Ⅲ 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
地方公共団体補助金	229,278,688	235,615,400	△ 6,336,712
指定正味財産合計	229,278,688	235,615,400	△ 6,336,712
(うち特定資産への充当額)	(229,278,688)	(235,615,400)	(△ 6,336,712)
2. 一般正味財産	753,753,689	749,123,072	4,630,617
(うち特定資産への充当額)	(679,064,630)	(677,000,053)	(2,064,577)
正味財産合計	983,032,377	984,738,472	△ 1,706,095
負債及び正味財産合計	1,081,404,192	1,112,435,024	△ 31,030,832

正味財産増減計算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受 取 会 費	53,892,000	54,354,000	△ 462,000
受 取 会 費	53,892,000	54,354,000	△ 462,000
受 取 会 館 運 営 基 金	15,560,000	18,860,000	△ 3,300,000
受 取 会 館 運 営 基 金	15,560,000	18,860,000	△ 3,300,000
事 業 収 益	118,599,681	127,723,164	△ 9,123,483
受 講 料 収 益	21,038,568	20,116,360	922,208
学 会 事 業 収 益	1,718,000	1,340,500	377,500
訪 問 看 護 事 業 収 益	59,579,857	68,742,350	△ 9,162,493
居 宅 介 護 支 援 費 収 益	9,418,920	11,285,050	△ 1,866,130
地 域 包 括 支 援 セ ン タ ー 受 託 収 益	19,061,328	21,200,369	△ 2,139,041
介 護 予 防 支 援 費 収 益	6,358,404	4,178,135	2,180,269
認 定 調 査 収 益	204,600	269,800	△ 65,200
そ の 他 の 事 業 収 益	1,220,004	590,600	629,404
受 取 補 助 金 等	130,480,032	194,049,418	△ 63,569,386
受 取 県 補 助 金 等	92,324,527	135,166,114	△ 42,841,587
受 取 看 護 職 員 研 修 補 助 金	2,268,000	2,268,000	0
受 取 看 護 職 員 定 着 支 援 事 業 補 助 金	420,000	420,000	0
受 取 新 人 看 護 職 員 指 導 者 研 修 事 業 受 託 収 益	2,262,000	2,262,000	0
受 取 保 健 師 助 産 師 看 護 師 等 実 習 指 導 者 講 習 会	2,050,000	2,050,000	0
受 取 看 護 職 員 資 質 向 上 実 務 受 託 収 益	820,000	820,000	0
受 取 看 護 師 等 就 労 促 進 事 業 受 託 収 益	22,024,000	21,771,000	253,000
受 取 訪 問 看 護 推 進 事 業 受 託 収 益	510,000	510,000	0
受 取 看 護 師 等 免 許 保 持 者 届 出 事 業 受 託 収 益	1,610,000	1,610,000	0
受 取 看 護 職 員 就 業 支 援 事 業 受 託 収 益	3,207,000	3,207,000	0
受 取 訪 問 看 護 総 合 支 援 セ ン タ ー 事 業 受 託 収 益	24,300,000	4,853,000	19,447,000
受 取 看 護 普 及 推 進 事 業 受 託 収 益	785,000	785,000	0
受 取 看 護 職 員 就 労 環 境 改 善 事 業 受 託 収 益	1,200,000	1,200,000	0
受 取 専 門 職 に よ る 保 健 指 導 等 支 援 事 業	545,077	481,552	63,525
受 取 精 神 科 訪 問 看 護 師 育 成 支 援 事 業 受 託 収 益	300,000	300,000	0
受 取 訪 問 看 護 ト ラ イ ア ル 雇 用 事 業 受 託 収 益	0	5,920,274	△ 5,920,274
受 取 訪 問 看 護 ス テ ー シ ョ ン 業 務 改 善 推 進 事 業 受 託 収 益	0	1,468,485	△ 1,468,485
受 取 訪 問 看 護 ・ 医 療 機 関 相 互 研 修 事 業 受 託 収 益	0	2,969,083	△ 2,969,083
受 取 ワ ク チ ン 接 種 体 制 構 築 の た め の 潜 在 看 護 師 等	0	18,000,000	△ 18,000,000
受 取 看 護 職 員 認 知 症 対 応 力 向 上 研 修 事 業 受 託 収 益	917,000	917,000	0
受 取 訪 問 看 護 ス テ ー シ ョ ン サ ポ ー ト 事 業 受 託 収 益	0	1,800,000	△ 1,800,000
受 取 新 型 コ ロ ナ ウ イ ル ス 感 染 症 の 軽 症 者 等 に 係 る 宿	28,442,700	59,303,200	△ 30,860,500
受 取 訪 問 看 護 災 害 時 支 援 体 制 整 備 事 業 受 託 収 益	0	1,690,520	△ 1,690,520
受 取 医 療 的 ケ ア 児 等 訪 問 看 護 体 制 整 備 事 業 受 託 収 益	663,750	560,000	103,750
受 取 日 看 協 受 託 収 益	25,935,809	17,031,076	8,904,733
受 取 会 員 登 録 事 務 受 託 費 収 益	2,077,670	2,066,360	11,310
受 取 法 人 会 員 助 成 金	8,234,130	8,228,040	6,090
受 取 日 看 協 受 託 収 益	15,624,009	3,629,655	11,994,354
受 取 新 型 コ ロ ナ ウ イ ル ス 感 染 症 に 係 る ワ ク チ ン 接 種 人 材	0	3,107,021	△ 3,107,021
受 取 富 山 市 受 託 収 益	11,619,696	41,852,228	△ 30,232,532
受 取 富 山 市 新 型 コ ロ ナ ウ イ ル ス ワ ク チ ン 集 団 予 防 接 種 業 務 受 託 収 益	11,619,696	41,852,228	△ 30,232,532
受 取 後 期 高 齢 者 医 療 広 域 連 合 受 託 収 益	600,000	0	600,000
受 取 高 齢 者 保 健 事 業 推 進 基 盤 整 備 事 業	600,000	0	600,000

科 目					当年度	前年度	増 減
受	取	負	担	金	170,709	2,164,836	△ 1,994,127
受	取	負	担	金	170,709	2,164,836	△ 1,994,127
受	取	助	成	金	800,387	539,000	261,387
受	取	寄	付	金	500,000	500,000	0
受	取	寄	付	金	500,000	500,000	0
受	取	補	助	金	6,336,712	6,336,712	0
雜		収		益	3,170,286	2,868,688	301,598
受	取		利	息	460	460	0
受	取		利	息	460	460	0
雜		収		益	3,169,826	2,868,228	301,598
經常収益計					329,509,807	407,395,818	△ 77,886,011
(2)	經常費用						
事	業				298,205,203	378,500,520	△ 80,295,317
役	員		報	費	7,758,732	7,958,511	△ 199,779
給	料		手	酬	89,855,223	94,591,284	△ 4,736,061
臨	時	雇	賃	当	57,180,171	106,861,709	△ 49,681,538
役	員	退	職	慰	504,000	504,000	0
退	職	給	付	引	5,623,637	6,742,869	△ 1,119,232
福	利	厚	生	費	22,088,092	23,290,305	△ 1,202,213
役	員	賞	与	引	1,108,800	1,108,800	0
賞	与	引	当	金	7,222,649	8,254,384	△ 1,031,735
旅	費	交	通	費	3,695,610	3,199,705	495,905
通	信	運	搬	費	6,730,519	7,252,685	△ 522,166
減	価	償	却	費	15,930,281	15,367,043	563,238
建	物	減	価	償	8,543,223	8,559,599	△ 16,376
構	築	物	減	価	2,492,986	2,133,831	359,155
工	具	器	備	品	2,424,926	1,993,326	431,600
ソ	フ	ト	ウ	エ	2,469,146	2,680,287	△ 211,141
消	耗	什	器	備	173,800	978,960	△ 805,160
消		耗	品	費	3,752,097	4,317,407	△ 565,310
修				費	917,800	1,724,474	△ 806,674
印	刷	製	本	費	6,705,060	6,296,606	408,454
新	聞	図	書	費	825,061	1,242,584	△ 417,523
燃		料		費	792,269	819,972	△ 27,703
光	熱	水	料	費	4,883,967	4,662,979	220,988
賃		借		料	12,162,063	12,551,202	△ 389,139
保		險		料	2,012,452	1,457,730	554,722
諸		謝		金	13,117,684	13,761,687	△ 644,003
広		報		費	3,601,631	19,845,352	△ 16,243,721
租	税	公		課	11,355,120	13,293,254	△ 1,938,134
支	払	負	担	金	1,955,442	2,020,271	△ 64,829
支	払	助	成	金	8,827,190	10,462,038	△ 1,634,848
支	払	寄	付	金	200,000	0	200,000
委		託		費	7,941,997	8,551,206	△ 609,209
雜				費	1,283,856	1,383,503	△ 99,647
管	理				26,673,987	28,760,243	△ 2,086,256
役	員		報	酬	5,652,488	5,785,674	△ 133,186
給	料		手	当	4,729,222	4,978,489	△ 249,267
役	員	退	職	慰	336,000	336,000	0
退	職	給	付	引	138,895	116,115	22,780
福	利	厚	生	費	23,880	28,080	△ 4,200
役	員	賞	与	引	123,200	123,200	0
賞	与	引	当	金	318,530	311,534	6,996
旅	費	交	通	費	456,530	334,475	122,055

科 目	当年度	前年度	増 減
会 議 費	231,790	196,190	35,600
通 信 運 搬 費	166,792	153,693	13,099
減 価 償 却 費	2,994,583	3,171,688	△ 177,105
建 物 減 価 償 却 費	2,135,805	2,139,899	△ 4,094
構 築 物 減 価 償 却 費	252,546	533,458	△ 280,912
工 具 器 具 備 品 減 価 償 却 費	606,232	498,331	107,901
消 耗 品	141,183	178,515	△ 37,332
修 繕 繕 製 本 費	229,450	431,119	△ 201,669
印 刷 製 本 費	1,793,648	1,684,560	109,088
新 聞 図 書 費	109,520	89,212	20,308
燃 料 水 料 費	30,731	27,547	3,184
光 熱 水 料 費	1,220,991	1,165,745	55,246
賃 借 料 費	3,428,276	3,347,681	80,595
保 險 料 費	72,130	42,650	29,480
諸 租 金	38,000	30,000	8,000
支 払 税 公 課 金	2,839,880	4,694,950	△ 1,855,070
支 払 負 担 金	327,957	393,056	△ 65,099
支 払 寄 付 金	10,000	20,000	△ 10,000
委 託 費	532,187	524,630	7,557
雜 費	728,124	595,440	132,684
經常費用計	324,879,190	407,260,763	△ 82,381,573
評価損益等調整前当期經常増減額	4,630,617	135,055	4,495,562
評価損益等計	0	0	0
当期經常増減額	4,630,617	135,055	4,495,562
2. 經常外増減の部			
(1) 經常外収益			
經常外収益計	0	0	0
(2) 經常外費用			
經常外費用計	0	0	0
当期經常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	4,630,617	135,055	4,495,562
一般正味財産期首残高	749,123,072	748,988,017	135,055
一般正味財産期末残高	753,753,689	749,123,072	4,630,617
II 指定正味財産増減の部			
一般正味財産への振替額	△ 6,336,712	△ 6,336,712	0
一般正味財産への振替額	△ 6,336,712	△ 6,336,712	0
地方公共団体補助金	△ 6,336,712	△ 6,336,712	0
当期指定正味財産増減額	△ 6,336,712	△ 6,336,712	0
指定正味財産期首残高	235,615,400	241,952,112	△ 6,336,712
指定正味財産期末残高	229,278,688	235,615,400	△ 6,336,712
III 正味財産期末残高	983,032,377	984,738,472	△ 1,706,095

予算対比正味財産増減計算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	差 異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受 取 会 費	54,900,000	53,892,000	1,008,000
受 取 会 費	54,900,000	53,892,000	1,008,000
受 取 会 館 運 営 基 金	18,000,000	15,560,000	2,440,000
受 取 会 館 運 営 基 金	18,000,000	15,560,000	2,440,000
事 業 収 益	134,058,000	118,599,681	15,458,319
受 講 料 収 益	22,530,000	21,038,568	1,491,432
学 会 事 業 収 益	1,800,000	1,718,000	82,000
訪 問 看 護 事 業 収 益	74,496,000	59,579,857	14,916,143
居 宅 介 護 支 援 費 収 益	9,439,000	9,418,920	20,080
地 域 包 括 支 援 セ ン タ ー 受 託 収 益	18,879,000	19,061,328	△ 182,328
介 護 予 防 支 援 費 収 益	5,676,000	6,358,404	△ 682,404
認 定 調 査 収 益	158,000	204,600	△ 46,600
そ の 他 の 事 業 収 益	1,080,000	1,220,004	△ 140,004
受 取 補 助 金 等	210,468,000	130,480,032	79,987,968
受 取 県 補 助 金 等	182,910,000	92,324,527	90,585,473
受 取 看 護 職 員 研 修 補 助 金	2,268,000	2,268,000	0
受 取 看 護 職 員 定 着 支 援 事 業 補 助 金	420,000	420,000	0
受 取 新 人 看 護 職 員 指 導 者 研 修 事 業 受 託 収 益	2,262,000	2,262,000	0
受 取 保 健 師 助 産 師 看 護 師 等 実 習 指 導 者 講 習 会	2,050,000	2,050,000	0
受 取 看 護 職 員 資 質 向 上 実 務 受 託 収 益	820,000	820,000	0
受 取 看 護 師 等 就 労 促 進 事 業 受 託 収 益	22,024,000	22,024,000	0
受 取 訪 問 看 護 推 進 事 業 受 託 収 益	510,000	510,000	0
受 取 看 護 師 等 免 許 保 持 者 届 出 事 業 受 託 収 益	0	1,610,000	△ 1,610,000
受 取 看 護 職 員 就 業 支 援 事 業 受 託 収 益	3,207,000	3,207,000	0
受 取 訪 問 看 護 総 合 支 援 セ ン タ ー 事 業 受 託 収 益	10,207,000	24,300,000	△ 14,093,000
受 取 看 護 師 等 免 許 保 持 者 届 出 事 業 受 託 収 益	1,610,000	0	1,610,000
受 取 看 護 普 及 推 進 事 業 受 託 収 益	785,000	785,000	0
受 取 看 護 職 員 就 労 環 境 改 善 事 業 受 託 収 益	1,200,000	1,200,000	0
受 取 専 門 職 に よ る 保 健 指 導 等 支 援 事 業	991,000	545,077	445,923
受 取 精 神 科 訪 問 看 護 師 有 成 支 援 事 業 受 託 収 益	300,000	300,000	0
受 取 訪 問 看 護 ト ラ イ ア ル 雇 用 事 業 受 託 収 益	4,200,000	0	4,200,000
受 取 訪 問 看 護 ス テ ー シ ョ ン 業 務 改 善 推 進 事 業 受 託 収 益	3,000,000	0	3,000,000
受 取 訪 問 看 護 ・ 医 療 機 関 相 互 研 修 事 業 受 託 収 益	5,093,000	0	5,093,000
受 取 看 護 職 員 認 知 症 対 応 力 向 上 研 修 事 業 受 託 収 益	917,000	917,000	0
受 取 訪 問 看 護 ス テ ー シ ョ ン サ ー ポ ー ト 事 業 受 託 収 益	1,800,000	0	1,800,000
受 取 新 型 コ ロ ナ ウ イ ル ス 感 染 症 の 軽 症 者 等 に 係 る 宿 舎 等 医 療 的 ケ ア 児 等 訪 問 看 護 体 制 整 備 事 業 受 託 収 益	119,246,000	28,442,700	90,803,300
受 取 医 療 的 ケ ア 児 等 訪 問 看 護 体 制 整 備 事 業 受 託 収 益	0	663,750	△ 663,750
受 取 日 看 協 受 託 収 益	10,310,000	25,935,809	△ 15,625,809
受 取 会 員 登 録 事 務 受 託 費 収 益	2,077,000	2,077,670	△ 670
受 取 法 人 会 員 助 成 金	8,233,000	8,234,130	△ 1,130
受 取 日 看 協 受 託 収 益	0	15,624,009	△ 15,624,009
受 取 富 山 市 受 託 収 益	17,248,000	11,619,696	5,628,304
受 取 富 山 市 新 型 コ ロ ナ ウ イ ル ス 集 団 予 防 接 種 業 務 受 託 収 益	17,248,000	11,619,696	5,628,304
受 取 後 期 高 齢 者 医 療 広 域 連 合 受 託 収 益	0	600,000	△ 600,000

科 目	予算額	決算額	差 異
受高齢者保健事業推進基盤整備事業	0	600,000	△ 600,000
受 取 負 担 金	0	170,709	△ 170,709
受 取 負 担 金	0	170,709	△ 170,709
受 取 助 成 金	0	800,387	△ 800,387
受 取 寄 付 金	0	500,000	△ 500,000
受 取 寄 付 金	0	500,000	△ 500,000
受 取 補 助 金 振 替 額	6,627,000	6,336,712	290,288
雜 収 益	2,769,000	3,170,286	△ 401,286
受 取 利 息	2,000	460	1,540
受 取 利 息	0	460	△ 460
減 価 償 却 引 当 資 産 受 取 利 息	2,000	0	2,000
雜 収 益	2,767,000	3,169,826	△ 402,826
經常収益計	426,822,000	329,509,807	97,312,193
(2) 經常費用			
事 業 費	395,405,000	298,205,203	97,199,797
役 員 報 酬	7,959,000	7,758,732	200,268
給 料 手 当	92,644,000	89,855,223	2,788,777
臨 時 雇 賃 金	147,125,000	57,180,171	89,944,829
役 員 退 職 慰 勞 引 当 金 繰 入 額	504,000	504,000	0
退 職 給 付 引 当 金 繰 入 額	2,978,000	5,623,637	△ 2,645,637
福 利 厚 生 費	19,158,000	22,088,092	△ 2,930,092
役 員 賞 与 引 当 金 繰 入 額	739,000	1,108,800	△ 369,800
賞 与 引 当 金 繰 入 額	7,859,000	7,222,649	636,351
旅 費 交 通 費	6,172,000	3,695,610	2,476,390
通 信 運 搬 費	7,471,000	6,730,519	740,481
減 価 償 却 費	15,483,000	15,930,281	△ 447,281
建 物 減 価 償 却 費	8,540,000	8,543,223	△ 3,223
構 築 物 減 価 償 却 費	2,330,000	2,492,986	△ 162,986
工 具 器 具 備 品 減 価 償 却 費	1,970,000	2,424,926	△ 454,926
ソ フ ト ウ ェ ア 減 価 償 却 費	2,643,000	2,469,146	173,854
消 耗 什 器 備 品 費	731,000	173,800	557,200
消 耗 品 費	3,949,000	3,752,097	196,903
修 繕 費	248,000	917,800	△ 669,800
印 刷 製 本 費	4,907,000	6,705,060	△ 1,798,060
新 聞 函 書 費	610,000	825,061	△ 215,061
燃 料 費	1,040,000	792,269	247,731
光 熱 水 料 費	3,532,000	4,883,967	△ 1,351,967
賃 借 料 費	15,167,000	12,162,063	3,004,937
保 險 料 費	1,515,000	2,012,452	△ 497,452
諸 謝 金 費	12,760,000	13,117,684	△ 357,684
広 報 費	2,962,000	3,601,631	△ 639,631
租 税 公 課	19,983,000	11,355,120	8,627,880
支 払 負 担 金	256,000	1,955,442	△ 1,699,442
支 払 助 成 金	11,450,000	8,827,190	2,622,810
支 払 寄 付 金	0	200,000	△ 200,000
委 託 費	6,431,000	7,941,997	△ 1,510,997
雜 費	1,772,000	1,283,856	488,144
管 理 費	30,517,000	26,673,987	3,843,013
役 員 報 酬	5,785,000	5,652,488	132,512
給 料 手 当	5,403,000	4,729,222	673,778

科 目	予算額	決算額	差 異
臨時雇賃金	18,000	0	18,000
役員退職慰労引当金繰入額	336,000	336,000	0
退職給付引当金繰入額	156,000	138,895	17,105
福利厚生費	1,245,000	23,880	1,221,120
役員賞与引当金繰入額	493,000	123,200	369,800
賞与引当金繰入額	129,000	318,530	△ 189,530
旅費交通費	1,084,000	456,530	627,470
会議費	239,000	231,790	7,210
通信運搬費	819,000	166,792	652,208
減価償却費	3,706,000	2,994,583	711,417
建物減価償却費	2,135,000	2,135,805	△ 805
構築物減価償却費	791,000	252,546	538,454
工具器具備品減価償却費	780,000	606,232	173,768
消耗什器備品費	210,000	0	210,000
消耗品費	180,000	141,183	38,817
修繕費	233,000	229,450	3,550
印刷製本費	1,879,000	1,793,648	85,352
新聞図書費	81,000	109,520	△ 28,520
燃料費	24,000	30,731	△ 6,731
光熱水料費	883,000	1,220,991	△ 337,991
賃借料	2,114,000	3,428,276	△ 1,314,276
保険料	43,000	72,130	△ 29,130
諸謝金	111,000	38,000	73,000
租税公課	3,208,000	2,839,880	368,120
支払負担金	182,000	327,957	△ 145,957
支払寄付金	20,000	10,000	10,000
委託費	1,688,000	532,187	1,155,813
雑費	248,000	728,124	△ 480,124
経常費用計	425,922,000	324,879,190	101,042,810
評価損益等調整前当期経常増減額	900,000	4,630,617	△ 3,730,617
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	900,000	4,630,617	△ 3,730,617
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	900,000	4,630,617	△ 3,730,617
一般正味財産期首残高	739,998,000	749,123,072	△ 9,125,072
一般正味財産期末残高	740,898,000	753,753,689	△ 12,855,689
II 指定正味財産増減の部			
一般正味財産への振替額	△ 6,627,000	△ 6,336,712	△ 290,288
一般正味財産への振替額	△ 6,627,000	△ 6,336,712	△ 290,288
地方公共団体補助金	△ 6,627,000	△ 6,336,712	△ 290,288
当期指定正味財産増減額	△ 6,627,000	△ 6,336,712	△ 290,288
指定正味財産期首残高	241,081,000	235,615,400	5,465,600
指定正味財産期末残高	234,454,000	229,278,688	5,175,312
III 正味財産期末残高	975,352,000	983,032,377	△ 7,680,377

正味財産増減計算書内訳表

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位：円)

科 目	公衆衛生の向上を目的とする事業会計	法人会計	内部取引等 消去	合計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
受取会費	26,946,000	26,946,000		53,892,000
受取会費	26,946,000	26,946,000		53,892,000
受取会館運営基金	7,780,000	7,780,000		15,560,000
受取会館運営基金	7,780,000	7,780,000		15,560,000
事業収益	118,599,681	0		118,599,681
受講料収益	21,038,568	0		21,038,568
学会事業収益	1,718,000	0		1,718,000
訪問看護事業収益	59,579,857	0		59,579,857
居宅介護支援費収益	9,418,920	0		9,418,920
地域包括支援センター受託収益	19,061,328	0		19,061,328
介護予防支援費収益	6,358,404	0		6,358,404
認定調査収益	204,600	0		204,600
その他の事業収益	1,220,004	0		1,220,004
受取補助金等	129,441,197	1,038,835		130,480,032
受取県補助金等	92,324,527	0		92,324,527
受取日看協受託収益	24,896,974	1,038,835		25,935,809
受取富山市受託収益	11,619,696	0		11,619,696
受取後期高齢者医療広域連合受託収益	600,000	0		600,000
受取負担金	170,709	0		170,709
受取負担金	170,709	0		170,709
受取助成金	800,387	0		800,387
受取寄付金	500,000	0		500,000
受取寄付金	500,000	0		500,000
受取補助金振替	6,336,712	0		6,336,712
雑収益	2,220,020	950,266		3,170,286
受取利息	0	460		460
雑収益	2,220,020	949,806		3,169,826
経常収益計	292,794,706	36,715,101		329,509,807
(2) 経常費用				
事業費	298,205,203	0		298,205,203
役員報酬	7,758,732	0		7,758,732
給料手当	89,855,223	0		89,855,223
臨時雇賃金	57,180,171	0		57,180,171
役員退職慰労引当金繰入額	504,000	0		504,000
退職給付引当金繰入額	5,623,637	0		5,623,637
福利厚生費	22,088,092	0		22,088,092
役員賞与引当金繰入額	1,108,800	0		1,108,800
賞与引当金繰入額	7,222,649	0		7,222,649
旅費交通費	3,695,610	0		3,695,610
通運費	6,730,519	0		6,730,519
減価償却費	15,930,281	0		15,930,281
消耗什器備品費	173,800	0		173,800
消耗品費	3,752,097	0		3,752,097
修繕費	917,800	0		917,800
印刷製本費	6,705,060	0		6,705,060
新聞図書費	825,061	0		825,061
燃料費	792,269	0		792,269
光熱水料費	4,883,967	0		4,883,967

科 目	公衆衛生の向上を目的とする事業会計	法人会計	内部取引等 消去	合計
賃借料	12,162,063	0		12,162,063
保険料	2,012,452	0		2,012,452
諸謝金	13,117,684	0		13,117,684
広報費	3,601,631	0		3,601,631
租税公課	11,355,120	0		11,355,120
支払負担金	1,955,442	0		1,955,442
支払助成金	8,827,190	0		8,827,190
支払寄付金	200,000	0		200,000
委託費	7,941,997	0		7,941,997
雑費	1,283,856	0		1,283,856
管理費	0	26,673,987		26,673,987
役員報酬	0	5,652,488		5,652,488
給料	0	4,729,222		4,729,222
役員退職慰労引当金繰入額	0	336,000		336,000
退職給付引当金繰入額	0	138,895		138,895
福利厚生費	0	23,880		23,880
役員賞与引当金繰入額	0	123,200		123,200
賞与引当金繰入額	0	318,530		318,530
旅費交通費	0	456,530		456,530
会議費	0	231,790		231,790
通信費	0	166,792		166,792
減価償却費	0	2,994,583		2,994,583
消耗品費	0	141,183		141,183
修繕費	0	229,450		229,450
印刷製本費	0	1,793,648		1,793,648
新聞図書費	0	109,520		109,520
燃料費	0	30,731		30,731
光熱料	0	1,220,991		1,220,991
賃借料	0	3,428,276		3,428,276
保険料	0	72,130		72,130
諸謝金	0	38,000		38,000
租税公課	0	2,839,880		2,839,880
支払負担金	0	327,957		327,957
支払寄付金	0	10,000		10,000
委託費	0	532,187		532,187
雑費	0	728,124		728,124
経常費用計	298,205,203	26,673,987		324,879,190
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 5,410,497	10,041,114		4,630,617
評価損益等計	0	0		0
当期経常増減額	△ 5,410,497	10,041,114		4,630,617
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0		0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0		0
当期経常外増減額	0	0		0
当期一般正味財産増減額	△ 5,410,497	10,041,114		4,630,617
一般正味財産期首残高	441,989,164	307,133,908		749,123,072
一般正味財産期末残高	436,578,667	317,175,022		753,753,689
II 指定正味財産増減の部				
一般正味財産への振替額	△ 6,336,712	0		△ 6,336,712
一般正味財産への振替額	△ 6,336,712	0		△ 6,336,712
当期指定正味財産増減額	△ 6,336,712	0		△ 6,336,712
指定正味財産期首残高	235,615,400	0		235,615,400
指定正味財産期末残高	229,278,688	0		229,278,688
III 正味財産期末残高	665,857,355	317,175,022		983,032,377

正味財産増減計算書内訳表

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位：円)

科 目	公衆衛生の向上を目的とする事業会計							公益目的共 通事業	合計
	教育等看護 の質の向上 に関する事 業	看護研究学 会の開催等 学術研究の 振興に関する 事業	看護業務の 開発、看護 制度の改善 等に関する 事業	看護職の労 働環境等の 改善及び福 祉の向上に 関する事業	訪問看護の 実施等地域 の保険医療 福祉に関する 事業	その他本会 の目的を達 成するため に必要な事 業			
I 一般正味財産増減の部									
1. 経常増減の部									
(1) 経常収益									
受 取 会 費	0	0	0	0	0	0	26,946,000	26,946,000	
受 取 会 費	0	0	0	0	0	0	26,946,000	26,946,000	
受 取 会 館 運 営 基 金	0	0	0	0	0	0	7,780,000	7,780,000	
受 取 会 館 運 営 基 金	0	0	0	0	0	0	7,780,000	7,780,000	
事 業 収 益	19,846,068	1,718,000	1,210,800	561,000	95,263,813	0	0	118,599,681	
受 講 料 収 益	19,846,068	0	1,192,500	0	0	0	0	21,038,568	
学 会 事 業 収 益	0	1,718,000	0	0	0	0	0	1,718,000	
訪 問 看 護 事 業 収 益	0	0	0	0	59,579,857	0	0	59,579,857	
居 宅 介 護 支 援 費 収 益	0	0	0	0	9,418,920	0	0	9,418,920	
地 域 包 括 支 援 セ ン タ ー 受 託 収 益	0	0	0	0	19,061,328	0	0	19,061,328	
介 護 予 防 支 援 費 収 益	0	0	0	0	6,358,404	0	0	6,358,404	
認 定 調 査 収 益	0	0	0	0	204,600	0	0	204,600	
そ の 他 の 事 業 収 益	0	0	18,300	561,000	640,704	0	0	1,220,004	
受 取 補 助 金 等	8,617,000	0	0	38,346,000	25,473,750	47,731,482	9,272,965	129,441,197	
受 取 県 補 助 金 等	8,617,000	0	0	29,246,000	25,473,750	28,987,777	0	92,324,527	
受 取 日 看 協 受 託 収 益	0	0	0	9,100,000	0	6,524,009	9,272,965	24,896,974	
受 取 富 山 市 受 託 収 益	0	0	0	0	0	11,619,696	0	11,619,696	
受 取 後 期 高 齢 者 医 療 広 域 連 合 受 託 収 益	0	0	0	0	0	600,000	0	600,000	
受 取 負 担 金	0	0	0	0	170,709	0	0	170,709	
受 取 負 担 金	0	0	0	0	170,709	0	0	170,709	
受 取 助 成 金	0	0	0	0	800,387	0	0	800,387	
受 取 寄 付 金	0	0	0	0	0	0	500,000	500,000	
受 取 寄 付 金	0	0	0	0	0	0	500,000	500,000	
受 取 補 助 金 振 替 額	0	0	0	0	0	0	6,336,712	6,336,712	
雑 収 益	132,800	0	0	0	481,375	0	1,605,845	2,220,020	
雑 収 益	132,800	0	0	0	481,375	0	1,605,845	2,220,020	
経常収益計	28,595,868	1,718,000	1,210,800	38,907,000	122,190,034	47,731,482	52,441,522	292,794,706	
(2) 経常費用									
事 業 費	30,594,235	1,307,750	578,664	26,613,837	129,672,558	43,245,334	66,192,825	298,205,203	
役 員 報 酬	0	0	0	0	0	0	7,758,732	7,758,732	
給 料 手 当	0	0	0	10,176,943	67,007,942	2,628,540	10,041,798	89,855,223	
臨 時 雇 賃 金	0	0	0	6,009,442	12,432,425	33,125,853	5,612,451	57,180,171	
役 員 退 職 慰 労 引 当 金 繰 入 額	0	0	0	0	0	0	504,000	504,000	
退 職 給 付 引 当 金 繰 入 額	0	0	0	0	4,373,580	0	1,250,057	5,623,637	
福 利 厚 生 費	0	0	0	2,158,541	13,048,756	599,402	6,281,393	22,088,092	
役 員 賞 与 引 当 金 繰 入 額	0	0	0	0	0	0	1,108,800	1,108,800	
賞 与 引 当 金 繰 入 額	0	0	0	0	4,355,874	0	2,866,775	7,222,649	
旅 費 交 通 費	1,721,495	325	48,825	70,151	255,863	1,320,405	278,546	3,695,610	
通 信 運 搬 費	933,440	23,885	2,012	811,188	3,394,337	1,026,953	538,704	6,730,519	
減 価 償 却 費	0	0	0	0	0	0	15,930,281	15,930,281	
消 耗 什 器 備 品 費	173,800	0	0	0	0	0	0	173,800	
消 耗 品 費	1,128,747	17,080	0	446,930	909,093	897,165	353,082	3,752,097	
修 繕 費	569,864	0	0	4,178	246,838	2,089	94,831	917,800	
印 刷 製 本 費	2,287,726	730,400	0	1,685,065	685,595	589,070	727,204	6,705,060	
新 聞 図 書 費	531,713	0	22,275	123,000	82,971	65,102	0	825,061	
燃 料 費	0	0	0	0	792,269	0	0	792,269	
光 熱 水 料 費	2,912,760	0	0	211,187	421,111	0	1,338,909	4,883,967	
賃 借 料	7,536,274	0	0	974,902	6,015,390	90,700	△ 2,455,203	12,162,063	
保 険 料	11,410	0	0	0	1,729,682	0	271,360	2,012,452	
諸 謝 金	8,237,588	80,000	403,000	374,500	2,159,000	1,774,500	89,096	13,117,684	
広 報 費	0	0	0	2,600,987	88,377	912,267	0	3,601,631	
租 税 公 課	67,000	0	0	23,600	800	20,600	11,243,120	11,355,120	
支 払 負 担 金	412,506	0	71,192	12,500	1,250,887	0	208,357	1,955,442	
支 払 助 成 金	0	0	0	0	8,827,190	0	0	8,827,190	
支 払 寄 付 金	0	0	0	0	0	0	200,000	200,000	
委 託 費	3,501,439	429,000	0	897,116	1,265,164	0	1,849,278	7,941,997	
雑 費	568,473	27,060	31,360	33,607	329,414	192,688	101,254	1,283,856	
経常費用計	30,594,235	1,307,750	578,664	26,613,837	129,672,558	43,245,334	66,192,825	298,205,203	

科 目	公衆衛生の向上を目的とする事業会計							合計
	教育等看護の質の向上に関する事業	看護研究会の開催等学術研究の振興に関する事業	看護業務の開発、看護制度の改善等に関する事業	看護職の労働環境等の改善及び福祉の向上に関する事業	訪問看護の実施等地域の保険医療福祉に関する事業	その他本会の目的を達成するために必要な事業	公益目的共通事業	
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 1,998,367	410,250	632,136	12,293,163	△ 7,482,524	4,486,148	△ 13,751,303	△ 5,410,497
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 1,998,367	410,250	632,136	12,293,163	△ 7,482,524	4,486,148	△ 13,751,303	△ 5,410,497
2. 経常外増減の部								
(1) 経常外収益								
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用								
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 1,998,367	410,250	632,136	12,293,163	△ 7,482,524	4,486,148	△ 13,751,303	△ 5,410,497
一般正味財産期首残高	59,910,026	6,119,555	5,681,297	112,061,692	197,067,757	△ 34,370,245	95,519,082	441,989,164
一般正味財産期末残高	57,911,659	6,529,805	6,313,433	124,354,855	189,585,233	△ 29,884,097	81,767,779	436,578,667
Ⅱ 指定正味財産増減の部								
一般正味財産への振替額	0	0	0	0	0	0	△ 6,336,712	△ 6,336,712
一般正味財産への振替額	0	0	0	0	0	0	△ 6,336,712	△ 6,336,712
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	△ 6,336,712	△ 6,336,712
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	129,215	0	235,486,185	235,615,400
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	129,215	0	229,149,473	229,278,688
Ⅲ 正味財産期末残高	57,911,659	6,529,805	6,313,433	124,354,855	189,714,448	△ 29,884,097	310,917,252	665,857,355

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

「公益法人会計基準」（平成20年4月11日 平成21年10月16日改正 内閣府公益認定等委員会）を採用している。

- (1) 重要な会計方針の変更について
変更なし。
- (2) 有価証券の評価基準及び評価方法
該当なし。
- (3) 固定資産の減価償却の方法
 - ①建物 …………… 定額法によっている。
 - ②構築物・什器備品 …………… 定額法によっている。
- (4) 引当金の計上基準
 - ①賞与引当金 …………… 職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。
 - ②役員賞与引当金 …………… 役員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。
 - ③退職給付引当金 …………… 職員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき、当年度末において発生していると認められる額を計上している。
 - ④役員退職慰労引当金 …………… 役員の退職慰労金の支給に備えるため、内規に基づく期末要支給額を計上している。
- (5) 消費税等の会計処理について
消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2 基本財産、特定資産及びその残高

基本財産、特定資産及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産	0	0	0	0
小 計	0	0	0	0
特定資産				
役員退職慰労引当資産	2,790,000	0	1,320,000	1,470,000
退職給付引当資産	32,125,944	291,582	0	32,417,526
減価償却引当資産	181,886,461	0	1,676,625	180,209,836
会館建設引当資産	313,506,050	9,320,000	0	322,826,050
建 物	334,425,852	0	10,679,028	323,746,824
構 築 物	8,222,950	0	1,262,732	6,960,218
什 器 備 品	1	0	0	1
土 地	74,574,139	0	0	74,574,139
小 計	947,531,397	9,611,582	14,938,385	942,204,594
合 計	947,531,397	9,611,582	14,938,385	942,204,594

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産	0	0	0	0
小 計	0	0	0	0
特定資産				
役員退職慰労引当資産	1,470,000			1,470,000
退職給付引当資産	32,417,526			32,417,526
減価償却引当資産	180,209,836		180,209,836	
会館建設引当資産	322,826,050		322,826,050	
建築物	323,746,824	154,678,298	169,068,526	
構築物	6,960,218		6,960,218	
什器備品	1	1		
土地	74,574,139	74,574,139		
小 計	942,204,594	229,252,438	679,064,630	33,887,526
合 計	942,204,594	229,252,438	679,064,630	33,887,526

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
特定資産			
建築物	563,685,911	239,939,087	323,746,824
構築物	47,073,459	40,113,241	6,960,218
什器備品	209,160	209,159	1
その他固定資産			
構築物	14,828,000	2,718,466	12,109,534
什器備品	26,465,468	16,609,496	9,855,972
ソフトウェア	14,404,180	7,728,443	6,675,737
電話加入権	91,575	0	91,575
合 計	666,757,753	307,317,892	359,439,861

5 保証債務等の偶発債務

該当事項なし。

6 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当事項なし。

7 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
地方公共団体補助金	富山県他	235,615,400	0	6,336,712	229,278,688	指定正味財産
看護職員研修補助金	富山県	0	2,268,000	2,268,000	0	
看護職員定着支援事業補助金	富山県	0	420,000	420,000	0	
助成金						
教育事業（研修）助成金	日本看護協会	0	8,134,130	8,134,130	0	
看護の普及啓発事業助成金	日本看護協会	0	100,000	100,000	0	
合計		235,615,400	10,922,130	17,258,842	229,278,688	

8 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
減価償却費計上による振替額	6,336,712

9 関連当事者との取引内容

該当事項なし。

10 重要な後発事象

該当事項なし。

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記「2. 基本財産、特定資産の増減額及びその残高」に記載

2. 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
役員退職慰労引当金	2,790,000	840,000	2,160,000	0	1,470,000
退職給付引当金	32,125,944	5,762,532	5,497,200	0	32,391,276
役員賞与引当金	1,232,000	1,232,000	1,232,000	0	1,232,000
賞与引当金	8,565,918	7,541,179	8,565,918	0	7,541,179

財産目録

令和5年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額						
(流動資産)										
現金 預金	手元保管 普通預金 北陸五福会費収入 北陸五福支払 北陸五福受講料収入 北陸五福補助金収入 北陸五福ひよどり 北陸五福ひよどり富山 北陸五福包括センター	運転資金として 運転資金として	287,195							
			54,140,628							
			49,812,140							
			933,874							
			0							
			0							
			2,000,878							
			923,940							
			469,796							
			未収金 前払金	県委託費、訪問看護収入、居宅収入、包括支援センター収入他 黒部ショッピングセンターメルシー会場料、支部クリアファイル	54,379,597 159,360					
流動資産合計				108,966,780						
(固定資産)										
特定資産										
役員退職慰労引当資産 北陸五福普通 退職給付引当資産 北陸五福普通 減価償却引当資産 北陸五福普通 北陸五福定期 会館建設引当資産 北陸五福普通 建物 建物 構築物 構築物 什器備品 什器備品 土地 土地	役員退職慰労引当預金 退職給与引当預金 減価償却引当預金 会館建設引当預金 富山市鶴島字川原 1907-1 融雪設備、キュービクル等 附属設備一式 富山市鶴島字川原 1907-1	役員に対する退職慰労金の支払いに備えたもの 職員に対する退職金の支払いに備えたもの 資産取得資金であり、建物及び附属設備等の更新に備えたもの 資産取得資金であり、建物の建替えに備えたもの 公益目的事業及び管理運営事業の用に供している。 公益目的事業及び管理運営事業の用に供している。 公益目的財産であり、公益目的事業の用に供している。 公益目的事業及び管理運営事業の用に供している。	1,470,000 (1,470,000) 32,417,526 (32,417,526) 180,209,836 (157,187,808) (23,022,028) 322,826,050 (322,826,050) 323,746,824 6,960,218 1 74,574,139							
			その他固定資産	構築物 什器備品等 ソフトウェア 電話加入権 敷金	有料駐車場ゲート等 附属設備一式 公益目的事業及び管理運営の用に供している。 公益目的事業及び管理運営の用に供している。 公益目的財産であり、公益目的事業の用に供している。 公益目的財産であり、公益目的事業の用に供している。 公益目的財産であり、公益目的事業の用に供している。	12,109,534 9,855,972 6,675,737 91,575 1,500,000				
			固定資産合計				972,437,412			
			資産合計				1,081,404,192			
			(流動負債)							
			未払金 前受会費 預り金 役員賞与引当金 賞与引当金 未払消費税	令和5年度協会会費 令和5年3月源泉所得税他 令和4年度消費税	令和5年3月分社会保険料、令和4年度 HTC 事業 ST 向け助成金等 公益目的事業及び管理費運営の支出に供する会費の前受け 令和5年3月健康保険料他 役員に対する賞与の支払いに備えたもの 職員に対する賞与の支払いに備えたもの 令和4年度に支払う消費税	17,875,401 36,259,000 1,537,759 1,232,000 7,541,179 65,200				
						流動負債合計				64,510,539
						(固定負債)				
						役員退職慰労引当金 退職給付引当金		役員に対する退職慰労金の支払いに備えたもの 職員に対する退職金の支払いに備えたもの	1,470,000 32,391,276	
									固定負債合計	
負債合計						98,371,815				
正味財産				983,032,377						

監査報告書

令和5年5月15日

公益社団法人富山県看護協会
会長 稲村 睦子 殿

監事 秋山 朝子



監事 浦野 妃路美



監事 河村 拓栄



公益社団法人富山県看護協会定款第29条に基づき、令和4年度（令和4年4月1日～令和5年3月31日）公益社団法人富山県看護協会収支決算書について、財産の管理状況と業務執行状況の監査を令和5年5月15日に行った結果、財産管理並びに業務の執行については、正確且つ適正に処理されていることを認める。

令和5年度 富山県看護協会役員(案)の選任について

役員候補者

理事

(五十音順)

新任者 氏名	職種	所属	前任者 氏名	職種	所属
稲見年美	看	高岡市民病院	岩城光子	看	厚生連滑川病院
川岸孝美	看	かみいち総合病院	岩田三津子	保	氷見市役所
高長雅美	看	富山県立中央病院	高木雅美	看	金沢医科大学氷見市民病院
堀井由紀	保	富山市役所	丸池小百合	看	国立大学法人 富山大学附属病院
向千春	看	金沢医科大学氷見市民病院	向野勝美	保	公益社団法人 富山県看護協会
吉田智子	保	公益社団法人 富山県看護協会	米山美智代	看	高岡市民病院
中田千亜紀	准	不二越病院	嘉藤和男	准	かみいち総合病院

監事

新任者 氏名	職種	所属	前任者 氏名	職種	所属
丸池小百合	看	国立大学法人 富山大学附属病院	浦野妃路美	看	富山県リハビリテーション 病院・こども支援センター

**令和6年度 日本看護協会通常総会
代議員及び予備代議員(案)の選任について**

代議員及び予備代議員候補者

(五十音順)

役職等	氏名	職種	所属
代議員候補者	岡本里美	助産師	富山県リハビリテーション病院・こども支援センター
	金兵留美	保健師	南砺市役所
	渋谷美保子	看護師	富山県済生会高岡病院
	中田千亜紀	准看護師	不二越病院
	原田洋美	看護師	特定医療法人財団五省会 西能病院
	満間信江	看護師	公益社団法人富山県看護協会
	森太貴子	助産師	富山赤十字病院
	山本陽子	看護師	あさひ総合病院
	利田智恵	保健師	富山県砺波厚生センター
予備代議員候補者	中島眞由美	保健師	学校法人富山国際学園富山短期大学
	永田智雅	看護師	独立行政法人国立病院機構 富山病院
	鍋田祐美子	助産師	なべた助産院
	藤澤都絵	看護師	富山市立富山市民病院
	宮木貴英	准看護師	介護老人保健施設おおぞら
	森田知佳子	看護師	南砺市訪問看護ステーション
	諸江由紀子	看護師	独立行政法人地域医療機能推進機構高岡ふしき病院
	吉國真澄	保健師	高岡市役所
	吉田智子	保健師	公益社団法人富山県看護協会

令和5年度 選挙管理委員・推薦委員候補者(案)の承認について

選挙管理委員・推薦委員候補者

(五十音順)

委員名	氏名	職種	所属
選挙管理委員 候補者	宮田美絵	看護師	富山県立中央病院
	村岡裕子	助産師	国立大学法人富山大学附属病院
	若松裕子	保健師	富山市役所
推薦委員 候補者	浦辻効英	保健師	富山県砺波厚生センター
	黒田広美	助産師	市立砺波総合病院
	作田友乃	看護師	富山医療生活協同組合 富山協立病院
	笹島由紀子	保健師	氷見市役所
	武田幸	看護師	富山県立中央病院
	中湊磨貴子	看護師	独立行政法人労働者健康安全機構富山労災病院
	福井亜希子	看護師	公立南砺中央病院
	谷内口圭子	看護師	金沢医科大学氷見市民病院
	山本泰子	助産師	富山県済生会高岡病院
	四月朔日亜沙子	保健師	入善町役場

報 告 事 項

報告事項1	令和5年度重点事業並びに事業計画	85
報告事項2	令和5年度収支予算	91

令和5年度 重点政策・重点事業並びに事業計画

少子超高齢社会の人口・疾病構造を見据えた社会保障制度改革は、新型コロナの蔓延や様々な状況の変化の中、病床の機能分化・連携、地域包括ケアシステムの構築、医療従事者の確保・勤務環境の改善等推進されてきた。国では、今後感染拡大が生じて、保健医療システムを機能させながら、社会経済活動を維持できるよう制度設計が進められている。また、遅れていた地域医療構想に基づく地域の医療体制の再構築の中、感染管理、人員配置など急ピッチで進められている。

このような中にも、看護は、引き続き平時はもちろん、感染症蔓延時や大規模災害発生時に、提供する場のいずれにおいても、「あらゆる人に対する良質な看護の提供」が求められている。

これらに対し、今年度は2025年に向けた「いのち・暮らし・尊厳をまもり支える看護」を看護の将来ビジョンとして表明している日本看護協会と連携して、「県民の健康で豊かな生活の実現に寄与する」ため、本会の使命である「看護の質の向上」「働き続けられる環境づくり」「看護領域の開発・展開」を前提としつつ、医療モデルから生活モデル重視への転換に対する看護提供体制を構築するとともに、変革に対し、新たに必要な対策を講じるとともに、さらに踏襲すべきことを併せて重点事業として取り組む。

以上のことから、本会の使命を達成するため、令和5年度の重点事業を次の4項目とする。

【重点政策・重点事業】

- 1 全世代型地域包括ケアにおける看護提供体制の推進
 - (1) 地域における在宅療養、福祉・介護の連携推進
 - (2) 包括的な母子支援のための看護機能の強化
 - (3) 訪問看護ステーションの人材育成と機能強化及び看多機の普及啓発

- 2 看護職の働き方改革の推進
 - (1) 勤務環境改善（多様な勤務形態、タスクシフト/シェア）の推進
 - (2) 領域別・地域別偏在の改善に向けた看護職確保
 - (3) 医療職俸給表（三）の職位表の見直しの推進

- 3 専門職としてのキャリア継続への支援と役割拡大
 - (1) 継続教育への支援
 - (2) 看護師基礎教育4年制化について検討
 - (3) 統括保健師の統括マネジメント力の強化
 - (4) 特定行為研修制度の活動推進
 - (5) 認定看護師等の活用を推進するための取り組み

- 4 新興感染症の対応及び災害発生時看護支援活動の推進
 - (1) 災害支援ナース（災害・新興感染症対応）の養成・応援派遣体制整備
 - (2) 平時における感染対策の推進
 - (3) BCP（業務継続計画）の作成

令和5年度 事業計画

本会は、公衆衛生の向上を目的とした公益目的事業並びに、その公益目的事業の推進に資するための収益事業を日本看護協会と連携し、次のとおり行う。

○事業計画は、定款第5条の6事業に沿って掲載

- 1 教育等看護の質の向上に関する事業
- 2 学術研究の振興に関する事業
- 3 看護業務の開発、看護制度の改善等に関する事業
- 4 看護職の労働環境等の改善及び福祉の向上に関する事業
- 5 訪問看護の実施等地域の保健医療福祉の向上に関する事業
- 6 その他本会の目的を達成するために必要な事業

1 教育等看護の質の向上に関する事業（公益目的事業） ・下線は新規等事業

実 施 内 容	事業活動支出 予算（千円）
1-1 継続教育に関する事業 1 教育計画の企画・実施・評価 (1) 令和5年度教育計画の広報・実施・評価 ・84研修 ・研修実施の評価を研修後アンケートにて実施 ・広報：「研修計画冊子」「看護とやま」「ホームページ」等 (2) 一般研修 ・73研修 (3) 日本看護協会と連携した研修 ①認知症高齢者の看護実践に必要な知識（2日間） ②小児在宅移行支援指導者育成研修（2日間） ③医療安全管理者養成研修 ④災害支援ナース（災害・新興感染症対応）養成研修 ⑤外来における在宅療養支援能力向上のための研修 (4) 糖尿病重症化予防（フットケア）研修（3日間） (5) 看護職員認知症対応力向上研修会（3日間） (6) 摂食・嚥下障害看護認定看護師フォローアップ研修 2 認定看護管理者の育成 (1) 認定看護管理者教育（ファーストレベル課程） 111時間 50人 (2) 認定看護管理者教育（セカンドレベル課程） 180時間 25人 3 実習指導者育成 (1) 保健師助産師看護師等実習指導者講習会 180時間 40人 (2) 保健師助産師看護師等実習指導者講習会（特定分野）39時間 8人 4 看護師基礎教育4年制化を考える取り組み 5 特定行為研修制度の推進 ・指定研修機関連絡会の開催（富山県医務課主催） 6 認定看護師の活用を推進するための取り組み 7 統括保健師の統括マネジメント力強化に関する取り組み 実態把握、課題の抽出など	・令和5年度教育研修計画に掲載 ・保健師職能、助産師職能、看護師職能Ⅰ・Ⅱ、教育、社会経済福祉、看護倫理、医療安全、災害看護、学会 ・認定看護管理者教育運営委員会（年4回開催） 33,398

2 学術研究の振興に関する事業（公益目的事業）

実施内容		事業活動支出 予算（千円）
2-1 富山県看護研究学会の開催（完全オンライン学会）	・令和5年12月1日（金）より12月27日（水）まで配信	1,343
2-2 図書室運営に関する事業		

3 看護業務の開発、看護制度の改善等に関する事業（公益目的事業）

実施内容		事業活動支出 予算（千円）
3-1 医療・安全に関する事業 (1) 医療安全対策研修 (2) 医療事故調査等制度に関すること ①支援団体として登録 ②院内事故調査に関わる専門家の推薦及び派遣	・令和5年9月2日（土）	2,102
3-2 准看護師から看護師への支援事業 (1) 准看護師の進学支援研修 (2) 准看護学生への進学支援		
3-3 看護業務及び制度に関する政策提言 (1) 職能委員会、委員会活動 (2) 行政・関係団体等からの委員委嘱		

4 看護職の労働環境等の改善及び福祉の向上に関する事業（公益目的事業）

実施内容		事業活動支出 予算（千円）
4-1 看護職員のキャリアアップに伴う環境整備改善 (1) <u>医療職（三）俸給表の見直しの推進</u>	・表彰式 令和5年5月7日（日） ・令和5年8月10日（木） 令和5年12月13日（水）	25,485
4-2 働きやすい労働環境づくり支援事業 (1) 富山県ナースセンター事業 ①看護師等就業促進事業 ア ナースセンター求人・求職登録事業 イ 看護師等免許保持者届出事業 ウ 看護職員就職アドバイザー事業 エ 移動就業相談事業 オ 就業支援専門員配置事業（ハローワーク7か所） カ ナースセンターサテライト事業（新川・射水・砺波地区） キ ナースセンター・ハローワーク連携事業 ク 看護職員再就業支援研修 <u>e-ラーニングを活用した研修の導入</u> ケ 就職ガイダンス コ 登録看護職員就業希望条件等の調査 サ 看護職員・看護大学生Uターン促進事業 シ 養成機関共同PR事業 ②看護職員定着支援事業 ア 看護職員体験談募集・表彰 イ 看護職員定着支援シンポジウム ③看護普及推進事業 ア 看護体験学習等 ④看護学生就労啓発事業 (2) 地域に必要な看護職確保推進事業 (3) 医療勤務環境改善支援センター病院サポート事業 ①看護職のWLB推進事業報告会		

5 訪問看護の実施等地域の保健医療福祉の向上に関する事業（公益目的事業）

実施内容		事業活動支出 予算（千円）
<p>5-1 訪問看護支援事業（富山県訪問看護総合支援センター事業）</p> <p>(1) 訪問看護支援強化事業</p> <p>①訪問看護コールセンター</p> <p>②訪問看護の普及啓発</p> <p>③訪問看護の機能強化</p> <p>④訪問看護運営支援アドバイザー派遣</p> <p>⑤小児医療対応力向上技術研修</p> <p>(2) 訪問看護師人材確保事業</p> <p>①新卒看護師育成に関する事業 新卒訪問看護師育成試行事業（新）</p> <p>②訪問看護インターンシップ等新卒看護師の就労促進</p> <p>③訪問看護キャリア支援セミナー</p> <p>(3) 訪問看護師人材育成事業</p> <p>①「訪問看護eラーニング」を活用した訪問看護師養成講習会</p> <p>②訪問看護従事者等研修会</p> <p>③訪問看護ステーション管理者育成研修会</p> <p>(4) 訪問看護推進事業（在宅ケア事例検討会等）</p> <p>(5) 訪問看護トライアル雇用事業</p> <p>(6) 訪問看護・医療機関相互研修事業 （出向、研修受入、スキルアップ研修）</p> <p>(7) 訪問看護ステーションサポート事業</p> <p>(8) 訪問看護災害時支援体制整備事業</p> <p>(9) 医療的ケア児等訪問看護体制整備事業</p> <p>(10) 富山県訪問看護ステーション連絡協議会等との連携・支援</p> <p>5-2 訪問看護ステーション活動の推進</p> <p>(1) 訪問看護ステーションひよどり</p> <p>(2) 訪問看護ステーションひよどり富山</p> <p>5-3 地域包括システムにおける活動の推進</p> <p>(1) 居宅介護支援事業所ひよどり富山</p> <p>(2) 神明・五福地域包括支援センター</p>		119,715

6 その他本会の目的を達成するために必要な事業（公益目的事業）

実施内容		事業活動支出 予算（千円）
<p>6-1 新興感染症に関する事業</p> <p>(1) 医療機関への支援</p> <p>(2) 医療機関、高齢者施設等 への感染管理認定看護師の派遣</p> <p>(3) 再就業支援研修の充実</p> <p>(4) 平時における感染対策の推進</p> <p>6-2 県民の健康の増進・啓発に関する事業</p> <p>(1) 看護の心普及啓発事業</p> <p>①「看護の日・看護週間」行事の実施</p> <p>ア 「看護の日」看護フェスティバル</p> <p>イ ふれあい看護体験</p> <p>ウ 日本看護協会PRバスの運行</p> <p>②高校生の一日看護見学</p> <p>③看護師等養成機関共同PR事業</p> <p>④看護普及推進事業</p>	<p>・令和5年5月7日(日)：富山県看護研修センター</p> <p>・令和5年5月12日(金)：富山・黒部方面</p>	8,746

実施内容	事業活動支出 予算(千円)
<p>6-3 支部における看護職連携構築の推進事業</p> <p>(1) 地区支部活動</p> <p>①地域のニーズに応じた看護活動</p> <p>②研修会</p> <p>③まちの保健室</p> <p>④「看護の日」及び看護週間における事業</p> <p>⑤フレイル予防活動</p> <p>6-4 地域における看護職のネットワーク強化事業</p> <p>(1) 地域における看護職ネットワーク強化事業</p> <p>①施設訪問</p> <p>②出前講座</p> <p>6-5 災害時の看護支援活動に関する事業</p> <p>(1) 災害看護ネットワークづくりの推進</p> <p>(2) <u>災害支援ナース(災害・新興感染症対応)の養成・応援派遣体制整備</u></p> <p>(3) 災害支援マニュアル等の更新</p> <p>(4) 防災訓練等に関すること</p> <p>(5) 富山県における災害発生時対応体制の検討 BCP(業務継続計画)策定</p> <p>6-6 広報活動</p> <p>(1) 看護職及び県民等への広報</p> <p>①看護とやま発行・配布</p> <p>②ホームページの内容充実</p> <p>③県医師会報、自治体広報等で情報提供</p> <p>④新聞広告、テレビ等で情報提供</p> <p>6-7 法人管理に関する事業</p> <p>(1) 内部管理体制の強化</p> <p>①定時総会 1回</p> <p>②理事会</p> <p>③職能集会 1回</p> <p>④職能委員会</p> <p>⑤委員会</p> <p>・合同委員会</p> <p>⑥支部役員会</p> <p>・支部長会</p> <p>⑦職員の人事管理・労務管理の充実</p> <p>(2) 会員登録制度の充実</p> <p>①会員募集</p> <p>②会員登録</p> <p>ア 新規・更新会員の受付及び新会員情報管理体制「ナースシップ」の運用管理</p> <p>イ キャリナースの機能強化</p> <p>③新会員情報管理体制構築</p> <p>(3) 会員支援の充実</p> <p>①表彰</p>	<p>・インターネット配信研修 災害支援ナース(災害・新興感染症対応)養成研修</p> <p>・災害看護研修(フォローアップ編) 令和5年10月26日(木)、11月14日(火)</p> <p>①災害支援ナース派遣調整合同訓練(日本看護協会等)</p> <p>②富山県総合防災訓練</p> <p>③富山県原子力防災訓練</p> <p>・年4回発行(4月、7月、10月、1月)</p> <p>・令和5年6月17日(土)</p> <p>・4, 5, 6, 8, 10, 12, 1, 3月</p> <p>・令和5年6月17日(土)</p> <p>・令和5年6月21日(水)</p> <p>・令和5年6月21日(水)</p> <p>・年2回</p>

実施内容	事業活動支出 予算(千円)
<p>②各受賞候補者の推薦 ③会員への福利厚生 ア 各種見舞(災害等)の支給 イ 物故会員への弔慰</p> <p>6-8 渉外活動 (1)自治体への要望提案 (2)関係団体との連携 ①構成団体の一員としての活動 ②関係団体の会議への参加、情報交換、委員等派遣 ③後援・推薦等依頼への協力 (4)保守修繕 (5)地域活動(町内会等への協力、連携) ・子ども110番の家等 (6)駐車場の確保・運営</p> <p>6-9 日本看護協会との連携 (1)会議等 ①日本看護協会通常総会 ②全国職能別交流集会 ③理事会 ④法人会員会(中央) ⑤地区別法人会員会・職能委員長会 開催県:三重県 ⑥全国職能委員長会 ⑦その他の会議 ・都道府県看護協会看護労働担当者会議 ・ナースセンター事業担当者会議 ・都道府県看護協会会員情報交換会 ・都道府県看護協会政策責任者会議 ・都道府県看護協会広報担当者役員会議 ・訪問看護連絡協議会合同会議 ・都道府県看護協会災害看護担当者会議 ・都道府県看護協会事務担当者会議 ・都道府県看護協会医療安全担当者役員会議 ・全国准看護師制度担当役員会議 ・全国基礎教育担当役員会 ・都道府県看護協会教育担当者会議</p>	<p>・令和5年6月7日(水) 千葉幕張メッセ(千葉県) ・令和5年6月8日(木) 千葉幕張メッセ(千葉県) ・年6回:東京JNAホール ・年5回:東京JNAホール ・令和5年10月12日(木)、13日(金) 三重県 ・未定</p> <p>・令和5年5月24日(水) ・令和5年6月2日(金) ・令和5年7月5日(水) ・令和5年9月21日(木) ・令和5年11月6日(月) ・令和5年11月17日(金) ・未定 ・未定 ・未定 ・未定 ・未定</p>

令和5年度 収支予算

令和5年度収支予算書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(千円)

科 目	当 年 度 予 算 額	前 年 度 予 算 額	増 減	備 考
一般正味財産増減の部				
経常増減の部				
1) 経常収益				
受 取 会 費	55,000	54,900	100	
受 取 会 費	55,000	54,900	100	
受 取 会 館 運 営 基 金	18,000	18,000	0	
受 取 会 館 運 営 基 金	18,000	18,000	0	
事 業 収 益	129,667	134,058	△ 4,391	
受 講 料 収 益	26,769	22,530	4,239	
学 会 事 業 収 益	1,745	1,800	△ 55	
訪 問 看 護 事 業 収 益	69,096	74,496	△ 5,400	
居 宅 介 護 支 援 費 収 益	6,466	9,439	△ 2,973	
地 域 包 括 支 援 セ ン タ ー 受 託 収 益	24,581	24,713	△ 132	
そ の 他 の 事 業 収 益	1,010	1,080	△ 70	
受 取 補 助 金 等 収 益	75,258	210,468	△ 135,210	
受 取 県 補 助 金 等 収 益	63,954	182,910	△ 118,956	
受 取 看 護 職 員 研 修 補 助 金	2,268	2,268	0	
受 取 看 護 職 員 定 着 支 援 事 業 補 助 金	420	420	0	
受 取 新 人 看 護 職 員 指 導 者 研 修 事 業 受 託 収 益	2,035	2,262	△ 227	
受 取 保 健 師 助 産 師 看 護 師 等 実 習 指 導 者 講 習 会 事 業 受 託 収 益	2,050	2,050	0	
受 取 看 護 職 員 資 質 向 上 実 務 受 託 収 益	820	820	0	
受 取 看 護 師 等 就 労 促 進 事 業 受 託 収 益	22,924	22,024	900	
受 取 訪 問 看 護 推 進 事 業 受 託 収 益	510	510	0	
受 取 看 護 職 員 就 業 支 援 事 業 受 託 収 益	3,207	3,207	0	
受 取 訪 問 看 護 綜 合 支 援 セ ン タ ー 運 営 事 業 受 託 収 益	21,300	10,207	11,093	
受 取 看 護 師 等 免 許 保 持 者 届 出 事 業 受 託 収 益	1,610	1,610	0	
受 取 看 護 普 及 推 進 事 業 受 託 収 益	785	785	0	
受 取 医 療 勤 務 環 境 改 善 支 援 セ ン タ ー 事 業 受 託 収 益	1,200	1,200	0	
受 取 訪 問 看 護 職 員 確 保 ・ 定 着 の た め に 働 き 方 改 革 推 進 事 業	0	4,200	△ 4,200	
受 取 訪 問 看 護 ス テ ー シ ョ ン 業 務 改 善 推 進 事 業	0	3,000	△ 3,000	
受 取 訪 問 看 護 ス テ ー シ ョ ン 連 携 加 速 化 事 業 受 託 収 益	0	5,093	△ 5,093	
受 取 看 護 職 員 認 知 症 対 応 力 向 上 研 修 事 業 収 益	917	917	0	
受 取 訪 問 看 護 ス テ ー シ ョ ン サ ポ ー ト 事 業 受 託 収 益	0	1,800	△ 1,800	
受 取 精 神 科 訪 問 看 護 師 育 成 支 援 事 業 受 託 収 益	300	300	0	
受 取 専 門 職 に よ る 保 健 指 導 支 援 事 業	1,408	991	417	
受 取 新 型 コ ー ー 軽 症 者 宿 泊 療 養 施 設 健 康 管 理 整 備 事 業	0	119,246	△ 119,246	
受 取 医 療 的 ケ ア 児 等 訪 問 看 護 体 制 整 備 事 業	2,200	0	2,200	
受 取 富 山 市 受 託 収 益	0	17,248	△ 17,248	
受 取 日 看 協 受 託 収 益	11,304	10,310	994	
受 取 会 員 登 録 事 務 受 託 費 収 益	2,076	2,077	△ 1	
受 取 法 人 会 員 助 成 金 収 益	8,228	8,233	△ 5	
受 取 地 域 に 必 要 な 看 護 職 確 保 推 進 事 業 受 託 収 益	1,000	0	1,000	
受 取 補 助 金 振 替 額	6,627	6,627	0	
受 取 補 助 金 振 替 額	6,627	6,627	0	
雑 収	2,551	2,769	△ 218	

科 目	当 年 度 額	前 年 度 額	増 減	備 考
受 取 利 息	0	2	△ 2	
減 価 償 却 引 当 資 産 受 取 利 息	0	2	△ 2	
そ の 他 の 雑 収	2,551	2,767	△ 216	
経 常 収 益 計	287,103	426,822	△ 139,719	
2) 経常費用			0	
事 業 費	255,049	395,405	△ 140,356	
役 員 報 酬	7,920	7,959	△ 39	
給 料 手 当	93,111	92,644	467	
臨 時 雇 賃 金	21,506	147,125	△ 125,619	
役 員 退 職 慰 勞 引 当 金 繰 入 額	504	504	0	
退 職 給 付 引 当 金 繰 入 額	3,158	2,978	180	
福 利 厚 生 費	15,644	19,158	△ 3,514	
役 員 賞 与 引 当 金 繰 入 額	739	739	0	
賞 与 引 当 金 繰 入 額	7,701	7,859	△ 158	
旅 費	4,315	6,172	△ 1,857	
通 信 費	7,526	7,471	55	
減 価 償 却 費	14,966	15,483	△ 517	
消 耗 什 耗 器 備 品 費	0	731	△ 731	
消 修 費	4,100	3,949	151	
修 繕 費	940	248	692	
印 刷 製 図 本 書 費	4,853	4,907	△ 54	
新 燃 料 費	834	610	224	
光 熱 水 料 費	1,198	1,040	158	
賃 借 料 費	3,910	3,532	378	
保 險 料 費	12,403	15,167	△ 2,764	
諸 委 託 報 費	2,115	1,515	600	
支 店 報 費	13,829	12,760	1,069	
租 税 公 課 費	7,617	6,431	1,186	
支 払 税 金	4,033	2,962	1,071	
支 払 租 税 公 課 金	9,000	19,983	△ 10,983	
支 払 租 税 公 課 金	1,160	256	904	
支 払 租 税 公 課 金	10,185	11,450	△ 1,265	
支 払 租 税 公 課 金	1,782	1,772	10	
管 理 費	31,721	30,517	1,204	
役 員 報 酬	5,760	5,785	△ 25	
給 料 手 当	5,334	5,403	△ 69	
臨 時 雇 賃 金	19	18	1	
役 員 退 職 慰 勞 引 当 金 繰 入 額	336	336	0	
退 職 給 付 引 当 金 繰 入 額	79	156	△ 77	
福 利 厚 生 費	1,395	1,245	150	
役 員 賞 与 引 当 金 繰 入 額	493	493	0	
賞 与 引 当 金 繰 入 額	405	129	276	
旅 費	239	239	0	
通 信 費	1,160	1,084	76	
減 価 償 却 費	161	819	△ 658	
消 耗 什 耗 器 備 品 費	3,742	3,706	36	
消 修 費	0	210	△ 210	
修 繕 費	214	180	34	
印 刷 製 図 本 書 費	125	233	△ 108	
新 燃 料 費	1,848	1,879	△ 31	
光 熱 水 料 費	81	81	0	
賃 借 料 費	27	24	3	
賃 借 料 費	1,473	883	590	
賃 借 料 費	3,528	2,114	1,414	

科 目	当 年 度 額	前 年 度 額	増 減	備 考
保 諸 委 租 支 支 雑	54 53 1,434 2,796 340 10 615	43 111 1,688 3,208 182 20 248	11 △ 58 △ 254 △ 412 158 △ 10 367	
料 金 費 課 金 金 費				
險 謝 託 公 担 付				
經 常 費 用 計	286,770	425,922	△ 139,152	
当 期 經 常 増 減 額	333	900	△ 567	
経常外増減の部			0	
1. 経常外収益			0	
経 常 外 収 益 計	0	0	0	
2. 経常外費用計			0	
経 常 外 費 用 計	0	0	0	
当 期 經 常 外 増 減 額	0	0	0	
税 引 前 当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	333	900	△ 567	
法 人 税、 住 民 税 及 び 事 業 税			0	
当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	333	900	△ 567	
一 般 正 味 財 産 期 首 残 高	740,898	739,998	900	
一 般 正 味 財 産 期 末 残 高	741,231	740,898	333	
指定正味財産増減の部			0	
一 般 正 味 財 産 へ の 振 替 額	△ 6,627	△ 6,627	0	
受 取 地 方 公 共 団 体 補 助 金	0	0	0	
当 期 指 定 正 味 財 産 増 減 額	△ 6,627	△ 6,627	0	
指 定 正 味 財 産 期 首 残 高	234,454	241,081	△ 6,627	
指 定 正 味 財 産 期 末 残 高	227,827	234,454	△ 6,627	
正味財産期末残高	969,058	975,352	△ 6,294	

令和5年度収支予算書内訳表

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(千円)

科 目	公益目的 事業会計	法人会計	内部取引控除	合計
一般正味財産増減の部				
経常増減の部				
1) 経常収益				
受 取 会 費	27,500	27,500		55,000
受 取 会 費	27,500	27,500		55,000
受 取 会 館 運 営 基 金	9,000	9,000		18,000
受 取 会 館 運 営 基 金	9,000	9,000		18,000
事 業 収 益	129,667			129,667
受 講 料 収 益	26,769			26,769
学 会 事 業 収 益	1,745			1,745
訪 問 看 護 事 業 収 益	69,096			69,096
居 宅 介 護 支 援 費 収 益	6,466			6,466
地 域 包 括 支 援 セ ン タ ー 受 託 収 益	24,581			24,581
そ の 他 の 事 業 収 益	1,010			1,010
受 取 補 助 金 等 収 益	74,220	1,038		75,258
受 取 県 補 助 金 等 収 益	63,954			63,954
受 取 看 護 職 員 研 修 補 助 金	2,268			2,268
受 取 看 護 職 員 定 着 支 援 事 業 補 助 金	420			420
受 取 新 人 看 護 職 員 指 導 者 研 修 事 業 受 託 収 益	2,035			2,035
受 取 保 健 師 助 産 師 看 護 師 等 実 習 指 導 者 講 習 会 事 業 受 託 収 益	2,050			2,050
受 取 看 護 職 員 資 質 向 上 実 務 受 託 収 益	820			820
受 取 看 護 師 等 就 労 促 進 事 業 受 託 収 益	22,924			22,924
受 取 訪 問 看 護 推 進 事 業 受 託 収 益	510			510
受 取 看 護 職 員 就 業 支 援 事 業 受 託 収 益	3,207			3,207
受 取 訪 問 看 護 総 合 支 援 セ ン タ ー 運 営 事 業 受 託 収 益	21,300			21,300
受 取 看 護 師 等 免 許 保 持 者 届 出 事 業 受 託 収 益	1,610			1,610
受 取 看 護 普 及 推 進 事 業 受 託 収 益	785			785
受 取 医 療 勤 務 環 境 改 善 支 援 セ ン タ ー 事 業 受 託 収 益	1,200			1,200
受 取 看 護 職 員 認 知 症 対 応 力 向 上 研 修 事 業 収 益	917			917
受 取 精 神 科 訪 問 看 護 師 育 成 支 援 事 業 受 託 収 益	300			300
受 取 専 門 職 に よ る 保 健 指 導 支 援 事 業	1,408			1,408
受 取 医 療 的 ケ ア 児 等 訪 問 看 護 体 制 整 備 事 業	2,200			2,200
受 取 日 看 協 受 託 収 益	10,266	1,038		11,304
受 取 会 員 登 録 事 務 受 託 費 収 益	1,038	1,038		2,076
受 取 法 人 会 員 助 成 金 収 益	8,228			8,228
受 取 地 域 に 必 要 な 看 護 職 確 保 推 進 事 業 受 託 収 益	1,000			1,000
受 取 補 助 金 振 替 額	5,741	886		6,627
受 取 補 助 金 振 替 額	5,741	886		6,627
雑 収 益	1,851	700		2,551
そ の 他 の 雑 収 益	1,851	700		2,551
経 常 収 益 計	247,979	39,124	0	287,103
2) 経常費用				
事 業 費	255,049			255,049
役 員 報 酬	7,920			7,920
給 料 手 当	93,111			93,111
臨 時 雇 賃 金	21,506			21,506
役 員 退 職 慰 労 引 当 金 繰 入 額	504			504

科 目		公益目的 事業会計	法人会計	内部取引控除	合計
退職給付引当金繰入額		3,158			3,158
福利引当金繰入額		15,644			15,644
役員賞与引当金繰入額		739			739
旅通減消消修印新燃光賃保諸委広租支支雑		7,701			7,701
	費用	4,315			4,315
	信価	7,526			7,526
	什耗	14,966			14,966
	什耗	0			0
	什耗	4,100			4,100
	什耗	940			940
	刷聞	4,853			4,853
	刷聞	834			834
	熱	1,198			1,198
	熱	3,910			3,910
	熱	12,403			12,403
	熱	2,115			2,115
	熱	13,829			13,829
	熱	7,617			7,617
	熱	4,033			4,033
	熱	9,000			9,000
	熱	1,160			1,160
	熱	10,185			10,185
	熱	1,782			1,782
管 理			31,721		31,721
役員報手賃			5,760		5,760
臨時雇賃			5,334		5,334
退職慰勞引当金繰入額			19		19
福利引当金繰入額			336		336
役員賞与引当金繰入額			79		79
旅通減消消修印新燃光賃保諸委広租支支雑			1,395		1,395
	費用		493		493
	信価		405		405
	什耗		239		239
	什耗		1,160		1,160
	什耗		161		161
	什耗		3,742		3,742
	什耗		0		0
	什耗		214		214
	什耗		125		125
	刷聞		1,848		1,848
	刷聞		81		81
	熱		27		27
	熱		1,473		1,473
	熱		3,528		3,528
	熱		54		54
	熱		53		53
	熱		1,434		1,434
	熱		2,796		2,796
	熱		340		340
	熱		10		10
	熱		615		615

科 目	公益目的 事業会計	法人会計	内部取引控除	合計
経 常 費 用 計	255,049	31,721		286,770
当 期 経 常 増 減 額	△ 7,070	7,403		333
経常外増減の部				
1. 経常外収益				
経 常 外 収 益 計				0
2. 経常外費用計				
経 常 外 費 用 計				0
当 期 経 常 外 増 減 額				0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 7,070	7,403		333
法人税、住民税及び事業税				
当期一般正味財産増減額	△ 7,070	7,403		333
一般正味財産期首残高	466,117	274,781		740,898
一般正味財産期末残高	459,047	282,184		741,231
指定正味財産増減の部				
一般正味財産への振替額	△ 5,741	△ 886		△ 6,627
受取地方公共団体補助金				0
当期指定正味財産増減額	△ 5,741	△ 886		△ 6,627
指定正味財産期首残高	183,527	50,927		247,708
指定正味財産期末残高	177,786	50,041		227,827
正味財産期末残高	636,833	332,225		969,058

令和5年度収支予算書内訳表（公益目的事業会計）

令和5年4月1日より令和6年3月31日まで

(千円)

科 目	公衆衛生の向上を目的とする事業							合計
	1. 教育等 看護の質の 向上に関する 事業	2. 富山県 看護研究学 会の開催等 の学術研究の 振興に関する 事業	3. 看護業 務の開発、 看護制度の 改善等に関 する事業	4. 看護職 の労働環境 等の改善及 び福祉の向 上による県 民の健康及 び福祉の増 進に関する 事業	5. 訪問看 護の実施等 地域の保健 医療福祉に 関する事業	6. その他 本会の目的 を達成する ために必要 な事業	7. 公益目 的の共通事業	
I 一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
1) 経常収益								
受取会費							27,500	27,500
受取会費							27,500	27,500
受取会館運営基金収益							9,000	9,000
受取会館運営基金収益							9,000	9,000
事業収益	25,194	1,745	1,575	561	100,143	500	0	129,718
受講料収益	25,194		1,575					26,769
学会事業収益		1,745						1,745
訪問看護事業収益					69,096			69,096
居宅介護支援費収益					6,466			6,466
地域包括支援センター受託収益					24,581			24,581
その他の事業収益				561		500		1,061
受取補助金等	7,970	0	420	27,276	25,090	3,298	10,166	74,220
受取県補助金等	7,970	0	420	27,276	25,090	3,198	0	63,954
受取看護職員研修補助金	1,848		420					2,268
受取看護職員定着支援事業補助金				420				420
受取新人看護職員指導者研修会事業受託収益	2,035							2,035
受取保健師助産師看護師等実習指導者講習会事業受託収益	2,050							2,050
受取看護職員資質向上実務研修受託収益	820							820
受取看護師等就労促進事業受託収益				20,054	1,080	1,790		22,924
受取訪問看護推進事業受託収益					510			510
受取看護職員就業支援事業受託収益				3,207				3,207
受取訪問看護総合支援センター運営事業受託収益					21,300			21,300
受取看護師等免許保持者届出事業受託収益				1,610				1,610
受取看護普及事業受託収益				785				785
受取医療勤務環境改善支援センター事業受託収益				1,200				1,200
受取看護職員認知症対応力向上研修事業受託収益	917							917
受取精神科訪問看護師育成支援事業受託収益	300							300
受取専門職による保健指導支援事業						1,408		1,408
受取医療的ケア児等訪問看護体制整備事業					2,200			2,200
受取日看協受託収益						100	10,166	10,266
受取会員登録事務受託費収益							1,038	1,038
受取法人会員助成金						100	8,128	8,228
受取地域に必要な看護職確保推進事業受託収益							1,000	1,000
受取補助金振替額							5,741	5,741
受取補助金振替額							5,741	5,741
雑収益	345				600		855	1,800
その他の雑収益	345				600		855	1,800
経常収益計	33,509	1,745	1,995	27,837	125,833	3,798	53,262	247,979
2) 経常費用								
事業費	33,398	1,343	2,102	25,485	119,715	8,746	64,260	255,049
役員報酬	3,000						4,920	7,920
給料手当	6,704		993	8,032	67,534	200	9,648	93,111
臨時雇賃金	1,268			7,181	11,293		1,764	21,506
役員退職慰労引当金繰入額							504	504
退職給付引当金繰入額							3,158	3,158
福利厚生費				1,997	11,328		2,319	15,644
役員賞与引当金繰入額							739	739
賞与引当金繰入額							7,701	7,701
旅費交通費	2,095	21	221	60	406	1,512		4,315
通信運搬費	1,137	24	51	784	3,693	1,237	600	7,526
減価償却費							14,966	14,966
消耗什器備品費								0
消耗品費	1,686	20	194	90	1,119	691	300	4,100

科 目	公衆衛生の向上を目的とする事業							合計
	1. 教育等 看護の質の 向上に関する 事業	2. 富山県 看護研究学 会の開催等 学術研究の 振興に関する 事業	3. 看護業 務の開発、 看護制度の 改善等に関 する事業	4. 看護職 の労働環境 等の改善及 び福祉の向 上による県 民の健康及 び福祉の増 進に関する 事業	5. 訪問看 護の実施等 地域の保健 医療福祉に 関する事業	6. その他 本会の目的 を達成する ために必要 な事業	7. 公益目 的の共通事業	
修 繕 費	542				20	3	375	940
印 刷 費	1,314	740		1,946	480	353	20	4,853
新 燃 料 費	595				40	199		834
光 熱 料 費				210	1,142	56		1,198
賃 借 料 費	4,356		144	1,005	470		3,230	3,910
保 険 料 費	12				5,958	240	700	12,403
諸 謝 金 費	8,352	80	477	322	1,886		217	2,115
委 託 費	1,540	430		1,150	2,110	2,488		13,829
広 告 費				2,610	878		3,619	7,617
租 税 公 担 金					100	1,323		4,033
支 払 負 担 金	375				585		9,000	9,000
支 払 助 成 金					10,185		200	1,160
支 雑 費	422	28	22	98	488	444	280	17,550
経 常 費 用 計	33,398	1,343	2,102	25,485	119,715	8,746	64,260	255,049
当 期 経 常 増 減 額	111	402	△ 107	2,352	6,118	△ 4,948	△ 10,998	△ 7,070
Ⅱ 経常外増減の部								0
1. 経常外収益								0
経 常 外 収 益 計								0
2. 経常外費用計								0
経 常 外 費 用 計								0
当 期 経 常 外 増 減 額								0
税 引 前 当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	111	402	△ 107	2,352	6,118	△ 4,948	△ 10,998	△ 7,070
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税								0
当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	111	402	△ 107	2,352	6,118	△ 4,948	△ 10,998	△ 7,070
一 般 正 味 財 産 期 首 残 高								466,117
一 般 正 味 財 産 期 末 残 高								459,047
指 定 正 味 財 産 増 減 の 部								
一 般 会 計 へ の 振 替 額							△ 5,741	△ 5,741
受 取 地 方 公 共 団 体 補 助 金								
当 期 指 定 正 味 財 産 増 減 額							△ 5,741	△ 5,741
指 定 正 味 財 産 期 首 残 高								183,527
指 定 正 味 財 産 期 末 残 高								177,786
正味財産期末残高								636,833

資金調達及び設備投資の見込みについて

(1) 資金調達の見込みについて

借入れの予定		<input type="checkbox"/> あり	<input checked="" type="checkbox"/> なし
事業番号	借入先	金額	
		円	

(2) 設備投資の見込みについて

設備投資の予定		<input type="checkbox"/> あり	<input checked="" type="checkbox"/> なし
事業番号	設備投資の内容	支出予定額	資金調達方法
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
合 計		0 円	

資 料

令和5年度優良看護職員表彰者名簿	103
------------------	-----

[第2号議案 令和4年度事業報告(案)資料]

令和4年度 研修会等実施状況報告	104
令和4年度 認定看護管理者教育課程 教育運営委員会	116
令和4年度 看護師基礎教育4年制への情報収集	117
令和4年度 感染管理認定看護師派遣事業	118
令和4年度 富山県ナースセンター事業報告	119
令和4年度 富山県訪問看護総合支援センター事業報告	134
令和4年度 訪問看護ステーションひよどり事業報告	142
令和4年度 訪問看護ステーションひよどり富山事業報告	145
令和4年度 ひよどり富山居宅介護支援事業所事業報告	150
令和4年度 神明・五福地域包括支援センター事業報告	153
令和4年度 富山県における災害発生時対応体制の検討報告	156
令和4年度 支部長会報告	157
令和4年度 その他の助成事業報告	158
令和5年度 富山県行政への要望事項	160
令和4年度 行政機関および関連団体等からの委員等の就任状況	162
令和4年度 他団体等への推薦	164
令和4年度 後援・協力等依頼報告	165

[各種名簿]

令和4年度 富山県看護協会施設別・職種別会員数	166
令和4年度 受彰者名簿	168
令和4年度 富山県看護協会役員及び委員名簿	169
令和4年度 支部役員名簿	172
令和5年度 日本看護協会通常総会代議員及び予備代議員名簿	173

[委員会等報告資料]

保健師指導力アップセミナー報告	保健師職能委員会	174
人材育成研修会報告	保健師職能委員会	175
「いのちの教室」実践報告	助産師職能委員会	176
母子のための地域包括ケア推進に関するアンケート調査・結果	助産師職能委員会	177
地域包括ケアシステムの推進に向けた看看連携の取り組み報告	看護師職能Ⅰ委員会	181
在宅ケア事例検討会報告	看護師職能Ⅱ委員会	183
介護・福祉・在宅領域の施設等の管理者研修報告	看護師職能Ⅱ委員会	186

[参考資料]

会員数と入会率	188
都道府県看護協会一覧表	190
都道府県ナースセンター一覧表	191
公益社団法人富山県看護協会定款	192
公益社団法人富山県看護協会組織図	204
公益社団法人富山県看護協会職員名簿	205

令和5年度 優良看護職員表彰者名簿

◎富山県知事部門功労表彰者（5人）

五十音順

北川洋子	元石川県立看護大学附属キャリア支援センター
境信子	富山県看護協会ナースセンター
坂本奈緒子	中新川訪問看護ステーション
谷崎志津子	元富山市役所
満間信江	富山県看護協会

◎富山県看護協会会長表彰者（11人）

五十音順

秋山朝子	厚生連高岡病院
江田昌江	魚津市役所
重松理恵	富山市立富山市民病院
加藤浩子	富山市役所
河村瑞穂	富山県高岡厚生センター
佐伯久恵	公立学校共済組合 北陸中央病院
高嶋峰子	富山医療生活協同組合
谷村一美	公立南砺中央病院
原田洋美	特定医療法人財団五省会 西能病院
藤井里美	かみいち総合病院
藤井淳子	黒部市民病院

令和4年度 研修会等実施状況報告

◎参加状況一覧表

区分	富山県委託補助事業	会場参加型 オンライン (Zoom)研修	研修会名	開催日	期間	定員	応募者数	受講者数 (うち 非会員)	受講率 (%)	受講者の内訳				
										保	助	看	准	その他
質の高い看護の普及に向けた継続教育	※委託		看護職員資質向上実務研修	6月30日(木) 7月7日(木) 7月13日(水) 7月22日(金) 各日PM 8月25日(木)	0.5 ×4 1	50	20	9(6)	18%	0	0	9	0	0
			人材育成研修 ファシリテーションについて学ぶ ～参加したくなる会議のつくり方～	9月24日(土) PM	0.5	50	49	46(0)	92%	2	3	41	0	0
	委員会 研修		保健指導力アップセミナー ～身体メカニズムに基づく保健指導の展開方法を学ぶ～	11月12日(土) PM	0.5	50	27	24(2)	48%	24	0	0	0	0
	※補助		CTG判読と対応：基礎編～安全な分娩管理を目指して～	7月23日(土) AM	0.5	40	32	32(2)	80%	0	26	6	0	0
	委員会 研修	○	【保健師・助産師職能委員会合同研修】 「母子のための地域包括ケア」を学ぶ	7月23日(土) PM	0.5	40	25	25(0)	63%	2	18	5	0	0
	※補助		妊娠中の糖代謝異常の基礎知識・母性内科の活動について ～長期的な母子の健康維持を目指して～	9月10日(土) AM	0.5	40	27	26(0)	65%	0	21	5	0	0
			母乳育児支援の基礎について学ぼう ～母乳育児に求められるエモーショナルサポート～	11月5日(土) AM	0.5	40	18	17(0)	43%	0	15	2	0	0
			子どもの虐待とネグレクトを予防する	12月15日(木)	1	70	42	34(2)	49%	0	10	23	1	0
	委員会 研修	○	准看護師ステップアップ研修	9月3日(土) PM	0.5	20	9	8(7)	40%	0	0	0	8	0
		○	介護・福祉・在宅領域の施設等の管理者研修 ～看護管理者の役割と管理・運営・人材育成について～	R5.1月26日(木) PM	0.5	50	28	24(3)	48%	2	1	21	0	0
※補助	○	看護職員定着支援事業シンポジウム	8月9日(火) PM	0.5	50	36	31(0)	62%	0	3	28	0	0	
※委託	○	看護職のワーク・ライフ・バランス推進事業報告会	12月14日(水) PM	0.5	50	29	27(-)	54%						
ラダーと連動した継続教育	※委託		看護職員再就業支援研修	6月4日(土) AM 7月2日(土) AM 8月6日(土) AM 9月24日(土) AM	2h ×4	15	9	7(6)	47%	1	0	6	0	0
				7月2日(土) AM	2h	15	13	6(5)	40%	0	0	6	0	0
				8月6日(土) AM	2h	15	18	15(14)	100%	1	0	13	1	0
				9月24日(土) AM	2h	30	14	15(15)	50%	0	0	13	2	0
	○		新人看護職員研修Ⅰ 働き始めたあなたに！	A 6月1日(水) B 6月2日(木) C 6月3日(金)	1	100	74	71(3)	71%	0	5	66	0	0
			新人看護職員研修Ⅱ 医療者に求められる コミュニケーション	A 10月19日(水) AM B 10月19日(水) PM C 10月26日(水) AM D 10月26日(水) PM	0.5	70	69	67(1)	96%	0	6	61	0	0
			中堅看護師に役立つコミュニケーション！	7月20日(水)	1	70	67	61(4)	87%	0	6	55	0	0
			看護倫理Ⅰ 看護専門職として基本的な姿勢を学ぶ	9月9日(金)	1	70	62	54(3)	77%	1	0	53	0	0
			看護倫理Ⅱ 職場の倫理風土を育てる	10月21日(金)	1	70	48	36(4)	51%	0	0	36	0	0
	※補助		看護研究Ⅰ (楽しく学ぶ初めての看護研究)	A 5月13日(金) B 5月18日(水) C 9月6日(火)	1	70	70	65(2)	93%	1	6	58	0	0
		看護研究Ⅱ (進めよう看護研究)	A 7月12日(火) 7月14日(木) B 7月26日(火) 7月28日(木) C R5.2月2日(木) 2月6日(月)	2	50	50	48(0)	96%	0	4	44	0	0	
○		医療安全対策Ⅰ 基本的安全対策	A 7月8日(金) B 8月12日(金)	1	70	58	53(13)	76%	1	1	51	0	0	
		医療安全対策Ⅱ コミュニケーション技法	A 9月14日(水) B 10月12日(水)	1	40	31	29(4)	72%	0	2	27	0	0	
		感染対策Ⅰ 基礎編A	9月8日(木)	1	60	60	55(8)	91%	1	1	51	2	0	
		感染対策Ⅰ 基礎編B	9月15日(木)	1	70	67	54(24)	77%	0	0	46	4	4	
		感染対策Ⅱ 実践編	9月28日(水)	1	80	69	66(16)	83%	0	0	64	1	1	
		がん看護 (基礎編) がん看護に関する基礎知識	11月1日(火)	1	80	60	58(7)	73%	0	0	55	3	0	
		がん看護 (応用編) 患者・家族の意思決定支援	11月17日(木)	1	80	48	39(4)	49%	0	0	38	1	0	
		がんと共に働き生きる患者への支援	12月1日(木)	1	50	32	28(1)	56%	0	0	28	0	0	
		AYA世代特有の苦悩の理解と乳がん患者・家族への支援	12月7日(水)	1	50	30	28(0)	56%	0	2	26	0	0	
○		糖尿病の看護 基礎知識・自己管理への生活調整と支援	8月2日(火)	1	80	62	51(6)	64%	0	0	50	1	0	
		現場に活かせる褥瘡ケアA	10月11日(火)	1	80	80	73(13)	91%	1	1	71	0	0	
		現場に活かせる褥瘡ケアB	10月20日(木)	1	80	79	60(21)	75%	0	0	56	3	1	
		実践に活かす！摂食嚥下障害の理解とケア	9月22日(木)	1	80	80	72(14)	90%	0	0	70	2	0	
		高齢者に多い呼吸器循環器疾患のケアA	11月9日(水)	1	80	66	59(3)	74%	0	0	59	0	0	
		高齢者に多い呼吸器循環器疾患のケアB	11月22日(火)	1	80	44	37(10)	46%	0	0	32	5	0	
		もっと深めよう！脳卒中患者の看護	10月6日(木)	1	80	38	36(4)	45%	0	1	34	1	0	
○		優しさを伝える認知症ケア ～対象を理解することでケアが変わる～	A 7月4日(月) B 7月18日(月・祝)	1	80	64	61(11)	76%	2	0	57	2	0	
		せん妄の理解とケア	10月24日(月)	1	80	79	68(2)	85%	0	2	66	0	0	
※補助	○	心と命を守るゲートキーパー 医療従事者としてできる生きることへの支援	10月8日(土)	1	80	29	28(1)	35%	0	2	26	0	0	

区分	富山県委託補助事業	会場参加型オンライン(Zoom)研修	研修会名	開催日	期間	定員	応募者数	受講者数 (うち 非会員)	受講率 (%)	受講者の内訳				
										保	助	看	准	その他
ラダーと連続教育	※委託		精神科訪問看護師育成研修 精神疾患を抱える患者の在宅看護	9月17日(土)	1	50	21	17(8)	34%	0	0	17	0	0
			入院前から始める入退院支援	11月4日(金)	1	80	52	49(1)	61%	0	3	46	0	0
			事例から学ぶ地域における多職種連携	11月24日(木)	1	80	62	56(2)	70%	0	1	54	1	0
	※委託		訪問看護従事者等研修会	11月10日(木)	1	30	31	30(11)	100%	0	1	29	0	0
看護管理者の力量形成に向けた継続教育を推進	※委託	○ (3日目)	医療安全の観点からのリスクマネジメント	6月16日(木) 7月21日(木) 8月29日(月)	3	50	51	32(9)	64%	0	1	31	0	0
	※補助		サーバントリーダーシップ～変化に適応するリーダーとは～	11月12日(土)	1	50	50	48(1)	96%	1	2	45	0	0
			コーチングのできるリーダー育成	10月4日(火) 10月5日(水)	2	50	43	37(2)	74%	0	1	36	0	0
	DVD		【日本看護協会制作】 看護補助者の活用推進のための看護管理者研修	A 8月30日(火) B 9月20日(火)	1	50 120	46 89	45(1) 82(11)	90% 68%	0 1	0 2	45 79	0 0	0 0
	委員会 研修	○	【看護師職能 I 研修】 地域包括ケアシステムの推進に向けた看護連携の取り組み	12月16日(金) PM	0.5	50	46	45(1)	90%	0	0	45	0	0
			看護管理者看護倫理交流会 ～倫理課題に対応し解決する能力を養う～	11月25日(金) PM	0.5	50	26	25(0)	50%	0	1	24	0	0
	※委託		訪問看護ステーション管理者育成研修会	7月16日(土) 9月17日(土) 11月19日(土)	1 ×3	50 ×3	60	21(17)	42%	0	0	21	0	0
	委員会 研修		医療安全管理者のためのセーフティマネジメント交流会	8月29日(月) PM	0.5	30	26	18(3)	60%	0	1	17	0	0
	※委託		新人看護職員研修責任者・教育担当者研修	5月21日(土) 6月23日(木) 6月24日(金) 9月30日(金)	4	70	44	38(0)	54%	2	1	35	0	0
			新人看護職員実地指導者研修	5月27日(金) 5月28日(土) 6月20日(月) 2月20日(月)	4	80	81	70(4)	88%	0	3	67	0	0
の専門能力開発を支援する教育体制	※補助		看護研究Ⅲ (量的研究を学ぼう！)	7月1日(金)	1	50	39	38(0)	76%	0	1	37	0	0
			看護研究Ⅳ (迷わない研究サポート)	8月18日(木)	1	50	43	40(0)	80%	1	1	38	0	0
			医療安全対策Ⅲ 医療安全管理者に求められる役割と活動 ～医療安全のための情報収集・対策立案・実践・評価まで～	11月5日(土) PM	0.5	70	43	41(8)	59%	1	2	36	0	2
			災害看護 (フォローアップ編)	10月3日(月)	1	50	50	49(1)	98%	0	2	47	0	0
資格認定教育			<セカンドレベル公開講座> ヘルスケアサービスにおける多職種連携	7月23日(土)	1	25	18	13(0)	52%	0	0	13	0	0
			<セカンドレベル公開講座> 人材を育てるマネジメント	7月5日(火)	1	25	16	15(1)	60%	0	0	15	0	0
			<セカンドレベル公開講座> 経営資源と管理の実際	7月13日(水)	1	25	13	13(1)	52%	0	0	13	0	0
			<認定看護管理者教育課程セカンドレベル看護実践報告会>	8月10日(水) AM	0.5	50	30	29(0)	58%	0	3	26	0	0
			<ファーストレベル公開講座> 組織マネジメント概論	9月6日(火)	1	30	27	26(4)	87%	0	1	25	0	0
			<ファーストレベル公開講座> 人材育成の基礎知識	9月16日(金)	1	30	27	24(3)	80%	2	1	21	0	0
			<ファーストレベル公開講座> ヘルスケアサービスにおける看護の役割	9月22日(木)	1	30	8	7(1)	23%	0	0	7	0	0
			<ファーストレベル公開講座> 経営資源と管理の基礎知識	9月10日(土)	1	30	10	9(0)	30%	0	1	8	0	0
	※委託		<富山県保健師助産師看護師等実習指導者講習会指導案発表会>	12月20日(火)	1	40	2	2(0)	5%	0	0	2	0	0
			【DVD 研修】 小児在宅移行支援指導者育成研修	11月15日(火) 11月16日(水)	2	20	6	6(0)	30%	0	1	5	0	0
	※委託		<「訪問看護 e-ラーニング」を活用した訪問看護師養成講習会公開講座> 認知症の看護	10月29日(土)	1	30	9	6(0)	20%	0	0	6	0	0
			摂食・嚥下障害看護認定看護師フォローアップ研修 事例報告会、特別講演	R 5. 3月11日(土)	1	80	46	45(0)	56%	0	0	45	0	0
			認定看護師交流会	12月10日(土) AM	0.5	150	75	69(0)	46%					
日本看護協会研修			医療安全管理者養成研修 ※集合研修	10月27日(木)	1	20	31	28(0)	140%	0	1	27	0	0
	DVD		【INA 収録 DVD 研修】 災害支援ナースの第一歩 ～災害看護の基本的知識～	8月4日(木) 8月5日(金)	2	60	61	58(1)	97%	0	3	55	0	0
			【INA 収録 DVD 研修】 認知症高齢者の看護実践に必要な知識	10月13日(木) 10月14日(金)	2	80	58	55(11)	69%	1	2	51	1	0
			糖尿病重症化予防 (フットケア) 研修	7月7日(木) 7月8日(金) 7月9日(土)	3	30	34	33(4)	110%	0	0	33	0	0
長期研修			看護職員認知症対応力向上研修会	8月3日(水) 8月16日(火) 8月26日(金)	3	60	58	39(5)	65%	0	1	38	0	0
			認定看護管理者教育課程 ファーストレベル	9月1日(木)～ 10月7日(金)	21	50	47	48(2)	96%	0	0	48		
			認定看護管理者教育課程 セカンドレベル	6月21日(火)～ 8月9日(火)	31	25	24	24(0)	96%	0	1	23		
	※委託		富山県保健師助産師看護師等実習指導者講習会 (一般)	11月4日(金)～ 12月21日(水)	180 h	40	48	42(3)	105%	0	1	41	0	0
			富山県保健師助産師看護師等実習指導者講習会 (特定分野)	11月4日(金)～ 12月21日(水)	39 h	8	3	3(0)	38%	0	0	3	0	0
			「訪問看護 e-ラーニング」を活用した訪問看護師養成講習会	6月27日(月)～ 12月8日(木)		30	21	21(6)	70%	1	0	20	0	0
			「看護師基礎教育を考える会」	8月6日(土) PM	0.5	70	60	57(2)	81%	0	5	52	0	0
		合計						3,791 (延 7,928)						

令和4年度 教育研修アンケート結果

受講者数 3,355人
 アンケート回収数 3,297人
 アンケート回収率 98%

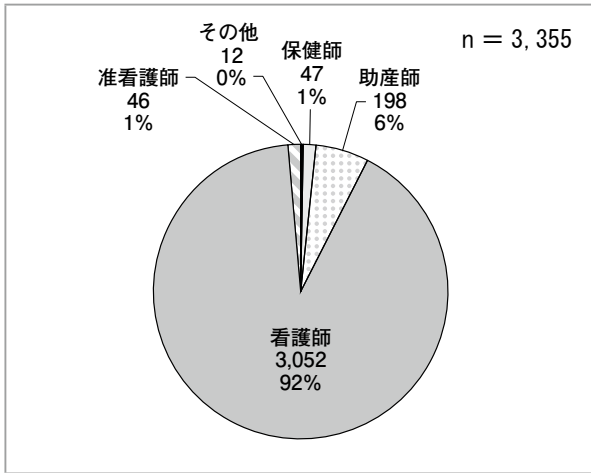


図1 職種別

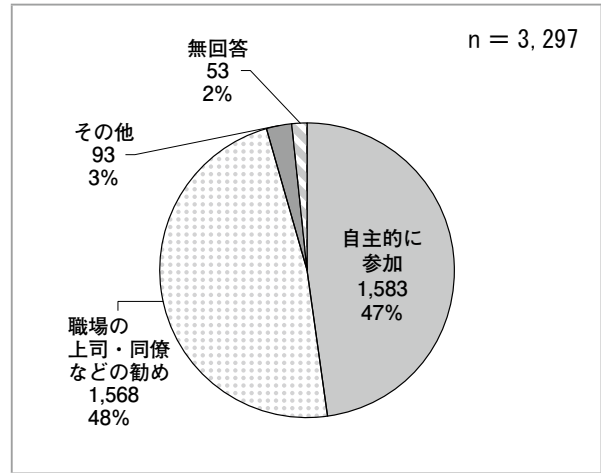


図4 受講動機

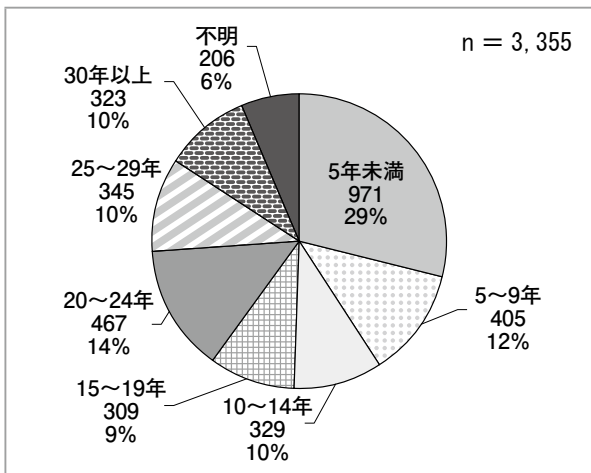


図2 経験年数別

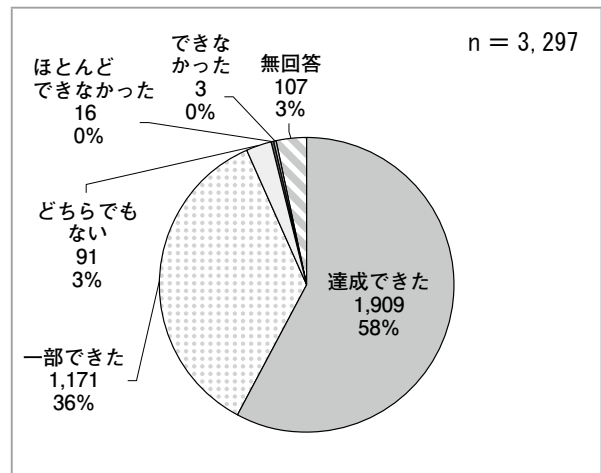


図5 研修目的の達成度

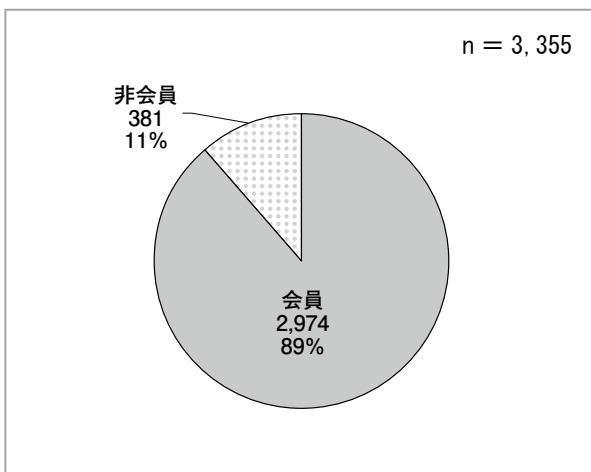


図3 会員・非会員

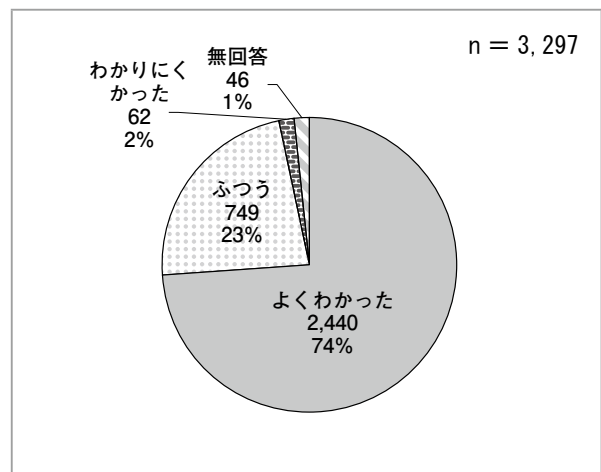


図6 研修内容について

一般研修

1「生活」と保健・医療・福祉をつなぐ質の高い看護の普及に向けた継続教育

研修名	講師	ねらい	主な内容
看護職員 資質向上実務研修	慢性呼吸器疾患看護認定看護師 富山西総合病院 椎名 菜緒美 摂食嚥下障害看護認定看護師 高岡市民病院 尾崎 佐有里	<ul style="list-style-type: none"> ・日常ケアに活かす看護実践能力を高める（高齢社会、多死時代に対応するために） ・参加者間のネットワークを拡げる機会とする 	<ul style="list-style-type: none"> ・肺炎の動向、肺の構造、聴診、呼吸介助 ・摂食嚥下障害とは、誤嚥性肺炎について、誤嚥性肺炎と口腔ケア、唾液腺マッサージ（演習） ・演習
	感染管理認定看護師 富山市立富山市民病院 安田 恵		<ul style="list-style-type: none"> ・基礎知識のおさらい（標準予防策・経路別予防策） ・疾患と感染対策 新型コロナウイルス、インフルエンザ、感染性胃腸炎（ノロウイルス）、疥癬 ・感染症発生時の対応とアウトブレイクについて ・演習：グループワーク、嘔吐物の処理、個人防護具の着脱・手指衛生
	脳卒中リハビリテーション看護認定看護師 市立砺波総合病院 池守 実智代		<ul style="list-style-type: none"> ・ロコモティブシンドロームの概念及び現状 ・演習：転倒予防のリハビリテーション
	糖尿病看護認定看護師 黒部市民病院 開 弘美		<ul style="list-style-type: none"> ・糖尿病と合併症 ・糖尿病の治療（食事・運動・薬物療法） ・低血糖、シックデイ ・フットケア
	クリティカルケア認定看護師 富山赤十字病院 浅生 かおり 富山県立中央病院 前坪 瑠美子 富山大学附属病院 宮崎 優 集中ケア認定看護師 黒部市民病院 八倉巻 考司		<ul style="list-style-type: none"> ・呼吸器系のフィジカルアセスメント ・循環器系のフィジカルアセスメント ・消化器系のフィジカルアセスメント ・脳神経系のフィジカルアセスメント ・演習：聴診、意識レベルの評価、事例検討 ・事例の発表、フィードバック ・まとめ
人材育成研修 ファシリテーションについて学ぶ ～参加したくなる 会議のつくり方～	日本ファシリテーション協会 岸 靖久	<p>職場での打合せや事例検討会、地域住民との話し合い、関係者との連絡会議などを行う上で、手応えや有意義な成果が得られる会議となるよう、参加者の意見や思いを引き出し、まとめる方法を学ぶ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・チェックイン ・ファシリテーションに関する講義 ・ワーク1 ・ワーク2 ・ワーク3 ・振り返り ・チェックアウト
CTG判読と対応：基礎編 ～安全な分娩管理を 目指して～	厚生連高岡病院 産婦人科 医長 津田 竜広	<p>モニタリングにより母体と胎児の状態を的確に判断・アセスメントし、分娩時に適切な対応をとることができる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・CTGとは～NST・CSTとの違いは～ ・RFSってどういうこと？ ・reactive・胎児 well being とは？ ・variable と uniform の話 ・CTGの読み方 ～基線・細変動・一過性頻脈／徐脈～
妊娠中の糖代謝異常の 基礎知識・母性内科の 活動について ～長期的な母子の健康維持 を目指して～	厚生連高岡病院 糖尿病・内分泌代謝内科 診療部長 島 孝佑 富山赤十字病院 助産師 野村 正子	<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠中の糖代謝異常など母児合併症リスクの高い妊娠について専門的な知識を学ぶ ・妊娠前からの健康管理・出産後の生活習慣病予防に向けた指導を学ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠中の糖代謝異常の基礎知識 ・母性内科の現状 ・妊娠前から出産後までの継続的な母子へのサポートについて
母乳育児支援の基礎に ついて学ぼう ～母乳育児に求められる エモーショナル サポート～	国際認定ラクテーション コンサルタント 黒部市民病院 水島 香苗	<ul style="list-style-type: none"> ・母乳育児の支援に必要な技術・知識・心構えを学ぶ ・母乳育児の原点を理解し、臨床での応用力を高め、エモーショナルサポートを図ることができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・「母乳育児10カ条とは」 概論 ・母乳育児支援についての基礎知識 ・演習：事例検討 グループワーク

研修名	講師	ねらい	主な内容
子どもの虐待とネグレクトを予防する	富山県富山児童相談所 所長 森田 和也 富山県立中央病院 小児科 部長 五十嵐 登 小児看護専門看護師 富山県立中央病院 松井 弘美 市立砺波総合病院 中田 史世	子どもを虐待から守るための予防的視点を学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども虐待の基本的理解 ・子どもを取り巻く社会の変化 ・子ども虐待の現状を把握する ・気がかり母と虐待の予防、早期発見・予防・対応 ・児童への支援 ・気がかりな子どもへのサポート、家族へのアプローチ ・関係機関の役割

2 ラダーと連動した継続教育

研修名	講師	ねらい	主な内容
新人看護職員研修 I 働き始めたあなたに！	富山県看護協会 会長 松原 直美	看護を取り巻く状況を知り、専門職業人としての自覚を高める	<ul style="list-style-type: none"> ・はじめに 看護職員としての責任と自覚 ・医療環境の変化の中で ・公益社団法人富山県看護協会の概況と事業
	富山県ナースセンター長 境 信子		<ul style="list-style-type: none"> ・富山県の看護職員の状況 ・看護職の離職について ・富山県ナースセンターとは？ (どんな役割をはたしているの?) ・訪問看護支援事業 ・WLB ってなんだろう ・こころの耳
	富山赤十字病院 看護師長 石黒 優子		<ul style="list-style-type: none"> ・今求められる医療安全とは ・ヒューマンエラーとインシデント報告 ・医療事故事例から学ぶ ・演習：チームの鎖 ・安全な医療を提供するためには
新人看護職員研修 II 医療者に求められるコミュニケーション	NPO 法人 アサーティブジャパン 事務局長 専属講師 牛島 のり子	<ul style="list-style-type: none"> ・社会人として求められるコミュニケーションスキルを理解する ・自己の現状のコミュニケーションスタイルを客観的に把握する ・すべての人間関係に必要なコミュニケーションスキルを身につける 	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションの基本を理解する ・自己のコミュニケーションスタイルを知る ・コミュニケーション技法を学ぶ ・演習
中堅看護師に役立つコミュニケーション！	有限会社ビジネスブレン (財)生涯学習開発財団 認定コーチ 永井 則子	<ul style="list-style-type: none"> ・中堅看護師に役立つコミュニケーション力を身につける ・多様性が重要視される中で求められる対話力について検証する ・筋道立てた説明のスキルについて学ぶ ・心理的安全性の高い職場の対話のスキルについて演習を通して学ぶ ・建設的な思考を促す質問と思考を閉ざす質問の相違を理解する ・コンフリクトが起きたときの対話への進め方を学ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション (講義・自己紹介) ・心理的安全性の重要性 (講義・グループワーク・演習) ・傾聴と問いの力 (講義・グループワーク・演習) ・論理的な説明のスキル (講義・グループワーク・演習) ・コンフリクト・マネジメントとは (講義・グループワーク・演習) ・事例研究 (講義・フィッシュボール) ・まとめ
看護倫理 I 看護専門職として基本的な姿勢を学ぶ	がん看護専門看護師 市立砺波総合病院 平 優子 富山県立中央病院 加藤 麻衣	<ul style="list-style-type: none"> ・看護実践の場において、患者の人権や倫理的問題に関心を持つことができる ・日常の看護実践で遭遇する倫理的問題に気づき、その問題を顕在化できる 	<ul style="list-style-type: none"> ・倫理とは ・倫理的行動の4つの要素 (倫理原則) ・看護専門職と倫理の関係 (看護師の倫理綱領) ・徳の倫理とケアリングの倫理 ・事例検討

研修名	講師	ねらい	主な内容
看護倫理Ⅱ 職場の倫理風土を育てる	がん看護専門看護師 富山赤十字病院 村上 真由美 訪問看護ナースソフィアにいかわ 時山 麻美	看護職が専門職として身につけるべき倫理の基礎知識を基に、ケアの受け手や周囲の人々の意思決定を支えるプロセスを学び自施設の活動に活かす	<ul style="list-style-type: none"> ・倫理原則・看護職の倫理綱領 ・臨床倫理4分割表を用いた倫理カンファレンスの実際 ・個人ワーク ・グループワーク ・全体共有 ・倫理カンファレンスの効果的な進める配慮と工夫について ・ファシリテーターとなったときの進め方の実際について ・個人ワーク ・質疑応答、アンケート記載
看護研究Ⅰ (楽しく学ぶ初めての看護研究)	富山県立大学 看護学部看護学科 母性看護学 教授 松井 弘美	日頃の疑問を看護研究に繋げる方法を学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ・看護研究のテーマの見つけ方 ・研究デザイン
看護研究Ⅱ (進めよう看護研究)	富山大学 学術研究部医学系 基礎看護学講座 准教授 吉井 美穂 奈良学園大学 保健医療学部 学部長 上野 栄一	看護研究計画書の実際を学び、作成する	<ul style="list-style-type: none"> ・方法の選択 ・対象の絞り方 ・データの集め方 ・データの分析 ・研究計画書作成 ・アンケートの作成方法 ・演習
医療安全対策Ⅰ 基本的安全対策	愛媛大学医学部附属病院 医療安全管理部 副部長 戸田 由美子	医療安全対策の基本的概念と具体的対策に関する知識を学び、安全性を高める行動がとれる	<ul style="list-style-type: none"> ・医療安全対策の基本的概念について ・医療 KYT とは？ → KYT (危険予知トレーニング) <p>< KYT の活用方法 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康問いかけ KYT ロールプレイ ・イラスト KYT グループワーク ・指示だし指示受け KYT ロールプレイ ・インシデントレポート KYT グループワーク
医療安全対策Ⅱ コミュニケーション技法	TeamSTEPPS Japan 認定トレーナー あさひ総合病院 看護部長 山本 陽子	チーム STEPPS を活用しエビデンスに基づいたチームトレーニングを学び、患者安全文化の醸成につなげる	<ul style="list-style-type: none"> ・なぜチームトレーニングが必要か ・チームの課題 ・患者家族からのメッセージ ・人は誰でも間違える ・何ができると良いのか ・チーム体制 ・チームコンベンション討論 ・チームの鎖 ・何を学べば良いのか ・ツールと戦略：様々な場面で具体化できる失敗事例を成功事例に
感染対策Ⅰ 基礎編 A	感染管理認定看護師 かみいち総合病院 金盛 美由紀 射水市民病院 伊藤 ひろみ 富山労災病院 高本 恭子 富山大学附属病院 松浦 美里	感染対策の基礎知識を理解し、看護に役立てる	<ul style="list-style-type: none"> ・標準予防策 (概論) ・標準予防策 (各論) ・経路別感染対策 ・職業感染対策について
感染対策Ⅰ 基礎編 B	感染管理認定看護師 光ヶ丘病院 吉田 輝美 富山県リハビリテーション病院・こども支援センター 吉岡 智子 厚生連滑川病院 宮坂 純香 厚生連高岡病院 窪田 恵子	標準予防策を理解し正しい感染対策 (手指衛生、予防具、環境整備、職業感染予防) を実践することができる	<ul style="list-style-type: none"> ・標準予防策、感染経路別予防策 ・個人防護具着脱演習 ・環境整備について ・職業感染対策 (血液曝露、流行性ウイルス感染症、結核) ・医療処置における感染対策 末梢・中心静脈カテーテル (ポートの管理を含む)、尿道留置カテーテルの管理 ・看護ケアにおける感染対策 経管栄養、吸引、おむつ交換
感染対策Ⅱ 実践編	感染管理認定看護師 富山県立中央病院 清水 直美 厚生連高岡病院 廣野 和子 富山県済生会高岡病院 谷淵 舞 富山大学附属病院 笹原 志央里	根拠に基づいた感染対策を実践・指導できる	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症別感染対策とアウトブレイク対応 インフルエンザ、ノロウイルス感染症 結核、流行性ウイルス (麻疹・水痘・風疹・流行性耳下腺炎)、疥癬 ・新型コロナウイルス感染症への対応 ・侵襲的処置別感染対策 尿路感染防止対策 血流感染防止対策 ・感染症発生時の対応 ～事例を通して感染対策を考える～

研修名	講師	ねらい	主な内容
がん看護（基礎編） がん看護に関する基礎知識	がん性疼痛看護認定看護師 富山大学附属病院 中屋 留美	<ul style="list-style-type: none"> ・がん患者の苦痛症状を理解し、適切なケアが実践できる ・がん患者や家族に寄り添えるサポートを学ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> ・がんの痛みの理解 ・痛みのアセスメント ・薬剤を使用した疼痛マネジメント ・副作用とケア ・痛みを緩和するケア
	がん看護専門看護師 市立砺波総合病院 平 優子		<ul style="list-style-type: none"> ・症状緩和をするための基本的な姿勢 ・症状の理解とアセスメント ・症状コントロールの実際 ・患者、家族の思いに寄り添うケア ・エンゼルケア
がん看護（応用編） 患者・家族の意思決定支援	がん性疼痛看護認定看護師 高岡ふしき病院 附属訪問看護ステーション 佐伯 睦子 緩和ケア認定看護師 富山市立富山市民病院 金丸 修子	<ul style="list-style-type: none"> ・がん患者、家族の心理と看護師の役割を理解し、援助の実際を知る ・看取りについて理解を深め、最期を迎えるための意思決定支援や多職種連携における看護職の役割を学ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> ・がん告知、終末期医療における意思決定のプロセスへの支援 ・治療経過中の患者家族の危機的状態に応じた精神的支援 ・今日の看取りと現状の課題 ・多職種連携 ・グリーンケア
がんと共に働き生きる 患者への支援	富山県がん総合相談支援センター 統括相談員 尾川 洋子 ピアサポーター	<ul style="list-style-type: none"> ・診断から復職までの患者・家族の心理を理解する ・がんと働くことの両立を支える支援を学ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> ・がん患者・家族を知る ・がん相談の現場から伝えたいこと 富山県がん総合相談支援センターの概要 相談支援 がんピアサポーターの養成・活動
AYA世代特有の苦悩の 理解と乳がん患者・ 家族への支援	富山大学附属病院 形成再建外科・美容外科 診療科長 特命教授 佐武 利彦 小児看護専門看護師 富山県立中央病院 松井 弘美 乳がん看護認定看護師 おれんじ訪問看護ステーション 加藤 直美	AYA世代の身体・心理・社会的特徴を理解した上で、治療中・治療後の患者・家族のあり方を学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ・症状の理解とアセスメント ・形成美容外科における乳がん患者の実際 ・実践事例から学ぶ：がんの痛みの理解 ・薬剤を使用した疼痛マネジメント ・副作用とケア ・痛みを緩和するケア ・AYA世代における乳がん患者の生活支援を考える
糖尿病の看護 基礎知識・自己管理への 生活調整と支援	糖尿病看護認定看護師 富山市立富山市民病院 あさなぎ病院 金盛 佐紀子 城光寺 志保	<ul style="list-style-type: none"> ・生活習慣病である糖尿病の正しい知識を知り、最新の情報やケアを学ぶ ・糖尿病患者の重症化予防のための療養指導を学ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> ・糖尿病の基礎知識 糖尿病とは 合併症 ・糖尿病の療養指導 食事療法、薬物療法 運動療法、心理面 フットケア ・チームの取り組み
現場に活かせる 褥瘡ケアA	皮膚・排泄ケア認定看護師 富山大学附属病院 吉井 忍 厚生連高岡病院 山田 優子	病院における褥瘡の予防と悪化させないための最新の知識・技術を取得する	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション ・褥瘡の基礎 ・褥瘡の予防（体圧分散、スキンケア等） ・DESIGN-R®2020について ・創傷治癒過程と褥瘡治療 ・医療関連機器圧迫創傷の予防・スキン-ケアの予防 ・終末期の褥瘡予防と対策 ・事例検討
現場に活かせる 褥瘡ケアB	皮膚・排泄ケア認定看護師 富山赤十字病院 室林 紀子 富山県立中央病院 藤元 岬	褥瘡の基礎知識を理解し、予防対策・褥瘡ケアを実践できる	<ul style="list-style-type: none"> ・皮膚の解剖、褥瘡の基礎知識、リスクアセスメント、褥瘡の分類、DESIGN-R®2020、医療機器 関連圧迫創傷 ・スキンケア、創傷管理の基本・褥瘡の治療、スキン-ケア ・除圧ケア 体圧分散寝具、体位変換・ポジショニング 車いす 移乗 ・失禁の対策・ケア ・褥瘡と栄養について
実践に活かす！ 摂食嚥下障害の理解とケア	摂食・嚥下障害看護認定看護師 かみいち総合病院 廣瀬 真由美 富山市立富山市民病院 田中 順子	<ul style="list-style-type: none"> ・摂食嚥下のメカニズムとその障害を理解する ・摂食嚥下機能評価と訓練の実際を学び看護実践に活かす 	<ul style="list-style-type: none"> ・摂食嚥下のメカニズム ・摂食嚥下の評価 ・摂食嚥下訓練の実際 ・誤嚥を防ぐ方法 ・チームでの取り組み

研修名	講師	ねらい	主な内容
高齢者に多い呼吸器循環器疾患のケア A	慢性呼吸器疾患看護認定看護師 かみいち総合病院 大井 重紀 慢性心不全看護認定看護師 百塚 怜	高齢者に多い疾患の病態を理解し、実践に即したケアのポイントを学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> 慢性呼吸器疾患・慢性心不全の病態の理解とケアのポイント チームでの取り組み 在宅でのセルフケアポイント
高齢者に多い呼吸器循環器疾患のケアB	慢性心不全看護認定看護師 百塚 怜 慢性呼吸器疾患看護認定看護師 かみいち総合病院 大井 重紀	高齢者に多い疾患の病態を理解し、実践に即したケアのポイントを学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> 基礎知識 慢性呼吸器疾患・慢性心不全の病態の理解とケアのポイント チームでの取り組み 在宅でのセルフケアポイント
もっと深めよう！ 脳卒中患者の看護	脳卒中リハビリテーション看護認定看護師 厚生連高岡病院 中道 健太	脳卒中患者の機能回復及び日常生活の支援について学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> 脳卒中とは→おさらい 脳卒中患者の重篤化回避のための支援技術について 脳卒中の重篤化とは 重篤化回避のための支援 早期離床に向けた支援 よくある事例から対応方法を考えよう
	脳卒中リハビリテーション看護認定看護師 河浦 恭子		<ul style="list-style-type: none"> 脳卒中患者の回復期の看護 機能回復・ADL獲得に向けた支援について 看護・介護10か条、嚥下障害とは、高次脳機能障害とは、症例から考えるリハ看護（注意障害、記憶障害、失語症） 脳卒中再発予防指導について
優しさを伝える認知症ケア～対象を理解することでケアが変わる～	認知症看護認定看護師 光ヶ丘病院 林 浩靖 アルツハイマー型認知症患者・家族	認知症ケアの「人として守られる尊厳」について学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> 認知症の本人の声を知る 認知症とともに生きる体験を知る（工夫点なども含めて） 認知症者の気持ちの理解の仕方について考える 認知症ケアのあり方と今後の自分のケアを考える
せん妄の理解とケア	精神看護専門看護師 福井県立病院 山口 達也	せん妄について理解し、予防や対応について学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> せん妄を引き起こす要因 せん妄の症状と治療 せん妄の症状・評価と対応 チームでの取り組み 演習
心と命を守る ゲートキーパー 医療従事者としてできる 生きることへの支援	岩手医科大学 神経精神科学講座 教授 大塚 耕太郎	潜在的な自殺リスク者に高い頻度で接する医療従事者を、メンタル面での異変に「気づき」「聴き」専門機関に「つなぐ」ことのできるゲートキーパーに養成する	<ul style="list-style-type: none"> かけがえのない命を守る 自殺の予防と対策 災害現場の心のケア ゲートキーパーの役割 基本的面接法
精神科訪問看護師育成研修 精神疾患を抱える患者の 在宅看護	精神科認定看護師 訪問看護ステーション和来やす 尾崎 景子	精神障害者地域サポート強化：精神疾患をかかえる患者の地域生活を支えるため、基本的知識及び技術の取得を図る	<ul style="list-style-type: none"> 精神科訪問看護を行うにあたっての基本的知識 精神障害をもちながら生活するということ 精神科訪問看護とは 患者情報の捉え方とアセスメント 疾患の理解 コミュニケーションとかわり方のポイント 連携・社会資源 家族支援 事例演習
入院前から始める 入退院支援	富山県済生会富山病院 医療福祉支援センター 看護師長 堀田 裕子	入院前から始める入退院支援・退院調整の基礎知識を学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> 入退院支援に必要な基礎知識 介護保険制度 訪問看護の基礎知識 事例で考える退院支援 演習
事例から学ぶ 地域における多職種連携	富山市まちなか診療所 管理者・医師 三浦 太郎 訪問看護認定看護師 光風会訪問看護ステーション 管理者 小原 留美	生活を見据えた退院支援の実際を事例から学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> 入退院支援の現状 多職種連携における看護師の役割 事例検討 在宅医療の現状 訪問事例から学ぶ

3 看護管理者が地域包括ケアシステムを推進するための力量形成に向けた継続教育

研修名	講師	ねらい	主な内容
医療安全の観点からの リスクマネジメント	パラマウントベッド株式会社 技術本部 主席研究員 杉山 良子	医療安全の実務力向上をめ ざす	<ul style="list-style-type: none"> ・医療安全文化の醸成 ・医療安全管理に必要な基本的知識 ・転倒転落防止対策と事例分析法の実際
	厚生連滑川病院 薬剤部 部長 鍛冶 洋樹		<ul style="list-style-type: none"> ・安全な与薬業務を行うための管理 薬剤の安全管理に必要な知識 カリウム製剤の基礎知識
	社会医療法人社団正志会 本部 看護部業務担当部長 (非常勤) 佐々木 久美子		<ul style="list-style-type: none"> ・医療安全に関する法・制度 医療安全に関する法令や制度の知識 医療事故調査制度に関する知識
	公益社団法人愛知県看護協会 常務理事 森田 恵美子		<ul style="list-style-type: none"> ・医療コンフリクト・マネジメント ・医療メデイエーション・スキル
サーバントリーダーシップ ～変化に適応する リーダーとは～	聖隷クリストファー大学 看護学部看護学科 基礎看護領域 教授 樫原 理恵	看護管理者に必要なサーバ ントリーダーシップを理 解することで、チームメ ンバーとの関係を構築し、 チームで成果をあげる手法 を学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ・サーバントリーダーシップとは ・支配型リーダーシップとの違い ・サーバントリーダーシップの活用分野 ・サーバントリーダーシップの浸透方法
コーチングのできる リーダー育成	有限会社 AE メディカル 代表取締役 野津 浩嗣	スタッフを育成するための コーチングスキルを学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ・コーチングとは ・スタッフ育成のためコーチングスキル ・コーチングスキルの実際 ・聞く、結果承認・事実承認、叱る、質問 ・総合ロールプレイ ・マネジメント特性診断 MPA

研修名	研修目的 / 研修内容
【日本看護協会制作】 看護補助者の活用推進の ための看護管理者研修	<p>看護管理者が看護補助者の活用推進のために必要な知識や考え方を理解し、安全で効率的な業務実施体制整備に活用することができる</p> <p>看護補助者の活用推進の背景／看護補助者の位置づけ／看護補助者との協働に関する基本的な考え方／業務実施体制の整備／看護職への教育体制の整備／看護補助者の労働環境の整備及び確保等／看護補助者の育成・研修・評価／看護補助者と協働のための体制整備に関する課題に対する対策案の作成</p>

4 専門能力開発を支援する教育体制の充実に向けた継続教育

研修名	講師	ねらい	主な内容
新人看護職員 研修責任者・ 教育担当者研修	済生会横浜市東部病院 院長補佐 熊谷 雅美	新人看護職員研修の卒後臨 床研修制度について理解 し、その実施に向けて部署 としての取り組みを考える ことができる	<ul style="list-style-type: none"> ・新人看護職員教育とは何か 教育学から考える ・組織論（組織社会化）から考える ・新人看護職員研修制度を理解する ・これからの新人看護職員研修を考える
	済生会横浜市東部病院 健康支援センター 健康支援室 副室長 小陽 美紀		<ul style="list-style-type: none"> ・新人看護職員研修の企画と評価の実際 基礎教育における看護実践能力の習得状況 指導方法や教育的かかわり方 新人看護職員教育計画立案と運営、評価の 実際 ・新人看護職員研修のリフレクション 新人看護職員指導上の問題とその解決方法 実践事例から学ぶ 演習
新人看護職員 実地指導者研修	東京医療保健大学 医療保健学部 看護学科 機能看護学 教授 末永 由理	新人看護職員研修の実地指 導者としての役割を理解 し、新人看護職員に対して 効果的な臨床実践指導及び 教育的なかわり方ができる よう必要な知識・技術を習 得する	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の役割を理解する 実地指導者の役割 新人看護職員研修ガイドライン ・人材育成計画を理解する 看護実践力獲得に向けた年間計画 リフレクションの準備 ・対象を理解する 新人看護師の教育的、社会的背景 成人学習者の特徴 ・指導スキル・評価方法を知る 教育や学習に関する理論 学習評価、リフレクション ・実地指導者としての活動計画の立案 ・指導実践の振り返り 実践のリフレクション 新人看護師の成長を評価する ・指導実践の共有 指導実践とその結果の共有 ・今後の課題の明確化 実地指導者としての自分を評価する
	心理臨床オフィス・Psyche 金沢医科大学 精神神経科学 非常勤講師 北本 福美		<ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介とオリエンテーション ・現場で起きている事・指導とは？ ・ポジティブシンキングの練習 ・ストレスの理解と確認 ・戸惑いの在り処とアンガーマネジメント ・コミュニケーションスキル ・自分への労い：リトリートワーク
看護研究Ⅲ (量的研究を学ぼう！)	金城大学 看護学部 成人看護学 教授 岩城 直子	量的研究の進め方を学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ・量的研究の進め方を理解する ・量的研究のデザインを理解する ・データ分析に必要な統計を理解する
看護研究Ⅳ (迷わない研究サポート)	奈良学園大学 保健医療学部 学部長 上野 栄一	円滑な看護研究活動の支援 および査読方法が分かる	<ul style="list-style-type: none"> ・査読の実際 ・研究遂行上に直面しやすい問題 ・具体的な助言方法
医療安全対策Ⅲ 医療安全管理者に 求められる役割と活動 ～医療安全のための 情報収集・対策立案・ 実践・評価まで～	日本赤十字社 武蔵野赤十字病院 看護師長 黒川 美知代	医療安全管理（推進）者の 役割を理解し、自施設内の 医療事故防止に活かすため の情報収集から対策立案・ 実践・評価までの実践能力 を身につける	<ul style="list-style-type: none"> ・医療安全管理（推進）者の役割について ・事故報告の情報収集と分析法について ・現場へのフィードバックならびに再発、 風化防止に向けた取り組み（組織的対応） 現場でできる POAM 分析手法の体験 ・医療安全実践活動の評価方法 ・医療安全のための研修・運営・評価について ・適時調査対策について ～日々のラウンドにどのように落とし込むか～
災害看護 (フォローアップ編)	国際医療福祉大学大学院 保健医療学専攻 災害医療分野 講師 内海 清乃	<ul style="list-style-type: none"> ・災害医療体制の動向がわ かる ・災害支援ナースとしての 心構えや派遣要領の内容 を再確認できる ・災害支援ナース活動での CSCA を再確認するこ とができる 	<ul style="list-style-type: none"> 講義および演習 ・災害支援ナースとしての心構え ・災害支援現場において自立して活動するた めの思考プロセス

5 資格認定教育

研修名	講師	ねらい	主な内容
<セカンドレベル公開講座> ヘルスケアサービスにおける多職種連携	名古屋大学医学部附属病院 卒後臨床研修・キャリア形成 支援センター 看護キャリア支援室 室長・教授 公益社団法人日本看護協会 副会長 秋山 智弥		<ul style="list-style-type: none"> ・2025年に向かって社会はどう動いてきたか ・チーム医療の推進と各専門職の役割拡大 ・各専門職における資格法と倫理綱領 ・看護の専門性とは何か ・看護の専門性の発揮に資するタスクシフト／シェアの推進
<セカンドレベル公開講座> 人材を育てるマネジメント	昭和大学 特任教授 看護キャリア開発・ 研究センター長 市川 幾恵	看護管理者として基本的業務を遂行するために必要な知識・技術・態度を習得する	<ul style="list-style-type: none"> ・人材の育成と活用 ・看護管理者の役割について ・組織の問題・課題の把握 ・専門職としてのスキルの向上 ・基盤となるクリニカルリーダーについて
<セカンドレベル公開講座> 経営資源と管理の実際	株式会社 獨協メディカルサービス 参与 認定看護管理者 佐山 静江		<ul style="list-style-type: none"> ・医療・福祉における資源管理とは（費用対効果含む） ・医療・福祉における質管理 ・医療における量（経済）管理 ・医療収支と医事 ・資源活用管理 ・資源活用による看護の質・量の評価視点 ・診療報酬と資源管理 ・介護報酬 ・評価・監査・指導：監査（共同指導）
<認定看護管理者 教育課程 セカンドレベル看護 管理実践報告会>	射水市民病院 看護師長 石川 三奈	看護管理実践報告をもとに問題点の共有と課題の明確化をはかり、より望ましい看護管理のあり方を学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の誤嚥性肺炎を予防し安全な経口摂取を支援する取り組み
	市立砺波総合病院 看護師長 林 ナツノ		<ul style="list-style-type: none"> ・誤嚥性肺炎患者に対する在宅療養を見据えた退院支援 ～看護バスを活用した他部門連携～
	かみいち総合病院 看護師長 廣瀬 真由美		<ul style="list-style-type: none"> ・摂食嚥下障害患者の在宅での安全な経口摂取を目指した支援体制の構築
	富山県立中央病院 看護師長 丸山 敬子		<ul style="list-style-type: none"> ・心不全患者が地域で自分らしい生活を継続できる取り組み ～心不全患者の再入院率低下を目指して～
	北陸中央病院 看護師長 窪田 雅江		<ul style="list-style-type: none"> ・退院後の生活を確保することで、入院中の意思決定支援の質向上を図る取り組み
	高岡市民病院 看護師長 和泉 美香		<ul style="list-style-type: none"> ・患者ニーズに合った看護提供ができる看護師の育成 ～部署の教育・指導力強化の取り組み～
	富山大学附属病院 副看護部長 鹿島 美友紀		<ul style="list-style-type: none"> ・看護補助者が働きやすい魅力ある組織創り
	黒部市民病院 看護師長 藤田 由紀江		<ul style="list-style-type: none"> ・感染防止対策の強化を図る組織づくり ～ICTリンク会のチーム力向上に向けた取り組み～
<ファーストレベル公開講座> 組織マネジメント概論	東京医療保健大学 東が丘・立川看護学部 看護学科 大学院看護学研究科 教授・博士（看護学） 中島 美津子		<ul style="list-style-type: none"> ・看護組織の歴史 ・看護組織の構造 ・看護組織理解の道具 ・看護組織の外部環境
<ファーストレベル公開講座> 人材育成の基礎知識	医療法人協和会 理事長補佐 保健師・看護師・MBA 青木 菜穂子		<ul style="list-style-type: none"> ・成人学習の原理 ・役割理論 ・動機づけの理論
<ファーストレベル公開講座> ヘルスケアサービスにおける看護の役割	WHO 西太平洋地域事務局 保健システム・サービス部 Nursing Officer 安西 恵梨子	看護専門職として必要な管理に関する基本的知識・技術・態度を習得する	<ul style="list-style-type: none"> ・看護職にかかわる法 概要（法律と日々の業務の関係とは？ 法律は変わるのか？） 個別の法律について ・看護職の責務 ・地域包括ケアシステムの構築 ・倫理綱領 ・看護業務基準 ・看護職の業務とは ・看護の専門性の発揮に資するタスク・シフト／シェア ・2040年に向けて ～法律や制度の活用、見直し、創設～

研修名	講師	ねらい	主な内容
<ファーストレベル公開講座> 経営資源と管理の基礎知識	聖路加国際大学 常任理事 法人事務局長 渡辺 明良	看護専門職として必要な管理に関する基本的知識・技術・態度を習得する	<ul style="list-style-type: none"> 日本の医療制度と診療報酬制度について 病院経営モデルについて 病院経営に影響を及ぼす環境変化について 病院経営上重要な統計データについて 病院経営分析について 病院経営戦略について
【DVD研修】 小児在宅移行支援指導者 育成研修	新生児集中ケア認定看護師 富山大学附属病院 鹿島 美友紀 田村 愛 厚生連高岡病院 川東 由加利	<ul style="list-style-type: none"> 医療的ケア児を取り巻く現状とNICU/GCUから在宅等へ移行する児と家族の状況を理解することができる 所属施設の現状に応じた小児在宅移行支援の推進に必要な方策を考えることができる 	<ul style="list-style-type: none"> 演習1：同行訪問実習における情報共有 医療的ケア児とその家族の支援に必要な基礎知識①② 医療的ケア児とその家族を支援する多職種・多機関連携の実際 在宅移行支援に伴う意思決定支援（演習含む） 事例演習 演習2：所属施設における在宅移行支援の再考① 医療的ケア児とその家族への支援① 実践報告：医療的ケア児とその家族への支援② 演習2：所属施設における在宅移行支援の再考② 演習3：所属施設における在宅移行支援の推進
摂食・嚥下障害看護 認定看護師 フォローアップ研修 事例報告会、特別講演	発表者 富山県認定看護師教育課程 修了生 講師 摂食・嚥下障害看護認定 看護師 藤田医科大学 ばんたね病院 三鬼 達人	摂食・嚥下障害看護認定看護師としての活動実践を共有し、個々の課題を明確にすることを目的とする	<ul style="list-style-type: none"> 活動・事例報告会 次年度の研修について 特別講演： 「組織の口腔ケア充実に向けた認定看護師の関わり」 ①口腔評価・口腔ケアプラン決定の流れ ②スタッフへの定着方法 ③認定看護師更新にあたっての注意点

日本看護協会と連携した研修

研修名	研修目的 / 研修内容
医療安全管理者養成研修 (集合研修)	<p>集合演習により以下①～③に沿った実践的な学びを深める</p> <p>①医療機関内において、医療事故事例やヒヤリ・ハット事例の報告と共有を効果的にするための体制の整備</p> <p>②医療事故の発生予防や再発防止を効果的にする体制の確立</p> <p>③発生予防や再発防止を目的とするため、医療事故やヒヤリ・ハットの報告者を非難しない組織文化の醸成</p> <p>6章 安全文化の醸成</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療安全の基本と医療安全文化の醸成 遺族の声を再発防止につなぐ－医療事故発生時の対応－ 演習・グループディスカッション ①司会、記録、発表者を決める ②アイスブレイク 各自持参したインシデント内容をグループ内で共有し、分析する事例を1つ決定し発表する ③事例に対し要因や対策について分析し発表する ④システムの思考や対策に対する考え方について解説し、改めて要因分析と対策の立案をして発表する ⑤「ポジティブインシデントレポート」を解説し、改めて要因分析と対策の立案をして発表する <p>【講師】 富山大学附属病院 副院長・医療安全管理責任者 医療安全管理部部长 特命教授 長島 久</p> <p>【演習支援者】 あさひ総合病院 看護部長 山本 陽子</p>
災害支援ナースの第一歩 ～災害看護の基本的知識～	<p>看護専門職の災害時支援者として必要な災害医療と看護の基礎知識を習得する</p> <p>災害支援ナースの役割と活動の実際を理解する</p> <p>災害医療の基礎知識/災害時に求められる看護支援活動/災害時の感染対策/災害時の心理変化とこころのケア/看護協会の災害時看護支援活動/学びの共有/災害時の他職種の役割と連携/災害支援ナースとしての活動の実際①②③/都道府県看護協会における災害支援ナースの活動報告等</p>
認知症高齢者の看護実践に 必要な知識	<p>認知症高齢者における国の施策や医療の現状を理解することができる</p> <p>入院中の認知症高齢者を適切にケアするための基本的な知識を理解することができる</p> <p>認知症高齢者に関する医療の現状と国の取組み/認知症に関連する疾患と病態/治療/組織で取り組む認知症高齢者ケア/認知症高齢者の看護に必要なアセスメント/認知症高齢者の看護に必要なコミュニケーションと援助技術/認知症高齢者ケアにおける多職種・看看連携のあり方/多職種・看看連携による認知症高齢者ケアの進め方/認知症高齢者に適した療養環境と調整方法/認知症高齢者に特有な倫理的課題/認知症高齢者の意思決定支援 ※演習あり</p> <p>【演習支援者】 認知症看護認定看護師 富山城南温泉病院 盛田 大樹</p>

令和4年度 認定看護管理者教育課程 教育運営委員会

区 分	内 容
<p>[第1回] 令和4年 5月18日(水) 9:53～10:35</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 2022年度認定看護管理者教育課程セカンドレベル受講者の選考について 定員25名に対して応募者25名、全員受講決定。 2 2022年度認定看護管理者教育課程の運営について <ol style="list-style-type: none"> 1) 今年度も認定部は、COVID-19感染拡大による遠隔授業並びに実習代替えを認めている。 感染状況を見ながら判断していく。 2) 公開講座と看護管理実践報告会について 公開講座は、ファースト・セカンドレベル、看護管理実践報告会を実施する。
<p>[第2回] 令和4年 7月6日(水) 9:55～10:40</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 2022年度認定看護管理者教育課程ファーストレベル受講者の選考について 定員50名に対して応募者50名、全員受講決定。 2 セカンドレベル25名のうち1名辞退。 3 ファーストレベル事前課題について 統合演習を効果的に受講できるように「所属施設の概要と所属部署の特徴」「部署責任者の求める部署のあるべき姿」とする。
<p>[第3回] 令和4年 10月5日(水) 9:55～10:35</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 2022年度認定看護管理者教育課程セカンドレベル受講者修了について 受講者23名と前年度未修了者1名の24名が修了。今年度1名未修了。 2 セカンドレベル受講生研修アンケート結果について 3 2022年度認定看護管理者教育課程ファーストレベル50名のうち3名がCOVID-19関連で辞退。
<p>[第4回] 令和4年 11月30日(水) 9:55～11:05</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 2022年度認定看護管理者教育課程ファーストレベル受講者修了について 受講者47名と前年度未修了者1名の48名が修了。 D判定者6名については、再評価で合格となった。 <D判定者への対応> ・D判定者は、施設と協会で継続して支援していく。 ・個人情報絡みもあるため看護部への連絡には、本人の了解を得ることが大前提である。 オリエンテーション時「レポートでD判定となった場合は、所属施設と情報共有して施設と看護協会で支援体制を取っていきたいこと」を説明し、情報提供の了解を得る。 2 ファーストレベル受講生研修アンケート結果について 3 2023年度認定看護管理者教育課程実施要項等について事務局案が承認された 4 ファーストレベル事前課題2の変更について 事前課題2 旧「部署責任者の求める部署のあるべき姿」 新「私の考える部署のあるべき姿」 <変更理由> ・事前課題の文章が少しわかりにくいため修正が必要である。 ・事前課題が研修のどこにつながっているかを示す必要があると考え、「あるべき姿から課題を見つけて、講義や統合演習に結び付けていくことになる。」と文言を追加する。

令和4年度 看護師基礎教育4年制への情報収集

「看護師基礎教育を考える会」の開催

- 1 目 的 地域包括ケアシステムにおいて、看護職にはこれまで以上に高い能力を発揮することが求められている。看護師基礎教育の現状や最新情報を得ることにより、看護師基礎教育4年制化について考える機会とする。
- 2 開催日時 令和4年8月6日（土）12：55～16：00
- 3 開催場所 富山県看護研修センター3階 第1研修室
- 4 参加者 58名（看護教員13名、医療機関勤務45名）
- 5 内 容

1) ビデオ講演「看護師基礎教育の現状と課題」日本看護協会 常任理事 田母神 裕美氏

2) シンポジウム 「これからの看護師基礎教育を考える」

座長	富山県立中央病院	副院長・看護部長	岡本 里美氏
シンポジスト	富山県厚生部医務課	課長補佐	平 和美氏
	富山県立大学看護学部	看護学科長 教授	佐伯 和子氏
	富山県高岡看護専門学校	副校長	宮本 章子氏
	富山市立富山市民病院	看護部長	重松 理恵氏

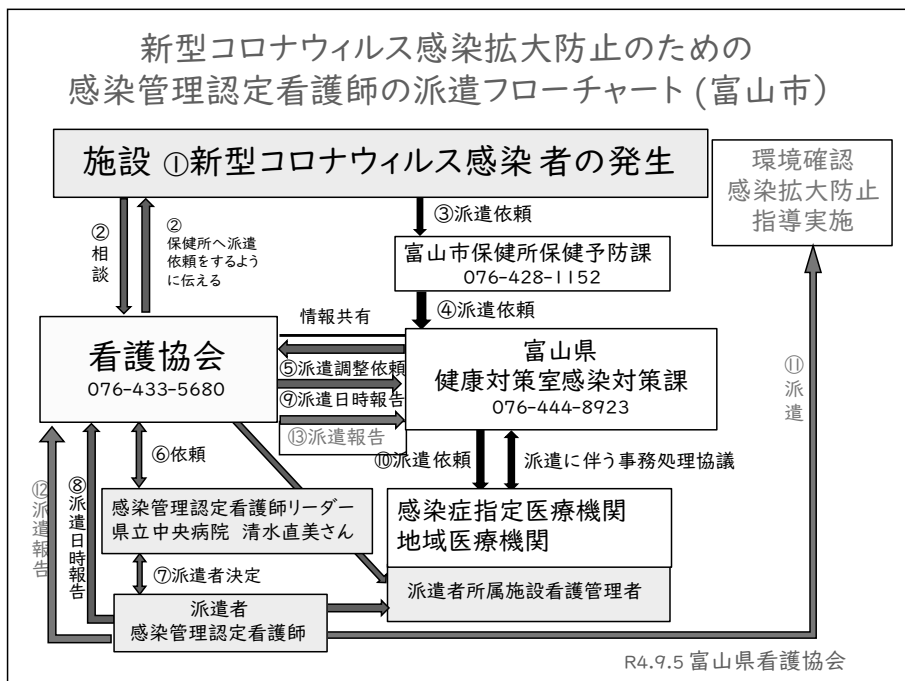
3) まとめ

講演とシンポジウムを通して、様々な立場からの情報や意見を聞くことができた。シンポジウムの発表後、実習環境の整備を中心に全体討議が行われた。実習時間、場所、人、受け持たせていただく対象の確保と調整の苦勞や学校と病院が連携して互いに理解し、学生の学びのためにどうするのかを常に考え話し合われていることなど具体的な工夫を知ることができた。

看護基礎教育4年制への移行に関しては、期待の半面、教員不足、施設設備、実習場の確保、教育の質の向上、学生の経済面など、学習環境の課題が多くあり、早期の移行は難しいと考えられる。しかしながら、人びとの多様なニーズに応えていくことができる看護師の育成のため、看護師基礎教育4年制度化進展に向けて取り組み続けなければならない。

令和4年度 感染管理認定看護師派遣事業（令和4年8月～）

I 派遣フローチャート



II 活動内容

1. 期間 令和4年8月～令和5年3月

2. 活動実績

1) 施設派遣 フローチャート活用

活動内容：ゾーニング、感染拡大防止のための具体策の助言・指導

派遣数：18施設へ延べ33名派遣（10病院より感染看護認定看護師）

<内訳>

民間病院	9施設	17名
公的病院	1施設	1名
高齢者施設	6施設	9名
社会福祉施設	2施設	6名

2) 出前講座（講師として紹介）

4か所8回8名

<派遣先と講義内容>

- 1) 富山県介護福祉士会
- 2) 入善町商工会 異業種対象 感染予防管理について
- 3) 老人保健施設 看護職員対象 基礎知識と対応
- 4) 病院 職員対象 感染防止の正しい知識と技術

3. 感謝状贈呈

コロナ禍において、施設の内外を問わず感染拡大防止に尽力された県内の感染管理認定看護師47名に対し、深く感謝の意を表し、富山県看護協会稲村会長より感謝状が贈呈された。

令和4年度 富山県ナースセンター事業報告

事業	事業内容	実績
求人・求職登録事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 無料職業紹介所の運営 ・ 求人・求職登録、一般情報の登録 ・ 「e ナースセンター」登録推進 	求人登録数 7,832人 求職登録数 3,167人 有効求人倍率 2.5倍 就職者数 254人
公共職業安定所との連携事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新規求人・求職人数の報告（毎月） ・ 看護系求人情報、相談記録のやりとり（毎週） ・ 就職ガイダンスにてハローワーク相談コーナー設置 	新規登録求人数 568人 新規登録事業所数 278事業所 新規登録就職者数 322人
看護師等免許保持者届出事業	病院・介護福祉施設等を離職した看護職員に届出をしていただくことで、看護職員の潜在化を防止し、看護職員確保の支援や復職支援の促進を図る。	届出者数 350人 ナースセンター登録希望数 107人 登録者数 60人
就業相談事業	①就業に関する相談 ②就職アドバイザーによる就業相談 ③移動就業相談（5/25、7/27、9/28、11/16、2/22） ④病院等訪問（11～12月）	①就業に関する相談（全体） 9,905件 ②①のうち就職アドバイザーによる相談 5,187件 ③移動就業相談 3件 ④病院等訪問 5施設
看護職員就業支援事業	①就業支援専門員の派遣 ・ 県内7か所のハローワークへ就業支援専門員を毎月1回派遣し、潜在看護職員等に対する就業相談を行う。 ・ 就業支援相談開催について、新聞広告等で周知する。 ②ナースセンターサテライト設置 ・ 就職アドバイザーをナースセンターサテライト3か所（新川・射水・砺波）に毎月1回派遣し、就業に関する相談等を行う。 ・ 就業支援相談開催について、新聞広告等で周知する。 ③ハローワーク（富山、高岡、魚津）との連携 ・ 就業支援専門員の派遣（上記①に含） ・ 求職者・求人に関する情報を共有 ・ 医療機関へのあっせん強化（管理選考会）	①・就業相談件数 125件 ・ ちらし発行 1,500部 ・ タブロイド情報誌広告 7月5日(火) ②・相談件数 12件 ・ ちらし発行 1,500部 ・ タブロイド情報誌広告 7月5日(火) ③連携事業対象求人数 774人(47人) 連携事業対象就職者数 84人(22人) 連携事業対象就職者数 40人(9人) ※（ ）はナースセンター実績 ハローワークと協議の上、今年度中止
登録看護職員就業希望条件等の調査	年1回実施：令和4年8月22日(月)	対象：eナースセンター登録者 272人
看護職員再就業支援研修	①定期研修 令和4年6月4日(土)、7月2日(土)、8月6日(土)、9月24日(土) ②随時研修（病院実習） 通年 ③随時研修（技術チェック研修） 通年	①受講者数（延人数） 43人 ②受講者数 0人 ③受講者数 18人
就職ガイダンス事業	①民間病院就職ガイダンス 令和4年10月22日(土) ②県内病院就職ガイダンス 令和5年3月22日(水) ③県内病院紹介動画サイト 令和5年3月から1年間	①参加者 4人 参加施設 8病院 ②参加者 36人 参加施設 43病院 ③掲載施設 公的病院 23病院 民間病院 27病院
看護職員・看護大学生Uターン促進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院ガイドブック「富山の看護職員募集案内」の作成と配布 ・ 就職ガイダンスの案内 	掲載施設 44病院 ガイドブック作成 500部
養成機関共同PR事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県内の看護師等学校・養成所ガイドブック「看護を学びたいあなたへ」の作成と配布 	掲載養成所 9施設 ガイドブック作成 1,200部

就労促進に関する事項

	事業	事業内容	実績
就労促進に関する事項	看護学生就労啓発事業	・看護学生に看護協会およびナースセンターの役割と活動を紹介 ・就労定着を促進する取組みに関する情報提供（県内看護学校等養成機関へ出向講義）	富山県立大学看護学部（12/20）120人 富山市医師会看護専門学校（2/22）52人 富山市立看護専門学校（2/24）40人
	広報活動	・協会広報誌「看護とやま」 ・富山県看護協会ホームページ ・新聞広告 ・ちらし・ポスター・グッズの作成、配布等	「看護とやま」年発行部数（4、7、10、1月発行） 37,400部
	ナースセンター事業運営委員会	令和5年2月7日（火）	委員 15人 事業実績報告書作成・配布 250部
訪問看護支援に関する事項	「訪問看護eラーニング」を活用した訪問看護師養成講習会	令和4年6月27日（月）～12月8日（木） （eラーニング、集合研修、実習）	受講者 21人
	訪問看護師養成講習会 修了者就業状況調査		対象者なし
	訪問看護従事者等研修会	令和4年11月10日（木）	受講者 30人
看護の心普及啓発事項	訪問看護ステーション 管理者育成研修会	①令和4年7月16日（土） ②令和4年9月17日（土） ※富山県訪問看護総合支援センター ③令和4年11月19日（土） ※富山県訪問看護総合支援センター	①受講者 39人 ②受講者 42人 ③受講者 30人
	「看護の日」及び「看護週間」等PR事業	①第32回「看護の日」看護フェスティバル 令和4年5月8日（日）13:00～15:00 ②看護職員等からの体験談 ③ふれあい看護体験	①参加者 県内小中学生 31人 保護者 21人 ②受賞作品 6編 ③参加者 約2,000人 実施病院 20病院
	高校生の一日常護見学	令和4年7月4日（月）～7月15日（金） ※4回が延期となり、10、11月に実施	参加者 516人 実施病院 23病院
その他	看護普及推進事業	看護体験学習（令和4年8月）	参加者 43人 実施看護師等養成機関 1校
	医療勤務環境 改善支援センター 病院サポート事業	①報告会 令和4年12月14日（水）13:00～16:00 ②施設訪問 ③推進委員会 令和4年5月31日（火） 令和5年2月10日（金） ※書面開催 ④表彰式 令和4年5月31日（火） ⑤医療労務管理支援事業連絡調整会議	①参加者 27人 ②2年目：医療法人社団睦心会あさなぎ病院 1年目：富山市立富山まちなか病院 黒部市民病院 ③委員 11人 ④表彰施設 藤木病院 老人保健施設みどり苑 ⑤出席 4回
	看護職員定着支援事業	①看護職員等からの体験談募集 ②シンポジウム 令和4年8月9日（火）13:30～16:00	①応募数 92編 ②参加者 31人
	2022年度地域に必要な看護職確保事業	①新川（黒部）地区の看護師確保ワーキング（10/11、1/10） ②「とやまおしごと図鑑」の作成	①委員 15人 ②協力病院 富山県済生会富山病院
	潜在看護職研修事業	スキルアップ研修 （10/28、11/30、12/22、1/10、2/27、3/24）	受講者（延人数） 28人 新聞広告 令和4年10月16日（日）
	離職防止相談事業	相談窓口の設置	設置期間 4月～3月 相談件数 15件

I 就労促進に関する事項

1 求人・求職登録実績

月	求人数 (人)	求職者数 (人)	求人倍率 (倍)	就職件数(延べ)(件)		
				計	NC就職	NC以外
4	730	339	2.2	19	10	9
5	703	321	2.2	16	5	11
6	679	295	2.3	18	8	10
7	691	286	2.4	15	10	5
8	679	268	2.5	13	5	8
9	669	272	2.5	29	13	16
10	651	257	2.5	23	16	7
11	626	247	2.5	13	4	9
12	611	236	2.6	15	6	9
1	608	228	2.7	17	8	9
2	615	217	2.8	50	44	6
3	570	201	2.5	26	18	8
延べ人数	7,832	3,167	2.5	254	147	107

求人数・・・対象月の前月以前から繰越した求人票の募集人数+対象月に新規求人票を登録した求人票の募集人数

求職者数・・・対象月の前月以前から繰越した求職者数+対象月に新規求職票を登録した求職者数+対象月に求職票を有していないシステム応募した求職者数

就職件数(延べ)・・・ナースセンターからの紹介、もしくはナースセンター以外(ハローワークからの紹介、自己による)いずれかの就職による延べ件数

2 看護職員就職アドバイザー業務実績

1) 相談実績

相談数	相談件数内訳			相談方法内訳		
	新規	再来	その他	来所	電話	メール・郵送
5,187	378	2,273	2,536	176	2,389	2,622

2) 病院等訪問

(1) 目的 富山県ナースセンター職員が、県内施設を訪問し、「看護の質の向上」「働き続けられる環境作り」に関する情報を看護管理者や事務担当者等と共有することで、看護職員の人材確保や定着支援を目指す。

(2) 実施時期 令和4年11月～12月

(3) 訪問施設 5施設

公的病院1、有床診療所1、訪問看護ステーション1、特別養護老人ホーム1、学校1

3 移動就業相談

介護職場の就職説明会（主催:富山市、富山労働局、ハローワーク富山）

回	日時・場所	相談件数（件）
1	令和4年5月25日（水） 14:00～15:30 サンフォルテ	1
2	令和4年7月27日（水） 14:00～15:30 サンフォルテ	1
3	令和4年9月28日（水） 14:00～15:30 サンフォルテ	0
4	令和4年11月16日（水） 14:00～15:30 サンフォルテ	0
5	令和5年2月22日（水） 14:00～15:30 サンフォルテ	1

4 就職ガイダンス事業

1) 目的 県内の医療機関等に就業を希望する看護学生および看護師等免許を有する者を対象に、医療機関等の施設紹介や人事担当者等との面談、相談の機会を提供し、看護職員の人材確保を図る。

2) 主催 富山県・公益社団法人富山県看護協会

3) 実績

(1) 民間病院就職ガイダンス

開催日 令和4年10月22日（土）

場 所 富山県看護研修センター 第1研修室

参加者 4名

参加施設 8病院

(2) 県内病院就職ガイダンス

開催日 令和5年3月22日（水）

場 所 富山県民共生センターサンフォルテ ホール

参加者 36名

参加施設 43病院

(3) 県内病院紹介動画サイト「魅力発見！とやまの病院みてか〜れ」

公開期間 令和5年3月から1年間

掲載施設 公的病院23病院、民間病院27病院

URL <https://www.toyama-kango.or.jp/movie2023>

5 看護職員就業支援事業

- 1) 目的 県内のハローワークやナースセンターサテライトに就業支援専門員・就職アドバイザーを派遣し、潜在看護職員等に対し助言・相談を行い、円滑な就労・定着を支援する。また、ハローワーク（富山・高岡・魚津）との連携により、看護職員のマッチング機能の強化を図る。
- 2) 内容 (1) 県内7か所のハローワークに就業支援専門員を派遣し、看護相談、進路相談、悩み相談に応じる。
(2) 県内3か所にナースセンターサテライトを設置、就職アドバイザーを派遣し看護相談、進路相談、悩み相談等に応じる。
(3) ハローワーク（富山・高岡・魚津）との連携推進を図る。
(4) 事業の周知、広報活動

3) 実績

(1) ハローワークへの就業支援専門員の派遣

ハローワーク	開催日	開催回数（回）	相談件数（件）
富山 ※	第4水曜日	11	30
高岡	第3火曜日	12	25
魚津	第2水曜日	12	15
滑川	第3木曜日	12	13
氷見 ※	第2木曜日	11	9
砺波	第3水曜日	12	23
小矢部出張所 ※	第2水曜日	11	10
計		81	125

※富山 令和5年1月 大雪のため中止
氷見 令和4年8月 ナースセンター都合により中止
小矢部出張所 令和4年9月 ナースセンター都合により中止

(2) ナースセンターサテライトへの就職アドバイザーの派遣

サテライト	開催日	開催回数（回）	相談件数（件）
新川ナースセンターサテライト	第1月曜日	12	10
射水ナースセンターサテライト	第1火曜日	12	0
砺波ナースセンターサテライト	第4木曜日	12	2
計		36	12

(3) ハローワーク（富山・高岡・魚津）との連携

①連携実績

<求人>

	ナースセンター	ハローワーク	合計
新規求人数（人）	47	727	774
新規求人件数（件）	31	399	430

<求職>

	ナースセンター	ハローワーク	合計
新規求職者数（人）	22	62	84
就職件数（件）	9	31	40

②管理選考会（求職者が集まり、企業と面接を行う）

ハローワーク富山と協議の上、令和4年度中止

6 看護職員再就業支援研修会

1) 目的 就業を希望する者及び看護力の向上のため再就業支援研修を希望する者に対して、最近の看護についての知識及び技術を修得させ、職場復帰の促進と看護力の向上を図る。
また、未就業または就業1年以内の看護技術に不安のある者に対し、体験学習ができる場と環境を提供し、自信をもって復職または看護業務にあたることができるように支援する。

2) 主催 富山県・公益社団法人富山県看護協会

3) 研修内容

(1) 定期研修

開催日 令和4年6月4日(土)、7月2日(土)、8月6日(土)、9月24日(土) 4日間

開催場所 富山県看護研修センター

対象 県内に居住する看護職で未就業または就業1年以内の看護技術に不安のある者

内容 講義・演習

(2) 随時研修 (病院実習)

開催日 受講者が希望する2日間

開催場所 受講者が希望する病院

対象 県内に居住する看護職で現在看護業務に従事していない者

内容 病院実習

(3) 随時研修 (技術チェック研修)

開催日 通年(事前予約制)

開催場所 富山県ナースセンター相談室

対象 県内に居住する看護職で未就業または就業1年以内の者

内容 DVD視聴、実技研修(シミュレータを使用した採血技術練習)

4) 実績

(1) 定期研修

	開催日	内容	受講者	
1回目	令和4年6月4日(土) 9:00~11:00	「看護職の現状と看護を取り巻く環境」 富山県厚生部医務課 課長補佐 平 和美 富山県ナースセンター ナースセンター長 境 信子	7	
2回目	令和4年7月2日(土) 9:00~11:00	「医療現場における感染対策の基本」 真生会富山病院 感染管理認定看護師 梅田 加洋子	6	
3回目	令和4年8月6日(土) 9:00~11:00	「看護技術研修(採血・注射)」 高岡市民病院 感染管理認定看護師 高原 紀子	15	
4回目	令和4年9月24日(土) 9:00~11:00	「社会保険適用拡大を利用して ワークライフバランスを考えた働き方をしよう!」 特定社会保険労務士 澤 幸司 「地域の看護師の役割と魅力」 特定非営利活動法人ひらすま 代表 佐伯 知華子	15	
			計(延べ人数)	43
			内、就業者数	9

(2) 随時研修(病院実習) 受講者なし

(3) 随時研修(技術チェック研修)

受講者 18人(内、就業者数14人)

7 看護職員・看護大学生Uターン促進事業

- 1) 目的 県外からの看護職員や県外の看護大学進学者等に対し、県内の就職情報等を提供し、県内医療機関への就業を促進する。
- 2) 内容 (1) 富山の看護職員募集案内冊子「あなたの夢をかなえるために」作成
(2) 上記内容をホームページに掲載
(3) 冊子の配布
配布先 就職ガイダンス参加者
県内・県外看護師等養成機関
冊子掲載病院 等
(4) 県外から転居してきた看護職員に、協会広報誌、求人情報等を送付
- 3) 実績 掲載 44病院
発行 500部

8 養成機関共同PR事業

- 1) 目的 県内看護師等養成機関の入学者を確保するため、看護職員養成課程の概要や各校の特徴等を紹介したガイドブックを作成し、県内の高等学校、中学校等に配布し、広く学生募集を行う。
- 2) 内容 (1) 看護師等養成機関紹介ガイドブック「看護を学びたいあなたへ」作成
(2) 上記内容をホームページに掲載
(3) 冊子の配布
配布先 高校生の一日看護見学参加者および実習病院
県内中学校・高等学校、県外高等学校
市町村教育委員会
冊子掲載看護師等養成機関 等
(4) 看護フェスティバルで県内看護師等養成機関紹介を展示
- 3) 実績 掲載養成所 9施設
発行部数 1,200部

9 看護学生就労啓発事業

- 1) 目的 看護学生に、スキルアップしながら、生涯にわたり働き続けることの必要性を啓発し、ナースセンター等が支援していることを周知することにより就労促進を図る。
- 2) 内容 (1) ナースセンターの役割と活動および看護師等の人材確保の促進に関する法律を紹介
(2) スキルアップしながら働き続けるために、看護協会の役割と活動について紹介
(3) 就労定着を促進する取組みに関する情報提供
- 3) 方法 看護学生に対し講義を行う
- 4) 実績

開催日	学校名	受講者(人)
令和4年12月20日(火)	富山県立大学 看護学部	120
令和5年2月22日(水)	富山市医師会看護専門学校	52
令和5年2月24日(金)	富山市立看護専門学校	40

II 訪問看護支援に関する事項

1 「訪問看護eラーニング」を活用した訪問看護師養成講習会

- 1) 目的 訪問看護事業の実施に必要な基本的知識と技術を修得し、質の高い訪問看護の提供ができる。
- 2) 対象者 ①訪問看護を実施している施設の看護職
②これから訪問看護を始めようとする、あるいは興味関心がある看護職
- 3) 受講者 21人
- 4) プログラム

研修期間	内容	場所
令和4年 6月27日(月) ～ 12月8日(木)	【eラーニング】 公益財団法人日本訪問看護財団「訪問看護eラーニング」 【集合研修】 ・講義「富山県の訪問看護の現状」 ・講義「訪問看護の魅力について」 ・講義・演習「フィジカルアセスメント」 ・講義・演習「スキンケア」 ・講義・演習「摂食嚥下障害患者の看護と栄養管理」 ・講義「認知症の看護」 ・特別講演「地域密着小規模多機能ケア」 【実習】 ・病院1日間 ・訪問看護ステーション3日間 ・地域包括支援センター1日間	【eラーニング】 自宅等 【集合研修】 富山県看護研修センター 【実習】 病院 訪問看護ステーション 地域包括支援センター

2 訪問看護従事者等研修会

- 1) 目的 訪問看護に従事する看護職員および訪問看護に関心のある看護職員に対して、より高度な知識の習得を図り、質の高い看護の提供ができる。
- 2) 対象者 訪問看護に従事している、あるいは今後従事しようとする看護職
- 3) 場所 富山県看護研修センター
- 4) 受講者 30人
- 5) プログラム

開催日	内容
令和4年 11月10日(木) 9:00～16:00	「訪問看護をめぐる動向」 講師 富山県厚生部高齢福祉課 課長補佐 水上 みどり 「フィジカルアセスメント」講義・演習 講師 厚生連高岡病院 集中ケア認定看護師 三輪 哲也 厚生連高岡病院 集中ケア認定看護師 松木 健宏 富山大学附属病院 クリティカルケア認定看護師 宮崎 優 富山赤十字病院 クリティカルケア認定看護師 浅生 かおり

3 訪問看護ステーション管理者育成研修会

- 1) 目的 訪問看護ステーションの管理・運営上の問題への取組みと人材育成について学ぶ。
- 2) 対象者 訪問看護ステーション管理者および準ずる看護職員
- 3) 場所 富山県看護研修センター
- 4) 受講者 39人
- 5) プログラム

開催日	内容
令和4年7月16日(土) 9:00~16:00	「訪問看護の質管理 クオリティマネジメント」 講師 医療法人協和会 理事長補佐 青木 菜穂子

Ⅲ 看護の心普及啓発に関する事項

1 「看護の日」及び「看護週間」等PR事業

1) 「看護の日」看護フェスティバル

- (1) 目的 看護職を魅力的な職業として若年層に周知し、職業選択・進路選択の機会とする。「看護職志願者・その家族」に看護の魅力を発信し、人材確保・定着に結びつける。
- (2) 事業名 第32回「看護の日」看護フェスティバル ～看護の魅力を発信しよう～
- (3) 日時 令和4年5月8日(日) 13:00～15:00
- (4) 場所 富山県看護研修センター
- (5) 主催 富山県・公益社団法人富山県看護協会
- (6) 実施状況 式典、体験談表彰式・朗読
看護体験コーナー、展示コーナー、白衣試着体験コーナー
- (7) 参加者 県内小中学生31名、保護者21名

2) 広報(新聞等の記事)

掲載日	掲載新聞	掲載内容
令和4年5月12日	北日本新聞	「コロナ禍で、命を救うために。」
	富山新聞	「看護職員等の体験談」受賞作品

3) ふれあい看護体験

- (1) 目的 「看護の日」事業の一環として、「ふれあい看護体験」を実施することにより、看護の心を伝え、看護が広く県民に理解されることを目的とする。
- (2) 実施期間 5月12日の看護の日にあわせて、5～6月に実施
- (3) 内容 各施設で工夫をこらし、看護体験や施設見学、健康相談、健康チェック等を企画し、県民に実施する。
- (4) 実施状況 参加病院 20病院
延参加者 2,000人(参加人数が不明な施設もあり、実際はもっと多い人数となる)

2 高校生の一日看護見学

- 1) 目的 高校生が看護業務と看護に対する理解を深め、看護職への進路選択の参考に資することを目的とする。
- 2) 内容 院内案内、看護業務見学、各病院で計画した内容、「看護の道」について説明、座談会、個別進路相談
- 3) 対象 県内の高等学校に在学する高校生
- 4) 実施期間 令和4年7月4日(月)～15日(金)
延期分 10/27、11/10、11/14、11/15(新型コロナウイルス感染症の影響で4回分が延期となる)
- 5) 実施状況 参加者 516人
実施病院 23病院

3 看護普及推進事業

- 1) 目的 小、中、高校生など若年層をはじめ、学校教員等へ看護の普及啓発を行い、看護についての理解や関心を高め、看護職員の確保を図る。
- 2) 内容 (1) 看護師等養成機関における看護体験学習
小、中、高校の生徒およびその父兄、教員(特に進路相談担当)、地域住民などに対し看護体験等を通し看護への理解と普及を図る。
(2) 広報
ホームページで事業のPR、紹介を行う。

3) 実施状況

学校名	開催日	参加者	内容
国立大学法人 富山大学	令和4年 8月3日(水)	富山県内の高校生29人 アカデミック・インターンシップ 参加者14人	模擬授業 「看護学の基盤を構築した看護理論家」 「4年制看護教育の特徴」

Ⅵ その他

1 医療勤務環境改善支援センター病院サポート事業

1) 目的

病院看護職員が健康で安心して働き続けることが可能となるよう、マネジメントシステムを用い就業環境の改善を図る。

また、医療勤務環境改善支援センターと連携して参加施設を訪問し、看護管理者・院長・経営担当者等と面談し、ワーク・ライフ・バランス推進を病院全体で取り組むよう勧めるとともにその施設の強みや課題を客観的に話し合う機会とする。

2) 目標

(1) ワーク・ライフ・バランス推進への取組みの一層の推進を図る。

(2) 中小・民間病院等看護職員のワーク・ライフ・バランスの実現に取り組む医療施設を増加し、労働環境の改善の普及推進を図る。

3) 参加施設 3施設

2年目 1施設 医療法人社団陸心会あさなぎ病院

1年目 2施設 富山市立富山まちなか病院、黒部市民病院

4) 実施状況

(1) 訪問型中小・民間病院等支援

①インデックス調査

実施時期 令和4年6～7月

実施施設 2施設

②施設訪問

医療法人社団陸心会あさなぎ病院 訪問日 令和4年10月20日(木)

富山市立富山まちなか病院 訪問日 令和4年11月16日(水)、令和5年3月15日(水)

(2) 看護職のワーク・ライフ・バランス推進事業報告会

開催日 令和4年12月14日(水) 13:00～16:00(オンライン開催)

参加者 27人(15施設)

報告 医療法人社団陸心会あさなぎ病院

講演 「介護をしながら働き続けるために 知っておきたい両立のポイント」

講師 岡本なおみ社会保険労務士オフィス 社会保険労務士 岡本 尚美

(3) 看護職のワーク・ライフ・バランス推進委員会

1回目 令和4年5月31日(火) 15:00～16:00

2回目 令和5年2月10日(金) 書面開催

(4) 地域に必要な看護職確保推進事業(日本看護協会委託事業)

①インデックス調査

実施時期 令和4年7～8月

実施施設 1施設

②施設訪問

黒部市民病院 訪問日 令和4年11月29日(火)、令和5年3月2日(木)

(5) 医療労務管理支援事業連絡調整会議への出席

出席者 富山県、富山労働局、富山県社会保険労務士会、富山県医師会、富山県看護協会

日時 令和4年5月19日(木)、7月21日(木)、10月18日(火)、令和5年2月20日(月)

内容 各機関・団体の取組み報告等

2 看護職員定着支援事業

1) 看護職員の体験談募集

(1) 目的

県内の看護職員等から看護を通して得られた「忘れられない体験談」を募集し、広報することで看護職への理解を深め、看護職員の定着推進を図る。

(2) 実施状況

①作品募集

募集期間 令和3年12月14日～令和4年1月28日
 テーマ 看護を通して得られた忘れられない体験談やエピソード
 対象 富山県内の看護職員および看護学生
 応募数 92編

②表彰式

受賞者 最優秀賞1名、優秀賞2名、特別賞3名
 表彰式 令和4年5月8日(日)第32回「看護の日」看護フェスティバルで表彰

③広報

受賞作品ポスター作製
 富山新聞、広報「看護とやま」、ホームページに受賞作品掲載

2) シンポジウム

(1) 目的

少子高齢化社会が進む中、看護職にはますます質の高い専門性の発揮が求められており、看護職が役割を発揮し社会の要請に応えるためには、健康で働き続けられる職場環境づくりが必要である。ヘルシーワークプレイスを実践し、現職のベテランナースが専門職としてのキャリアを積み重ねていける職場環境について、シンポジウムを通して考える。

(2) 主催

富山県・公益社団法人富山県看護協会

(3) 開催日

令和4年8月9日(火) 13:30～16:00

(4) 場所

富山県看護研修センター

(5) 対象

富山県内の病院・施設の看護職員

(6) 参加者

31人(16施設)

(7) プログラム

時間	内容
13:30～16:00	<p>【講演】「ベテランナースがキャリアを活かして働き続けるために」 講師 NPO 法人看護職キャリアサポート 代表 濱田 安岐子</p> <p>【シンポジウム】「ベテランナースが働き続けられる職場環境とは」 <u>シンポジスト</u> 国立病院機構北陸病院 看護師 堂前 比二美 富山県済生会高岡病院 助産師 村本 康子 かみいち総合病院 看護部長 川岸 孝美</p> <p><u>助言者</u> NPO 法人看護職キャリアサポート 代表 濱田 安岐子</p> <p><u>コーディネーター</u> 富山県看護協会 理事 佐伯 久恵</p>

3 2022年度地域に必要な看護職確保事業（日本看護協会委託事業）

1) 目的

地域ごとの医療・介護提供体制に必要な看護職確保を実現するため、地域に必要な看護職確保推進事業を実施することにより、都道府県行政や地域の関係者と協力し、効果的に地域のニーズに合わせた看護職確保を推進することを目指す。

2) 目標

- (1) 新川（黒部）地域での看護職の確保（新規採用募集数の充足、プラチナナースの活用）
- (2) ワーク・ライフ・バランスの充実に働き離職を減少する（職場定着の支援・離職防止）

3) 内容

- (1) 新川（黒部）地区の看護師確保ワーキングの開催
- (2) 医療従事者のワーク・ライフ・バランス（WLB）インデックス調査の実施
- (3) プラチナナースのための講演会
- (4) 看護の出前講座
- (5) 「とやまおしごと図鑑」の作成

4) 実施状況

- (1) 新川（黒部）地区の看護師確保ワーキングの開催

< 1回目 >

- ①開催日 令和4年10月11日（火）14：00～15：00
- ②場所 黒部市役所2階 会議室
- ③議事 看護職確保について
未来の看護師人材の開拓について
職場定着支援について

< 2回目 >

- ①開催日 令和5年1月10日（火）14：00～15：15
- ②場所 黒部市役所2階 会議室
- ③議事 看護職確保について
未来の看護師人材の開拓について
職場定着支援について

- (2) 医療従事者のワーク・ライフ・バランス（WLB）インデックス調査の実施

- ①インデックス調査 令和4年7～8月に実施
- ②施設訪問 令和4年11月29日（火）、令和5年3月2日（木）

- (3) プラチナナースのための講演会

- ①開催日 令和4年8月9日（火）13：30～16：00
- ②場所 富山県看護研修センター
- ③参加者 31人（16施設）
- ④プログラム 講演「ベテランナースがキャリアを活かして働き続けるために」
シンポジウム「ベテランナースが働き続けられる職場環境とは」

- (4) 看護の出前講座（黒部市民病院が実施）

- ①開催日 令和4年12月19日（月）
- ②対象 黒部市立清明中学校 1年生140名（教諭8名）
- ③内容 看護の魅力・進路についてのプレゼンテーション
入職2年目看護師による「看護師としてのやりがい」発表
看護体験（血圧測定、酸素飽和度測定）

- (5) 「とやまおしごと図鑑」の作成（企画／富山テレビ放送）

- ①目的 富山で暮らす子どもたちが「ふるさと富山」の産業や職業に対して関心や知識を持つ「きっかけ」をつくり、仕事を知る、学ぶことで、将来につなげる。
富山県内全ての小学5年生に配布し、将来の夢・目標を育んでもらう副読本として活用してもらおう。
- ②協力病院 富山県済生会富山病院
- ③配布先 富山県内全ての小学5年生

4 2022年度潜在看護職研修事業（日本看護協会委託事業）

1) 目的

日本看護協会中央ナースセンター及び都道府県看護協会・ナースセンターでは新型コロナウイルス感染症対応のために全国の潜在看護職等に復職をよびかけ、13,000人を超える看護職が新型コロナワクチン接種業務に従事した。今般復職した看護職の更なる活躍のためにも、継続したスキルアップ研修を実施することが喫緊の課題となっており、新型コロナウイルス感染症対応に従事した潜在看護職等を対象に「新型コロナウイルス感染症対応潜在看護職研修事業」を実施し、新型コロナウイルス感染症対応に従事可能な看護職を確保する。

2) 内容

ワクチン接種等の新型コロナウイルス感染症対応に従事した潜在看護職等に対するスキルアップ研修の実施

3) 実績

(1) 潜在看護職等の新型コロナウイルス感染症に対するスキルアップ研修の実施

- ①目的 新型コロナウイルス感染症対応に従事が可能な看護職が最新の知識の習得及び技術を習得する機会とする。
- ②開催日 全6回（研修内容は同一）
令和4年10月28日（金）9：00～12：00
令和4年11月30日（水）13：00～16：00
令和4年12月22日（木）13：00～16：00
令和5年1月10日（火）13：00～16：00
令和5年2月27日（月）13：00～16：00
令和5年3月24日（金）13：00～16：00
- ③場所 富山県看護研修センター
- ④対象 新型コロナウイルス感染症業務に従事した、または予定している看護職
医院の発熱外来等で勤務している看護職
介護施設等で就業している看護職
その他研修に関心のある看護職
- ⑤講師 感染管理認定看護師 国立大学法人富山大学附属病院 笹原 志央里
国立大学法人富山大学附属病院 松浦 美里
おおやま病院 横山 献児
真生会富山病院 梅田 加洋子
救急看護認定看護師 富山赤十字病院 水野 伸也
- ⑥受講者 28人
- ⑦プログラム 新型コロナウイルス感染症の基本的知識（講義）、感染防護の演習
急変時の患者対応、心肺蘇生法（講義・演習）

(2) 事業の周知

- ①新聞広告の掲載 令和4年10月16日（日）北日本新聞、富山新聞、読売新聞
- ②専用ページ（ホームページ）の作成

5 看護職員離職防止相談事業（日本看護協会委託事業）

1) 目的

今般の新型コロナウイルス感染症対応において、医療機関等で就業する看護職は過酷な労働環境におかれ、疲弊している者も少なくなく、働く看護職の離職が危ぶまれる状況にある。この状況を踏まえ、新型コロナウイルス感染症に対応する看護職の様々な不安を解消、看護職の離職防止を図り、新型コロナウイルス感染症対応に従事が可能な看護職の人材を確保する。

2) 内容

新型コロナウイルス感染症に関する業務に就業する看護職からの離職に関する相談窓口を設置し、離職相談を行う。

3) 実績

(1) 相談窓口の設置

- ①設置期間 令和4年4月1日～令和5年3月31日
- ②相談件数 15件

(2) 相談窓口および事業の周知

- ①新聞広告の掲載 令和4年10月16日（日）北日本新聞、富山新聞、読売新聞
- ②専用ページ（ホームページ）の作成
- ③ポスター・チラシの配布
配布先 富山県ナースセンターサテライト、県内ハローワーク

令和4年度 富山県訪問看護総合支援センター事業報告

I 富山県訪問看護総合支援センター運営事業（富山県委託事業）

平成22(2010)年度に開設した「訪問看護ネットワークセンター」の機能を拡充し、令和4(2022)年4月1日に「富山県訪問看護総合支援センター」として開設。県内の更なる訪問看護提供体制の安定化、機能強化を図る。

1 訪問看護支援強化事業

1) 事業目的

訪問看護に関する相談や啓発等の実施、運営支援アドバイザーの派遣、小児医療対応力向上技術研修会の開催等を行うことにより、在宅療養環境の充実を図る。

2) 事業内容及び実績等

(1) 訪問看護相談窓口（コールセンター）の開設

県民や関係機関からの相談や、訪問看護ステーションの運営や開設に関する相談に応じている。

①相談数及び相談方法

ア) 相談数 延868件（月平均72.3件）（対前年比1.5倍）

イ) 相談方法 電話相談769件（88.6%）、ファックス・メール49件（5.6%）、来訪等50件（5.8%）

②相談者及び相談内容

相談者	延件数	割合（%）	相談内容
訪問看護ステーション	641	73.8	診療報酬、介護報酬、新型コロナウイルス感染症への対応、訪問看護指示書等に関する事
病院・診療所	59	6.8	訪問看護ステーションの紹介 訪問看護制度・利用料に関する事
新規開設予定者	27	3.1	開設準備等に関する事
ケアマネジャー	17	2.0	医療保険の訪問看護、サービス内容に関する事
利用者・家族等	15	1.7	訪問看護ステーションの紹介 サービス内容、利用料に関する事
施設	7	0.8	訪問看護のサービス内容に関する事
その他	102	11.8	事業・研修会の問い合わせや依頼等
合計	868	100.0	

(2) 訪問看護の啓発

公的病院での啓発・相談会、イベント等への参加や出前講座等で訪問看護の啓発を行う。

①啓発・相談会

院内に訪問看護ステーションを所有していない6カ所の公的病院で計10回開催。訪問看護ステーションの管理者や訪問看護総合支援センターの職員（各回2名）が対応。

開催病院	開催数（回）	相談者数（人）
富山県立中央病院	3	19
富山市立富山市民病院	2	9
富山大学附属病院	2	12
高岡市民病院	1	3
射水市民病院	1	4
黒部市民病院	1	7
合計	10	54

②出前講座

6回（県医師会、県介護支援専門員協会、富山県立大学ほか）

③県民への啓発

ア) イベントでの啓発

	内容
サンフォルテフェスティバル	新型コロナウイルス感染拡大防止のため展示のみ実施

イ) 相談窓口の案内（新聞掲載）

	掲載欄	掲載日
北日本新聞	情報かわら版	毎週木曜日
富山新聞	社会面のお知らせ欄	土・日・祝日を除く毎日

④その他

ア) 訪問看護総合支援センター啓発リーフレットの作成・配布（裏面：訪問看護導入のめやす）

イ) 「看護とやま」（7月、10月、1月）を活用した啓発

ウ) ホームページへの訪問看護指示様式等の掲載

(3) 訪問看護の機能強化

訪問看護ステーションの安定した運営基盤の構築、小児医療への対応力の向上、訪問看護ステーション連絡協議会への支援等を行う

①訪問看護運営支援アドバイザー事業

事業内容：アドバイザーによる事業所運営全般に関する助言指導

講 師：訪問看護ステーションはーと（東京都） 訪問看護認定看護師 富岡 里江 氏

開 催 日：令和4年12月13日（火）

方 法：オンライン指導

実施施設：4か所 砺波市訪問看護ステーション、富山福祉短期大学訪問看護ステーション

滑川市医師会訪問看護ステーション、氷見訪問看護ステーション

②小児医療対応力向上技術研修会（令和4年度新規）

目 的：医療的ケア児等の在宅医療を推進するため、訪問看護師の知識の習得、技術向上のため、NICU等の小児医療機関において実習を含めた研修を実施する。

開催日及び受講者：

1日目 令和4年9月29日 受講者17名

2日目 令和4年10月6日 受講者16名

3日目 令和4年10月18日または19日 受講者4名×2日＝8名

プログラム：

区 分	研 修 内 容		講 師
集合研修	1日目 基礎知識	講義① 医療的ケア児等の支援に係る制度	富山県厚生部障害福祉課 地域生活支援係 係長 山田 亮太郎 氏 富山県医療的ケア児等支援センター 副センター長 河井 真紀子 氏
		講義② 医療的ケアを必要とする小児の理解	富山県立中央病院 小児科部長 医師 二谷 武 氏
		講義③ 小児の訪問看護	訪問看護ステーションまますト 管理者 高尾 久子 氏
		講義④ 障害児相談支援について	社会福祉法人くるみ 相談支援専門員 松田 瞳 氏
2日目 対応力向上	講義⑤ 医療的ケアを必要とする子どもと家族の看護	富山県立中央病院 小児看護専門看護師 松井 弘美 氏	
	演習① 医療的ケアの実際 (呼吸、栄養、ストマ管理、蘇生)	富山県立中央病院 小児救急看護認定看護師 柿沢 有希子 氏	
		富山県立中央病院 新生児集中ケア認定看護師 濱木 妙子 氏	
実習	3日目	実習① NICU・GCU・小児科病棟 (退院を間近に控えた児への看護を中心に)	小児科医師 小児科病棟・GCU看護師 NICU看護師
		実習② 退院調整・家族支援・地域との連携 意見交換：医療的ケア児の支援と課題	地域連携室職員 等

③事業報告会

開催日：令和5年3月18日（土）

開催場所：オンライン開催

参加人数：117名

報告内容：病院看護師出向研修事業、訪問看護師スキルアップ研修事業、訪問看護キャリア支援セミナー、小児医療対応力向上技術研修会・医療的ケア児等訪問看護体制整備事業、訪問看護インターンシップ事業、次年度事業計画等

④関係者研修会への支援

富山県ホームヘルパー協議会研修会へ講師を派遣し、訪問介護と訪問看護の連携の強化を図る。

地区	日時	場所	参加者（人）	講師
富山 東部	10月7日（金） 18：00～20：00	自治労とやま会館	10	在宅福祉総合センター きずな訪問看護ステーション 管理者 西野 友香里
富山 西部	11月12日（土） 13：00～15：00	富山市八尾コミュニ ティセンター	20	訪問看護ステーションまめなけ 管理者 井崎 明子
高岡	10月14日（金） 18：00～20：00	だいが清水館	18	高岡市医師会訪問看護ステーション 看護師 中村 美紀
新川	10月8日（土） 10：00～12：00	魚津ありそドーム	8	魚津病院ふれあい訪問看護ステーション 管理者 辻 和栄
砺波	9月17日（土） 10：00～12：00	砺波まなび交流館	12	砺波市訪問看護ステーション 管理者 岩原 裕子

⑤富山県訪問看護ステーション連絡協議会への支援

ア 事務局としての支援

イ 訪問看護ステーション実績調査・報告（データ集計、分析含む）

⑥その他

訪問看護に関する情報分析、訪問看護総合支援センターホームページの更新等

2 訪問看護人材確保事業

1) 事業目的

新卒・新任看護師が安心して訪問看護師として就労できるよう、県内訪問看護ステーション等でのインターンシップやセミナー等を開催し、訪問看護師の安定的な確保を目指す。

2) 事業内容・実績

(1) 訪問看護インターンシップ事業（令和4年度新規）

目的：訪問看護に関心のある看護学生が、訪問看護ステーションの職場を体験し、訪問看護の魅力の発見や関心を高めることにより訪問看護ステーションへの就業促進を目指す。

実施期間：令和4年8月22日～9月13日

参加者：看護学生14名（富山県立大学看護学部）

体験事業所：訪問看護ステーション2ヶ所（訪問看護ステーションひよどり富山・ひよどり）

(2) 訪問看護キャリア支援セミナーの開催（令和4年度新規）

目的：新たに訪問看護に従事しようと考えている看護職員等を対象に、訪問看護の魅力や働き方を伝えるセミナーを開催し、訪問看護師の確保につなげる。

開催日：第1回 令和4年10月15日（土）

第2回 令和5年2月25日（土）

テーマ：あなたのセカンドキャリア応援します～もっと知りたい訪問看護～

内容：体験談（各回3名）「訪問看護という選択～私が訪問看護を選んだ理由（わけ）～」

カフェ・トーク（グループワーク）

参加者：52名（26名×2回）

(3) 新卒訪問看護師育成検討ワーキング

目的：新卒看護師等が安心して訪問看護師として就労できる環境を整備する。

開催日時：令和5年2月28日（火）（場所：富山県済生会高岡病院）

参加者：11名

3 訪問看護災害時等支援体制推進事業

- 1) 目的 新型コロナウイルス感染症拡大時や災害発災時に、訪問看護サービスを必要とする在宅療養者が継続して訪問看護を利用できるよう、訪問看護ステーション相互の連携を支援する。
- 2) 内容
ア) サポートステーションの圏域内での情報交換会の開催
BCP作成の支援や応援体制の整備
イ) 新型コロナウイルス感染症のシミュレーション
ウ) 災害時等のBCP作成支援
エ) サポートステーションとの情報共有

4 訪問看護ステーション管理者研修

- 1) 目的 訪問看護ステーションの管理・運営、マネジメント力の向上や人材育成について学ぶ。
- 2) 実績 (3回コース)

回数	開催日	内 容	受講者 (人)
1回	令和4年7月16日	「訪問看護の質管理・クオリティマネジメント」 医療法人協和会 理事長補佐 青木 菜穂子 氏	41
2回	令和4年9月17日	「人材育成の基本理論と実践」 医療法人協和会 理事長補佐 青木 菜穂子 氏	44
3回	令和4年11月19日	「カスタマーハラスメントへの対応」 富山県社会保険労務士会 社会保険労務士 二口 良伸 氏 「ペイシェント・ジャーニーマップ」 一般社団法人富山県中小企業診断協会 中小企業診断士 嶋 邦秀 氏	31

*場所はいずれも富山県看護研修センター

II 訪問看護職員の確保・定着のための働き方改革推進事業 (訪問看護トライアル雇用事業)

- 1 目的 新たに訪問看護分野への就職を希望する者が、就業に際し、不安なく業務に従事することができるよう、実務経験を付与させながら、成長過程に応じた指導や助言を行い、現場での対応力・判断力を身に付けさせることにより、質の高い人材を育成・確保し、訪問看護ステーションの運営体制の強化や事業規模の拡大を図る。
- 2 事業内容 訪問看護未経験の看護職有資格者を雇用し、訪問看護業務に従事させながら、訪問看護業務に必要な研修の受講機会を提供し、訪問看護業務に必要な知識及び技能を習得させるために必要な経費を助成する。
- 3 実施施設 4事業所
あさなぎ訪問看護ステーション、訪問看護ステーションまめなけ
訪問看護ナースソフィアにかわ、もみじ訪問看護ステーション

III 訪問看護ステーション業務改善推進事業

- 1 目的 ICT活用による事務作業の効率化や負担を軽減し、魅力ある職場づくりを進めることで職員の確保・定着を図り、運営体制の強化や事業規模の拡大を図る。
- 2 事業内容 1) 事業所の選定及びタブレット端末等システム導入費用の助成
2) 事業者募集の啓発、相談、成果の報告
- 3 実施施設 3事業所
ファミリーケア訪問看護ステーション、訪問看護ステーションおうちへ帰ろう
ものがたり訪問看護ステーション

IV 訪問看護ステーションサポート事業

- 1 目的 多様化する在宅医療ニーズに対応するため、教育的機能等を有する「訪問看護サポートステーション」を医療圏毎に選定し、圏域内の訪問看護職員を対象とした実践的研修等や管理者等への相談対応、情報交換会等を開催することにより、訪問看護サービスの向上を目指す。
- 2 事業内容 1) サポートステーションの審査及び必要経費の助成
2) 連絡会議の開催、サポートステーションからの相談対応、実績の取りまとめ等
- 3 実績

1) サポートステーション毎の活動実績

医療圏	サポートステーション	電話相談	同行訪問	ST訪問	研修	情報交換会	その他
新川	朝日町在宅介護支援センター 訪問看護ステーション	0	0	0	2	4	0
富山	富山赤十字訪問看護ステーション	0	0	0	1 (合同)	3 (合同)	0
	光風会訪問看護ステーション	9	0	0	1 (合同)	3 (合同)	0
高岡	もみじ訪問看護ステーション	17	0	0	2	2	2 (調査)
砺波	南砺市訪問看護ステーション	5	0	0	3	3	1 (災害訓練)

2) 連絡会議

2回（令和4年6月30日（木）、令和5年3月1日（水））

V 訪問看護・医療機関相互研修事業

- 1 目的 多様化する在宅医療ニーズに対応するため、医療機関と訪問看護ステーション双方の技術向上と連携強化を図る。
- 2 事業内容
- 1) 病院看護師出向研修事業
- (1) 内容 病院看護師が一定期間（3～6ヶ月程度）訪問看護ステーションに出向し、退院支援や訪問看護等に必要な知識や技術の習得を支援する。
- (2) 実績

派遣病院 受入事業所	出向研修期間	派遣元の所属部署・職位（人数）
厚生連滑川病院 訪問看護ステーションひよどり富山	令和4年 10月1日～12月9日	地域医療連携室・主任（1人）

2) 病院看護師の研修受入事業

- (1) 事業内容 派遣等により病院看護師を一定期間（1～2ヶ月程度）訪問看護ステーションで受入れ、訪問看護の理解を深め、退院支援に必要な知識や技術研修を行うとともに、地域包括支援センターなど関係機関との役割も学ぶ。
- (2) 実績

派遣病院 受入事業所	研修期間	派遣元の所属部署・職位（人数）
高岡市民病院 訪問看護ステーションひよどり	令和4年 10月3日～11月4日	地域医療部・副看護師長（1人）

3) 訪問看護師スキルアップ研修事業

- (1) 研修内容
- ①医療機器装着患者等対応研修
最新医療機器や緩和ケア、外来化学療法、褥瘡や人工肛門等の知識や技術を学ぶ。
- ②訪問看護師と病院看護師等との連携会議（情報交換）
在宅移行や退院調整に必要な事項を意見交換する連携会議を開催する。

(2) 実施施設（4 圏域8 病院）

圏域	開催日	場 所	参加者 (人)	内 容
新川	令和4年 11月19日（土）	黒部市民病院	6	・認定看護師等6名による講義・演習等 ・事例検討会 ・意見交換／カンファレンス
	令和4年 11月29日（火）	あさひ総合病院	5	・特定行為・認定看護師等9名による講義・演習 ・訪問看護師連携システムの説明 ・意見交換／カンファレンス
富山	令和4年 10月28日（金）	国立大学法人 富山大学附属病院	2	・認定看護師7名による講義・演習等 ・医療福祉サポートセンターの見学 ・意見交換／カンファレンス
	令和5年 1月27日（金）	富山県リハビリテーション 病院・こども支援センター	3	・認定看護師等7名による講義・演習等 （障害児の看護を中心に） ・意見交換／カンファレンス
	令和4年 12月7日（水）	厚生連滑川病院	3	・認定看護師8名による講義・演習等 ・化学療法室見学、通院治療中の看護 ・意見交換／カンファレンス
	令和4年 11月18日（金）	かみいち総合病院	2	・認定看護師8名による講義・演習等 ・ACPに関するグループワーク ・意見交換／カンファレンス
高岡	令和4年 11月29日（火）	厚生連高岡病院	12	・専門看護師・認定看護師等9名による講義・演習 （リンパ浮腫のケアを含む） ・意見交換／カンファレンス
砺波	令和4年 11月15日（火）	市立砺波総合病院	4	・特定行為・認定看護師等10名による講義・演習 ・退院支援カンファレンスや褥瘡ラウンドの見学 ・意見交換／カンファレンス
		計	37	

VI 訪問看護推進事業

1 目的

医療機関の看護師が訪問看護の現場に赴き、在宅医療移行に向けてのケアの視点や退院支援、地域連携に関する知識を養うことなどを通し、地域医療の充実と質の高い在宅療養支援体制づくりを推進する。また、訪問看護師や医療機関に勤務する看護師が、共同で在宅療養患者の療養上の課題を明確にし、対応策を検討することにより、看護師の資質向上や相互理解、連携強化を図る。

2 事業内容及び実績

1) 医療機関看護師の訪問看護ステーション研修及び事例検討会への参加

研修場所及び期日		参加者数 (人)
訪問看護ステーション	在宅ケア事例検討会	
朝日町在宅介護支援センター 訪問看護ステーション 7/6（水）・7（木）・8（金）	黒部市民病院 8/18（木） 富山県看護研修センター 10/20（木）	1
訪問看護ステーションひよどり富山 8/8（月）・9（火）・10（水）	富山市立富山市民病院 8/2（水） 富山県立中央病院 9/27（火） 富山県看護研修センター 10/20（木）	2
富山赤十字訪問看護ステーション 11/28（月）・29（火）・30（水）	市立砺波総合病院 9/15（木） 富山県立中央病院 9/27（火） 富山県看護研修センター 10/20（木） 真生会富山病院 10/12（水）	2
高岡市医師会訪問看護ステーション 7/26（火）・27（水）・28（木）	厚生連高岡病院 8/31（水） 市立砺波総合病院 9/15（木）	1
南砺市訪問看護ステーション 8/1（月）・2（火）・3（水）	富山県立中央病院 9/27（火） 真生会富山病院 10/12（水）	1
	計	7

2) 在宅ケア事例検討会へのアドバイザー（専門看護師・認定看護師等）の派遣

(1) 派遣アドバイザー（15名）

氏名	所属	認定看護師等
①竹内 雅代	かみいち総合病院	認知症看護認定看護師
②大谷 直美	富山県新川厚生センター魚津支所	地域健康課 課長
③加藤 真理子	富山赤十字訪問看護ステーション	在宅ケア認定看護師
④関口 聡子	富山市立富山市民病院	皮膚・排泄ケア認定看護師
⑤小原 留美	光風会訪問看護ステーション	訪問看護認定看護師
⑥島田 美雪	中新川訪問看護ステーション立山サテライト	緩和ケア認定看護師
⑦印幡 香	富山赤十字病院	皮膚・排泄ケア認定看護師
⑧長 光代	おれんじ訪問看護ステーション	がん看護専門看護師
⑨高松 友季	富山県済生会高岡病院	緩和ケア認定看護師
⑩川合 洋子	金沢医科大学氷見市民病院	地域医療連携部 看護師長
⑪中村 美穂	金沢医科大学氷見市民病院	老人看護専門看護師
⑫草山 ひろみ	あさなぎ病院	透析看護認定看護師
⑬長瀬 佐知子	市立砺波総合病院	老人看護専門看護師
⑭平 優子	市立砺波総合病院	がん看護専門看護師
⑮上野 三佳	もみじ訪問看護ステーション	訪問看護認定看護師

(2) 在宅ケア事例検討会（8回 参加総数274人）

地区	開催日	会場	アドバイザー	事例検討テーマ (事例提供ステーション)	参加者 (人)
新川	8月18日(木)	黒部市民病院	①②	医療不信が強く内服治療が継続できず入退院を繰り返す患者とその家族への支援 (訪問看護ステーション美来)	34
富山	8月2日(火)	富山市立 富山市民病院	③④	人工呼吸器装着中の90代女性への関わり～褥瘡ケア等に対する娘のこだわり～ (ソフィアメディ訪問看護ステーション富山)	23
	9月27日(火)	富山県立中央病院	⑤⑥	コロナ禍におけるサービス付き高齢者向け住宅での看取り (チューリップ訪問看護ステーション)	54
	10月20日(木)	看護研修センター	⑦⑧	皮膚トラブルを繰り返すWストマ造設者のQOLを維持するための関わり (訪問看護ステーション翼)	20
高岡	9月7日(水)	金沢医科大学 氷見市民病院	⑨⑩	末期癌患者の在宅看取りとコロナ禍での多職種連携 (ファミリーケア訪問看護ステーション)	27
	8月31日(水)	厚生連高岡病院	⑪⑫	高齢世帯における腹膜透析の在宅指導の継続 (訪問看護ステーション十色)	30
	10月12日(水)	真生会富山病院	⑬	90代パーキンソン病の独居利用者を支える訪問看護の関わり～住み慣れた自宅での生活を続けたい～ (だいもん訪問看護ステーション)	41
砺波	9月15日(木)	市立砺波総合病院	⑭⑮	50代独居女性の看取りへの関わり～キーパーソン不在中に急激に状態変化した症例～ (訪問看護ステーションあぼかど)	45
計					274

Ⅶ 医療的ケア児等訪問看護体制整備事業

- 1 目的 人工呼吸器を装着している児（者）や、日常生活を営むために医療を要する状態にある児（者）、また、重症心身障害児（者）（以下「医療的ケア児等」という。）とその家族が、身近な地域で必要な訪問看護を安心して受けることができるよう、訪問看護提供体制の整備を図る。
- 2 内容
 - 1) 地域の訪問看護ステーションへの引継ぎを前提とした同行訪問の調整及び指導経費の助成
 - 2) 市町村、障害福祉サービス事業所、保育所、学校等の関係機関との情報連携、相談・助言、啓発等
- 3 実績
 - 1) 訪問看護ステーション間による同行訪問の実施
 - ①指導ステーション 2事業所
 - ②受講ステーション 3事業所
 - ③対象となった児 5人
 - ④同行訪問回数 延43回（1回＝30分）
 - 2) 相談件数 49件

令和4年度 訪問看護ステーションひよどり事業報告

1 平成8年8月訪問看護事業開始。平成12年4月介護保険法施行により指定居宅介護支援事業所を開設。介護保険改定に伴い、平成19年4月より訪問看護事業と居宅介護支援事業を分離。平成26年3月31日で居宅介護支援事業を廃止。4月より訪問看護事業のみとなる。

2 地域・他機関連携

- ・富山県訪問看護ステーション連絡協議会
- ・射水市在宅医療・介護連携推進協議会
- ・射水市在宅医療・介護連携推進協議会情報共有ツールワーキング部会参加
- ・射水市認知症初期集中支援チーム検討委員会
- ・在宅ケア事例検討会
- ・射水在宅医療カンファレンス
- ・在宅いみずネットワーク多職種連携協働研修会

3 研修会出席

【富山県看護協会主催】

- ・訪問看護ステーション管理者育成研修会
- ・在宅ケア事例検討会
- ・支部研修会
- ・訪問看護従事者研修会
- ・精神科訪問看護師育成研修会
- ・ユマニチュード研修

【富山県訪問看護ステーション連絡協議会主催】

- ・東海ブロック交流会

【その他】 一部を記載

- ・第18回在宅医療推進フォーラム（Web）
- ・富山県在宅医療支援センター研修会（Web）
- ・訪問看護サミット2022（Web）
- ・第46回富山緩和医療研究会（Web）
- ・心不全多職種連携研修会（Web）
- ・ゲートキーパー養成研修
- ・医療観察研修会
- ・難病医療従事者研修会

4 訪問看護実習/インターシップの受け入れ

施設名/研修名	期間	人数
神戸常磐大学短期大学部	令和4年8月18日～8月19日	1名
富山県立大学看護学部	令和5年1月10日～2月17日	4名
2022年度セカンドレベル実習	令和4年7月19日～7月22日	4名
令和4年度訪問看護師養成講習会	令和4年10月26日～11月29日	2名
富山県高岡看護専門学校	令和4年8月22日～10月18日	10名
富山福祉短期大学	令和4年6月13日～9月2日	4名
インターシップ事業	令和4年8月25日～9月13日	8名

5 職員体制（令和5年3月現在）

常勤換算 5.3名

勤務形態

管理者 1名
常勤看護師 4名
非常勤看護師 2名

令和4年度訪問看護実績

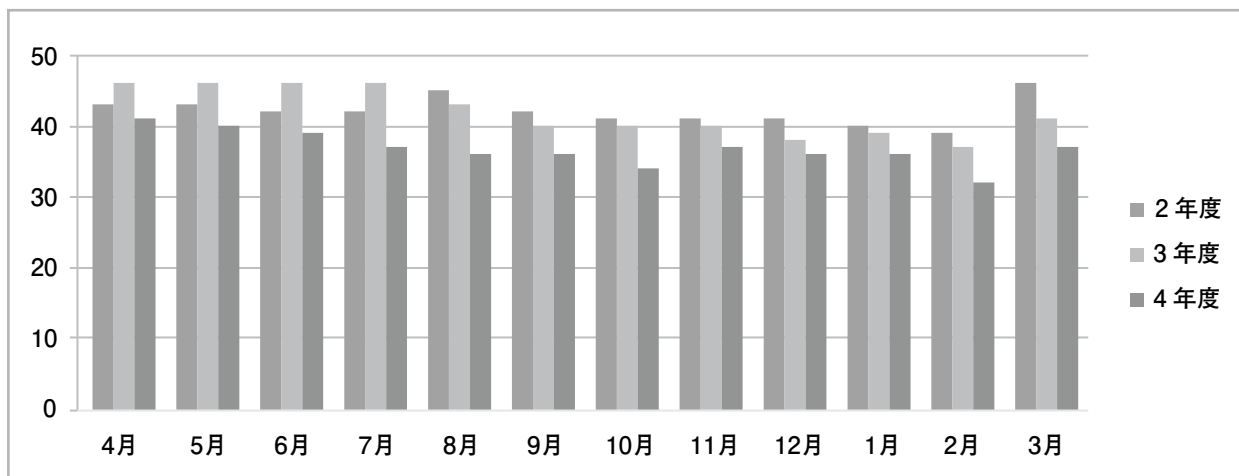
区分		月												計	平均
実働日数		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	242	20.2
利用者状況	登録者数	41	40	39	37	36	36	34	37	36	36	32	37	441	36.8
	利用者数	41	40	39	37	36	36	34	37	36	36	32	37	441	36.8
	介護保険	26	25	25	24	24	23	21	22	25	25	22	25	287	23.9
	医療保険	15	15	14	13	12	13	13	15	11	11	10	12	154	12.8
	新利用者数	2	0	1	1	0	0	0	3	1	0	0	5	13	1.1
	終了者	2	1	3	1	1	0	2	0	2	0	4	0	16	1.3
訪問状況	訪問延回数	287	261	287	293	303	295	268	271	265	245	199	217	3,191	265.9
	医療保険訪問	156	138	129	137	146	141	116	133	105	114	93	93	1,501	125.1
	複数訪問	16	24	17	17	16	14	14	12	9	11	11	6	167	13.9
	平均訪問回数	14.4	13.0	14.4	14.7	15.2	14.8	13.4	13.6	13.3	12.2	10.0	10.9	159.9	13.3
終了内訳	死亡	0	1	1	1	1	0	0	0	1	0	2	0	7	0.6
	入院	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0.3
	入所	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0	0	3	0.3
	軽快	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.1
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	0.2
依頼状況	居宅支援事業所	1	0	1	1	0	0	0	2	1	0	0	2	8	0.7
	地域包括支援センター	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0.2
	医療機関	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3	4	0.3
	家族・本人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	保健・福祉関係	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
介護度	要支援	4	3	3	4	3	3	3	4	4	4	4	4	43	3.6
	要介護1	3	4	3	2	2	2	2	3	4	3	3	4	35	2.9
	要介護2	5	5	5	5	5	4	4	4	3	3	3	5	51	4.3
	要介護3	4	5	3	3	4	5	5	5	4	5	4	2	49	4.1
	要介護4	6	5	5	6	6	6	5	5	6	7	5	8	70	5.8
	要介護5	5	4	4	4	4	4	4	3	3	3	3	2	43	3.6
	申請中	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	医療保険利用	14	14	16	13	12	13	13	13	11	11	10	12	152	12.7
利用者年齢	平均年齢	76.6	76.6	75.9	76.1	77.3	76.5	75.4	76.3	76.3	76.3	75.4	78.1	916.8	76.4
	65歳未満	9	8	8	8	7	8	8	8	8	8	8	8	96	8.0
	65～69歳	3	2	3	2	2	0	0	0	0	0	0	1	13	1.1
	70～74歳	3	3	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	9	0.8
	75～79歳	5	4	5	5	6	6	6	6	7	7	4	5	66	5.5
	80～84歳	8	8	8	9	9	9	8	11	10	10	10	11	111	9.3
	85～89歳	7	6	6	5	5	6	6	6	5	5	5	6	68	5.7
	90歳以上	9	9	7	7	7	7	6	6	6	6	5	6	81	6.8
連携	退院前カンファレンス	0	0	1	1	0	0	0	2	0	0	0	1	5	0.4
	担当者会議	0	3	1	0	0	2	2	0	0	0	1	2	11	0.9
	地域包括ケア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	保健・福祉関係	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0

*実働日数には休日・祝日は含まれない

訪問看護ステーションひよどりの年度別推移

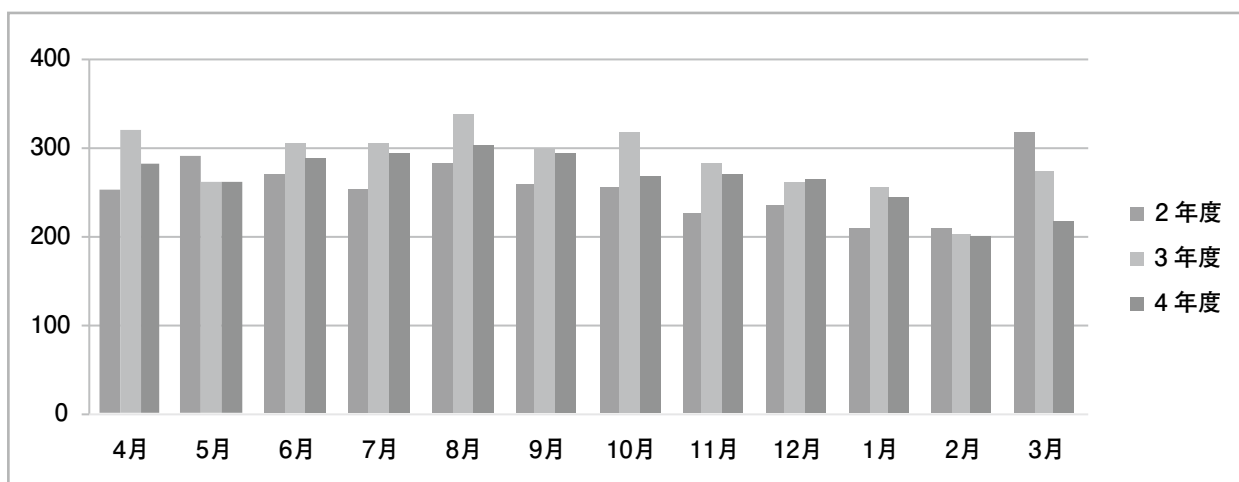
1 利用者の月別・年度別推移

年度\月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
2年度	42	42	42	42	45	42	41	41	41	40	39	46	503
3年度	46	46	46	46	43	40	40	40	38	39	37	41	502
4年度	41	40	39	37	36	36	34	37	36	36	32	37	441



2 訪問回数の月別・年度別推移

年度\月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
2年度	254	292	271	253	284	260	257	226	236	210	208	318	3,069
3年度	320	263	305	306	339	300	319	284	261	255	204	273	3,429
4年度	287	261	287	293	303	295	268	271	265	245	199	217	3,191



令和4年度 訪問看護ステーションひよどり富山事業報告

1. 平成10年10月訪問看護事業開始。平成12年4月介護保険法施行により指定居宅介護支援事業所開設。事業拡大に向け平成19年4月より訪問看護事業と居宅介護支援事業を分離。訪問看護事業は平成20年10月訪問看護ステーションいそべと合併し中規模ステーションとして14年経過。令和4年度はwithコロナ3年目を迎え、他機関連携や研修参加にICTの活用が定着した年度であった。

2. 訪問看護活動実績（別紙）

3. 地域・他機関連携

- ・富山医療圏地域医療推進対策協議会がん・在宅医療部会出席（委員）
- ・出向研修事業受入れ（厚生連滑川病院）
- ・富山大学医学部看護学科関連教育施設運営協議会出席
- ・富山県立大学看護学部看護学実習運営協議会出席
- ・富山県立大学医療機関等説明会（インターンシップ）参加
- ・神明・五福地区医療介護連携推進会議参加
- ・有明集会場、有澤公民館で出前講座（講師）
- ・富山大学医学部看護学科（講師）
- ・富山市西エリア在宅医療・介護連携推進研修会参加

4. 研修会出席

【富山県看護協会主催】

- ・訪問看護eラーニングを活用した訪問看護養成講習会
- ・糖尿病の看護
- ・感染症対策Ⅰ
- ・精神科訪問看護師育成研修 精神疾患を抱える患者の在宅看護
- ・ユマニチュード
- ・心と命を守るゲートキーパー
- ・地域包括ケアⅡ～事例から学ぶ地域における多職種連携～
- ・入院前から始める入退院支援
- ・R4年度富山県看護協会 高岡・射水・氷見支部研修会 ～医療介護分野での減災の取り組みのコツ～(web)

【富山県訪問看護総合支援センター主催】

- ・在宅ケア事例検討会（8/2・10/20）
- ・令和4年度訪問看護に関する事業報告会及び集団指導

【訪問看護ステーション連絡協議会主催】

- ・訪問看護ステーション東海・北陸ブロック交流会
- ・訪問看護師研修会「やっぱり素敵、訪問看護～地域を変える訪問看護の底力～」(web)

【富山県訪問看護総合支援センター・訪問看護ステーション連絡協議会共催】

- ・富山市Ⅰ・Ⅱ地区合同勉強会・情報交換会（8/2・12/15・2/24）(web)

【その他】

- ・公益社団法人富山市医師会主催：西エリア研修会（web）
- ・富山県医師会：新型コロナウイルス感染症対策報告会（web）
- ・日本アレルギー協会：富山アレルギー疾患講演会（web）

5. 訪問看護実習の受け入れ

新型コロナウイルス感染症拡大にて、7月下旬～8月上旬の間（富山大学看護学科）は実習受け入れを中止。

施設名／研修名	期 間	人 数
・富山大学看護学科	令和4年4月4日～4月8日	8名
・富山市医師会看護専門学校	令和4年4月22日～7月8日	10名
・富山医療福祉専門学校	令和4年5月10日～7月13日	4名
・富山市立看護専門学校	令和4年6月6日～10月3日	8名
・神戸常盤大学短期大学部看護学科	令和4年9月1日～9月9日	4名
・富山県立大学看護学部	令和4年11月17日～12月15日	4名
・インターンシップ（富山県立大看護学部）	令和4年8月22日～8月25日	6名
・医療機関に勤務する看護師の訪問看護研修	令和4年8月8日～8月10日	2名
・セカンドレベル	令和4年7月19日～7月22日	8名
・ケアマネジャー在宅医療研修（訪問看護）	令和4年10月8日	1名
・令和4年度訪問看護師養成講習会	令和4年10月26日～11月9日	6名
	計	61名

6. 職員体制（令和5年3月現在）

常勤換算 5.1名

勤務形態

管理者 1名

常勤看護師 3名

非常勤看護師 2名

令和4年度訪問看護実績

富山県看護協会訪問看護ステーションひよどり富山

区分	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
実働日数		20	19	22	20	22	20	20	20	20	19	19	22	243	20.3
利用者状況	登録者数	55	58	60	54	49	51	52	51	49	45	43	43	610	50.8
	利用者数	48	48	50	49	46	48	45	44	42	41	39	39	539	44.9
	介護保険	33	33	36	34	33	35	32	30	27	26	25	23	367	30.6
	医療保険	15	16	15	15	13	13	13	14	15	15	14	15	173	14.4
	新利用者数	2	4	2	0	2	3	1	1	1	0	0	2	18	1.5
	終了者数	2	1	0	6	7	1	0	2	3	4	2	2	30	2.5
訪問状況	訪問延回数	273	257	286	242	253	248	233	212	220	205	190	225	2844	237.0
	医療保険訪問	98	106	122	96	103	91	93	97	105	94	87	113	1205	100.4
	複数名訪問	7	10	10	8	11	8	10	9	9	5	7	8	102	8.5
	利用者平均訪問回数	13.7	13.5	13.0	12.1	11.5	12.4	11.7	10.6	11.0	10.8	10.0	10.2	141	11.7
終了内訳	死亡	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0.1
	入院	1	0	0	3	2	0	0	2	1	0	0	2	11	0.9
	入所（ショート）	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0.2
	軽快	1	1	0	2	1	0	0	0	0	2	1	0	8	0.7
	その他	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	1	0	4	0.3
依頼状況	居宅介護支援事業所	1	1	2	0	1	0	0	1	0	0	0	0	6	0.5
	地域包括支援センター	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2	0.2
	医療機関	1	3	0	0	1	1	1	0	1	0	0	2	10	0.8
	家族・本人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	保健・福祉関係	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
介護度	要支援	1	1	1	2	2	3	2	2	1	1	0	0	16	1.3
	要介護 1	8	6	7	7	7	9	9	7	7	7	7	7	88	7.3
	要介護 2	11	12	12	12	11	11	10	10	8	7	8	7	119	9.9
	要介護 3	2	4	5	4	3	3	3	3	3	2	1	1	34	2.8
	要介護 4	5	5	5	5	6	5	5	5	5	6	6	5	63	5.3
	要介護 5	4	5	5	4	4	4	3	3	3	3	3	3	44	3.7
	申請中	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0/0
	医療保険利用	15	16	15	15	13	13	13	14	15	15	14	16	174	14.5
利用者年齢	平均年齢	77.4	77.0	77.6	77.3	77.4	77.9	77.0	76.8	76.4	76.2	76.0	76.0	923.0	76.9
	3歳未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
	3歳から14歳	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12.0	1.0
	15歳から39歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
	40歳から64歳	7	7	7	7	6	6	6	6	6	6	6	6	76.0	6.3
	65～69歳	2	3	3	3	1	1	1	1	2	2	1	1	21	1.8
	70～74歳	6	5	5	5	5	5	5	5	4	4	4	5	58	4.8
	75～79歳	8	8	8	8	9	10	10	10	9	9	9	9	107	8.9
	80～84歳	9	9	10	10	10	9	9	9	9	9	9	8	110	9.2
	85～89歳	1	10	10	9	9	11	10	9	8	7	7	6	97	8.1
	90歳以上	4	5	6	6	5	5	3	3	3	3	2	3	48	4.0
連携	退院前カンファレンス	2	1	0	0	1	1	1	1	1	0	1	1	10	0.8
	担当者会議/緊急カンファ	2/0	1/0	1/0	1/0	0/0	1/0	2/0	1/0	1/0	1/0	1/0	1/0	14/0	1.2/0
	地域包括ケア会議	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0.1
	保健・福祉関係	1	0	0	1	0	0	0	0	1	1	0	1	6	0.5

*実働日数には休日・祝日は含まれない

令和4年度定期巡回随時対応型訪問介護看護（連携型）活動実績

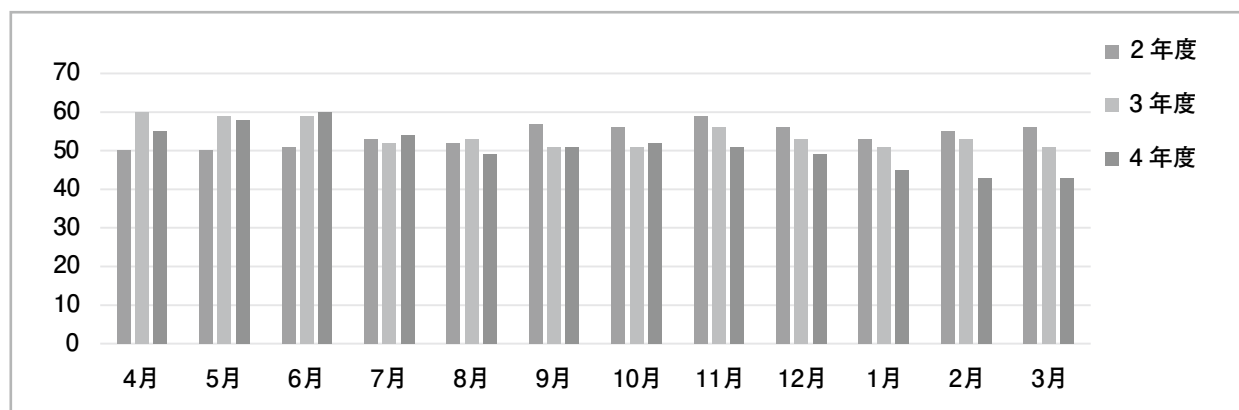
富山県看護協会訪問看護ステーションひよどり富山

区分		月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
利用者状況	登録者数		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	23	1.9
	新規利用者数		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	モニタリング実施数		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	23	1.9
	終了者数		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.1
訪問状況	訪問看護契約者数		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	訪問回数(介護保険)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
終了内訳	死亡		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	入院		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.1
	入所(ショート)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	軽快		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	その他		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
依頼状況	居宅介護支援事業所		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	地域包括支援センター		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	医療機関		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	家族・本人		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	保健・福祉関係		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
介護度	要介護 1		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	要介護 2		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	要介護 3		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	要介護 4		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	11	1.0
	要介護 5		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	申請中		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	医療保険訪問看護利用者		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	1.0
利用者年齢	平均年齢		86.5	87.0	87.0	87.0	87.0	87.0	87.0	87.0	87.0	87.0	87.0	72.0	1028.5	85.7
	65歳未満		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	65～69歳		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	70～74歳		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	1.0
	75～79歳		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	80～84歳		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	85～89歳		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	90歳以上		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	11	0.9

訪問看護ステーションひよどり富山の年度別推移

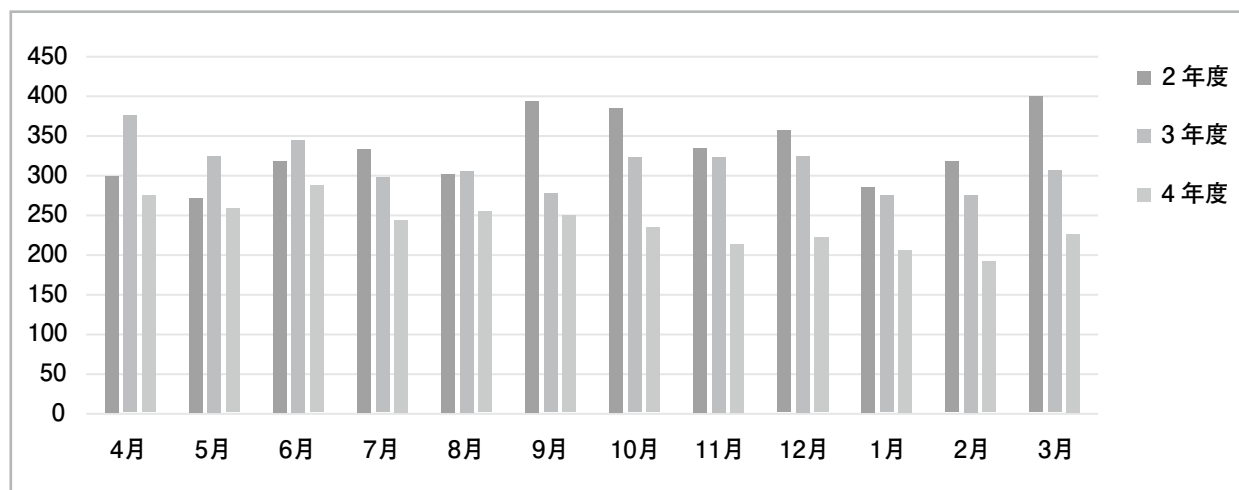
1 利用者数の月別・年度別推移

年度\月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	職員数
2年度	50	50	51	53	52	57	56	59	56	53	55	56	592	7.2
3年度	60	59	59	52	53	51	51	56	53	51	53	51	598	7.2
4年度	55	58	60	54	49	51	52	51	49	45	43	43	610	5.1



2 訪問延回数の月別・年度別推移

年度\月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	職員数
2年度	298	270	317	332	300	392	383	333	355	284	316	398	3,580	7.2
3年度	374	323	343	296	304	276	321	322	323	273	274	305	3,429	7.2
4年度	273	257	286	242	253	248	233	212	220	205	190	225	2,844	5.1



令和4年度 ひよどり富山居宅介護支援事業所事業報告

1 平成12年4月介護保険法施行により訪問看護事業と併設にて指定居宅介護支援事業所開設。
平成19年4月より事業拡大に向け、訪問看護事業と居宅介護支援事業分離。
令和2年度に居宅介護支援事業所指定を令和7年度まで更新。

2 居宅介護支援事業活動実績（別紙）

3 地域・他機関連携

- ・地域連携運営推進会議参加
- ・ひよどり富山訪問看護ステーション合同事例検討会参加
- ・神明・五福地域包括支援センター合同研修会参加

4 研修会出席

【富山県主催】

- ・ケアプラン点検実践研修（Web）
- ・現任認定調査研修（Web）

【富山市主催】

- ・富山市医療介護連携研修会
- ・権利擁護研修会（Web）

【神明・五福地域包括支援センター主催】

- ・認知症ブロック研修会
- ・医療介護連携推進会議

【日本介護支援専門員協会主催】

- ・北陸ブロック研修会in富山（Web）

【富山県介護支援専門員協会主催】

- ・適切なケアマネジメント研修（Web）
- ・オンラインスキルアップ研修（Web）

【富山市介護支援専門員協会主催】

- ・災害時におけるBCPと個別避難計画について（Web）
- ・ケアマネジメント力向上研修 富山市の福祉サービス（Web）

【日本ケアマネジメント学会主催】

- ・スタンダードコース スーパーバイザー養成講座（Web）
- ・ケアマネジメント基礎講座（Web）

【その他】

- ・令和4年度高岡、射水、氷見支部合同研修会
- ・引きこもり講演会 富山市保健所（Web）

5 職員体制（令和5年3月現在）

常勤換算	1.8名
勤務形態	
管理者（主任ケアマネ 看護師）	1名
非常勤介護支援専門員（看護師）	0.8名

令和4年度 居宅介護支援事業活動実績

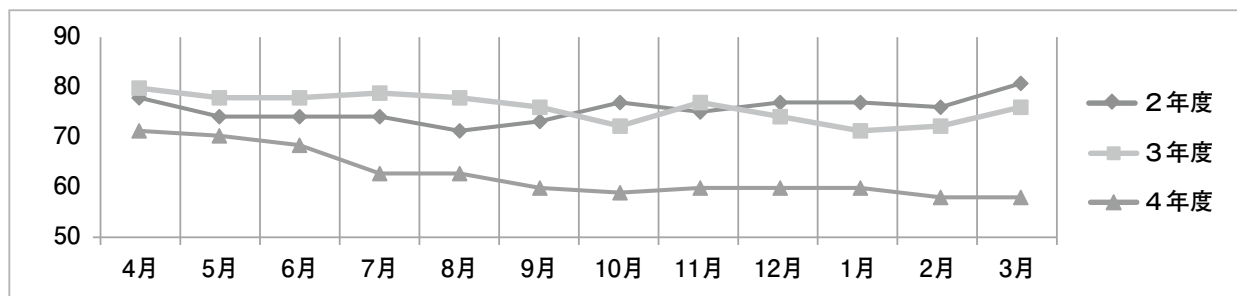
ひよどり富山居宅介護支援事業所

区分	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均	
認定調査件数		0	2	6	2	2	0	1	4	1	6	4	4	32	2.7	
給付管理	要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	
	要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	
	要介護1	23	25	24	23	23	22	23	25	25	23	23	22	281	23.4	
	要介護2	19	18	17	15	15	15	15	15	15	17	18	17	196	16.3	
	要介護3	15	14	15	13	12	11	9	9	8	10	8	9	133	11.1	
	要介護4	9	9	8	7	8	8	8	7	8	6	4	4	86	7.2	
	要介護5	5	4	4	4	4	3	3	3	3	3	4	5	45	3.8	
	小計	71	70	68	62	62	59	58	59	59	59	57	57	741		
	加算	新規・2区分アップ	1	3	1	0	2	3	1	2	0	2	2	1	18	1.5
		入院時情報連携	4	0	3	2	2	1	0	1	0	1	2	1	17	1.4
		退院・退所連携	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0.2
通院		2	2	0	1	2	1	1	0	0	0	0	0	9	0.8	
小計		8	5	5	3	6	5	2	3	0	3	4	2	46	3.8	
支援内容	社会資源の調整	徘徊SOS	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
		減額	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0.1
		介護手当て	2	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	4	0.3
		オムツ支給	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	3	0.3
		配食	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0.1
		ミドルステイ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
		地域ケア会議	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	0	0	3	0.3
	住宅改修工事	申請	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.1
		完了	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.1
	福祉用具	例外給付申請	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
		購入 他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
小計	2	1	2	0	1	0	2	1	1	1	0	0	11	0.9		
医療・介護施設連携	7	9	5	6	6	3	1	2	0	0	3	4	46	3.8		
サービス担当者会議	8	8	10	3	7	4	9	10	6	9	6	7	87	7.3		
総合相談	時間内	TEL	200	203	193	197	282	183	119	155	115	99	158	172	2,076	173.0
		来所	4	17	23	18	7	5	10	6	13	18	9	8	138	11.5
		訪問	123	116	128	93	98	99	102	98	74	93	81	105	1,210	100.8
		合計	327	336	344	308	387	287	231	259	202	210	248	285	3,424	285.3
	時間外	TEL	7	13	4	9	11	11	3	1	3	3	0	0	65	5.4
		来所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
		訪問	13	9	7	3	6	2	3	4	6	3	3	5	64	5.3
		合計	20	22	11	12	17	13	6	5	9	6	3	5	129	10.8
研修会	1	2	0	3	3	3	4	1	0	2	1	1	21	1.8		

ひよどり富山居宅介護事業所の年度別推移

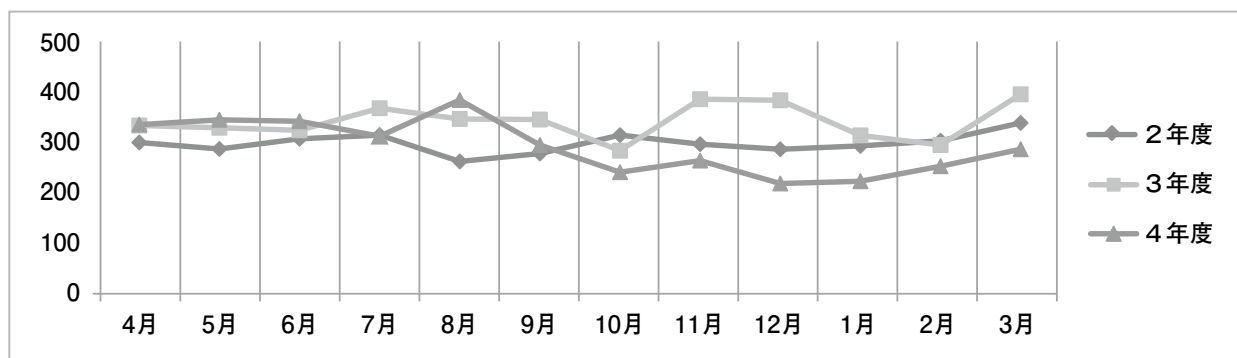
1 ケアプラン作成件数の推移

年度\月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
2年度	78	74	74	74	71	73	77	75	77	77	76	81	907
3年度	80	78	78	79	78	76	72	77	74	71	72	76	911
4年度	71	70	68	62	62	59	58	59	59	59	57	57	741



2 総合相談 (電話・来所・訪問)

年度\月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
2年度	306	291	314	323	262	280	323	302	290	298	310	351	3,309
3年度	345	340	334	385	360	359	287	406	403	322	300	417	4,258
4年度	347	358	355	320	404	300	237	264	211	216	251	290	3,236



3 認定調査件数の推移

年度\月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
2年度	4	4	2	2	2	2	1	3	5	5	3	2	35
3年度	1	1	2	5	2	1	4	3	2	1	2	2	26
4年度	0	2	6	2	2	0	1	4	1	6	4	4	32

令和4年度 神明・五福地域包括支援センター事業報告

平成18年4月1日から富山市より業務委託を受け、事業を開始した。平成24年度、平成29年度に再委託を受け事業を継続してきた。令和4年度は令和5年度から6年間の再委託に応募し受託を受けることになった。

1 事業内容

- (1) 一般介護予防事業
 - ①介護予防把握事業
 - ②介護予防普及啓発事業
 - ③地域介護予防推進事業
 - ④介護予防訪問相談指導事業
 - ⑤介護予防ふれあいサークル事業
 - ⑥介護予防推進リーダー事業
- (2) 介護予防・生活支援サービス事業
 - ①介護予防ケアマネジメント事業
 - ②介護予防教室事業
- (3) 包括的支援事業
 - ①総合相談事業
 - ②権利擁護事業
 - ③包括的・継続的マネジメント支援事業
 - ④認知症総合支援事業
 - ⑤生活支援体制整備事業
 - ⑥在宅医療・介護連携推進事業
- (4) 任意事業
 - ①認知症高齢者見守り支援事業
- (5) 指定介護予防支援事業

2 実習生受け入れ

施設名／研修名	期 間	人数（人）
富山いずみ高校	令和4年6月2日～6月3日	2
	令和4年9月20日～9月22日	1
	令和4年10月20日～10月28日	2
富山福祉短大 認定看護管理者教育課程セカンドレベル 訪問看護師養成講習	令和4年6月21日～6月22日	1
	令和4年7月19日～7月22日	4
	令和4年10月6日～11月10日	4

3 主な研修会参加状況

- ・地域包括支援センター職員研修会
- ・富山市多機関連携研修会
- ・地域防災対応力強化研修
- ・富山県地域包括・在宅介護支援センター協議会職員研修
- ・地域包括支援センター連絡協議会研修会
- ・富山県地域包括ケアシステム支援研修会
- ・富山県介護支援専門員研修
- ・富山市ソーシャルワーク基礎研修会
- ・富山市認知症高齢者見守りネットワーク講演会
- ・富山市医療介護連携研修会
- ・富山県介護支援専門員協会研修会

4 職員体制

管理者（主任介護支援専門員）1名 看護師1名 保健師1名 社会福祉士2名

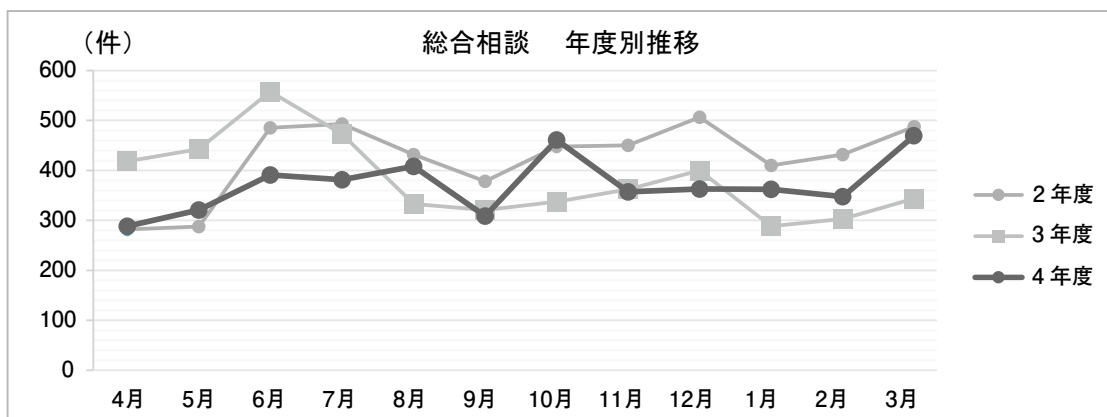
令和4年度 神明・五福地域包括支援センター事業活動実績

区分		月												計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
総合 相談	TEL	165	185	245	223	193	186	281	206	199	223	206	214	2,526
	来所	25	25	22	36	28	18	28	23	16	26	19	36	302
	訪問	87	106	126	122	190	96	160	127	147	112	120	223	1,616
	合計	280	316	393	382	412	302	470	356	362	361	345	474	4,453
実態把握	事業対象者	12	33	18	22	31	16	16	25	11	12	17	99	312
事業対象者	介護予防教室	0	0	0	0	0	2	4	3	3	0	0	1	13
	介護予防 地域説明会等	0	3	8	2	0	1	2	9	3	0	1	1	30
	地域ケア会議等	0	1	0	0	0	2	0	0	1	0	2	4	10
	認知症地域説明会 家族介護教室等	0	0	3	3	0	0	0	0	0	0	3	1	10
	予防給付、介護予防 ケアマネジメント費	107	108	105	117	112	129	130	131	123	115	110	118	1,405
	認定調査	6	7	6	9	2	4	6	9	3	6	5	4	67
	主な研修会	3	5	6	7	1	2	7	3	5	5	4	8	56

神明・五福地域包括支援センターの年度別推移

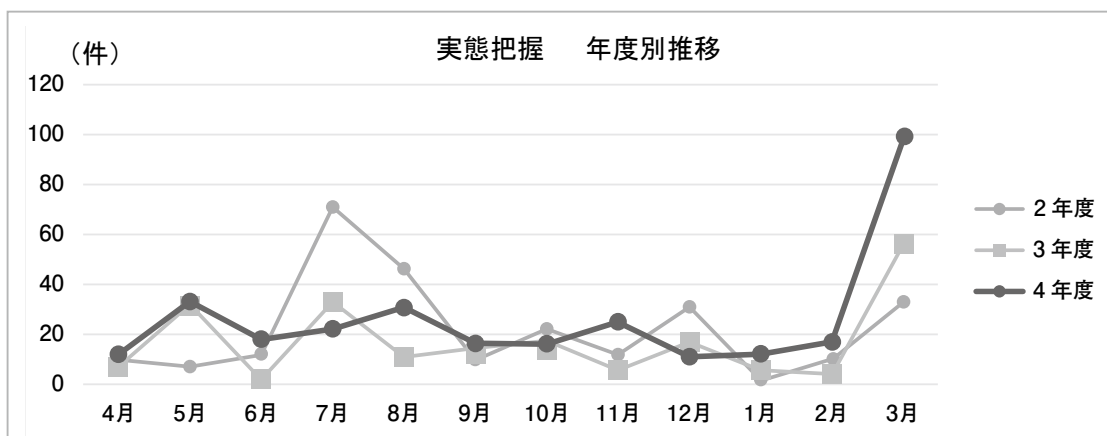
1 総合相談（電話・来所・訪問）

年度	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
2年度		273	279	497	505	438	379	455	458	515	414	438	493	5,144
3年度		423	450	556	483	329	316	334	361	403	280	296	341	4,572
4年度		280	316	393	382	412	302	470	356	362	361	345	474	4,453



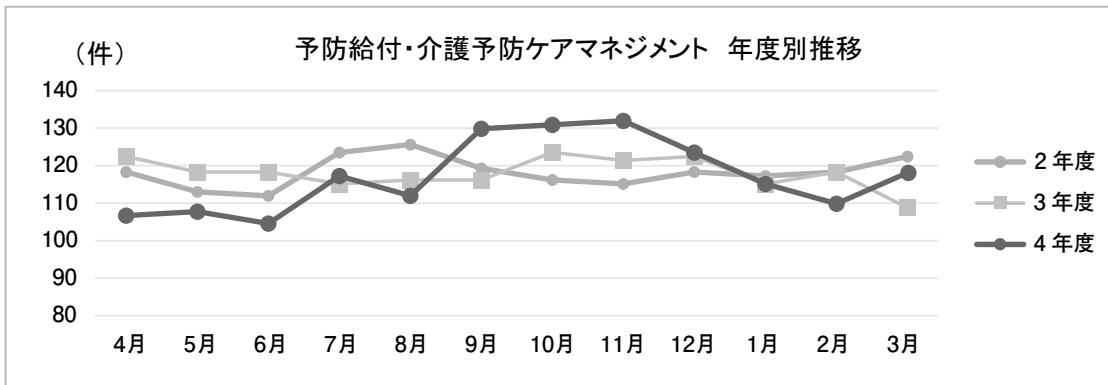
2 実態把握（事業対象者）

年度	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
2年度		10	7	12	71	46	10	22	12	31	2	10	33	266
3年度		7	31	2	33	11	12	14	6	17	6	5	56	200
4年度		12	33	18	22	31	16	16	25	11	12	17	99	312



3 予防給付 介護予防 ケアマネジメント費 (件数)

年度\月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
2年度	118	113	112	123	125	119	116	115	118	117	118	122	1,416
3年度	122	118	118	115	116	116	123	121	122	115	118	109	1,413
4年度	107	108	105	117	112	129	130	131	123	115	110	118	1,405



4 事業対象者介護予防教室

年度\月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
2年度	0	0	0	0	1	4	5	3	0	0	0	1	14
3年度	0	0	0	0	0	0	4	4	4	0	0	1	13
4年度	0	0	0	0	0	2	4	3	3	0	0	1	13

5 地域ケア会議

年度\月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
2年度	0	2	0	1	1	0	0	0	1	0	1	3	9
3年度	0	0	0	0	1	0	1	2	1	1	1	2	9
4年度	0	1	0	0	0	2	0	0	1	0	2	4	10

6 介護予防 認知症 地域説明会

年度\月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
2年度	0	0	0	8	4	1	1	3	0	1	2	0	20
3年度	1	4	4	3	3	0	0	5	7	0	0	2	29
4年度	0	0	3	3	0	0	0	0	0	0	3	1	10

7 認定調査

年度\月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
2年度	2	2	4	5	3	5	4	3	3	3	7	6	47
3年度	6	8	8	5	7	4	3	8	8	4	6	9	76
4年度	6	7	6	9	2	4	6	9	3	6	5	4	67

8 主な研修会

年度\月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
2年度	0	0	0	4	7	4	4	9	6	6	4	8	52
3年度	1	1	5	6	4	8	7	11	5	5	2	5	60
4年度	3	5	6	7	1	2	7	3	5	5	4	8	56

令和4年度 富山県における災害発生対応体制の検討報告

1 目的

令和2年から始まった新型コロナウイルス感染症は、収束を見通せない状況である。富山県看護協会でも、様々な活動を行ってきたが、今後同様な新興感染症のパンデミックが起きた時に備え、看護協会としての初動体制を平時から定める。

また、自然災害時にも備え、BCPの作成、各事業所での取り組みなど検討する。

2 内容

1) 情報収集

他県のBCP作成状況

日本看護協会の新しい仕組み（災害支援ナースの養成、派遣の仕組み）の確認

広域の人材派遣について情報収集

2) 広域人材を想定した事業の実施

①県内医療機関、高齢者施設等への感染管理認定看護師の派遣システムの構築

②感染管理認定看護師による出前講座の実施

③ナースセンターにおけるスキルアップ研修

④災害委員会 災害支援マニュアルの見直し、災害支援ナースの更新制度やフォローアップ研修の見直し、災害受援マニュアルの作成

⑤訪問看護ステーションにおける災害時の連携体制の構築

⑥本協会のBCP作成

先進県のBCPを情報収集、協会・協会内各事業所の作成・検討に着手

令和4年度 支部長会報告

1) 目的

地域共生社会において、従来から行っている看護協会の支部活動は今までの形にとらわれず、看々連携を深め行政や関係機関を巻きオンダ活動が求められる。新しい支部活動を考えるために令和2年度より支部長を看護部長クラスとし、継続して役員を担っていただく仕組みにした。情報共有を行いこれからの活動を強化するために、支部長会を開催した。

2) 出席者

地区支部長、担当理事、協会長、専務理事、職員（看護師） 計13名

3) 開催日及び内容

第1回 令和4年9月6日(月)

①会長より日本看護協会の情報提供

②支部活動進捗状況

③協議事項

- ・小中学校の出前講座について情報共有。
- ・フレイル予防活動を後期高齢者医療広域連合から受託した。有効に使ってほしい。
- ・地域包括ケア推進のために、地域の保健師と協働した活動を勧めたい。

第2回 令和4年12月13日(火)

①会長より日本看護協会の情報提供

②支部活動進捗状況

③協議事項

- ・令和5年度支部活動計画
- ・地域のニーズに応じた看護活動をするために、どのような活動をするか。
特に富山支部は大きいので取り組みにくいことがあるかもしれないが、地区を絞るとか個別の支部単位とするとか、行政と一緒に活動し地域のニーズを確認し支部活動を活性化させていきたい。他支部の活動報告も参考にする。
- ・オンライン、オンデマンド研修の活用も進める。

4) 理事・支部長名簿

支部名	担当理事	支部長
黒部・魚津	藤井淳子（黒部市民病院）	本多康子（黒部市健康増進課）
富山東・北	重松理恵（富山市民病院）	高島和代（不二越病院）
富山西・南	重松理恵（富山市民病院）	永田智雅（富山病院）
上市	重松理恵（富山市民病院）	川岸孝美（かみいち総合病院）
高岡・射水・氷見	米山美智代（高岡市民病院）	諸江由紀子（JCHO高岡ふしき病院）
砺波・小矢部	小倉里美（市立砺波総合病院）	谷村一美（南砺中央病院）

令和4年度 その他の助成事業報告

1 専門職による保健指導等支援事業（富山県委託事業）

1) 目的

市町村においては、国保被保険者の生活習慣病発症予防・重症化予防に重点をおいた保健指導が求められ、取り組んでいる。富山県の市町村国保はメタボリックシンドローム該当者の割合が全国的にも高く、糖尿病による新規人工透析患者も増加傾向にあることから、より効果的・継続的な取り組みが必要である。そこで、市町村の実情に応じて専門職を派遣し、市町村国保の保健指導の効果的・効率的な実施及び保健指導実施者の資質向上などの人材育成の面からも支援することを目的とする。

2) 内容

(1) 市町村の専門職が行う保健指導(特定保健指導、糖尿病性腎症保健指導の訪問指導等)に同行等行い、技術的支援を行う。

- ①訪問前の対象者情報及び支援方針等の確認
- ②同行訪問の実施
- ③訪問後の振り返り、今後の支援方針の確認

実施市町村	講師	派遣 看護師
実績なし		

(2) 特定健診・特定保健指導未受診者に対する個別勧奨（電話等）

実施市町村	講師	派遣 看護師
高岡市 令和4年12～5年3月 計32回	看護師	1

(3) 事例検討会及び保健指導実施後の評価会議等での助言指導等

実施市町村	講師	派遣 看護師
黒部市 令和5年2月28日(火)	黒部市民病院 糖尿病看護認定看護師	1
魚津市 令和5年2月28日(火)	小矢部市、真生会富山病院 糖尿病看護認定看護師	2

(4) 重症化予防対策における保健指導（高血圧、血糖コントロール不良者への個別訪問）
令和4年度は実施なし

○ (3) の講師については、糖尿病看護専門看護師に派遣調整を依頼した。

令和4年度高齢者保健事業推進基盤整備事業（フレイル予防）実績報告

1 目的

富山県看護協会では、会員の質の向上及び公益的に県民の健康増進に寄与するため、県内を8支部において地域の課題に応じた活動を行っているところである。今後、高齢者がさらに増加する中、健康で長生きするためには、心身ともに自己管理が必要であることから、県下全域においてフレイル予防への普及啓発を行い、県民の健康寿命の延伸を図る。（富山県後期高齢者医療広域連合の委託事業）

2 実施主体

富山県看護協会 各支部（8支部体制）

3 実施内容

(1) 普及啓発事業

支部名	回数	内 容
黒部・魚津支部	25	高齢者サロンや通いの場等の実施会場、庁舎窓口、研修会場等で、フレイル予防の3本柱を記載したオリジナルマスクを作成し、配布し啓発した。
富山東・北支部	2	2病院において、健康チェック、血圧測定、健康相談、体脂肪測定に加え、フットケア指導しによる足のチェックや認知症予防の説明に合わせてフレイル予防の啓発を行った。
富山西・南支部	8	病院でのコロナワクチン接種観察時間にリーフレットを配布。市の生涯フェスティバルにおいてポスターやパネルの掲示、リーフレットを配布。計400名。
上市支部	2	病院の外来待合室やコロナワクチン接種会場にて、フレイル予防のDVDを作成し動画上映やリーフレットを配布した。
高岡・射水・氷見支部	10	2病院にて糖尿病教室や骨粗鬆症教室参加者にパンフレットを配布。病院フェスティバルやシルバー祭りでもリーフレットを配布、啓発を行った。
砺波・小矢部支部	4	市保健センター、公民館でフレイル予防のパンフを配布し啓発を行った。

(2) 研修会

支部名	内 容
上市支部	① 神経難病患者の相談会で、食事に関する講義を実施 ② 中新川郡医療従事者対象にフレイル予防研修会を開催
砺波・小矢部支部	市保健センター、公民館でフレイル予防のパンフレットを配布し、パンフレットの内容に沿った講義と体操を行った。

(3) モデル地区における事業（上市地区）

① 啓発普及事業

- ・フレイル予防の動画を作成。新型コロナワクチン接種会場や病院外来で上映。
- ・中部厚生センターと協働監修し、リーフレット「しっかり食べて低栄養・フレイルの予防」を作成。新型コロナワクチン接種会場で配布。
- ・病院の外来待合室やコロナワクチン接種会場にて作成した動画を上映、摂食嚥下障害看護認定看護師によるミニ講座（口腔フレイル）を実施した。
- ・町の健診センターにおいてフレイル予防の動画を上映した。
- ・管内2カ所の病院外来待合室において、動画上映、リーフレットを配布した。

② 研修会

- ・神経難病患者及び家族30名に対して「おいしく安全に食事を楽しむために」の講義と個別相談を実施。（中部厚生センターと協働）（講師：摂食嚥下障害看護認定看護師）
- ・中新川郡医療従事者を対象にしたフィジカルアセスメント、フレイル予防に関する研修会を実施。（講師：医師）

令和5年度 富山県行政への要望事項

令和4年9月1日実施（対 厚生部長）

1 看護の質の向上について

(1) 新人看護職員及び若手看護職員の人材育成の強化

新卒看護職員の離職率は、医療機関の新人教育体制の充実により低下しているが、コロナ禍で実習時間も限られている中新卒看護師の実践能力の低下が見られ、新人看護師教育に必要な高機能教育教材（シミュレーター）の補助基準額を見直していただきたい。

また、2～5年目の若手看護職員の離職率が増えている。退職理由等の実態を踏まえ、若手看護職員の離職防止につながる研修内容を構築していただきたい。また、看護協会で若手看護職員の実態を反映した研修を開催したいので、予算化していただきたい。

(2) 保健師の人材育成及び計画的な人材確保の強化

富山県保健師人材育成ガイドライン（令和2年3月改訂）の活用実態を調査していただき、市町村保健師を含めた自治体保健師の質の向上のための取り組みにつなげていただきたい。

(3) 特定行為研修了者の活用

地域包括ケア推進のために特定行為研修を医療機関で進めているところであるが、特定行為研修機関の連携強化や特定行為研修了者の活動推進における課題とその解決に向けた対策を検討することを目的に、県で連絡協議会を設立していただきたい。

(4) 訪問看護師の質の向上

医療ニーズの高い在宅療養者に質の高い訪問看護の提供を推進する観点から、在宅領域において実施頻度の高い特定行為をまとめた「在宅・慢性期領域パッケージ研修」を県内で開催していただきたい。

(5) 県立大学における地域貢献

県立大学に大学院・専攻科が設置されるが、専攻科で行う保健師・助産師の教育を、いずれは大学院で取り組んでいただきたい。また、地域に根差した保健師・助産師の定着支援と、県内分娩取り扱い医療機関における助産師確保のために定員を増員していただきたい。

さらに、専門看護師教育課程や認定看護管理者の開設など、看護への社会的ニーズに応じた研修会の企画等、看護職のキャリア形成支援の拠点となっていただきたい。

2 看護職の働き方改革の推進

(1) 看護職の多様な働き方への支援

潜在看護師の復職を支援する体制を検討していただきたい。また、現在集合研修のみで行っている再就業研修を、eラーニングを併用して行える教育体制を整備するため予算化していただきたい。

(2) 看護業務負担軽減のためのIT化導入支援

看護職の看護業務の中で、看護記録に関する負担軽減のための看護記録の「音声入力システム」や入眠中の患者のバイタルチェックの負担軽減につながる「眠りスキヤンスマートベッドシステム」などの導入により、看護業務の効率化を図りたい。その購入に対する財政支援を考えていただきたい。

(3) アフターコロナでの看護職メンタルヘルス対策

コロナで第一線の医療機関等で働いている看護職が、さまざまな疲弊によりメンタルを病む事例が増えており、看護職のメンタルヘルス対策は重要な課題となっている。既に相談窓口は設置

されているが、看護職員が働き続けるための負担の軽減のため、県で臨床心理士を雇用し、各医療機関へ派遣するなどの相談体制を整えていただきたい。

(4) 看護補助者の確保

看護業務をタスクシェア・シフトの流れの中で、看護職の業務負担がさらに増加することがないよう、看護補助者との共同をさらに推進していくことが重要であり、看護補助者確保は喫緊の課題である。

看護補助者を対象とした学ぶ環境整備や研修への助成に取り組んでいただきたい。また、ハローワークなど関係機関に対して、看護補助者の必要性をPRして、人材確保について取り組んでいただきたい。

(5) 子育て支援（学童保育、延長保育、病児保育等）の充実と仕事と育児の両立支援

子育てをしている看護職が、子どもを安心して預けながら不安なく仕事ができる、仕事と子育てを両立できる環境づくりについて、より一層市町村へ働きかけていただきたい。また、男女の仕事と育児の両立支援についても、直接企業や県民に働きかけていただきたい。

(6) ハラスメント対策

職員間だけでなく、患者や利用者からのハラスメントなど看護職が受ける様々なハラスメントについて、実態調査を行い、専門職が対応する相談窓口の設置及び対応策が明確になるような研修を企画していただきたい。

3 看護領域の開発・展開について

(1) 医療的ケア児への支援充実のための看護職の確保

富山県医療的ケア児等支援センターでは、相談支援や関係機関との連携・調整を担っている。専門相談員は福祉職が担っているが、医療面の相談や市町村等の連絡強化のため、保健師等看護職の配置を要望したい。

また、医療的ケア児が在宅生活を継続できるように、学校や福祉で働く看護職に対して定期的な研修を看護協会で行うための予算を要望したい。

(2) 訪問看護ステーションの労働環境改善への支援

事務職員の配置がない訪問看護ステーションが、看護職員の事務負担を軽減し、専門業務に注力できる環境を整備するため、事務職員や医療クラーク等の雇用経費を支援する制度について他県の状況を調査するとともに、補助金制度を整備していただきたい。

(3) 全世代型地域包括ケアシステム推進に向けた施策の推進

妊娠期から育児期に身近な場所で切れ目のない支援が受けられるよう母子の地域包括ケアシステムの体制整備を推進していただきたい。なかでも「院内助産・助産師外来の推進」に加えて、「ユニットマネジメント」等将来的な産科病棟のあり方について医療計画に盛り込んでいただきたい。産後ケアについては実施主体である市町村が医療機関等と連携しながらすすめられるよう支援いただきたい。

また、医療ニーズがある中等度者の在宅療養継続支援のために訪問看護・訪問介護・通所・宿泊・相談の機能を一体的に提供できる看護小規模多機能居宅介護を推進するため、管理の現状など必要な調査を行い、設置に向けて介護保険事業支援計画に盛り込んでいただきたい。

(4) 地域における感染症・災害への対応力・連携強化

今後の地域づくりとして、感染症や災害対応、地域住民の健康増進に取り組むために、行政・介護と医療機関の看護職が日頃から連携し、地域の課題を共有する場を作っていただきたい。

令和4年9月1日

公益社団法人 富山県看護協会
会 長 稲村 睦子

令和4年度 行政機関および関連団体等からの委員等の就任状況

委託先	団体会議名	役員・委員等
富山県	富山県医療審議会・医療法人部会	委員
	富山県医療対策協議会	委員
	富山県新型インフルエンザ等対策検討委員会	委員
	富山県循環器病対策推進協議会	委員
	富山県防災会議	委員
	富山県がん対策推進協議会・がん診療体制部会	委員
	富山県がん対策推進県民会議	委員
	富山県母乳育児推進連絡協議会 理事会	理事
	富山県母子保健推進員連絡協議会	顧問
	富山県周産期保健医療協議会	委員
	富山県社会福祉審議会・高齢者福祉専門分科会	委員
	富山県あんしん在宅医療・訪問看護推進会議	委員
	富山県障害者施策推進協議会 (富山県自立支援協議会・富山県障害者差別解消協議会)	委員
	富山県小児医療等提供体制検討会	委員
	富山県透析患者等発生予防推進事業連絡協議会	委員
	富山県地域リハビリテーション推進会議	委員
	富山県国民健康保険運営協議会	委員
	富山県健康づくり県民会議	委員
	富山県健康づくり県民会議 計画策定・評価実施部会	委員
	富山県難病対策地域協議会	委員
	公立大学法人富山県立大学経営審議会	委員
	公立大学法人富山県立大学研究協力会 理事会	理事
	北陸公衆衛生学会 評議員会	評議員
	富山マラソン 2022 実行委員会	委員
	富山マラソン 2022 メディカル協議会	委員
	サンフォルテフェスティバル実行委員会	委員
	富山県ウイメンズフェスティバル健康・スポーツ交流大会運営委員会	委員
	富山県女性団体連絡協議会	加盟団体長
	富山県薬事審議会	委員
	富山県精神医療審査会	委員
	富山県水防協議会	委員
	富山県献血推進協議会	委員
	富山県骨髄バンク推進連絡協議会	委員
特別支援学校医療的ケア体制整備事業運営協議会	委員	
富山県犯罪被害者等支援協議会	団体代表者	

委託先	団体会議名	役員・委員等
富山市	富山市地域包括支援センター運営協議会 評価委員会	委員
	富山市介護予防推進会議	委員
	富山市自殺対策推進連絡会議	委員
	富山市社会福祉審議会	委員
	富山市保健所運営協議会	委員
	富山市民病院地域医療支援病院委員会	委員
	富山市民病院事業経営改善委員会	委員
	富山市要保護児童対策地域協議会代表者会議	代表者
	富山市防災会議	委員
	富山市生活支援体制整備推進会議	委員
	富山市地域密着型サービス等運営委員会	委員
	富山市障害者自立支援協議会	委員
	富山市障害者差別解消支援協議会	委員
	富山市認知症総合支援事業検討委員会	委員
富山市国民保護協議会	委員	
高岡市	学校法人未来高岡 富山県高岡看護専門学校 評議員会	評議員
	富山県高岡看護専門学校修学資金審査委員会	委員
関連団体等	社会福祉法人富山県社会福祉協議会 評議員会	評議員
	富山県高次脳機能障害支援センター相談支援体制連携調整会議	委員
	富山県福祉人材確保対策会議	委員
	富山県福祉カレッジ運営委員会 富山県健康・福祉人材センター運営委員会	委員
	社会福祉法人富山県社会福祉総合センター 評議員会	評議員
	医療法人財団とやま医療健康センター 評議員会	評議員
	富山県民ボランティア総合支援センター 理事会	理事
	富山県民ボランティア総合支援センター運営委員会	委員
	富山県民ボランティア・NPO大会企画運営委員会	委員
	富山県民福祉推進会議	委員
	福祉用具・アイデアコンクール運営審査委員会	委員
	社会福祉法人恩賜財団済生会支部富山県済生会支部 理事会	理事
	富山県済生会富山病院地域医療支援病院運営委員会	委員
	富山赤十字病院地域医療支援病院委員会	委員
	厚生連高岡病院地域医療支援病院委員会	委員
	女性保護富山県民協議会 役員会	理事
	富山県健康づくり財団 理事会	理事
	全国健康保険協会富山支部 評議会	評議員
	富山県訪問看護ステーション連絡協議会	理事
	日本糖尿病協会富山県支部常任理事会・理事会	理事
	富山県介護支援専門員協会	理事
	富山県後期高齢者医療広域連合運営懇話会	副会長
	社会福祉法人セーナー苑 評議員会	評議員
	富山県糖尿病対策推進会議	幹事
	富山県医療勤務環境改善支援センター運営協議会	委員
	富山大学大学院 総合医薬学研究科総合医薬学専攻看護科学プログラム特定行為研修管理委員会	委員

令和4年度 他団体等への推薦

委託先	委員名	任期 (年)	令和4年度 推薦数 (人)	総数 (人)
富山県	富山県新生児聴覚検査事業に係る協議会委員	2	1	1
	公立大学法人富山県立大学研究協力会 リエゾンサポーターリーダー	1	1	1
	富山地域医療推進対策協議会・災害医療部会委員	2	1	1
	富山地域医療推進対策協議会・がん・在宅医療部会委員	2	1	1
	富山県リハビリテーション病院・こども支援センターの 指定管理候補者選定委員会委員		1	1
	新川地域災害医療連携会議	1	0	1
富山市	富山市介護認定審査会委員	2	33	33
	富山市障害支援区分判定審査会委員	2	2	2
高岡市	高岡市介護認定審査会委員	2	10	10
	高岡市子ども・子育て会議委員	2	1	1
	高岡市要保護児童対策地域協議会委員	1	1	1
氷見市	氷見市要保護児童対策地域協議会代表者会議	1	0	1
関連団体等	富山県高齢者総合相談センター専門相談員（健康・介護相談）	1	1	1
	富山県高齢者総合相談センター専門相談員（認知症ほっと電話相談）	1	4	4
	富山大学特定行為研修に関する医療関係者	2	1	2
	全国健康保険協会富山支部健康づくり推進協議会委員	2	1	1
	富山家庭裁判所委員会委員	2	1	1
	富山家庭裁判所家事調停委員	2	0	3

令和4年度 後援・協力等依頼報告

受諾の後援等

内 容	団体名（主催及び依頼者）	開催場所	開催等予定日
第8回日本医療安全学会 学術総会	日本医療安全学会	アクトシティ浜松 コンgresセンター	2022/6/11(土) 6/12(日)
摂食嚥下ケア研修会9th クール基礎講座	北陸の摂食嚥下ケアを支える会	WEB開催	2022/7/3(日) 7/31(日)
第57回日本理学療法学会 研修大会inとやま	日本理学療法士協会	オンライン開催	2022/7/9(土) 7/10(日)
第6378回事務・販売・サービス 【含む医療・福祉】部門QCサー クル大会	QCサークル北陸支部 富山地区	高周波文化ホール	2022/7/13(水)
肝がん撲滅フォーラム2022	日本肝臓学会	富山県民会館 704号室	2022/7/30(土)
福祉のお仕事フェア in TOYAMA	富山県社会福祉協議会 富山県民間保育連盟	富山国際会議場	2022/7/30(土) 7/31(日)
目的別入学説明会（Aコース）	放送大学富山学習センター	放送大学富山学習センター 講義室2	2022/8/2(火)～8/4(木)等
富山大学附属病院 総合がんセ ンター市民公開講座	富山大学附属病院	富山国際会議場	2022/9/17(土)
摂食嚥下ケア研修会 9thクール Advance編	北陸の摂食嚥下ケアを支える会 富山本部	富山県総合情報センター WEB	2022/10/2(日)
		高岡商工会議所 WEB	2022/10/30(日)
第30回富山県NST研究会	富山県NST研究会 EAファーマ(株)北陸営業所	ボルファートとやま (ハイブリッド開催)	2022/10/15(土)
第49回富山県感染対策研究会	富山県感染対策研究会 ニプロ(株) テルモ(株) 等	富山大学附属病院 医薬イノベーションセンター1階	2022/10/15(土)
富山県アイバンク設立30周年 記念大会	富山県アイバンク	ホテルグランテラス富山	2022/10/15(土)
第20回北陸言語聴覚学術集会	富山県言語聴覚士会 第20回北陸言語聴覚学術集会 実行委員会	WEB開催	2022/10/16(日)
新川地域在宅医療支援センター 市民公開講座	新川地域在宅医療支援センター	みらーれTV (黒部市・入善町・朝日町)	2022/10/28(金) ～11/3(祝・木)
		NICE-TV(魚津市)	2022/10/30(日)～11/5(土)
富山大学附属病院高齢者がん対策 市民公開講座	富山大学附属病院	高岡商工会議所 大ホール	2022/11/5(土)
令和4年度福祉用具・アイディ アコンクール	富山県 富山県社会福祉協議会	富山県総合福祉会館 (サンシップとやま)	2022/11/6(日)
第14回富山赤十字病院 公開健康講座	富山赤十字病院	富山赤十字病院3階 講堂 (ハイブリッド開催)	2022/11/11(金)
講演会	富山県腎友会	サンシップとやま 研修室 WEBによるライブ配信 (アーカイブ配信あり)	2022/11/13(日)
第96回日本糖尿病学会 中部地方会	日本糖尿病学会中部地方会	富山国際会議場 ハイブリッド開催 (Zoom)	2022/11/19(土) 11/20(日)
秋の福祉のお仕事フェア in TOYAMA (児童・保育分野)	富山県社会福祉協議会 富山県民間保育連盟	富山県総合福祉会館 (サンシップとやま)	2022/11/26(土)
第26回富山県理学療法学会 第20回富山県作業療法学会	富山県理学療法士会 富山県作業療法士会	新川文化ホール	2022/11/27(日) 2023/2/26(日)
第9回日本医療安全学会学術総会	日本医療安全学会	東京理科大学 葛飾キャンパス	2023/3/11(土) 3/12(日)
Kanazawa Coronary Conference2023	北陸PTCA教育ライブ研究会	石川県地場産業振興センター	2023/3/17(金) 3/18(土)
第8回摂食嚥下ケア特別研修会	北陸の摂食嚥下ケアを支える会 富山本部	富山西総合病院 + WEB (ハイブリッド開催)	2023/3/25(土)
北陸医療安全 Webセミナー	アッヴィ合同会社 富山県臨床検査技師会	Web配信	2023/6/9(金)
第1回医療安全心理・行動学会 学術総会	医療安全心理・行動学会	東京大学 本郷キャンパス	2023/7/29(土) 7/30(日)
肝がん撲滅フォーラム2023	日本肝臓学会	富山県民会館 704号室	2023/7/29(土)

令和4年度 富山県看護協会 施設別・職種別会員数

令和5年3月31日現在

施設名	保	助	看	准	合計	施設名	保	助	看	准	合計
国立大学法人富山大学附属病院		50	689		739	医療法人社団あずさ会 川田病院			1		1
富山県立中央病院	1	74	688		763	医療法人社団あずさ会 駅南あずさ病院			1		1
富山県リハビリテーション病院・こども支援センター			158		158	医療法人社団七徳会 魚津病院			17		17
富山市立富山市民病院		20	472		492	医療法人新川病院			4		4
富山赤十字病院	7	43	406		456	医療法人深川病院			6		6
富山県済生会富山病院	2	1	229		232	医療法人社団弘仁会 魚津緑ヶ丘病院			6	4	10
富山市立富山まちなか病院	1	2	25		28	医療法人社団友愛病院会 陽和温泉病院			4		4
高岡市民病院 看護科	7	12	322		341	医療法人財団正友会 中村記念病院			4		4
厚生連高岡病院	24	18	519		561	医療法人社団秀林会 吉見病院		1	3		4
富山県済生会高岡病院		20	205		225	医療法人社団平成会 桜井病院			3		3
独立行政法人国立病院機構 富山病院			78		78	池田リハビリテーション病院			9	1	10
独立行政法人国立病院機構 北陸病院			49		49	医療法人社団友愛病院会 黒部温泉病院			6		6
独立行政法人地域医療機能推進機構 高岡ふしき病院	6		73	1	80	医療法人社団藤和会 砺波サンシャイン病院			2		2
独立行政法人労働者健康安全機構 富山労災病院	1	5	181		187	医療法人社団三医会 となみ三輪病院			6	1	7
金沢医科大学水見市民病院			182	5	187	医療法人社団寿山会 あおい病院			8		8
厚生連滑川病院	7	8	145	2	162	医療法人社団にしのか 西野内科病院			1		1
黒部市民病院	2	29	319		350	医療法人社団寿恵会 つざわ津田病院			6	1	7
市立砺波総合病院	5	27	377		409	医療法人社団良俊会 ふくの若葉病院			14		14
公立学校共済組合 北陸中央病院	1		127	1	129	医療法人真生会 真生会富山病院	1		176	1	178
南砺市民病院	3		132	4	139	医療法人社団檜の木会 大島くるみ病院			4		4
公立南砺中央病院	1		69		70	姫野病院			1		1
射水市民病院	1		144		145	医療法人財団恵仁会 藤木病院			3		3
かみいち総合病院	5	7	125	1	138	医療法人社団秋桜 丸川病院			24	4	28
あさひ総合病院			101	1	102	医療法人仁敬会 入善セントラル病院			3		3
不二越病院	6		63	2	71	医療法人社団健心会 坂東病院			4		4
富山医療生活協同組合 富山協立病院			73		73	セーナー苑診療所			9		9
特定医療法人財団五省会 西能病院		1	77	4	82	なかしま産婦人科		11	7	1	19
医療法人社団藤聖会 八尾総合病院		1	30		31	医療法人社団吉本レディースクリニック		4	2		6
医療法人北聖病院			2		2	医療法人社団桜仁会 さくら内科・神経内科クリニック			2		2
医療法人社団城南会 富山城南温泉病院			18		18	医療法人社団恵成会 榎谷内科			1		1
常願寺病院			7		7	女性クリニックWe富山			4		4
特定医療法人財団博仁会 横田記念病院			23	4	27	長田整形外科クリニック			1		1
流杉病院			25	2	27	月岡クリニック			1		1
医療法人社団友愛病院会 友愛温泉病院			9		9	かんすいこうえんレディースクリニック		3			3
医療法人社団和敬会 谷野呉山病院	1		42	1	44	医療法人社団博啓会 アイ・クリニック	1		1		2
医療法人社団東方会 おおやま病院			21	7	28	医療法人社団萩野医院			3		3
政岡内科病院			8		8	医療法人社団アルベン会 アルベン室谷クリニック			1		1
医療法人社団親和会 富山西リハビリテーション病院			48	3	51	くれよん在宅クリニック			1		1
特定医療法人社団三医会 三輪病院			14		14	富山駅前おおむら内科内視鏡クリニック			1		1
いま泉病院			4		4	しんたにこどもクリニック				1	1
医療法人社団清幸会 島田病院			2		2	沼内科医院			4		4
医療法人社団アルベン会 アルベリハビリテーション病院			15		15	瀬尾内科医院			1		1
特定医療法人財団五省会 西能みなみ病院			29	2	31	あいARTクリニック			1		1
南富山中川病院			3		3	医療法人社団信和会 魚津神経サナトリウム			1		1
医療法人社団城南会 富山城南温泉第二病院			3		3	医療法人ホスピエー			1		1
医療法人社団双星会みなみの星病院			5		5	佐伯レディースクリニック		2			2
医療法人社団重仁会 佐々木病院			4		4	けやきひふ科			1		1
医療法人社団尽誠会 野村病院			5		5	南砺市上平診療所			1		1
チューリップ長江病院			13	1	14	南砺家庭地域医療センター			2		2
医療法人社団藤聖会 富山西総合病院			132	1	133	富山県厚生部医務課	2		1		3
医療法人社団スバル杉野脳神経外科病院			3		3	富山県厚生部健康対策室健康課	11				11
富山駅前ひまわり病院			1		1	富山県経営管理部人事課	1				1
医療法人社団川岸会 万葉病院			1		1	富山県厚生部高齢福祉課	3				3
光ヶ丘病院			60	13	73	富山県厚生部厚生企画課	1				1
医療法人高岡みなみハートセンター みなみの社病院		1	16	1	18	富山県厚生部障害福祉課	1				1
医療法人社団睦心会 あさなぎ病院			16		16	富山県厚生部こども家庭室子育て支援課	2				2
医療法人社団整志会 沢田記念高岡整志会病院			76		76	富山県高岡厚生センター	16				16
医療法人明心会 柴田病院			2		2	富山県高岡厚生センター射水支所	6				6
医療法人社団志貴野会 サンパリー高岡病院			11		11	富山県高岡厚生センター氷見支所	7				7
医療法人社団志貴野会 サンパリー福岡病院			4		4	富山県新川厚生センター	10				10

施設名	保	助	看	准	合計	施設名	保	助	看	准	合計
富山県新川厚生センター魚津支所	5				5	株式会社ラ・ファミユ 訪問看護ステーションわか木					4
富山県中部厚生センター	11				11	株式会社Yメディカルサービス あさなぎ訪問看護ステーション					2
富山県砺波厚生センター	11				11	氷見訪問看護ステーション					7
富山県砺波厚生センター小矢部支所	4				4	滑川市医師会訪問看護ステーション					1
富山県心の健康センター	2				2	下新川郡医師会 黒部訪問看護ステーション					1
富山県富山児童相談所	3				3	訪問看護ナースソフィアにいかわ					2
富山県高岡児童相談所	3				3	ものがたり訪問看護ステーション					3
富山県立黒部学園	1				1	訪問看護ステーションあはかど					6
富山県立砺波学園	1				1	南砺市訪問看護ステーション					17
富山市福祉保健部介護保険課	2				2	訪問看護ステーションなでしこ					3
富山市福祉保健部障害福祉課	1				1	中新川訪問看護ステーション					5
富山市福祉保健部長寿福祉課	6		1		7	朝日町在宅介護支援センター 訪問看護ステーション					3
富山市役所こども健康課	8		1		9	社会福祉法人梨雲福祉会 特別養護老人ホーム梨雲苑					13
富山市役所保険年金課	3				3	特定非営利活動法人デイサービス このゆびとーまれ					2
富山市役所こども家庭部			4		4	老人保健施設 白雲荘					1
富山市役所福祉保健部福祉政策課	3				3	老人保健施設シルバークア今泉					1
富山市保健所	19		4		23	特定医療法人財団五省会 介護老人保健施設みどり苑	1				7
富山市中央保健福祉センター	14				14	グループホーム ひより					1
富山市大沢野保健福祉センター	3				3	介護老人保健施設シルバークア羽根苑					1
富山市大山保健福祉センター	3				3	特別養護老人ホーム くれは苑					1
富山市八尾保健福祉センター	4				4	介護施設 日和野					1
富山市西保健福祉センター	7				7	介護老人保健施設チューリップ苑					6
富山市南保健福祉センター	8				8	シルバーケア城南					2
富山市北保健福祉センター	11				11	八尾老人保健施設風の庭					9
富山市まちなか総合ケアセンター病児保育室			1		1	富山型デイサービスくわの里					1
富山市まちなか総合ケアセンター	3	3	3		9	養護老人ホーム志貴野長生寮					1
高岡市福祉保健部	29	1			30	介護老人保健施設さくら苑					1
魚津市健康センター	11				11	介護老人保健施設おおぞら					10
魚津市役所社会福祉課	5				5	特別養護老人ホームあさひ苑					1
氷見市役所	12				12	特別養護老人ホーム藤園苑					3
滑川市民健康センター	4				4	特別養護老人ホーム やなせ苑					4
滑川市役所福祉介護課	5				5	砺波市役所 北部苑					1
滑川市役所市民課	1				1	ケアポート庄川					2
砺波市健康センター	20				20	介護老人保健施設ゆうゆうハウス					1
小矢部市民生部健康福祉課	15		1		16	南砺市地域包括支援センター	4				4
南砺市健康課保健センター	4	1			5	老人保健施設サンセリテ					1
南砺市役所健康課	3				3	社会福祉法人小杉福祉会 大江苑デイサービスセンター					1
射水市保健センター	21				21	社会福祉法人尊寿会 特別養護老人ホーム七美ことぶき苑					1
射水市福祉保健部	1				1	医療法人社団藤聖会 上市老人保健施設つぎの庭					2
舟橋村役場生活環境課	2				2	社会福祉法人立山福祉会 特別養護老人ホーム竜ヶ浜荘					1
上市町役場福祉課	8		1		9	社会福祉法人特別養護老人ホーム おあしす新川					1
立山町健康福祉課	13				13	入善老人保健施設こぶしの庭					7
入善町保健センター	8				8	富山市立堀川保育所					1
朝日町保健センター	1				1	富山市立福島保育所					1
公立大学法人富山県立大学看護学部看護学科	6	9	42		57	富山市立愛宕保育所					2
独立行政法人国立病院機構 富山病院附属看護学校			4		4	富山市立呉羽保育所					1
富山県立富山いずみ高等学校 看護科		1	12		13	ふなはしこども園					1
富山県立高志支援学校			1		1	北陸電力株式会社富山支店総務部健康推進室	4				4
富山市立看護専門学校	1	1	10		12	富山県健康増進センター	3				6
富山県高岡看護専門学校	3	3	20		26	富山市医師会健康管理センター	3				6
富山市医師会看護専門学校		2	14		16	北陸予防医学協会高岡総合健診センター		1			1
学校法人富山国際学園富山短期大学	2		1		3	JFEミネラル株式会社 クロム&リサイクル事業部	1				1
学校法人青池学園 富山リハビリテーション医療福祉大学校	1				1	富山県社会福祉協議会					1
富山医療福祉専門学校		1	7		8	富山県国民健康保険団体連合会	1				1
公益社団法人砺波医師会 砺波准看護学院		1	3		4	富山県がん総合相談支援センター		1			2
社会福祉法人富山城南会 しみずまち敬寿苑訪問看護ステーション	1		3		4	社会福祉法人くるみ					1
東岩瀬訪問看護ステーション			1		1	社会福祉法人マーシ園療護ホーム					1
光風会訪問看護ステーション			6		6	公益社団法人富山県看護協会	2				10
訪問看護ステーションままアシスト			5		5	神明・五福地域包括支援センター	1				1
訪問看護ステーションジョジョ			1		1	訪問看護ステーションひよどり富山					6
高志訪問看護ステーション			3		3	ひよどり富山居宅介護支援事業所					2
訪問看護ステーションゆりかご	2		5		7	訪問看護ステーションひよどり					6
訪問看護ステーションほっととやま			3		3	富山県看護連盟	1				3
アイリス訪問看護ステーション			1		1						
医療法人社団すまいる おれんじ訪問看護ステーション			1		1						
訪問看護ステーションほのぼの			4		4						
もみじ訪問看護ステーション			6		6						
個人会員	29	42	574	10	655						
合計	508	407	7,975	92	8,982						

令和4年度 受彰者名簿

種 別	受 賞 者	所 属 (表 彰 時)
春の叙勲 瑞宝単光章	岡 田 芳 美	元 富山赤十字病院
	尾 川 洋 子	富山県がん相談支援センター
	瀬 川 美 香 子	元 富山大学附属病院
秋の叙勲 瑞宝単光章	田 中 佳 子	元 黒部市民病院
日本看護協会会長表彰	竹 澤 和 美	医療法人社団 双星会 みなみの星病院
	田 村 雅 子	富山県看護協会
富山県知事部門功労表彰	金 岡 亨 子	小矢部市役所
	神 保 浩 子	富山市立看護専門学校
	高 山 由 紀 子	黒部市民病院
	千 田 昌 代	富山県済生会富山病院
	渡 邊 富 美 子	元 厚生連滑川病院
富山県看護協会会長表彰	安 念 恵 子	元 富山市役所
	岩 城 光 子	厚生連滑川病院
	宇 波 淳 子	元 氷見市役所
	浦 野 妃 路 美	富山県リハビリテーション病院・ こども支援センター
	岡 本 里 美	富山県立中央病院
	川 岸 孝 美	かみいち総合病院
	越 坂 裕 子	富山県高岡厚生センター氷見支所
	境 信 子	富山県看護協会
	中 島 房 代	医療法人 光ヶ丘病院
	米 山 美 智 代	高岡市民病院

令和4年度 富山県看護協会 役員及び委員名簿

●役員（25名）

役職名	氏名	施設名
会長	稲村 睦子	公益社団法人富山県看護協会
副会長	岡本 里美	富山県立中央病院
副会長	中島 眞由美	学校法人富山国際学園富山短期大学
専務理事	向野 勝美	公益社団法人富山県看護協会
常任理事	満間 信江	公益社団法人富山県看護協会
保健師 職能理事	利田 智恵	富山県砺波厚生センター
助産師 職能理事	森 太貴子	富山赤十字病院
看護師 職能I理事	渋谷 美保子	富山県済生会高岡病院
看護師 職能II理事	原田 洋美	特定医療法人財団五省会 西能病院
監事	秋山 朝子	厚生連高岡病院
〃	浦野 妃路美	富山県リハビリテーション病院・こども支援センター
〃	河村 拓栄	河村公認会計士事務所
理事	岩城 光子	厚生連滑川病院
〃	岩田 三津子	氷見市子育て世代包括支援センター
〃	小倉 里美	市立砺波総合病院
〃	重松 理恵	富山市立富山市民病院
〃	佐伯 久恵	公立学校共済組合 北陸中央病院
〃	炭田 恵	独立行政法人労働者健康安全機構富山労災病院
〃	瀬山 尚子	富山県済生会富山病院
〃	高木 雅美	金沢医科大学氷見市民病院
〃	藤井 淳子	黒部市民病院
〃	丸池 小百合	国立大学法人富山大学附属病院
〃	吉澤 環	南砺市民病院
〃	米山 美智代	高岡市民病院
〃	嘉藤 和男	かみいち総合病院

●保健師職能委員（8名）

○副委員長

氏名	施設名
○石田 美奈	富山県高岡児童相談所
河村 智子	立山町健康福祉課
窪田 麻由子	魚津市役所社会福祉課(魚津市地域包括支援センター)
島田 彩可	厚生連滑川病院(健康管理センター)
高畠 仁美	富山市大山保健福祉センター
堀 叶	富山県新川厚生センター
山田 美紀	砺波市健康センター
吉國 真澄	高岡市福祉保健部 健康増進課

●助産師職能委員（8名）

○副委員長

氏名	施設名
小川 成美	黒部市民病院
竹澤 玲美	高岡市民病院
武田 ひとみ	富山市立富山市民病院
當波 かおり	富山県立中央病院
○鍋田 祐美子	なべた助産院
野末 緑	厚生連高岡病院
萩中 優子	富山赤十字病院
林 貴子	市立砺波総合病院

●看護師職能I委員（8名）

○副委員長

氏名	施設名
伊井 紀子	黒部市民病院
大坪 幸代	国立大学法人富山大学附属病院
田中 晴美	市立砺波総合病院
○中林 明子	富山県立中央病院
藤澤 都絵	富山市立富山市民病院
宝田 佐己子	富山県済生会高岡病院
森 純子	厚生連高岡病院
谷 佳子	特定医療法人財団博仁会 横田記念病院

●看護師職能II委員（8名）

○副委員長

氏名	施設名
荒井 順子	医療法人社団弘仁会 魚津緑ヶ丘病院
稲場 智佳子	入善老人保健施設こぶしの庭
大澤 史織	社会福祉法人梨雲福祉会特別養護老人ホーム梨雲苑
小川 晶美	砺波市訪問看護ステーション
波川 満喜	特定医療法人財団五省会 西能みなみ病院
松井 栄恵	医療法人社団整志会沢田記念高岡整志会病院
○森田 知佳子	南砺市訪問看護ステーション
宮木 貴英	介護老人保健施設おおぞら

●総務委員（8名） ◎委員長 ○副委員長

氏名	施設名
石原 美恵子	市立砺波総合病院
○小川 紀代美	高岡市民病院
島田 晃 希	特定医療法人財団五省会 西能病院
大門 香 織	独立行政法人国立病院機構 北陸病院
○谷川 智 子	富山市八尾保健福祉センター
橋場 香	富山市立富山市民病院
林 瑞 穂	あさひ総合病院
◎藤林 陽 子	射水市民病院

●教育委員（18名） ◎委員長 ○副委員長

氏名	施設名
酒井 和 子	国立大学法人富山大学附属病院
酒井 香津美	富山赤十字病院
○嶋田 浩 代	市立砺波総合病院
◎清水 好志美	富山市立富山市民病院
白又 小 晴	富山県中部厚生センター
高橋 夕 美	独立行政法人労働者健康安全機構富山労災病院
竹本 聡 美	南砺市民病院
田中 敦	富山県高岡看護専門学校
○豊本 香 里	高岡市民病院
中村 美 穂	金沢医科大学氷見市民病院
西 直 子	富山市西保健福祉センター
浜田 清 美	黒部市民病院
藤井 里 美	かみいち総合病院
松本 梨 佳	あさひ総合病院
○水口 直 美	富山県立中央病院
水野 泰 子	厚生連高岡病院
宮崎 政 代	富山市医師会看護専門学校
森下 幸 子	特定医療法人財団五省会 西能病院

●広報委員（10名） ◎委員長 ○副委員長

氏名	施設名
赤井 明 代	厚生連滑川病院
秋本 泰 恵	国立大学法人富山大学附属病院
◎岩崎 奈央子	富山市役所こども健康課
表寺 朱 美	富山県済生会富山病院
下村 由 美	富山県済生会高岡病院
高木 晶 子	不二越病院
戸田 敬 子	射水市民病院
橋爪 美 幸	富山県立中央病院
松田 香 織	富山赤十字病院
○水上 静	富山県リハビリテーション病院・こども支援センター

●社会経済福祉委員（8名） ◎委員長 ○副委員長

氏名	施設名
伊勢呂 智 実	富山市立富山まちなか病院
佐伯 京 美	富山県立中央病院
○澤井 啓 子	医療法人真生会 真生会富山病院
◎柴田 久 美	かみいち総合病院
西田 雅 人	独立行政法人地域医療機能推進機構高岡ふしき病院
南 英理子	独立行政法人国立病院機構 富山病院
向山 忍	公立学校共済組合 北陸中央病院
山本 麻 美	富山県リハビリテーション病院・こども支援センター

●看護倫理委員（5名） ◎委員長 ○副委員長

氏名	施設名
石倉 恵 美	厚生連高岡病院
○石崎 薫 恵	市立砺波総合病院
中西 美 雪	富山県済生会高岡病院
福澤 智香子	黒部市民病院
◎安 栄 千鶴子	富山赤十字病院

●医療安全委員（6名） ◎委員長 ○副委員長

氏名	施設名
浦本 かおり	黒部市民病院
太田 絹 子	金沢医科大学氷見市民病院
高橋 美由紀	国立大学法人富山大学附属病院
中井 博 子	富山市立富山市民病院
○広田 順 子	富山県済生会富山病院
◎和田 薫	高岡市民病院

●災害看護委員（5名） ◎委員長 ○副委員長

氏名	施設名
○飯澤 泉	高岡市民病院
五本 友 子	富山県立中央病院
◎鈴木 浩 美	黒部市民病院
能登 亜 希	市立砺波総合病院
樋口 正 樹	富山市立富山市民病院

●学会委員（8名） ◎委員長 ○副委員長

氏名	施設名
○岩村 徳 子	富山赤十字病院
大江 美由紀	富山市立富山市民病院
坂中 善 恵	富山市立看護専門学校
田村 愛	国立大学法人富山大学附属病院
寺井 彩	厚生連高岡病院
◎長瀬 佐知子	市立砺波総合病院
比企 雅衣子	富山県高岡看護専門学校
堀 泰 雄	富山県立中央病院

●選挙管理委員（5名） ◎委員長 ○副委員長

氏名	施設名
朝倉 由 紀	独立行政法人労働者健康安全機構富山労災病院
◎石黒 幸 子	富山県立中央病院
柏嶋 由香里	射水市民病院
○河村 立 子	公立南砺中央病院
成瀬 久美子	富山市福祉保健部介護保険課

●推薦委員（10名） ◎委員長 ○副委員長

氏名	施設名
石田 典 子	市立砺波総合病院
江川 志 乃	国立大学法人富山大学附属病院
岡田 久美子	射水市民病院
片山 幸 代	あさひ総合病院
○杉野 みのり	富山市立富山市民病院
但田 誠 子	南砺市健康課保健センター
◎丹羽 麻衣子	滑川市民健康センター
松平 鈴 乃	黒部市民病院
桃井 成 子	富山県砺波厚生センター
横山 真 代	厚生連滑川病院

認定看護管理者教育課程 教育運営委員（9名）

氏名	施設名
岡本里美	富山県立中央病院
丸池小百合	富山大学附属病院
米山美智代	高岡市民病院
藤井淳子	黒部市民病院
小倉里美	市立砺波総合病院
西谷美幸	富山大学
神保浩子	富山市立看護専門学校
平和美	富山県厚生部医務課
満間信江	富山県看護協会

新人看護職員研修推進会議 委員（10名）

氏名	施設名
岡本里美	富山県立中央病院
原田洋美	特定医療法人財団五省会 西能病院
田中美智子	医療法人社団整志会沢田記念高岡整志会病院
小倉里美	市立砺波総合病院
藤井淳子	黒部市民病院
重松理恵	富山市立富山市民病院
宮本章子	富山県高岡看護専門学校
長谷川徹	長谷川病院
佐藤尚	医療法人社団藤聖会富山西総合病院
稲村睦子	富山県看護協会

新川（黒部）地区の看護師確保ワーキング（15名）

氏名	施設名
杉原雅子	富山医療福祉専門学校
川平俊博	富山県立桜井高等学校
平田千秋	黒部市役所
小倉信宏	黒部市役所
古川美佳	富山県新川厚生センター
野村幸恵	魚津公共職業安定所
藤井淳子	黒部市民病院
渡邊和美	黒部市民病院
池田秀之	黒部市民病院
松原俊之	富山県厚生部医務課
平和美	富山県厚生部医務課
上田瑠美子	富山県厚生部医務課
向野勝美	富山県看護協会
境信子	富山県看護協会ナースセンター
秋本記江	富山県看護協会 新川ナースセンターサテライト

富山県ナースセンター事業運営委員会（16名）

氏名	施設名
吉田宗夫	富山労働局職業安定部
鷺本洋一	富山県厚生部医務課
奥村勝俊	富山県市長会
村岡裕子	社会福祉法人富山県社会福祉協議会
長谷川徹	公益社団法人富山県医師会
川端雅彦	富山県済生会高岡病院
岡本里美	富山県立中央病院
重松理恵	富山市立富山市民病院
藤井淳子	黒部市民病院
米山美智代	高岡市民病院
小倉里美	市立砺波総合病院
竹澤和美	医療法人社団双星会みなみの星病院
加藤真理子	富山赤十字訪問看護ステーション
利田智恵	富山県砺波厚生センター
宮本章子	富山県高岡看護専門学校

看護職のワーク・ライフ・バランス推進委員会（11名）

氏名	施設名
榎子嘉美	公立大学法人富山県立大学
中川浩一	富山県社会保険労務士会
川岸孝美	かみいち総合病院
谷村一美	公立南砺中央病院
渋谷美保子	富山県済生会高岡病院
佐伯久恵	公立学校共済組合北陸中央病院
柴田久美	かみいち総合病院
松原俊之	富山県厚生部医務課
稲村睦子	富山県看護協会
向野勝美	富山県看護協会
境信子	富山県看護協会 ナースセンター

令和4年度 支部役員名簿

支 部	担当理事	支 部 長	副支部長	会 計	役 員
黒部・魚津	⑧藤井 淳子 (黒部市民病院)	⑨本多 康子 (黒部市 健康増進課)	⑩鹿熊 梨香子 (あさひ総合病院)	⑪吉田 祥吾 (富山県新川厚生センター)	⑫福澤 智香子 (黒部市民病院)
富山東 富山北		⑬高島 和代 (不二越病院)	⑭郷谷 さと美 (富山赤十字病院)	⑮石黒 ひろみ (富山県立中央病院)	⑯場家 豊美 (富山県済生会富山病院) ⑰徳田 博美 (富山市立富山まちなか病院) ⑱高澤 秀幸 (富山県リハビリテーション 病院・こども支援センター)
富山西 富山南	⑲重松 理恵 (富山市立富山市民病院)	⑳永田 智雅 (独立行政法人国立病院機構 富山病院)	㉑田中 裕美 (富山市まちなか総合ケア センター)	㉒中嶋 裕紀 (富山市南保健福祉センター)	㉓山口 麻知 (医療法人社団藤聖会 富山西総合病院) ㉔中村 陽子 (国立大学法人 富山大学附属病院) ㉕松林 リカ (医療法人社団城南会 富山城南温泉病院)
上 市		㉖川岸 孝美 (かみいち総合病院)	㉗中西 早苗 (厚生連滑川病院)	㉘廣瀬 真由美 (かみいち総合病院)	㉙海原 真澄 (厚生連滑川病院) ㉚藤木 靖子 (立山町健康福祉課)
高岡・射水・ 氷見	㉛米山 美智代 (高岡市民病院)	㉜諸江 由紀子 (独立行政法人地域医療機能 推進機構高岡ふしき病院)	㉝森 朋子 (富山県済生会高岡病院) ㉞作道 はるみ (射水市保健センター)	㉟岩城 雅恵 (金沢医科大学氷見市民病院)	㊱中田 澄香 (厚生連高岡病院) ㊲大庭 純子 (高岡市民病院) ㊳中野 恵里花 (氷見市 健康課) ㊴森 留美 (氷見市訪問看護ステーション) ㊵井上 まさ代 (医療法人高岡みなみハート センターみなみの杜病院) ㊶竹田 玲奈 (医療法人真生会 真生会富山病院) ㊷加治 江利子 (射水市民病院) ㊸中川 萌楓 (富山県高岡厚生センター)
砺波・小矢部	㊹小倉 里美 (市立砺波総合病院)	㊺谷村 一美 (公立南砺中央病院)	㊻今井 真由美 (市立砺波総合病院) ㊼橋爪 奈千 (南砺市役所健康課)	㊽栄前田 美穂子 (南砺市民病院) ㊾野村 博恵 (独立行政法人国立病院機構 北陸病院)	㊿沼田 聖子 (小矢部市民生部健康福祉課) ㊽秋元 恵子 (公立学校共済組合 北陸中央病院)

令和5年度日本看護協会通常総会
代議員及び予備代議員名簿

(五十音順)

No.	代 議 員			予 備 代 議 員		
	職種	氏 名	勤 務 先	職種	氏 名	勤 務 先
1	看	大 坪 幸 代	国立大学法人 富山大学附属病院	保	石 田 美 奈	富山県砺波厚生センター
2	准看	嘉 藤 和 男	かみいち総合病院	助	岡 本 里 美	富山県リハビリテーション病院・ こども支援センター
3	看	渋 谷 美保子	富山県済生会高岡病院	看	鹿 熊 梨香子	あさひ総合病院
4	看	高 島 和 代	不二越病院	助	竹 澤 玲 美	高岡市民病院
5	保	中 島 眞由美	学校法人富山国際学園 富山短期大学	准看	谷 佳 子	特定医療法人財団博仁会 横田記念病院
6	看	中 西 早 苗	厚生連滑川病院	看	谷 村 一 美	公立南砺中央病院
7	看	原 田 洋 美	特定医療法人財団五省会 西能病院	看	満 間 信 江	公益社団法人 富山県看護協会
8	助	森 太貴子	富山赤十字病院	保	向 野 勝 美	公益社団法人 富山県看護協会
9	保	利 田 智 恵	富山県砺波厚生センター	看	森 田 知佳子	南砺市訪問看護ステーション

令和4年度 保健師指導力アップセミナー報告

保健師職能委員会

- 1 日時 令和4年11月12日(土) 13:30~16:30
- 2 場所 富山県看護研修センター
- 3 内容 講義「富山県糖尿病重症化予防プログラムについて」
講師 富山県厚生部健康課がん対策推進班 主任 赤川 真由子 氏
講義「生活習慣病の生体メカニズム～糖尿病重症化予防に向けて～」
講師 福田内科医院 院長 福田 一仁 氏

- 4 参加者 24名
経験年数 (回答者22名)

0～4年	5～9年	10～14年	15～19年	20～24年	25～29年	30年以上
14	4	1	0	1	1	1

5 講義の概要

- ・富山県では、糖尿病の重症化を予防し、透析療法に移行する患者を減らすことを目的として、富山県糖尿病性腎症重症化予防プログラムを実施している。
- ・糖尿病を予防するためには、健康診断を受診し、その結果が、自身の身体に何をもたらす可能性があるのかに気付くことが必要である。
- ・糖尿病治療においては、患者の年齢や体型、発生機序により、目標とするコントロール値や使用する薬物等が異なるため、患者個々の状況に応じた治療方法を決定していくことが重要である。

6 研修に対する評価

アンケート結果 (回答者22名)

項目		項目	
① 知識が整理できた	22	② 自己のニーズが満たされた	6
③ アイデアが得られた	5	④ 思考が明確になった	5
⑤ 実践に活かしてみたい	14	⑥ 問題解決の糸口が得られた	5
⑦ リフレッシュになった	2	⑧ 充実感が得られた	4
⑨ かえって混乱した	0	⑩ 求めたものが得られなかった	0

7 まとめ

- ・健診結果の評価の仕方から、最新の糖尿病治療、また、患者への療養指導の成功の秘訣に至るまで、多くの知識や技術を習得することができた。
- ・糖尿病で一括りにされてはいるが、その発生機序や年齢、体型、生活背景等に応じて、治療方法は個々で異なるため、対象と関わる際には、それらを理解し、個々に応じた支援を検討することが必要であることを学んだ。

令和4年度 人材育成研修会報告

保健師職能委員会

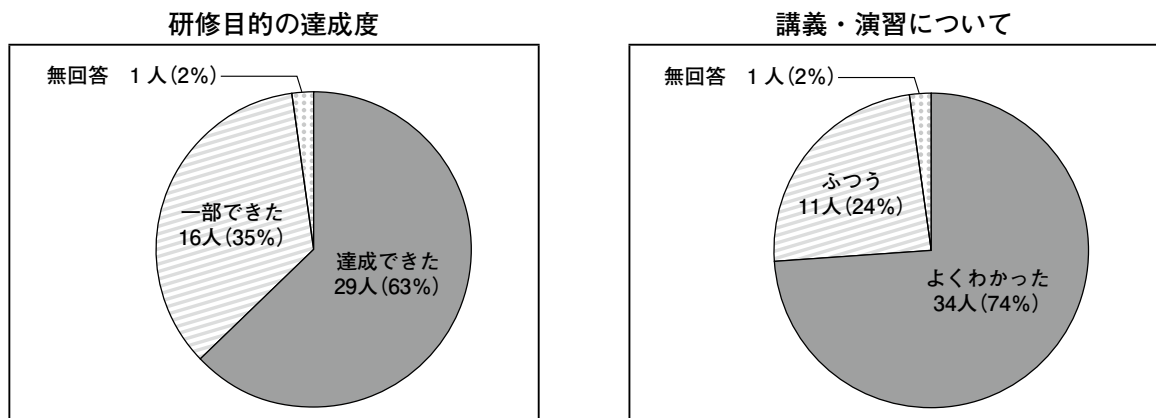
- 1 **ねらい** 職場での打合せや事例検討会、地域住民との話し合い、関係者との連絡会議などを行う上で、手応えや有意義な成果が得られる会議となるよう、参加者の意見や思いを引き出し、まとめていく方法を学ぶ
- 2 **日時** 令和4年9月24日(土) 13:00~16:00
- 3 **場所** 富山県看護研修センター
- 4 **内容** 講義・演習「ファシリテーションについて学ぶ～参加したくなる会議の作り方～」
講師 ファシリテーション協会 岸 靖久 氏

- 5 **参加者** 46名
(1) 職種 保健師：2名、助産師：3名、看護師：41名
(2) 経験年数

0～4年	5～9年	10～14年	15～19年	20～24年	25～29年	30年以上
0	1	9	9	15	7	5

- 6 **講義の概要**
・ファシリテーションとは、「人々の活動が容易にできるよう支援し、うまくことが運ぶよう舵取りすること。」話し合いの主体者は参加者であり、ファシリテーターが答えを提示したり、取捨選択していくわけではない。参加者に自分事として話し合いに参加してもらえるように工夫する。話し合いの場が「安心・安全な場」になるよう常に工夫する。

- 7 **研修会に対する評価**（アンケート回収（回収率100%）46名より）



研修後のアンケート結果（複数回答）

項目		項目	
① 知識が整理できた	17	② 自己のニーズが満たされた	8
③ アイデアが得られた	31	④ 思考が明確になった	11
⑤ 実践に活かしてみたい	27	⑥ 問題解決の糸口が得られた	15
⑦ リフレッシュになった	12	⑧ 充実感が得られた	8
⑨ かえって混乱した	0	⑩ 求めたものが得られなかった	0

- 8 **まとめ**
グループワークを通し、実際にファシリテーターを体験することで理解を深めることができた。また、有意義な会議にするためのアイデアなどが多く出され、即実践に結び付く学びがあった。

令和4年度「いのちの教室」実践報告

助産師職能委員会

「いのちの教室」は自分の命の大切さを知ると同時に、他者の命の存在に気づき、相互に助け合う尊い心を育むことを目的とした活動である。病院等で働く助産師の人材育成を目的として、平成25年度より各施設の助産師と助産師職能委員会が協働し活動を推進している。

コロナ禍でも、子どもたちの教育現場からの要請があり活動した。令和4年度は最寄りの医療機関に勤務する助産師が担当し、教育現場の教員や関係者と打ち合わせをしながら、実施した。対象者の多くは小・中学生であるが、親子での参加を呼び掛ける学校もあった。

令和4年度「いのちの教室」実施状況（令和4年3月～令和5年2月）

実施年月	実施校	対象者	依頼を受けた窓口	助産師数 (協力病院)
R4.12.9	高岡市立 福岡中学校	2年生104人	養護教諭養護教諭 内島 和美	厚生連高岡病院
R4.11.5	富山市立 老田小学校	5年1組25人	富山市立老田小学校 青木 優佳	富山赤十字病院
R4.10.7	高岡市立 五位中学校	100人	高岡市立五位中学校 小谷内 恵理子	厚生連高岡病院
R4.12.14	滑川市 田中小	3年生30人	滑川市教育委員会	厚生連滑川病院
R5.1.18	滑川市 南部小	4年生22人	滑川市教育委員会	厚生連滑川病院
R5.1.19	滑川市 西部小	4年生1組24人 2組25人 3組28人	滑川市教育委員会	厚生連滑川病院
R5.1.20	滑川市 東部小	4年1組31人 2組31人	滑川市教育委員会	厚生連滑川病院
R5.1.24	滑川市 北加積小	4年生35人	滑川市教育委員会	厚生連滑川病院
R5.2.2	滑川市 東加積小	2年生5人	滑川市教育委員会	厚生連滑川病院
R5.2.7	滑川市 寺家小	6年生37人	滑川市教育委員会	厚生連滑川病院

母子のための地域包括ケア推進に関するアンケート調査・結果

令和5年1月18日
助産師職能委員会

1 調査目的

- 1) 新生児訪問事業に携わる看護職の視点から、分娩施設の助産師が改善または強化すべき保健指導事項を明らかにする。
- 2) 母子ケア連携の一環として、分娩施設の助産師の保健指導のあり方を点検し、県内分娩取り扱い施設に情報を提供することで、助産師の保健指導能力の改善につなげる一助とする。

2 調査方法

- 1) 対象者 : 富山県内の新生児訪問に従事する看護職
(市町村の保健師、市町村から委託されている保健師・助産師)
- 2) 調査期間 : 令和4年11月～令和4年12月末
- 3) 調査方法 : 自記式質問紙Web版
県内の市町村母子保健担当課あてに『URLおよびQRコード付きの案内文』A4用紙1枚を郵送し、対象者に配布する。Webアンケートは無料版クエスタントを使用し、任意での参加とした。

3 調査結果

案内文を配布数287枚配布し、アンケート回答数は54名、回収率は18.8%だった。アンケートは全10問、問1から問5までは属性、問6から問10までは記述式で回答の設問とした。既述の回答については設問ごとにコード化し、カテゴリーを抽出した(表1)

1) 属性

回答デバイスはスマートフォン70%、PC30%だった(図1)。回答者は保健師81%、助産師17%、看護師2%だった(図2)。訪問する周産期医療圏としては富山医療圏41%、高岡医療圏20%、砺波医療圏20%、新川医療圏19%である(図3)。アンケートの回収率は18.8%と多くはないが、富山県の4つの医療圏からまんべんなく得られた。実務経験は0～9年が37%、10～19年が28%、20～29年が28%、30年以上が7%だった(図4)。訪問経験年数は0～9年が48%、10～19年が30%、20～29年が20%だった(図5)。回答者は実務経験、訪問経験年数ともに0～9年が最も多く、【コロナ禍以前を知らない】若手からの意見も反映されている。

2) 分娩施設から入手したい母子の情報

「現在の連絡票でよい」という意見はあるが、「2週間健診」や「1ヵ月健診」など次回の【健診日】、「2つ以上の連絡先」など追加情報を求めている。その他に【精神的リスク】【身体的リスク】【産前・産後の様子】【サポートの有無】【育児状況】【育児環境】の情報を必要としていた。

3) 分娩施設の助産師に強化を求める保健指導

セルフケアとしての【乳房ケア】、その他には【授乳指導】、【子の泣きへの対処】、【育児技術】の指導の強化を分娩施設に求めている。また、地域と連携するために【地域での保健サービス】【訪問依頼】についての理解を求めている。

4) 訪問先で受ける質問事項

訪問先では【体重の増え】【授乳の補足量】を質問されていることが多い。また【泣き】【育児ケア】など育児方法の確認に繋がっている。【育児支援の不足】や【母の体調不良】もあり、【子育て支援】について質問を受けていた。

5) コロナ禍前後で比較し異なると感じる点

コロナ禍前後で異なることでは、【訪問受け入れの両極性】として「訪問を断られる」「希望されない」と「待ち望んでいる」という両極の意見があった。【コロナ禍前を知らない】ため、違いが判らないという意見もある。【他者との交流が減っている】【入院中はつらかった】【育児不安が強い家庭が増えた】【混合栄養が増えた】と感じていた。

6) 地域包括ケアとしての課題

これからの地域包括ケアの課題として、「適切な時期の働きかけ」ができるように、「市町村で共有したオンラインシステム」「多職種・他機関での情報共有」など【速やかな情報共有】の仕組みづくりがあがった。【孤立した育児環境】であることから【相談窓口の案内】を考える

こと、【保健指導技術・知識の向上】し、【多様な対応が求められる】状況への対応を課題としていた。

4 考察

1) 新生児訪問事業に携わる看護職の視点から、分娩施設の助産師が改善又は強化すべき保健指導について

分娩施設からほしい母子の情報については、健診日や母子の状況があげられた。市町村への情報提供用紙に関しては、必要な情報は網羅できていると考えるが、出生連絡票（ハガキ）の記載項目には、次回受診日のない市町村がほとんどであり、訪問日程が計画しにくい現状であることがわかった。母親へ出生連絡票の投函を勧めるとともに次回健診日の記載をするように説明していく必要がある。

分娩施設の助産師に強化を求める保健指導事項や、訪問先で受ける質問については、乳房ケアや子の泣きと対処法、育児手技などの退院後を見据えた生活に関した事があげられた。これらは訪問を受ける退院後2週間頃に不安の訴えの多い事項であるといえる。乳房も変化していく時期であり、分娩施設での退院指導において退院後に起こりうる体の変化や、育児不安については、少し先を予測した指導や情報提供が必要である。萩原¹⁾の報告によると妊娠期における育児準備が育児ストレスの感じ方、育児不安の逡巡につながることから、準備を重要課題と位置づけている。このため、妊娠期からの産後、育児をイメージした保健指導も必要である。また、産褥期の女性の特徴として、育児の疲労や睡眠不足、集中力の低下から、入院中の指導が記憶に残りにくい場合もあるため、繰り返し説明が必要であると考えられる。一般的に産後の入院期間は4～6日と短期間であり、この期間内に母親は、産後の心身や新生児の生理的変化、育児手技など多くのことを学び習得しなければならない。入院中のみでは支援しきれない場合もあり、退院後の支援として地域の保健師・助産師と協働した継続支援が必要である。

コロナ禍前後の違いについては、「訪問の受け入れが悪い」、「待ち望んでいる」と両極の意見がある。感染への不安から他者との交流の場が減り、閉塞感・孤独感が高まりインターネットやSNSを頼りにしている母親が増えている現状がわかった。令和5年5月からコロナが第5類に分類されるにあたり、今まで制限されていた分娩の立ち会いや入院中の面会が再開され、家族への介入が早期から行えるような社会になることを期待する。また、他の母親との交流の場を持つことができるような働きかけや、保健サービスや相談窓口の案内が行き渡るようにしていく必要がある。

2) 病院と地域で活動する保健師や助産師が連携し、妊娠期から育児期までを切れ目無く支援する体制に向けた課題について

精神疾患や障害、複雑な家庭環境など問題を抱える対象が増加し、多様化していく対応に苦慮している現状がある。また、コロナ禍において身近な支援者がいない孤立した育児環境にある母親も増加している。早急な対応に繋げることができるよう、速やかな情報共有のシステム作りが課題にあげられる。まずは、多職種、多機関での情報共有、タイムリーな相談支援ができるよう、訪問依頼が届くのが遅いという現状を改善する必要がある。郵送での情報提供ではなく、早期の訪問は電話での依頼を行うことや、市町村で共通したオンラインシステムを整える必要がある。

また、多岐にわたる相談に対応できる保健指導の技術・知識の向上が必要であり、学ぶ機会を作っていくかなければならない。

5 まとめ

母子が健やかに暮らせる地域づくりをめざし、分娩施設と地域の関係機関が、各機関の相談・支援内容を相互に理解し、すべての妊産婦へ専門的な支援の提供が必要である。母子のための地域包括ケアの推進に向け、分娩施設と地域が一体となり定期的に事例検討会や連絡会、研修会等を通じて顔の見える関係、体制づくりを行い、ネットワークの強化を図っていく必要がある。

分娩施設の助産師が産後1ヶ月健診までの産褥早期において改善または強化すべき保健指導事項は、乳房ケア、授乳手技や栄養方法、育児手技、児の泣きへの対処、休息方法についてであった。

妊娠期から育児期までを切れ目なく支援する体制に向け、病院と地域で活動する保健師や助産師の速やかな情報共有が課題に挙げられる。市町村でのオンラインシステムの整備や、保健サービスの分かりやすい案内、保健指導技術の向上を図ることが求められている。

参考文献

- 1) 萩原結花, 名取初美, 平田良江: 妊娠期における育児準備が育児ストレス・育児不安に与える影響, 山梨県立大学看護学部研究ジャーナルvol.3, 2017

母子のための地域包括ケア推進に関するアンケート調査結果

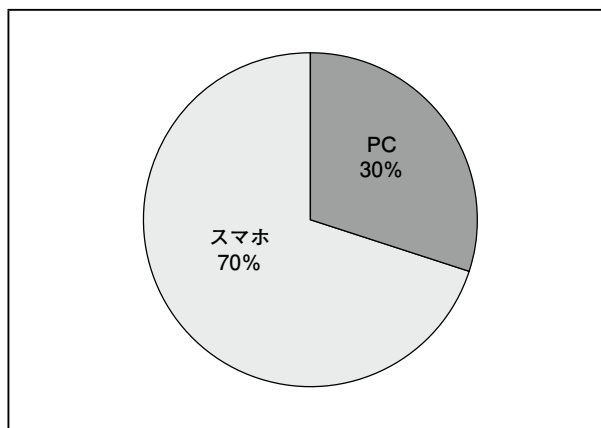


図1. 回答デバイス

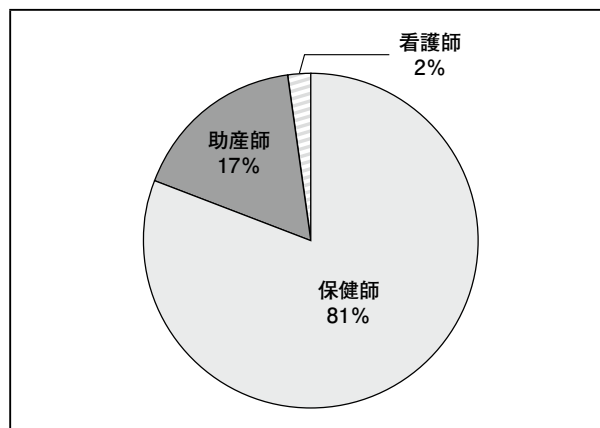


図2. 回答者の職種

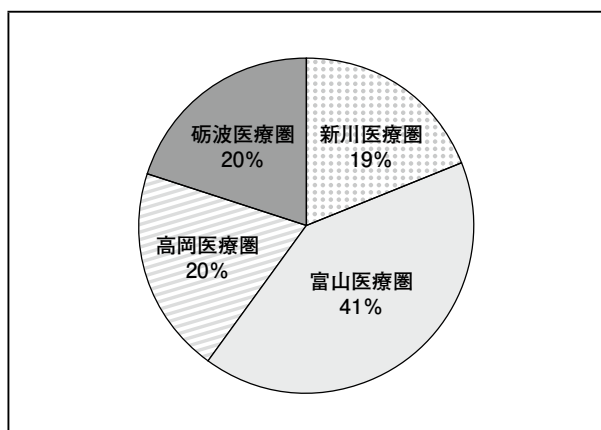


図3. 訪問先の周産期医療圏

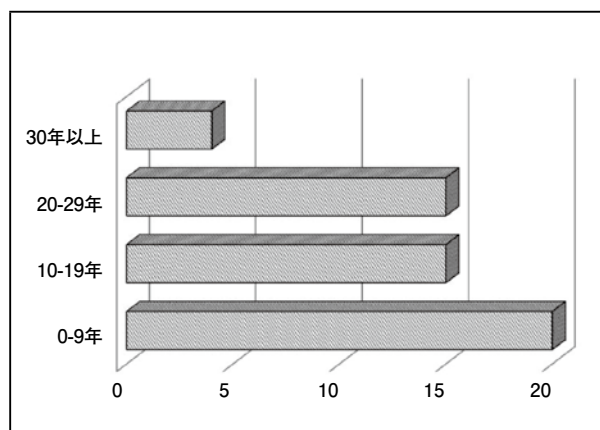


図4. 実務経験年数

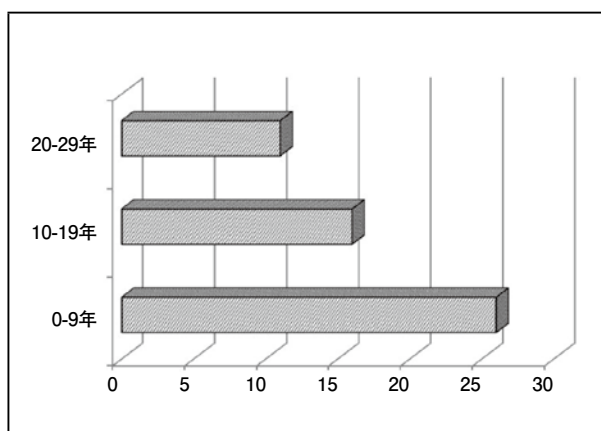


図5. 訪問経験年数

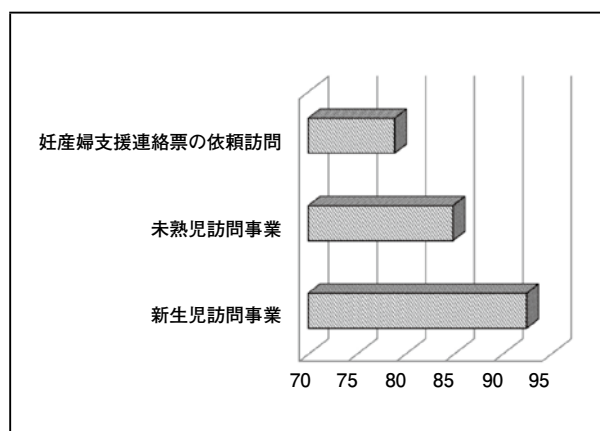


図6. 従事する訪問

表1. 地域で活動する保健師・助産師からみた母子支援の現状

設問項目	カテゴリー	コード
分娩施設からほしい 母子の情報	健診日	2週間健診・1ヵ月健診、次回受診日
	精神的リスク	EPDS高値、精神科受診の有無、退院時の不安
	身体的リスク	既往歴
	サポートの有無	家庭状況、家族の受け止め、夫の支援、家族の協力度
	出産・産後の様子	母子の様子、分娩過程、出生状況、分娩時の異常
	地域に望むこと	地域のフォロー、継続支援として望むこと、在宅で確認してほしいこと
	育児状況	授乳指導の内容、母乳へのこだわり度
	育児環境	育児取得の有無、里帰りの期間
	訪問の承諾	訪問の承諾
	連絡票	連絡先は2つ以上、必要であれば送ってほしい、現在の連絡票でよい
分娩施設の助産師に 強化を求める保健指 導事項	乳房ケア	おっぱいのケア、乳房マッサージ等のケア、乳房トラブルの相談窓口
	授乳指導	授乳手技、母子に合せた栄養方法、特に第1子の指導、授乳開始の目安、人工乳の増やし方、授乳と休息のバランス
	子の泣きへの対処	よく泣くこと、泣いた時の対処、泣きの対応
	育児技術	育児手技、沐浴、夜間の対応、排気のさせ方、カンガルーケア
	心身の安定	休息の取り方、安静が必要なこと、メンタルケア、自律神経の整え方
	地域での保健サービス	保険サービスの利用勧奨、産後の相談窓口、精神科へのつなぎ
	訪問依頼	訪問依頼について、退院前の保健師との顔合わせが必要かどうかアセスメントをしてほしい
訪問先で受ける 質問事項	体重の増え	順調な発育、体重増加、授乳について
	授乳の補足量	ミルクの調整、補足、母乳は足りているのか、母乳育児
	泣き	こんなに泣くんですね、泣き止まない
	子育て支援	支援サービス、社会資源、交流の場、育児相談の場
	育児ケア	臍処置、湿疹、排気、スキンケア、向き癖、予防接種
	育児支援の不足	支援者が父のみ、子どもや夫にイライラ、助産師が忙しく授乳支援が受けられなかった、入院中の不安
	母の身体不調	腰痛、腱鞘炎、肩こり
コロナ禍前後の違い	訪問受け入れの両極性	訪問を断られる、受け入れられにくくなった、希望されない、感染リスクを理由に断られる、待ち望んでいる
	コロナ禍前を知らない	働き始めて間もない、それ以前に行ったことがない、コロナ禍前に訪問したことがない
	他者との交流が減っている	外出の不安、感染対策の徹底、感染の質問が増えた、家で過ごす、閉塞感、他のままとの交流が減っている、出歩く場がない
	入院中はつらかった	家族の顔を見て安心、他のママと交流がない、育児手技を学ぶ機会が減っている
	育児不安が強い家庭が増えた	里帰りできない、孤立した育児、育児不安が強い家庭が増えた、ネットやSNSを頼りにしている、支援者がいない、自信を持ってないお母さんが多い
	混合栄養が増えた	混合栄養が増えたように思う
地域包括ケアの課題	速やかな情報共有	市町村で共通したオンラインシステム、分娩施設と地域の指導内容の一致、多職種・多機関での情報共有、タイムリーな相談支援、連絡票が届くまでに時間がかかる、適切な時期の働きかけ、訪問依頼が届くのが遅い、郵送ではなく施設の対応が遅い、
	保健指導技術・知識の向上	多岐にわたる相談に対応できる技術、知識、心身の不調への対応を学ぶ機会が必要
	多様な対応が求められる	多様化していく対応に苦慮、各家庭に応じた支援、障害や病気を抱える方、就園・就学支援が不足、就労妊婦とのコンタクトが困難、複雑な家庭環境など複合的な課題
	相談窓口の案内	母子保健と児童福祉が別部署、今あるサービスに該当しない狭間のケース
	孤立した育児環境	ネットサーフィンをして悶々としている方が意外と多い、身近な支援者がいない精神疾患既往の方

地域包括ケアシステムの推進に向けた看看連携の取り組み報告

看護師職能 I 委員会

1 ねらい

地域包括ケアの推進に向けて外来看護の課題を見出し、外来看護のあり方を考える。

2 日時 令和4年12月16日(金)

3 会場 富山県看護研修センター及び各施設 (Web研修)

4 研修内容

1) 富山県公的病院における外来看護の役割機能に関する実態調査結果報告

2) 基調講演

「地域包括ケア推進に向けてこれからの外来看護のあり方を考える」

講師 日本看護協会医療政策部 部長 岩澤 由子 氏

3) グループワーク及び発表

テーマ:「外来看護のあるべき姿から自施設の課題を抽出する」

5 参加者 44名

参加者背景

(1) 職種 保健師:0名、助産師:1名、看護師:43名

(2) 経験年数

5年未満	5～9年	10～14年	15年～19年	20年～24年	25年～29年	30年以上
0	2	4	1	9	10	18

6 報告・基調講演・グループワーク内容

1) 富山県公的病院における外来看護の役割機能に関する実態調査結果報告

調査期間:令和4年10月20日(木)～令和4年11月22日(火)

配布数:県内公的病院24か所410通 回収数:361通 回収率88.0%

属性は、77.6%が40歳以上、外来経験年数は3年が最も多かった。勤務形態は81.6%が常勤職員だった。認定看護師等の有資格者は全体の22.4%だった。

一般外来看護における看護業務の実態を日本看護協会が2021年に行った全国病棟看護・外来看護実態調査結果と比較したところ、地域で暮らす患者の状況を的確に把握し継続的に支援していく外来看護の役割機能が、県内では十分果たされていないという結果であった。

通院患者への在宅療養支援の実態では、患者の在宅療養での困りごとを支えるために必要な、他部門や他施設との連絡調整や情報交換の場面が少ないという結果だった。在宅療養支援を行うにあたり必要な知識が概ね不足しており、知識を習得する機会の必要性が示唆された。

外来看護師長の意見として、嘱託職員や育児短時間勤務職員で構成される外来スタッフの配置に苦慮しながらも、専門性の高い看護師の活用や、地域との情報共有を重視するなど、地域包括ケア推進の要である外来看護の質向上に尽力している実態が明らかとなった。職員の背景を踏まえた研修機会の確保が課題として浮かび上がった。

2) 基調講演

「地域包括ケア推進に向けてこれからの外来看護のあり方を考える」

講師 日本看護協会医療政策部 部長 岩澤 由子 氏

時代は「地域包括ケア」から「地域共生社会の実現」に向かっており、2022年創設の外来看護機能報告制度からも、医療の中心は入院から外来にシフトしている。

医療と介護の連携強化は必須であるが、退院後1か月で介護施設から再入院の転機というパターンは依然多い。入院中のケアが地域に戻ると継続されない実態に対して、外来看護の手腕が試される場所である。

生産年齢人口の減少により、外来看護師が増えることは今後考えにくい。多職種とのタスクシフト・シェアや専門性の高い看護師を地域で活用するなどの工夫が不可欠となる。外来看護の価値を明確化していくことは大変重要な課題であり、外来看護のアウトカムが何かを考え、データを蓄積していくことが現場に求められている。

3) グループワーク

テーマ：外来看護のあるべき姿から自施設の課題を抽出する

参加18施設を8グループに分け、1グループ5～6名でZoomブレイクアウトルーム機能を用いた。富山県公的病院における外来看護の役割機能に関する実態調査結果と基調講演を踏まえ、自施設の役割機能に応じた課題が抽出できるよう委員がファシリテートした。各施設から「タスクシフト・多職種連携」「スクリーニングシート」「人材育成」「地域連携」等のキーワードを踏まえた課題が見いだされた。

7 まとめ

基調講演が大変分かりやすく実態調査結果ともリンクしており、外来看護に求められる役割機能が何であるかが明確に伝わる研修であった。グループワークでは活発な意見交換ができ、各々が抱える問題や、求められる役割と現実とのギャップに対する悩みを共有する機会になった。

令和5年度は、各施設が抽出した課題について実践報告会を計画している。県内の外来看護が、地域で暮らし続けたいという人々のニーズに応える場として進化していけるよう、活動を継続していきたい。

在宅ケア事例検討会報告 (在宅ケアアドバイザー派遣事業)

看護師職能Ⅱ委員会

1. はじめに

訪問看護師や医療機関の看護職が在宅医療患者・家族の現状やニーズに応じた、質の高いケアが提供できるように支援する研修目標で、今年も4地区8箇所で開催したアンケート内容を報告する。

2. 参加状況の推移

(平成・令和)年度	4	3	2	1	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20
開催回数 (回)	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	10	10	10	8
参加延べ数 (人)	274	233	255	281	283	280	221	231	277	219	221	270	223	228	131

3. アンケート結果回答者数 235人 (回収率85.8%)

参加者の所属	訪問看護	52.0%	医療機関	43.0%	他	5.0%		
事例検討	役立った	85.5%	どちらともいえない	14.1%	役立たない	0.4%	他	0%
講評	参考になる	95.2%	どちらともいえない	4.4%	参考ならない	0.4%	他	0%

4. 日頃感じている不安の軽減や疑問の解決に役立ったか

- ・在宅で介護している方への対応している様子を感じられてよかった。
- ・対応困難な利用者や家族との関わりについて共感することができた。家族の思いをその都度確認しながら対応することが大切だと思う。
- ・入院中の事だけでなく、在宅へ戻ったことも想定して入院患者と関わって行くことが大切だと感じた。
- ・本人のやりたいこと、本人家族の強みに着目することが大切だと分かった。
- ・入退院を繰り返す患者は多く在宅での生活を支える訪問看護師の関わりを理解できた。
- ・困難事例の実際の対応がよく分かった。
- ・病棟看護師、訪問看護師のそれぞれの立場からの意見が聞けて参考になった。
- ・患者さんが自宅へ帰ったあとの状況を知る機会が少なく、自宅へつなげるためにはどのようにすればよいか学べた。
- ・看取りの意思確認の必要性について学べた。サ高住での看取りについて学べた。
- ・心の内を話す、聞き出すことだけが正解ではなく、本人が自分らしく生きることができると支援することが大切であると学んだ。
- ・多職種連携を行う上で、気軽に連絡しあえる関係性が大切であると感じた。
- ・ターミナルの方の関わりについて学べてよかった。
- ・タイミングを図りながら、日頃から利用者の思いや意思を確認する事が大切である。
- ・ACPのタイミング、一度プランニングしても心の変化で変わることがあるため、常に利用者とのコミュニケーションを取りながら確認する事の大切さを学んだ。
- ・ストマの皮膚トラブルの対処方法、材料等、新しいことを知ることが出来た。
- ・認定看護師に相談できる職場がうらやましいと感じた。
- ・サービスの限界（費用面も含めて）・サービス内容に、問題がある事を理解した。

5. アドバイザーからの講評やレクチャーは参考になったか

- ・孤独、孤立させないよう切れ目なく関わる大切である。
- ・専門的な立場からの意見や提案があり参考になった。
- ・事業者だけで抱えないで行政や地域を巻き込んで問題を解決していくことが大切である。
- ・病院との連携の必要性、地域との関係の大切さを学んだ。
- ・厚生センターの役割や地域で見るといふことのイメージが分かった。
- ・デイケアの利用などで病期と付き合っていくこと、地域の中で家族の力を発揮できるよう関わることの重要性を感じた。
- ・認定看護師の意見など具体的なアドバイスは参考になると思った。

- ・訪問看護ステーション同士のつながりの提案がよく勉強になった。
- ・軟膏、フィルム材、グッズの使い方がわかった。
- ・看護の専門性を意識した関わり方を改めて考えることができた。
- ・ACPはまず本人の気持ちを確認する事や聞くタイミングなど参考になった。
- ・誰が見てもわかる連絡ツールの活用。看取りの後のフィードバックを得ることが良いと分かった。
- ・多職種との連携の取り方、サ高住の特徴をつかむことの大切さを学んだ。
- ・多職種連携で「顔の見える関係」を築く手段のアドバイスや意見が聞けて良かった。
- ・訪問看護の悩みを知ることが出来、それに対しての各々のステーションでの対応についても知ることが出来た。
- ・看取りで退院することの意味や何を大切にするか考えさせられた。
- ・連携室での具体的な活動や取り組みについて知ることが出来、今後の看護に活かせると思った。
- ・今後のサポートや家族の関わり方について勉強になった。
- ・検討会を行なう事で別の視点から意見を聞くことで気づくことがあり参考になった。

6. 他職種と連携する中で困ったこと、悩んだことを具体的にお書きください。

- ・訪問リハビリSTの人数が少なく、なかなか入ってもらえない。
- ・2ヶ所の訪問看護ステーションで入るときの加算の取り方がわからない。
- ・情報共有として連絡ノート等ツールはあるが、利用者さんへの伝え方など細かな部分を共有することが難しい。
- ・地域全体での資源提供などについて話し合っていくことが大切。
- ・病院に情報提示しても返事に時間がかかりタイムリーな指示がもらえず対応が出来ない。
- ・どこに相談すればよいかを共有するのは大事で、そのための機会を設ける事が大切。
- ・病院は指示書だけで直接医師と話をすることは少なく、連携が取りにくいシステムも文書受付でのやり取りなので、情報共有しにくいし、ロスタイムがある。医師とも顔の見える関係づくりができるようになれば良いと感じている。
- ・医療を必要とする高齢者に対するの指導。
- ・情報伝達がうまくいっていない。
- ・入院前の状況が分からないことがある。他施設のサマリーに家族との関係性について誤りがあり、連絡を取る際に困った。
- ・「縦」の関係は作りやすいが「横」の関係は難しい。
- ・家族と医師の間に入ってうまく気持ちを伝えるのが難しい。・本人と家族との思いに相違があるとき。
- ・カルテに書いて連絡帳に書いて連携のためのICTツールなどに記載するものが多い。
- ・本人と家族との思いに相違があるとき。
- ・ケアマネの思いと医療側の方針のズレがあるとき。
- ・主治医が開業医で在宅医療に熱心でない事例。
- ・ヘルパーとの連携時、専門的知識に差があり、予測できる事に対しては意識のずれが生じやすい。ケアマネとは頻りに連絡を取り合う事があるが、他機関との連携という意味では認識のずれが課題。
- ・手続きなく病院の認定看護師と一緒に訪問できるようになれば良いと思う。
- ・訪問診療を受けている人には、病院とは連携を取りやすいが、通院している利用者の場合、病院との連携が取りにくい。
- ・職種によっては、欲しい情報が違うので報告内容の工夫と検討が必要と思う。
- ・訪問看護師宛てに看護サマリーを書く際、どの情報を特に詳しい内容で伝えれば良いかと考える。

7. 在宅ケアにおける課題

- ・訪問看護の横のつながりを大切にするための、勉強会は有意義である。
- ・病院看護師が訪問看護の実際の訪問状況など学び、在宅を見据えた看護が出来ると感じる。
- ・本人を取り巻く環境を把握し、様々な社会資源や家族の力も上手く活用していくことが大切である。
- ・家族と本人の希望の違いがあり、調整するのが難しい。チームで検討していきたい。
- ・独居の利用者さんの家族が遠方の時の看取り。
- ・最期をどう過ごすかを元気なうちから考えることに目を背けている、考えないようにしている風潮がまだまだあると感じる。

- ・連携をタイムリーに行う事は難しい。人によって価値観が違いその価値観を大切にしながら支援していくことの難しさ。
- ・在宅ケアが長くなると手技や薬の情報など情報収集をきちんと行う事の難しさ。
- ・看看連携を実際に顔の見える関係で繋いでいくことの大切さ。
- ・家族指導の方法、内容の共有、課題の共有。・家族看護が大切。
- ・患者さんの気持ちを優先させるため、家族に理解していただくこと、周囲の人がすべきサポート。
- ・在宅で生活する人の色々な悩みを話し合える場所として、このような場で意見が聞けることは貴重である。事例検討会の場に看護師だけでなくその人に関わる職務で話し合っていくことも広められれば良いと思った。
- ・在宅復帰は地域の理解・協力が得られる取り組みが大切。
- ・インフォーマルサービス その地域ごとに実際に利用できるサービスを具体的に知ることが必要。
- ・断らない姿勢を続けることは大切であるが、実際マンパワーやスタッフの力の差で難しい。
- ・担当ケアマネやヘルパーの参加があれば、当時の状況が詳しく分かり、ヘルパーやケアマネの思いや課題などを知ることができ、もっと具体的な内容で改善に繋がれると感じた。
- ・「それぞれのノート」を一冊にすることの検討が必要と感じた。

8. おわりに

在宅事例検討会は、富山県の在宅療養を支える上で必要な知識・情報交換に「役に立っている」「講評が参考になった」との前向きな意見が多かった。

病院・介護・福祉施設・在宅などの領域で働く看護職は、「縦」「横」の連携の強化と、多職種と協働して、安全で安心出来る継続したケアに繋げることで、少しでも長く在宅で過ごしていただきたいと思います。常にケアの最大効果を出していけるように、試行錯誤しながら取り組んでいます。この領域で働く看護師の方々から、問題点と課題を発見し、対策ができるように、活発な事例検討会を今後も行なっていきたいと思っています。

介護・福祉・在宅領域の施設等の管理者研修報告

看護師職能Ⅱ委員会

◆開催要項

- 1 ねらい 看護管理者の役割と管理・運営・人材育成について
- 2 開催期日 2023年1月26日(木) 13時～16時
- 3 会場 看護研修センター (ZOOM開催)
- 4 定員 50名
- 5 段階設定 看護管理者(主任以上)又は準ずる者(急性期病院以外)

◆プログラム

月日	曜	時間	研修内容	講師
1/26	木	午後	・介護・福祉・在宅領域の施設等の看護管理者の役割 ・介護・福祉・在宅領域の管理・運営上の問題への取り組みと人材育成	青木 菜穂子

◆講師 医療法人協和会 理事長補佐 看護師 保健師 MBA 青木 菜穂子氏

◆参加者 34名

◆受講背景

受講者数(職能別・経験年数別)

○職能別 (34名)

職能	月日	/
保健師		1
助産師		1
看護師		32
合計		34

○経験年数別 (34名)

職能	月日	/
1～4		0
5～9		0
10～14		3
15～19		0
20～24		3
25年以上		28
合計		34

◆アンケート結果(参加者34名 インターネット回答:24名)

【受講動機】

自主的に参加	職場の上司・同僚などの勧め
16	8

【自主的に参加の理由】

テーマに興味	講師に関心	知識を得るため	問題解決のため
6	7	6	5

【講義について】

よくわかった	ふつう	わかりにくかった
21	3	0

◆研修内容（講演）

聴講者が病院の看護部長・師長さんが圧倒的に多い中で、どうやって福祉・在宅部門と連携するかが課題となっている。理由は在院日数の短縮化であり、病院からは医療依存度の高い人が退院し、在宅看取りも増加している現状がある。それを担うスタッフは今どんな状況か、財務的バランスとスタッフ育成教育、アフターフォローをどうするかが、管理者の課題である。

1) 「在宅での看取り」の増加：介護福祉施設等に強られる課題。

- ・看取りに係るスタッフの対応と教育・人員定数の中で利益に繋げていく事など管理・運営をどうしていくか。利用者・家族にとって良かったと感じて貰える体制ができるようにすることが重要。

2) 「将来ビジョンを描く」

- ・何を目標にして、どの方向に向かうのか、管理者自身が経営上のコンセプトを持つ事が大事。利用者、地域、スタッフにとってどうなのかを基準として考える。
- ・その医療機関ならではの価値を見出し強化・・・自分が見出した価値は言い続ける→忘れられないように→言葉が行動になる。今回の研修のテーマ「人材育成」は、人を大切にすることを考える事。人を教育して終わりではなく、教育したことが実行に移せるか、見てあげて実行できるか、成果は出ていないが実行している努力を評価し褒めてあげる、認めてあげる「承認の欲求」を満たしてあげる必要がある
- ・何を以て継続的に組織の成長を図るのか・・・強みに徹する！イノベーション！アップデート！数か月で組織は変わらないが、経営の目的は組織の永続にある。
- ・モチベーション理論の、顧客（外部・内部）に信頼される組織の醸成・信頼と信用。
信頼：これからのことをお任せします。信用：あ～も、こうもしてくれた、過去のこと。
信頼は信用の元に作られるものである。

3) 「マーケティングとは」

- ・患者中心の医療・・・医療はサービス業であると明記。現場の看護師は「患者・利用者ファースト」で良いが、管理者の場合「地域住民ファースト」の考え方が求められる。

4) 「在宅におけるヘルスケアサービス」

- ・情報の多い時代、医療のスピードが進む。学ぶことが大事。機会を逃さない。
臨床看護・在宅看護・訪問看護・病院との連携。地域のあり方、連携のあり方もどんどん変化してくる。

◆感想

- ・青木先生の歯切れのいい話に興味深く聞くことができ、訪問看護師への熱い思いが伝わってきた。
- ・青木先生の話に引き込まれた。講義の中で、自分たちが学んできたことはもう古くなっていて、今の若い子たちが何を学んできているかを知ること、またその学んだことを活用することを教え、学んだことを活用できるように導く、これが基本だと思った。
- ・訪問看護管理者は、いろいろな角度から事業所を見る必要があると理解できた。また視点を変えるだけでなく、管理者としての熱い思いビジョンを持ち続け、スタッフに伝え続けなければスタッフにも伝わらず、成果の得られないと感じた。訪問看護を行う上で看護学・介護・経済学・モチベーション理論・組織論・（リーダーシップ論）など、多岐にわたる知識が必要と、改めて学ぶ課題が見出された。

◆まとめ

今日、参加された方々には、それぞれの立場で、課題発見ができたのではないかと思われる。今回の講義を土台として、組織のあるべき姿、管理者としての姿に向かって、1つでも自分自身に取り入れ、実践していけるような研修であった。

会員数と入会率

	合計				保健師				助産師			
	05.3.31 現在 会員数	04.3.31 現在 会員数(a)	02.12.31 現在 就業者数(b)	入会率 (a/b)	05.3.31 現在 会員数	04.3.31 現在 会員数(a)	02.12.31 現在 就業者数(b)	入会率 (a/b)	05.3.31 現在 会員数	04.3.31 現在 会員数(a)	02.12.31 現在 就業者数(b)	入会率 (a/b)
	人	人	人	%	人	人	人	%	人	人	人	%
北海道	43,251	43,666	86,331	51	1,176 (82)	1,186 (76)	3,065	39	1,313	1,315	1,620	81
青森	8,663	8,684	18,902	46	234 (11)	243 (11)	718	34	329	323	336	96
岩手	7,760	7,726	17,890	43	316 (9)	326 (9)	758	43	336	346	390	89
宮城	13,065	13,042	27,993	47	269 (11)	296 (12)	1,136	26	657	661	767	86
秋田	6,950	7,006	15,386	46	179 (12)	188 (12)	619	30	305	307	309	99
山形	7,976	7,957	15,639	51	350 (10)	367 (10)	662	55	367	371	359	103
福島	12,501	12,583	25,519	49	369 (34)	382 (32)	1,094	35	419	418	522	80
茨城	16,031	15,999	32,639	49	369 (19)	363 (18)	1,295	28	591	581	757	77
栃木	12,561	12,407	24,886	50	510 (14)	525 (18)	968	54	407	398	555	72
群馬	11,597	11,655	28,402	41	607 (40)	600 (36)	1,031	58	358	363	518	70
埼玉	25,437	25,827	71,283	36	413 (43)	426 (44)	2,258	19	953	957	1,767	54
千葉	28,583	28,622	61,122	47	401 (28)	416 (34)	2,124	20	924	898	1,583	57
東京都	45,206	47,228	140,898	34	406 (21)	445 (19)	4,464	10	2,157	2,227	4,322	52
神奈川県	37,707	38,273	86,360	44	702 (40)	726 (41)	2,482	29	1,317	1,348	2,384	57
新潟	16,275	16,370	30,429	54	829 (37)	811 (35)	1,178	69	616	610	759	80
山梨	5,999	5,957	11,288	53	509 (19)	508 (20)	650	78	192	199	265	75
長野	14,857	14,762	30,521	48	1,092 (65)	1,107 (59)	1,691	65	712	716	900	80
富山	8,982	9,059	16,998	53	508 (13)	515 (15)	672	77	407	407	411	99
石川	9,877	9,849	18,628	53	233 (9)	225 (8)	564	40	308	306	354	86
福井	6,623	6,652	12,500	53	217 (6)	223 (6)	485	46	220	226	255	89
岐阜	12,711	12,749	26,119	49	353 (10)	388 (13)	1,061	37	464	474	645	73
静岡県	22,724	22,444	43,216	52	516 (20)	523 (20)	1,727	30	894	872	976	89
愛知	40,566	40,276	82,973	49	590 (20)	602 (20)	2,848	21	1,637	1,603	2,386	67
三重	11,934	11,838	23,610	50	144 (9)	155 (9)	798	19	379	374	464	81
滋賀	9,270	9,238	17,249	54	340 (9)	333 (8)	688	48	314	297	495	60
京都	17,101	17,441	35,065	50	299 (30)	304 (31)	1,238	25	643	677	897	75
大阪	54,917	55,427	104,113	53	603 (25)	643 (25)	2,446	26	2,117	2,150	2,896	74
兵庫県	32,094	32,547	70,536	46	655 (21)	659 (22)	1,903	35	1,053	1,045	1,493	70
奈良	9,667	9,749	16,630	59	122 (2)	118 (1)	555	21	311	318	399	80
和歌山	6,178	6,141	14,845	41	144 (10)	138 (10)	467	30	213	212	235	90
鳥取	4,375	4,388	10,234	43	108 (2)	104 (2)	354	29	213	217	257	84
島根	5,927	5,948	12,657	47	271 (9)	283 (9)	536	53	291	284	340	84
岡山	17,598	17,518	30,013	58	729 (15)	717 (14)	1,069	67	423	425	553	77
広島	20,387	20,662	45,255	46	357 (17)	401 (18)	1,323	30	512	537	671	80
山口	10,250	10,315	25,285	41	477 (13)	465 (16)	752	62	321	328	429	76
徳島	4,815	4,857	13,399	36	128 (1)	131 (1)	396	33	247	252	283	89
香川	7,714	7,668	16,618	46	212 (5)	215 (4)	605	36	306	296	320	93
愛媛	10,296	10,330	23,294	44	355 (13)	337 (11)	731	46	236	241	325	74
高知	6,405	6,403	15,071	42	115 (1)	121 (2)	558	22	158	148	196	76
福岡	43,409	43,714	83,708	52	696 (27)	720 (28)	2,002	36	1,063	1,046	1,487	70
佐賀	5,598	5,624	16,455	34	187 (3)	190 (3)	511	37	115	119	256	46
長崎	9,913	10,090	26,080	39	166 (3)	175 (3)	753	23	212	215	453	47
熊本	15,745	15,876	35,070	45	472 (13)	499 (14)	1,038	48	393	393	502	78
大分	10,180	10,064	21,326	47	553 (10)	535 (10)	776	69	219	213	344	62
宮崎	8,935	8,943	21,464	42	228 (13)	230 (13)	700	33	263	256	351	73
鹿児島	12,446	12,665	33,396	38	461 (9)	464 (10)	1,027	45	391	406	618	66
沖縄	10,387	10,360	21,740	48	293 (26)	283 (26)	819	35	432	426	536	79
合計	761,443	766,599	1,659,035	46	19,263 (859)	19,611 (858)	55,595	35	26,708	26,801	37,940	71

- 注 (1) 就業者数は、『令和2年度 衛生行政業務報告』により計上。
(2) 「入会率」は、令和4年3月31日現在の会員数で算出。
(3) 各都道府県の会員数は、住所変更に伴う他県への移動により、各都道府県の会費納入者数（令和3年度決算報告書）とは異なる。
(4) 「保健師」、「看護師」、「准看護師」欄の（ ）内は男子の再掲。

看護師				准看護師				
05.3.31 現在 会員数	04.3.31 現在 会員数(a)	02.12.31 現在 就業者数(b)	入会率 (a/b)	05.3.31 現在 会員数	04.3.31 現在 会員数(a)	02.12.31 現在 就業者数(b)	入会率 (a/b)	
人	人	人	%	人	人	人	%	
38,928 (3,617)	39,097 (3,549)	66,733	59	1,834 (108)	2,068 (124)	14,913	14	北海道
7,775 (673)	7,773 (666)	13,211	59	325 (23)	345 (23)	4,637	7	青森
6,967 (566)	6,905 (558)	13,922	50	141 (9)	149 (9)	2,820	5	岩手
11,816 (890)	11,722 (875)	20,893	56	323 (17)	363 (20)	5,197	7	宮城
6,383 (653)	6,416 (646)	11,554	56	83 (12)	95 (12)	2,904	3	秋田
7,127 (540)	7,078 (529)	12,067	59	132 (9)	141 (12)	2,551	6	山形
10,970 (996)	10,978 (978)	17,654	62	743 (64)	805 (65)	6,249	13	福島
14,143 (1,370)	14,048 (1,355)	23,523	60	928 (103)	1,007 (99)	7,064	14	茨城
11,059 (1,124)	10,873 (1,086)	17,702	61	585 (51)	611 (54)	5,661	11	栃木
10,066 (1,288)	10,075 (1,294)	19,879	51	566 (71)	617 (70)	6,974	9	群馬
23,521 (2,279)	23,833 (2,248)	54,124	44	550 (40)	611 (41)	13,134	5	埼玉
26,431 (2,341)	26,383 (2,326)	48,391	55	827 (61)	925 (68)	9,024	10	千葉
42,206 (3,157)	44,056 (3,274)	120,049	37	437 (43)	500 (56)	12,063	4	東京都
35,248 (3,213)	35,715 (3,268)	73,139	49	440 (32)	484 (31)	8,355	6	神奈川県
14,342 (1,466)	14,403 (1,469)	23,390	62	488 (36)	546 (40)	5,102	11	新潟
5,134 (617)	5,073 (603)	8,470	60	164 (8)	177 (8)	1,903	9	山梨
12,802 (1,436)	12,672 (1,408)	23,423	54	251 (28)	267 (28)	4,507	6	長野
7,975 (675)	8,035 (676)	13,075	61	92 (9)	102 (12)	2,840	4	富山
9,084 (672)	9,044 (669)	15,017	60	252 (24)	274 (26)	2,693	10	石川
6,003 (514)	6,004 (503)	9,216	65	183 (4)	199 (7)	2,544	8	福井
11,412 (1,134)	11,366 (1,086)	18,724	61	482 (33)	521 (37)	5,689	9	岐阜
20,697 (1,714)	20,371 (1,671)	34,536	59	617 (29)	678 (34)	5,977	11	静岡県
37,660 (3,155)	37,311 (3,083)	64,927	57	679 (30)	760 (29)	12,812	6	愛知
10,960 (975)	10,808 (956)	17,866	60	451 (22)	501 (30)	4,482	11	三重
8,449 (991)	8,416 (969)	14,512	58	167 (13)	192 (15)	1,554	12	滋賀
15,675 (1,467)	15,918 (1,442)	28,555	56	484 (39)	542 (50)	4,375	12	京都
50,776 (3,610)	51,090 (3,577)	84,826	60	1,421 (68)	1,544 (73)	13,945	11	大阪府
29,691 (2,316)	30,072 (2,303)	57,521	52	695 (25)	771 (27)	9,619	8	兵庫県
8,924 (810)	8,969 (814)	13,702	65	310 (10)	344 (13)	1,974	17	奈良
5,716 (770)	5,677 (768)	11,259	50	105 (14)	114 (14)	2,884	4	和歌山
4,008 (329)	4,019 (326)	7,556	53	46 (3)	48 (4)	2,067	2	鳥取
5,247 (452)	5,261 (443)	9,083	58	118 (11)	120 (10)	2,698	4	島根
15,851 (1,156)	15,743 (1,147)	24,240	65	595 (26)	633 (27)	4,151	15	岡山
18,656 (1,799)	18,771 (1,796)	32,704	57	862 (65)	953 (70)	10,557	9	広島
9,030 (734)	9,045 (745)	17,919	50	422 (36)	477 (37)	6,185	8	山口
4,385 (313)	4,420 (306)	9,295	48	55 (4)	54 (3)	3,425	2	徳島
6,985 (719)	6,945 (701)	11,878	58	211 (30)	212 (25)	3,815	6	香川
9,413 (1,014)	9,444 (987)	17,259	55	292 (25)	308 (28)	4,979	6	愛媛
5,872 (693)	5,841 (677)	11,226	52	260 (39)	293 (43)	3,091	9	高知
39,853 (3,515)	40,011 (3,491)	64,086	62	1,797 (180)	1,937 (191)	16,133	12	福岡
5,052 (709)	5,053 (688)	11,389	44	244 (38)	262 (44)	4,299	6	佐賀
9,243 (956)	9,354 (958)	18,329	51	292 (24)	346 (26)	6,545	5	長崎
13,683 (1,168)	13,682 (1,142)	24,097	57	1,197 (124)	1,302 (124)	9,433	14	熊本
8,803 (771)	8,714 (752)	15,055	58	605 (59)	602 (61)	5,151	12	大分
7,985 (1,061)	7,946 (1,063)	14,631	54	459 (54)	511 (63)	5,782	9	宮崎
11,106 (1,321)	11,237 (1,298)	23,443	48	488 (54)	558 (56)	8,308	7	鹿児島
9,342 (1,748)	9,295 (1,749)	16,861	55	320 (48)	356 (53)	3,524	10	沖縄
692,454 (63,487)	694,962 (62,918)	1,280,911	54	23,018 (1,855)	25,225 (1,992)	284,589	9	合計

都道府県看護協会一覧表

協会名	〒	住所	TEL	FAX
北海道看護協会	003-0027	札幌市白石区本通17丁目北3-24	011-863-6731	011-863-3204
青森県看護協会	030-0822	青森市中央3-20-30 県民福祉プラザ3階	017-723-2857	017-735-3836
岩手県看護協会	020-0117	盛岡市緑が丘2-4-55	019-662-8213	019-662-9550
宮城県看護協会	980-0871	仙台市青葉区八幡2-10-19	022-273-3923	022-276-4724
秋田県看護協会	010-0874	秋田市千秋久保田町6-6	018-834-0172	018-835-9522
山形県看護協会	990-2473	山形市松栄1-5-45 アルカディアソフトパーク山形内	023-685-8033	023-646-8868
福島県看護協会	963-8871	郡山市本町1-20-24	024-934-0512	024-991-5560
茨城県看護協会	310-0034	水戸市緑町3-5-35 茨城県保健衛生会館内	029-221-6900	029-226-0493
栃木県看護協会	320-8503	宇都宮市駒生町3337-1 とちぎ健康の森4階	028-625-6141	028-625-8988
群馬県看護協会	371-0007	前橋市上泉町1858-7 群馬県看護教育センター	027-269-5565	027-269-8601
埼玉県看護協会	331-0078	さいたま市西区西大宮3-3	048-624-3300	048-624-3331
千葉県看護協会	261-0002	千葉市美浜区新港249-4	043-245-1744	043-248-7246
東京都看護協会	160-0023	新宿区西新宿4-2-19	03-6300-0730	03-6300-0875
神奈川県看護協会	231-0037	横浜市中区富士見町3-1 神奈川県総合医療会館6階	045-263-2901	045-263-2905
新潟県看護協会	951-8133	新潟市中央区川岸町2-11	025-265-1225	025-266-1199
山梨県看護協会	400-0807	甲府市東光寺2-25-1	055-226-4288	055-222-5988
長野県看護協会	390-0802	松本市旭2-11-34	0263-35-0421	0263-34-0311
富山県看護協会	930-0885	富山市鶴島字川原1907-1	076-433-5680	076-433-6428
石川県看護協会	920-0931	金沢市兼六元町3-69	076-232-3573	076-232-3973
福井県看護協会	918-8206	福井市北四ツ居町601	0776-54-7103	0776-54-8474
岐阜県看護協会	500-8384	岐阜市藪田南5-14-53 岐阜県県民ふれあい会館1棟5階	058-277-1008	058-275-5300
静岡県看護協会	422-8067	静岡市駿河区南町14-25 エスパティオ3階	054-202-1750	054-202-1751
愛知県看護協会	466-0054	名古屋市昭和区円上町26-18	052-871-0711	052-871-0757
三重県看護協会	514-0062	津市観音寺町字東浦457-3 三重県看護研修会館	059-225-1010	059-226-5200
滋賀県看護協会	525-0032	草津市大路2-11-51	077-564-6468	077-562-8998
京都府看護協会	606-8111	京都市左京区高野泉町40-5	075-723-7195	075-723-7272
大阪府看護協会	540-0001	大阪市中央区城見2-2-22 マルイトOBPビル8階	06-6947-6900	06-6947-6901
兵庫県看護協会	650-0011	神戸市中央区下山手通5-6-24	078-341-0190	078-361-6652
奈良県看護協会	634-0813	橿原市四条町288-8 奈良県看護研修センター	0744-25-4014	0744-24-7703
和歌山県看護協会	642-0017	海南市南赤坂17番地	073-483-1005	073-483-1266
鳥取県看護協会	680-0901	鳥取市江津318-1	0857-29-8100	0857-29-8102
島根県看護協会	690-0049	松江市袖師町7-11	0852-25-0330	0852-25-3157
岡山県看護協会	700-0805	岡山市北区兵団4-31	086-226-3638	086-226-1157
広島県看護協会	730-0803	広島市中区広瀬北町9-2	082-293-3362	082-295-5361
山口県看護協会	747-0062	防府市大字上右田2686 山口県看護研修会館	0835-24-5790	0835-24-1230
徳島県看護協会	770-0003	徳島市北田宮1-329-18	088-631-5544	088-632-1084
香川県看護協会	769-0102	高松市国分寺町国分152-4	087-864-9070	087-864-9071
愛媛県看護協会	790-0843	松山市道後町2-11-14	089-923-1287	089-926-7825
高知県看護協会	780-8066	高知市朝倉己825-5	088-844-0678	088-844-0053
福岡県看護協会	812-0054	福岡市東区馬出4-10-1 ナースプラザ福岡	092-631-1141	092-631-1142
佐賀県看護協会	849-0201	佐賀市久保田町大字徳万1997-1 看護センター	0952-68-3299	0952-68-3603
長崎県看護協会	854-0072	諫早市永昌町23-6	0957-49-8050	0957-49-8056
熊本県看護協会	862-0901	熊本市東区東町3-10-39	096-369-3203	096-369-3204
大分県看護協会	870-0855	大分市豊饒2丁目7-1	097-574-7117	097-545-3751
宮崎県看護協会	889-2155	宮崎市学園木花台西2-4-6	0985-58-0622	0985-58-2939
鹿児島県看護協会	890-0064	鹿児島市鴨池新町21-5 鹿児島県看護研修会館	099-256-8081	099-256-8079
沖縄県看護協会	901-1105	島尻郡南風原町字新川272-17	098-888-3155	098-888-3126

都道府県ナースセンター一覧表

ナースセンター	〒	住所	TEL	FAX
北海道ナースセンター	003-0027	札幌市白石区本通17丁目北 3番24号 北海道看護協会内 1階	011-863-6794	011-866-2244
青森県ナースセンター	030-0822	青森市中央三丁目20-30 県民福祉プラザ 3階 青森県看護協会内	017-723-4580	017-735-3836
岩手県ナースセンター	020-0117	盛岡市緑ヶ丘2-4-55 岩手県看護研修センター 1階 岩手県看護協会内	019-663-5206	019-663-5263
宮城県ナースセンター	981-0933	仙台市青葉区柏木 2丁目3-23	022-272-8573	022-272-7801
秋田県ナースセンター	010-0001	秋田市中通 2丁目3-8 秋田アトリオンビル 1階	018-832-8810	018-853-4376
山形県ナースセンター	990-2473	山形市松栄 1丁目5-45 山形県看護協会内	023-646-8878	023-643-5727
福島県ナースセンター	963-8871	郡山市本町 1丁目20番24号 福島県看護会館 みらい 1階 福島県看護協会内	024-934-0500	024-991-6002
茨城県ナースセンター	310-0034	水戸市緑町3-5-35 茨城県保健衛生会館 1階 茨城県看護協会内	029-221-7021	029-226-0493
栃木県ナースセンター	320-8503	宇都宮市駒生町3337-1 とちぎ健康の森 4階 栃木県看護協会内	028-625-3831	028-625-8988
群馬県ナースセンター	371-0007	前橋市上泉町1858-7 群馬県看護協会内	027-269-5202	027-269-8601
埼玉県ナースセンター	331-0078	さいたま市西区西大宮 3丁目 3番地 埼玉県看護協会内	048-620-7337	048-620-7322
千葉県ナースセンター	261-0002	千葉市美浜区新港249-10	043-247-6371	043-247-6620
東京都ナースプラザ (ナースバンク東京)	160-0023	新宿区西新宿4-2-19 東京都看護協会会館 2階	03-5309-2065	03-5309-2066
神奈川県ナースセンター	231-0037	横浜市中区富士見町 3番 1 神奈川県総合医療会館 5階	045-263-2101	045-263-2104
新潟県ナースセンター	951-8133	新潟市中央区川岸町2-11 新潟県看護研修センター 1階新潟県看護協会内	025-233-6011	025-265-4188
富山県ナースセンター	930-0885	富山市鶴島字川原1907-1 富山県看護協会内	076-433-5251	076-433-5281
石川県ナースセンター	920-0931	金沢市兼六元町3-69 石川県看護協会内	076-225-7771	076-225-7788
福井県ナースセンター	918-8206	福井市北四ツ居町601 福井県看護協会会館 1階	0776-52-1857	0776-52-1858
山梨県ナースセンター	400-0807	甲府市東光寺2-25-1 山梨県看護協会内1階	055-226-0110	055-222-5988
長野県ナースセンター	390-0802	松本市旭 2丁目11-34 長野県看護協会会館内	0263-35-0067	0263-34-0311
岐阜県ナースセンター	500-8384	岐阜市藪田南5-14-53 岐阜県民ふれあい会館第1棟 5階 岐阜県看護協会内	058-277-1010	058-277-1011
静岡県ナースセンター	422-8067	静岡市駿河区南町14番25号 エスパティオ 3階	054-202-1761	054-202-1762
愛知県ナースセンター	466-0054	名古屋市昭和区円上町26-15 愛知県高辻センター 1階	052-871-0600	052-883-3686
三重県ナースセンター	514-0062	津市観音寺町字東浦457-10 三重県看護研修会館別館	059-222-0466	059-222-0465
滋賀県ナースセンター	525-0032	草津市大路 2丁目11-51 滋賀県看護研修センター 滋賀県看護協会内	077-564-9494	077-562-8998
京都府ナースセンター	604-0874	京都市中京区竹屋町通鳥丸東入清水町375 ハートピア京都地下 1階	075-222-0316	075-222-0528
大阪府ナースセンター	536-0014	大阪市城東区鳴野西2-5-25 ナーシングアート大阪	06-6964-5511	06-6964-6666
兵庫県ナースセンター	650-0011	神戸市中央区下山手通5-6-24 兵庫県看護協会会館 1階	078-341-0240	078-341-0340
奈良県ナースセンター	634-0813	橿原市四条町288-8 奈良県看護研修センター 1階	0744-25-4031	0744-24-7703
和歌山県ナースセンター	642-0017	海南市南赤坂17番地	073-483-0234	073-483-1266
鳥取県ナースセンター	680-0901	鳥取市江津318-1 看護研修センター 1階 鳥取県看護協会内	0857-25-1222	0857-25-1223
島根県ナースセンター	690-0049	松江市袖師町7-11 看護研修センター 1階 島根県看護協会内	0852-27-8510	0852-25-3157
岡山県ナースセンター	700-0805	岡山市北区兵団 4番39 岡山県看護研修センター内	086-226-3639	086-226-0341
広島県ナースセンター	730-0803	広島市中区広瀬北町9-2 広島県看護協会会館 1階	082-293-9786	082-295-6749
山口県ナースセンター	747-0062	防府市大字上右田2686 山口県看護研修会館本館1階 山口県看護協会内	0835-24-5791	0835-28-9688
徳島県ナースセンター	770-0003	徳島市北田宮 1丁目329-18 徳島県看護会館内	088-631-5544	088-632-1084
香川県ナースセンター	769-0102	高松市国分寺町国分152-4 香川県看護協会看護研修センター 2階	087-864-9075	087-864-9071
愛媛県ナースセンター	790-0843	松山市道後町 2丁目11-14 愛媛県看護協会内愛媛看護研修センター 1階	089-924-0848	089-996-8425
高知県ナースセンター	780-8066	高知市朝倉己825番地 5 高知県看護協会内	088-844-0758	088-844-0053
福岡県ナースセンター	812-0054	福岡市東区馬出4-10-1 ナースプラザ福岡	092-631-1221	092-631-1223
佐賀県ナースセンター	849-0201	佐賀市久保田町大字徳万1997-1 佐賀県看護協会内	0952-51-3511	0952-68-3603
長崎県ナースセンター	854-0072	諫早市永昌町23-6 ながさき看護センター 1階 長崎県看護協会内	0957-49-8060	0957-49-8063
熊本県ナースセンター	862-0901	熊本市東区東町3-10-39 看護研修センター 1階 熊本県看護協会内	096-365-7660	096-365-7640
大分県ナースセンター	870-0855	大分市豊饒 2丁目7-1看護研修会館 1階 大分県看護協会内	097-574-7136	097-574-7361
宮崎県ナースセンター	889-2155	宮崎市学園木花台西2-4-6 宮崎県看護協会 1階	0985-58-4525	0985-58-2939
鹿児島県ナースセンター	890-0064	鹿児島市鴨池新町21-5 看護研修会館1階 鹿児島県看護協会内	099-256-8025	099-256-8079
沖縄県ナースセンター	901-1105	島尻郡南風原町字新川272番地17 沖縄県看護研修センター 1階 沖縄県看護協会内	098-888-3127	098-888-3126

公益社団法人富山県看護協会定款

第1章 総 則

(名称)

第1条 本会は、公益社団法人富山県看護協会と称する。

(事務所)

第2条 本会は、主たる事務所を富山県富山市に置く。

(日看協への入会)

第3条 本会は、公益社団法人日本看護協会（以下「日看協」という。）の法人会員となるものとする。

第2章 目的及び事業

(目的)

第4条 本会は、日看協との連携のもと、保健師、助産師、看護師及び准看護師が教育と研鑽に根ざした専門性に基づき看護の質の向上を図るとともに、安心して働き続けられる環境づくりを推進し、あわせて県民のニーズに応える看護領域の開発・展開を図ることにより、県民の健康で豊かな生活の実現に寄与することを目的とする。

(事業)

第5条 本会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 教育等看護の質の向上に関する事業
- (2) 富山県看護研究学会の開催等学術研究の振興に関する事業
- (3) 看護業務の開発、看護制度の改善等に関する事業
- (4) 看護職の労働環境等の改善及び福祉の向上による県民の健康及び福祉の増進に関する事業
- (5) 訪問看護の実施等地域の保健医療福祉の向上に関する事業
- (6) その他本会の目的を達成するために必要な事業

2 前項各号の事業は、富山県において行うものとする。

第3章 会 員

(法人の構成員)

第6条 本会の会員は、次の2種とする。

- (1) 正会員 富山県内に在住又は勤務する保健師、助産師、看護師及び准看護師で、本会の目的に賛同して入会したもの。
 - (2) 名誉会員 看護職であって、本会の事業に功労があった者又は学識経験者で理事会が推薦し、本人の承諾を得て総会において承認されたもの。
- 2 前項の会員のうち、正会員をもって一般社団法人及び一般財団法人に関する法律（以下「法人法」という。）上の社員とする。

(入会)

第7条 本会の正会員になろうとする者は、入会申込書を会長に提出し、理事会の承認を受けなければならない。

(会費)

第8条 本会の事業活動に経常的に生じる費用に充てるため、正会員になった時及び毎年、正会員は、総会において別に定める額を納入しなければならない。

(退会)

第9条 会員は、退会届を会長に提出することにより、任意にいつでも退会することができる。

(除名)

第10条 会員が次のいずれかに該当するに至ったときは、総会の決議によって当該会員を除名することができる。

- (1) この定款その他の規程に違反したとき。
 - (2) 本会の名誉を傷つけ、又は目的に反する行為をしたとき。
 - (3) その他除名すべき正当な事由があるとき。
- 2 前項の規定により会員を除名するときは、当該会員に、当該総会の日から1週間前までにその旨を通知し、かつ、総会において弁明する機会を与えなければならない。
- 3 除名は、除名した会員にその旨を通知しなければ、これをもって当該会員に対抗することができない。

(会員資格の喪失)

第11条 前2条の場合のほか、会員は、次のいずれかに該当するに至ったときは、その資格を喪失する。

- (1) 第8条の支払義務を1年以上履行しなかったとき。
- (2) 全正会員が同意したとき。

(3) 当該会員が死亡したとき。

第4章 総 会

(構成)

第12条 総会は、すべての正会員をもって構成する。

2 前項の総会をもって法人法上の社員総会とする。

(権限)

第13条 総会は、次の事項について決議する。

- (1) 会費の額
- (2) 会員の除名
- (3) 理事及び監事の選任又は解任
- (4) 日看協代議員及び予備代議員の選任
- (5) 理事及び監事の報酬等の額
- (6) 貸借対照表及び正味財産増減計算書並びにこれらの附属明細書の承認
- (7) 定款の変更
- (8) 解散及び残余財産の処分
- (9) その他総会で決議するものとして法令又はこの定款で定められた事項

(開催)

第14条 総会は、定時総会として毎年度6月に1回開催するほか、必要がある場合に開催する。

(招集)

第15条 総会は、法令に別段の定めがある場合を除き、理事会の決議に基づき会長が招集する。

2 総正会員の議決権の10分の1以上の議決権を有する正会員は、会長に対し、総会の目的である事項及び招集の理由を示して、総会の招集を請求することができる。

3 前項の請求があったときは、会長は、総会を招集しなければならない。

4 総会を招集するときは、総会の日時、場所及び総会の目的たる事項を開催の30日前までに正会員に文書をもって通知しなければならない。

(議長)

第16条 総会に議長団を置く。

2 議長団は3名以上とし、総会においてその都度正会員の中から選出する。

3 議長は議長団がこれを定める。

(議決権)

第17条 総会における議決権は、正会員1名につき1個とする。

(決議)

第18条 総会の決議は、総正会員の議決権の過半数を有する正会員が出席し、出席した当該会員の議決権の過半数をもって行う。

2 前項の規定にかかわらず、次の決議は、総正会員の半数以上であって、総正会員の議決権の3分の2以上に当たる多数をもって行う。

- (1) 会員の除名
- (2) 監事の解任
- (3) 定款の変更
- (4) 解散
- (5) その他法令で定められた事項

3 理事又は監事を選任する議案を決議するに際しては、候補者ごとに第1項の決議を行わなければならない。理事又は監事の候補者の合計数が第22条に定める定数を上回る場合には、過半数の賛成を得た候補者の中から得票数の多い順に定数の枠に達するまでの者を選任することとする。

(議決権の代理行使)

第19条 正会員は、代理人によってその議決権を行使することができる。この場合においては、当該正会員又は代理人は、代理権を証明する書面を本会に提出しなければならない。

(書面による議決権の行使)

第20条 書面による議決権の行使は、議決権行使書面に必要な事項を記載し、総会の日時の直前の日時の業務時間の終了時までには当該記載をした議決権行使書面を本会に提出して行う。

2 前項の規定により書面によって行使した議決権の数は、出席した正会員の議決権の数に算入する。

(議事録)

第21条 総会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。

2 議長及びその会議において選任された議事録署名人2人以上は、前項の議事録に記名押印する。

第5章 役員

(役員を設置)

第22条 本会に、次の役員を置く。

- (1) 理事 20名以上25名以内
- (2) 監事 2名以上3名以内
- 2 理事のうち1名を会長、2名を副会長、1名を専務理事、1名を常任理事とする。ただし、理事には、保健師、助産師、看護師、准看護師から各1名以上を含むものとする。
- 3 監事のうち1名を会員外とする。
- 4 第2項の会長をもって法人法上の代表理事とし、副会長、専務理事及び常任理事を同法第91条第1項第2号の業務執行理事とする。

(役員を選任)

第23条 理事及び監事は、総会の決議によって選任する。

- 2 理事会は、会長、副会長、専務理事及び常任理事を選定及び解職する。
- 3 前項において、理事会は、総会の決議により選出された会長候補者及び副会長候補者から会長及び副会長を選定する方法によることができる。
- 4 第2項の場合において、理事会は、会長が推薦する専務理事候補者及び常任理事候補者から専務理事及び常任理事を選定することができる。

(役員の欠格事由)

第24条 次に掲げる者は本会の役員となることができない。

- (1) 法人法第65条第1項各号に掲げられた者
- (2) 法人法第65条第1項第3号に該当する罪刑又は第4号に該当する刑に処せられる可能性のある罪で起訴されている者
- (3) 公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律（以下「認定法」という。）第6条に該当する者
- (4) 認定法第6条第1号ロに該当する罪刑又はハに該当する刑に処せられる可能性のある罪で起訴されている者

(役員資格喪失)

第25条 前条に該当するに至った者は、当該時点で本会の役員資格を喪失する。

(理事等の構成)

第26条 本会の各理事について、当該理事及びその配偶者又は三親等内の親族（これに準ずるものとして当該理事と公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律施行令（以下「認定法施行令」という。）で定める特別の関係にある者を含む。）である理事の合計数が理事の総数の3分の1を超えないものであること。監事についても同様とする。

- 2 他の同一の団体（公益法人又はこれに準ずるものとして認定法施行令で定めるものを除く。）の理事又は使用人である者その他これに準ずる相互に密接な関係にあるものとして認定法施行令で定める者である理事の合計数が理

事の総数の3分の1を超えないものであること。監事についても、同様とする。

(理事等との特殊の関係)

第27条 本会の理事のうちには、理事のいずれか1人及びその親族その他特殊の関係がある者の合計数が、理事総数（現在数）の3分の1を超えて含まれることになってはならない。

2 本会の監事には、本会の理事（親族その他特殊の関係がある者を含む。）及び本会の使用人が含まれてはならない。また、各監事は、相互に親族その他特殊の関係があってはならない。

(理事の職務及び権限)

第28条 理事は、理事会を構成し、法令及びこの定款で定めるところにより、職務を執行する。

2 会長は、法令及びこの定款で定めるところにより本会を代表し、その業務を執行する。

3 副会長は、会長を補佐する。

4 専務理事は、会長及び副会長を補佐し、業務を分担執行する。

5 常任理事は、業務を分担執行する。

6 副会長、専務理事及び常任理事の権限は、理事会が定める職務権限規程による。

7 会長及び業務執行理事は、3か月に1回以上自己の職務の執行状況を理事会に報告しなければならない。

(監事の職務及び権限)

第29条 監事は、理事の職務の執行を監査し、法令で定めるところにより、監査報告を作成する。

2 監事は、いつでも、理事及び使用人に対して事業の報告を求め、本会の業務及び財産の状況を調査することができる。

3 監事は、理事が不正な行為をし、若しくは当該行為をするおそれがあると認めるとき、又は法令若しくはこの定款に違反する事実若しくは著しく不当な事実があると認めるときは、遅滞なく、その旨を理事会に報告する。

4 監事は、理事会に出席し、必要があると認めるときは、意見を述べる。

5 監事は、第3項に規定する場合において、必要があると認めるときは会長に対し、理事会の招集を請求することができる。

6 前項の規定による請求のあった日から5日以内に、その請求があった日から2週間以内の日を理事会の日とする理事会の招集の通知が発せられない場合は、その請求をした監事は、理事会を招集することができる。

7 監事は、理事が総会に提出しようとする議案、書類その他法令で定めるものを調査しなければならない。この場合において、法令若しくはこの定款に違反し、又は著しく不当な事項があると認めるときは、その調査の結果を総

会に報告する。

- 8 監事は、本会の目的の範囲外の行為その他法令若しくはこの定款に違反する行為をし、又はこれらの行為をするおそれがある場合において、当該行為によって本会に著しい損害が生ずるおそれがあるときは、当該理事に対し、当該行為をやめることを請求することができる。

(役員任期)

第30条 理事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時総会の終結の時までとする。ただし、再任を妨げない。

- 2 前項の規定にかかわらず、理事は、同一職に引き続き就任するときは選任後6年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時総会の終結の時を超えて就任することができない。

- 3 監事の任期は、選任後4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時総会の時までとする。ただし、再任を妨げない。

- 4 前項の規定にかかわらず、監事は、引き続き就任するときは選任後8年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時総会の終結の時を超えて就任することはできない。

- 5 補欠として選任された理事又は監事の任期は、前任者の任期の満了する時までとする。

- 6 理事又は監事は第22条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお理事又は監事としての権利義務を有する。

(役員解任)

第31条 理事及び監事は、総会の決議によって解任することができる。

(報酬等)

第32条 理事及び監事は、無報酬とする。ただし常勤の理事及び会員外の監事に対しては、総会において定める総額の範囲内で、報酬として支給することができる。

- 2 役員にはその職務を執行するために要する費用を弁償することができる。

- 3 前2項に関し必要な事項は、理事会の決議により別に定める役員の報酬及び費用に関する規程による。ただし、監事の報酬及び費用については、監事の協議による。

(損害賠償責任)

第33条 理事又は監事は、その任務を怠ったときは、本会に対し、これによって生じた損害を賠償する責任を負う。

- 2 前項の責任は、すべての正会員の同意がなければ免除することができない。

- 3 第2項の規定にかかわらず、理事又は監事が職務を行うにつき善意でかつ

重大な過失がない場合において、責任の原因となった事実の内容、当該理事又は監事の職務の執行の状況その他の事情を勘案して特に必要と認めるときは、法令の定める額を限度として理事会の決議によって免除することができる。

第6章 理 事 会

(構成)

第34条 本会に理事会を置く。

2 理事会は、すべての理事をもって構成する。

(権限)

第35条 理事会は、次の職務を行う。

- (1) 本会の業務執行の決定
- (2) 理事の職務の執行の監督
- (3) 会長、副会長、専務理事及び常任理事の選定及び解職

(招集)

第36条 理事会は、会長が招集し議長となる。

2 会長が欠けたとき又は会長に事故があるときは、理事会においてあらかじめ定めた理事が理事会を招集し議長となる。

(決議)

第37条 理事会の決議は、決議について特別の利害関係を有する理事を除く理事の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

2 前項の規定にかかわらず、理事が理事会の決議の目的である事項について提案をした場合において、当該提案につき議決に加わることができる理事の全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたときは、当該提案を可決する旨の理事会の決議があったものとみなす。ただし、監事が異議を述べた場合は、この限りでない。

(議事録)

第38条 理事会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。

2 出席した会長及び監事は、前項の議事録に記名押印する。

第7章 職能委員会

(職能委員会)

第39条 本会に次の職能委員会を置く。

- (1) 保健師職能委員会
- (2) 助産師職能委員会
- (3) 看護師職能委員会

- 2 職能委員会は、それぞれ職能上の問題を審議し、理事会に提案する。
- 3 各職能委員会の委員長は、保健師、助産師、看護師の理事をもって充てる。
- 4 各職能委員会の委員は、理事会において選任及び解任する。
- 5 各職能委員会の構成及び運営に必要な事項は、理事会において別に定める。

第8章 委員会

(委員会)

第40条 この定款に定めるもののほか、本会の事業を推進するために必要があるときは、理事会の決議により、委員会を設置することができる。

- 2 委員会は、総会及び理事会の権限を侵すものではないものとする。
- 3 委員会の委員は、理事会において選任及び解任する。
- 4 委員会の任務、構成及び運営に関し必要な事項は、理事会において別に定める。

第9章 支部

(支部)

第41条 本会に支部を設置する。

- 2 支部の組織及び運営に関し必要な事項は、理事会において別に定める。

第10章 事務局

(事務局)

第42条 本会の事務を処理するため、事務局を設置する。

- 2 事務局には、事務局長及び所要の職員を置く。
- 3 事務局長は、理事会の決議を経て会長が任免する。
- 4 事務局の組織及び運営に関し必要な事項は、理事会において別に定める。

第11章 資産及び会計

(事業年度)

第43条 本会の事業年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

(事業計画及び収支予算)

第44条 本会の事業計画書、収支予算書、資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類（以下「予算等」という。）については、毎事業年度の開始の日の前日までに、会長が作成し、理事会の承認を受けなければならない。これを変更する場合も、同様とする。

2 予算等については、定時総会に報告するものとする。

3 予算等については、主たる事務所に、当該事業年度が終了するまでの間備え置き、一般の閲覧に供するものとする。

(事業報告及び決算)

第45条 本会の事業報告及び決算については、毎事業年度終了後、会長が次の書類を作成し、監事の監査を受けた上で、理事会の承認を経て、定時総会に提出し、第1号及び第2号の書類についてはその内容を報告し、第3号から第6号までの書類については承認を受けなければならない。

(1) 事業報告

(2) 事業報告の附属明細書

(3) 貸借対照表

(4) 正味財産増減計算書

(5) 貸借対照表及び正味財産増減計算書の附属明細書

(6) 財産目録

2 前項の書類のほか、次の書類を主たる事務所に5年間備え置き、一般の閲覧に供するとともに、定款、会員名簿を主たる事務所に備え置き、一般の閲覧に供するものとする。

(1) 監査報告

(2) 理事及び監事の名簿

(3) 理事及び監事の報酬等の支給の基準を記載した書類

(4) 運営組織及び事業活動の状況の概要及びこれらに関する数値のうち重要なものを記載した書類

(公益目的取得財産残額の算定)

第46条 会長は、認定法施行規則第48条の規定に基づき、毎事業年度、当該事業年度の末日における公益目的取得財産残額を算定し、前条第2項第4号の書類に記載するものとする。

(会計の規程等)

第47条 会計に関して必要な事項は、理事会において別に定める。

2 特別費用準備資金及び特定の資産の取得又は改良に充てるために保有する資産の取り扱いについては、理事会の決議により別に定める。

第12章 定款の変更及び解散

(定款の変更)

第48条 この定款は、総会の決議によって変更することができる。

(解散)

第49条 本会は、総会の決議その他法令で定められた事由により解散する。

(公益認定の取消し等に伴う贈与)

第50条 本会が公益認定の取消しの処分を受けた場合又は合併により法人が消滅する場合（その権利義務を承継する法人が公益法人であるときを除く。）には、総会の決議を経て、公益目的取得財産残額に相当する額の財産を、当該公益認定の取消しの日又は当該合併の日から1箇月以内に、認定法第5条第17号に掲げる法人又は国若しくは地方公共団体に贈与するものとする。

(残余財産の帰属)

第51条 本会が清算をする場合において有する残余財産は、総会の決議を経て、認定法第5条17号に掲げる法人又は国若しくは地方公共団体に贈与するものとする。

第13章 公告の方法

(公告の方法)

第52条 本会の公告は、主たる事務所の公衆の見やすい場所に掲示する方法により行う。

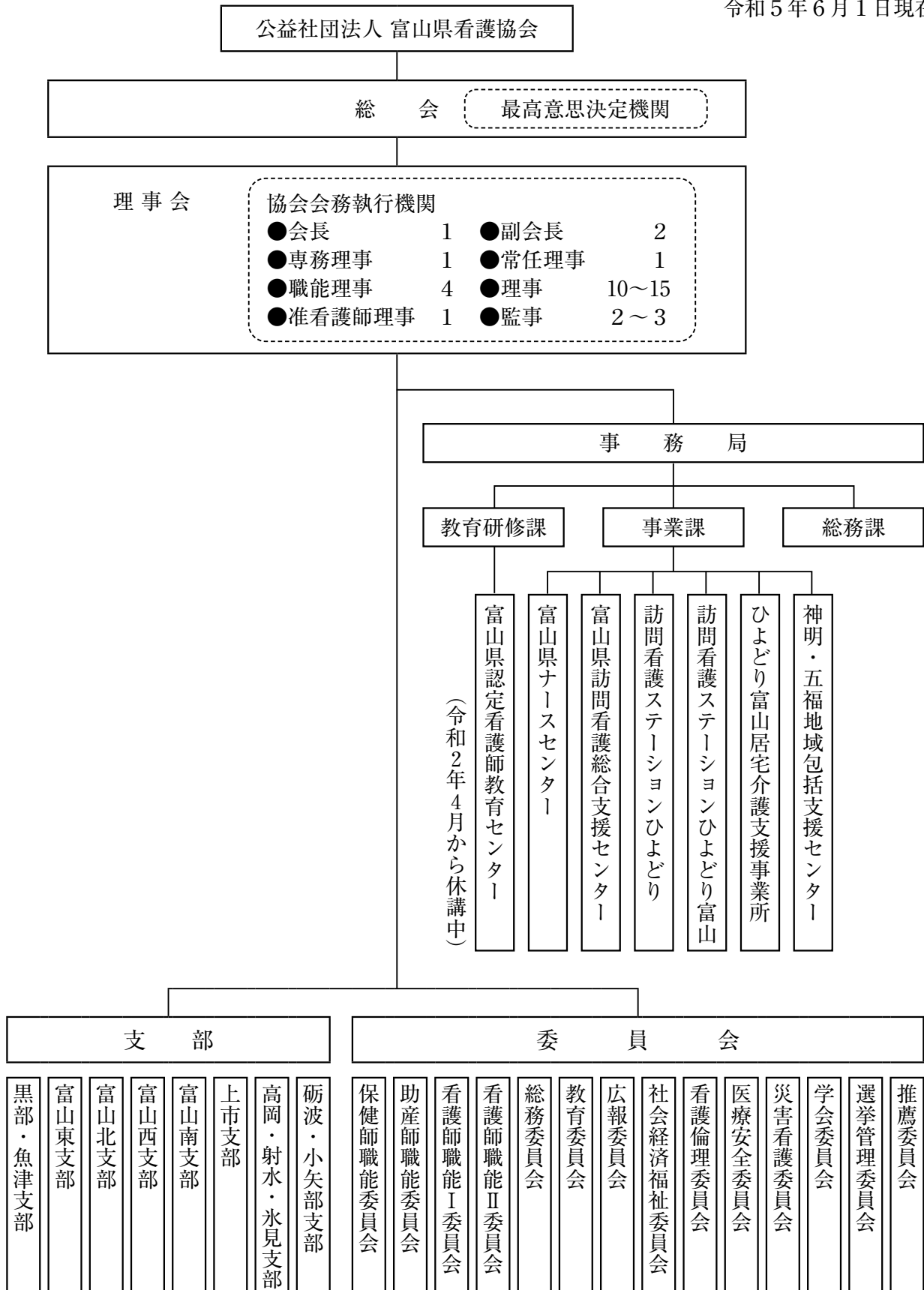
附 則

- 1 この定款は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第106条第1項に定める公益法人の設立の登記の日から施行する。
- 2 本会の最初の代表理事は三谷順子とする。

- 3 一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第106条第1項に定める特例民法法人の解散の登記と、公益法人の設立の登記を行ったときは、第43条の規定にかかわらず、解散の登記の前日を事業年度の末日とし、設立の登記の日を事業年度の開始日とする。

公益社団法人 富山県看護協会組織図

令和5年6月1日現在



富山県看護協会職員名簿

(令和5年6月1日現在)

事務局

局長 大川 昌宏
職員(主任) 村井 一仁(主任) 小杉 理恵
専任教員 竹澤 和美
職員 川村 美里 田村 慎哉
非常勤職員 河浦 恭子 古川 恵子

ナースセンター

センター長 境 信子
職員(主任) 黒田 麻衣子
非常勤職員 新村 千晶 城生 裕子 濱 祐美 田村 雅子
秋本 記江 濱井 郁美 岩原 裕子

富山県訪問看護総合支援センター

センター長 吉田 智子
職員 清水 阿佐美 加賀 美希
非常勤職員 中嶋 育美

訪問看護ステーションひよどり

管理者 森 陽子
職員(主任) 帯刀 あづさ(主任) 草島 文子 宮脇 真未
非常勤職員 井波 絵弓 干場 嘉代子

訪問看護ステーションひよどり富山

管理者 廣田 恭子
職員(主任) 天野 久美 宮田 美香子
非常勤職員 會田 和美 中田 裕子

ひよどり富山居宅介護支援事業所

管理者 藤永 晴美
非常勤職員 原田 理恵

神明・五福地域包括支援センター

管理者 本田 理恵子
職員(主任) 田原 千賀子 宮本 恵理子 佐々木 智子 松林 真奈

日本看護協会歌

光 求めて

作詩 山本敏子
補作詩・作曲 小椋佳

大空のもと 光求めて
看護の心 胸深く
両手にかざす 愛のほむらは
静かに燃える 優しく燃える
今 この時 そして明日に

さざなみに揺れ 光求めて
看護の願い 胸熱く
つなぐその手に 通う血潮は
さやかにとける 優しくとける
ただ ひとすじ またひたむきに

そよ風に乗り 光求めて
看護の祈り 胸清く
枕べにたつ 花の香りは
ほのかに匂う 優しく匂う
今 この時 そして明日に

今 この時 そして明日に

The musical score is written in 3/4 time with a key signature of one flat (B-flat). It consists of 10 staves of music. The lyrics are written below the notes, and chords are indicated above the staff lines. The score includes a first ending (1.2.C) and a second ending (3.C). The lyrics are as follows:

1. おおぞら のも とれ ひか
2. おおぞら のも とれ ひか
3. おおぞら のも とれ ひか

りり もとめ てて ー ー かか んん ごの
りり もとめ てて ー ー かか んん ごの

こねい ー ろい むむ ねね ふあき かつく ー ー
こねい ー ろい むむ ねね ふあき かつく ー ー

りよ う て に か ぎ す ー ー あか い
つま なく ら そ の た す に つ ー ー は な

のう ほ む ら は ー ー し ず ー か か に も え
のう ほ む ら は ー ー し ず ー か か に も え
のう ほ む ら は ー ー し ず ー か か に も え

るる ー や さ ー し く も え る ー ー いた
るる ー や さ ー し く も え る ー ー いた

まだ こ の と き ー ー そ ま し て あ し た
まだ こ の と き ー ー そ ま し て あ し た

1.2.C 3.C C
に ー に ー い ま こ の と
に ー に ー い ま こ の と

F G7 (F/G) C
き ー そ し て あ し た に ー